SONY

4-111-559-02(1)

SONY

FWD-S42H1/FWD-S47H1

Flat Wide Display Monitor

取扱説明書 — JP

Operating Instructions — GB

Mode d’emploi — FR

Bedienungsanleitung — DE

Manual de instrucciones — ES

Istruzioni per l’uso — IT

使用说明书 — CS

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FWD-S42H1/FWD-S47H1

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

http://www.sony.net/

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Sony Corporation　Printed in Korea

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～8ページの注意事項をよくお読みください。
9ページの「本機の性能を保持するために」もあわせてお読みください。

定期点検をする

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします（有料）。点検の内容や費用については、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

・煙が出たら ・異常な音、においがしたら ・内部に水、異物が入ったら ・製品を落としたりキャビネットを破損したときは	➡	❶ ディスプレイの電源を切る。 ❷ ディスプレイの電源コードや接続コードを抜く。 ❸ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

高温

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

アース線を接続せよ

目次

各部の名称と働き

接続

メニューの設定

ネットワーク機能

その他の情報

JP

警告

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

規定の電源電圧で使う

この取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください。
規定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。
この取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。次の項目を必ずお守りください。

・設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。

内部に水や異物をいれない

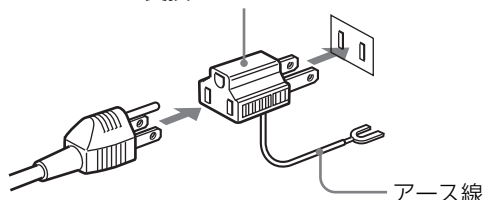
水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

設置・取り付けは確実に

不確実な設置を行うと、ディスプレイが転倒してけがや火災・感電の原因となります。設置の際は、以下の注意事項を必ずお守りください。
壁面・天井・台上への設置、または転倒防止のためディスプレイを固定するなど、特殊な設置を行う場合には、必ずお買い上げ店に工事を依頼してください。

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。
次の方法でアースを接続してください。

・電源コンセントが３極の場合
付属の電源コードを使用することで、安全アースが接続されます。
・電源コンセントが２極の場合
付属の３極→２極の変換プラグアダプターを使用し、変換プラグアダプターから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続する。
・アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

不明な点はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

高温部分に触れない

高温

機器を使用中または使用直後には上面や側面が高温になっているため、やけどをすることがあります。
使用中および電源を切るまたはスタンバイした状態から 10 分間は触れないでください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

重いディスプレイは、2 人以上で開梱・運搬する

注意

ディスプレイは見た目より重量があります。開梱・運搬は、けがや事故を防ぐため、必ず 2 人以上で行ってください。1 人で行うと腰を痛めることがあります。

本体を持って運搬する

注意

ディスプレイを運ぶときは、スピーカー部分を持たず、必ず本体または本体にある取っ手部分を持ってください。スピーカーがディスプレイからはずれて落下し、けがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に設置しない

水ぬれ禁止

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。

不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、ディスプレイが落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

接続の際は電源を切る

注意

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う

注意

付属の、あるいは取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。
ほかの電源コードや接続ケーブルを使用する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

通風孔をふさがない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 設置の項（10 ページ）に従って設置してください。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや逆さまにしない。

設置時には転倒防止処置を行う

注意

本機を据え置きする際には、万一の場合に備え、転倒防止処置を行ってください。

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

指示

まっすぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグを
コンセント
から抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く

注意

接続したまま移動させると、電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

注意

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

人が通行するような場所に置かないコード類は正しく配置する

注意

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、十分注意して接続・配置してください。

コード類は正しく配置する

指示

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
十分注意して接続・配置してください。

変換プラグアダプターのアースキャップは幼児の手の届かないところに保管する

指示

万一、誤って飲み込んだときは、窒息する恐れがありますので、ただちに医師にご相談ください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

接触禁止

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

指示

必ず次の処理をする

液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

禁止

使用済みの電池は、地域のルールに従って処分してください。

禁止

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

禁止

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
マンガン電池をお使いください。
電池の品番を確かめ、お使いください。

指示

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

指示

リモコンのフタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。
マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

その他の安全上のご注意

ご注意

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

ご注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。ソニー推奨の電源コードセットをご使用ください。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

使用上のご注意（性能を保持するために）

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

画面のお手入れについて

ディスプレイの表面が傷つくことがありますので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶつけたりしないでください。

また特殊な表面処理をしてあります。誤ったお手入れをした場合，性能を損なうことがありますので，以下のことをお守りください。

- スクリーン表面についた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはスクリーン表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でから拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

液晶画面について

- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、横縞が見えたり、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、焼きつきや残像を生じることがあります。残像は時間の経過とともに元に戻ります。焼きつきが発生したときは、本機のスクリーンセーバー機能を使用するか、ビデオソフトなどの動きのある映像を映してください。焼きつきが軽度のときは、次第に目立たなくなることがありますが、一度発生した焼きつきは、完全には消えません。
- 使用中に画面やキャビネット、フレームがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

液晶画面の輝点・滅点について

本機の液晶パネルは有効画素 99.99％以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け)、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

設置についてのご注意

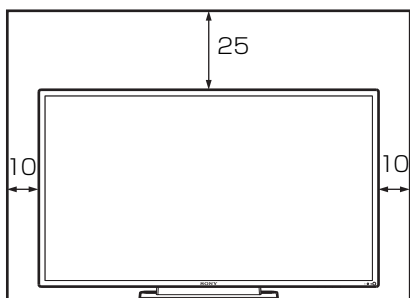
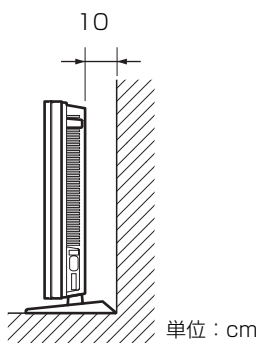
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- ほかの機器と組み合わせて設置する場合、各機器の設置位置などにより、リモコンの誤動作や映像の乱れ、雑音などが起こることがあります。この場合は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

設置するときのご注意

周囲に充分なスペースをとる

・ 内部の温度上昇を防ぐため、密閉状態にならないようにディスプレイの周囲に少なくとも下図に示す距離をあけて、通風を確保してください。
・ 周囲の温度は 0 ℃～ 35 ℃の範囲でご使用ください。天井付近に設置する場合、周囲の温度は室温より高くなることがありますのでご注意ください。
・ スタンドを使用するときは、専用テーブルトップスタンド SU-S01（別売）をご使用ください。取り付け方法については、テーブルトップスタンドの取扱説明書をご覧ください。
・ ブラケットやネジ、ボルトなどの設置機材について特定の製品を指定することはできません。実際の設置は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。設置についてはソニーのサービス窓口にご相談ください。
・ 通電中は高温になる部分があり、やけどの原因となります。通電中やスタンバイにした直後は、本機の上面、後面には手を触れないでください。

テーブルトップスタンドを使用する場合

前面

側面

ご注意

スタンド（別売）を取り付けたままの状態で、運搬や設置を行うときは、2 人以上で作業してください。

水平方向で使用する場合

前面

側面

単位：cm

垂直方向で使用する場合

前面

側面

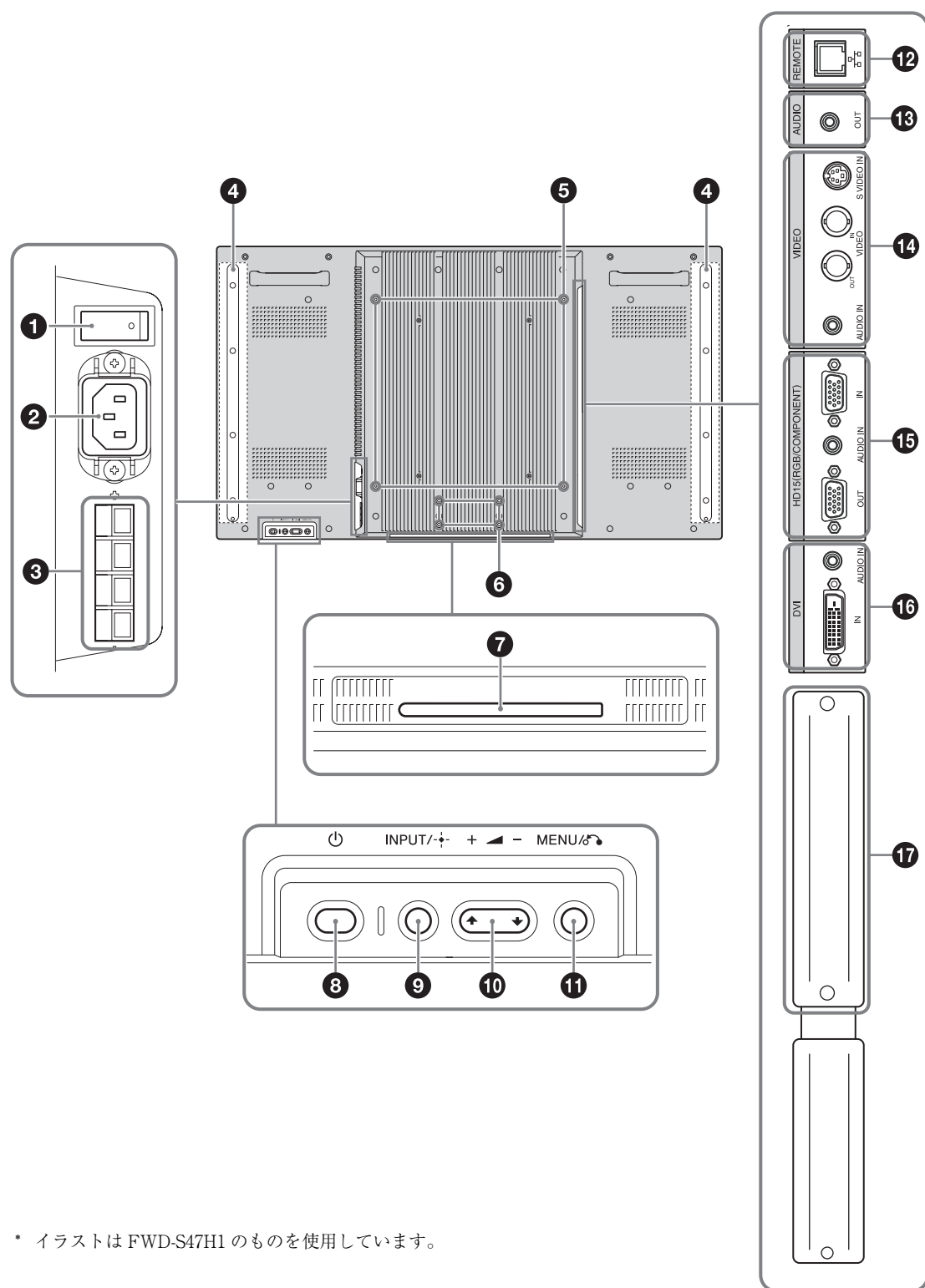
単位：cm

各部の名称と働き

前面

名称	説明
❶ ソニーロゴ	ソニーロゴが点灯します。 メニュー画面で、自動から各種手動設定にすることができます。34 ページの「ロゴ」をご覧ください。
❷ ⏻（電源 / スタンバイ）インジケーター	・ 本機の電源を入れると緑色に点灯します。 ・ 本機がスタンバイ状態のとき、赤色に点灯します。また PC 入力のとき、パワーセービング状態になると、インジケーターがオレンジ色に点灯します。 ⏻ インジケーターが赤色で点滅したときは、40 ページをご覧ください。 **ご注意** 「マルチディスプレイ設定」の「LED」が「切」で、「ポジション設定」が右下以外の場合は、ディスプレイの電源が入っていてもインジケーターは緑点灯しません（無信号時 / 未対応信号時を除く）。
❸ 🄸リモコンセンサー	リモコンの受光部です。

JP

後面

* イラストは FWD-S47H1 のものを使用しています。

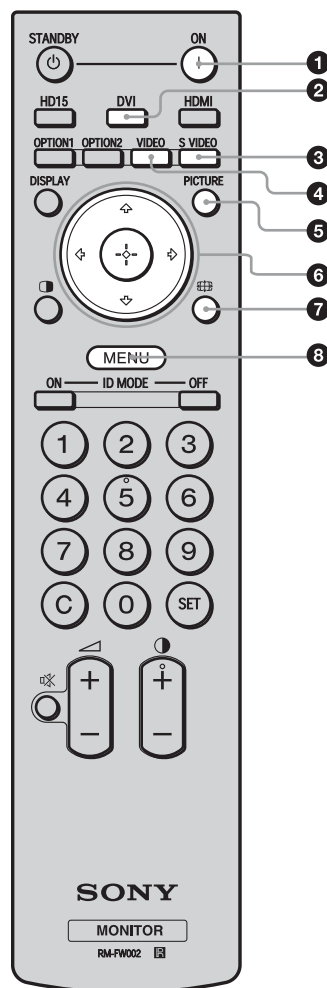
名称	説明
❶ 主電源スイッチ	本機設置時には「入」（❙ 側を押す）にします。 「切」（○ 側を押す）にすると、消費電力を 0W にすることができます。
❷ AC IN（電源入力）ソケット	付属の電源コードをこのソケットとコンセントに接続します。21 ページをご覧ください。 電源コードを接続し、主電源スイッチを「入」にすると、⏻ インジケーターが赤色に点灯し、本機はスタンバイ状態になります。
❸ SPEAKER（スピーカー）端子	スピーカー SS-SPG02（別売）をこの端子に接続します。スピーカーの接続について詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧の上、正しく接続してください。 また、スピーカーコードのまとめかたは、22 ページをご覧ください。
❹ スピーカー取り付け位置	専用スピーカー SS-SPG02 を取り付けます。
❺ スタンド取り付け用穴	VESA 規格に準拠したネジ穴です。（ピッチ：400mm × 400mm,　ネジ：M6）
❻ 専用ディスプレイスタンド取り付け用穴	ディスプレイスタンド SU-S01（別売）を取り付けるときに使用します。
❼ 専用ディスプレイスタンド装着穴カバー	ディスプレイスタンド SU-S01（別売）を取り付けるときに外します。
❽ ⏻(POWER）スイッチ	本機の電源を入 / 切（スタンバイ）します。 主電源スイッチが「入」（❙ 側）の状態で操作してください。
❾ INPUT/ ⊹（ENTER）ボタン	INPUT または OPTION 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。 → Sビデオ→ビデオ →HD15→DVI →OPTION ─┐（先頭に戻る） の順に入力信号を切り換えます。 OPTION スロットに映像系のオプションアダプターがないときは、スキップします。 また、メニューで設定した内容を確定するときに使用します。
❿ +/−/⇧/⇩（音量調節 / カーソル移動）ボタン	スピーカーから出る音量を調節するときに使用します。また、メニューを表示しているときは、カーソルの移動や数値などの設定をするときに使用します。
⓫ MENU/↶（RETURN）ボタン	画面にメニューを出すときに使用します。また、ひとつ前のメニュー画面に戻るときに使用します。
⓬ REMOTE（10BASE-T/100BASE-TX）	本機を 10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブルでネットワークと接続します。PC からネットワーク経由でディスプレイのコントロールおよび各種設定ができます。 **ご注意** ・ LAN ケーブルご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、付属のケーブルを使用してください。 ・ 安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。 接続については本書の指示に従ってください。 ・ 本端子を使用する際は、「ネットワークポート」の「本体」を選択してください（34 ページ）。
⓭ AUDIO（ステレオミニジャック）	外部機器用音声モニター出力端子です。AUDIO 端子に入力した音声信号の、画面に表示されている信号の音声を出力します。２画面（P&P、PinP）のときは、アクティブ * 画面の音声信号を出力します。 **ご注意** ・「音質モード」、「スピーカー出力」の設定は反映されません。 ・ リモコンで設定した消音状態は反映されません。

JP

名称	説明
⓮ VIDEO	**S VIDEO IN**（ミニ DIN 4 ピン）：映像機器の S ビデオ信号出力端子と接続します。 **VIDEO IN**（BNC 型）：映像機器のビデオ信号出力端子と接続します。 **VIDEO OUT**（BNC 型）：映像機器のビデオ信号入力端子と接続します。VIDEO IN の映像を出力します。 **AUDIO IN**（ステレオミニジャック）：映像機器の音声出力端子と接続します。
⓯ HD15 (RGB/COMPONENT) (D-sub 15 ピン)	**HD15 (RGB/COMPONENT) IN：**映像機器や PC のアナログ RGB 信号出力端子、またはコンポーネント信号出力端子と接続します。45 ページをご覧ください。 **AUDIO IN：**音声信号を入力します。映像機器や PC の音声出力端子と接続します。 **HD15 (RGB/COMPONENT) OUT**：映像機器や PC のアナログ RGB 信号入力端子、またはコンポーネント信号入力端子と接続します。45 ページをご覧ください。上記 HD15 (RGB/COMPONENT) IN 端子から入力された信号を出力します。 **ご注意** ・コンポーネント信号を入力する際は 13、14 ピンに同期信号を入力しないでください。画像が正しく表示されない場合があります。 ・本機がスタンバイ状態のときや AC 電源が接続されていないときは、HD15 (RGB/COMPONENT) OUT 端子からは出力されません。
⓰ DVI (DVI-D 24 ピン)	**DVI IN：**映像機器や PC などのデジタル信号出力端子と接続します。HDCP のコンテンツ保護に対応しています。 **AUDIO IN：**音声信号を入力します。映像機器などの音声出力端子と接続します。
⓱ OPTION スロット (VIDEO/COM ポート)	映像信号および通信機能に対応したスロットです。オプションアダプター（BKM-FW シリーズなど）を装着すると、本機の機能を拡張することができます。20 ページをご覧ください。

* 音声が出力され、入力の切り換えが可能な状態

リモコン

ボタンの機能

❶ **POWER（電源）ON スイッチ**
押すと電源が入ります。
本機後面にある主電源スイッチが「入」の状態で操作してください。

❷ **DVI ボタン**
DVI 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。

❸ **S VIDEO ボタン**
S VIDEO IN 端子に接続した映像機器からの入力信号を選びます。

❹ **VIDEO ボタン**
VIDEO IN 端子に接続した映像機器からの入力信号を選びます。

❺ **PICTURE ボタン**
「画質モード」を切り換えます。ボタンを押すごとに、「ダイナミック」、「スタンダード」、「カスタム」、「カンファレンス」、「TC Control」の順に切り換わります。

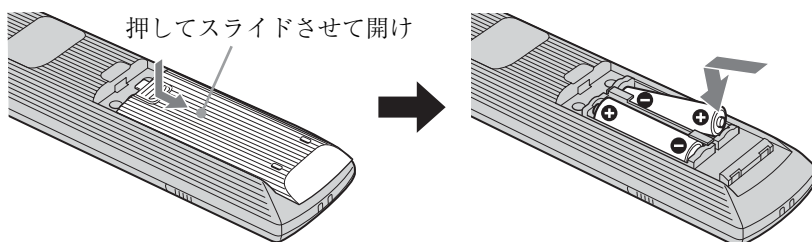
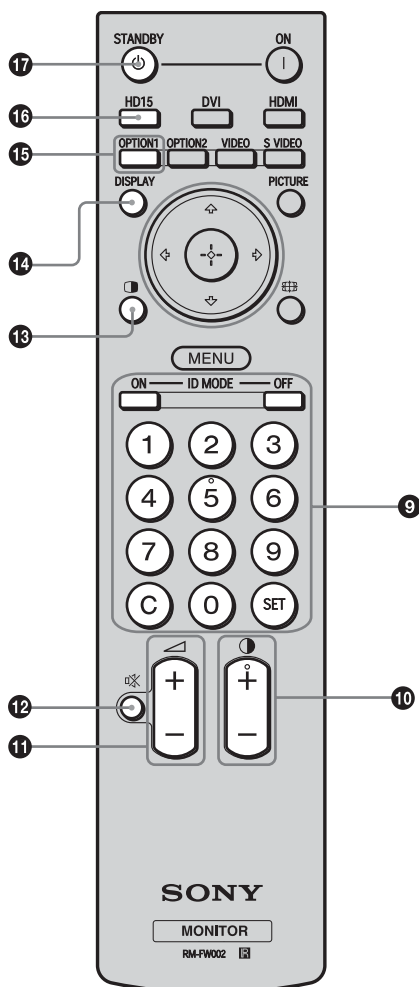
❻ **⇧/⇩/⇦/⇨/⊕ ボタン**
⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンでメニューのカーソルを移動させたり、数値などを設定します。⊕ ボタンを押すと、選んだメニューや設定した内容を確定します。
「2 画面」モードでは、2 画面設定を変更することができます。18 ページをご覧ください。

❼ **ボタン**
画面のアスペクト比を変更します。17 ページをご覧ください。

❽ **MENU ボタン**
画面にメニューを出すときに使用します。もう一度押すとメニューが消えます。23 ページをご覧ください。

JP

ご注意

- 数字ボタンの「5」および ◑ ボタンには、凸部（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。
- 付属の単 3 形乾電池 2 本を、リモコンの電池挿入部内部の図を確認しながら、⊕ 極と ⊖ 極を正しく入れてください。
- 指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

❾ ID MODE（ON/0-9/SET/C/OFF）ボタン

複数のディスプレイを使用しているとき、「インデックス番号」を指定して、特定のディスプレイのみを操作することができます。

- ON ボタン：「インデックス番号」を画面上に表示します。
- 0-9 ボタン：操作したいディスプレイの「インデックス番号」を入力します。
- SET ボタン：入力した「インデックス番号」を設定します。
- C ボタン：入力した「インデックス番号」をクリアします。
- OFF ボタン：通常の画面に戻ります。

19 ページをご覧ください。

❿ ◑ +/– ボタン

画像のコントラストを調整します。

⓫ ◿ +/– ボタン

音量を調整します。

⓬ 🔇 ボタン

音を消します。もう一度押すと、音が出ます。

⓭ ◨ ボタン

「2 画面」モードを切り換えます。ボタンを押すごとに、「P&P」、「PinP」、1 画面の順に切り換わります。18 ページをご覧ください。

⓮ DISPLAY ボタン

現在選択されている入力、入力されている信号の種類および「アスペクト」設定を画面に表示します。もう一度押すと表示は消えます。表示された状態でしばらくたつと自動的に表示は消えます。

⓯ OPTION 1 ボタン

オプションアダプターを装着した際、そこに接続した機器からの入力信号を選びます。

装着したオプションアダプターに入力が複数ある場合は、ボタンを押すたびに入力が切り換わります。

⓰ HD15 ボタン

HD15 (RGB/COMPONENT) 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。メニューの設定により RGB 信号かコンポーネント信号の自動選択またはマニュアル選択ができます。

⓱ STANDBY ボタン

押すとスタンバイ状態になります。

ご注意

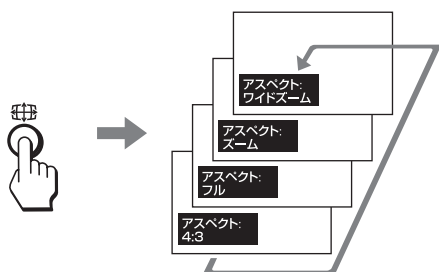
本機では HDMI ボタンおよび OPTION 2 ボタンは使用しません。

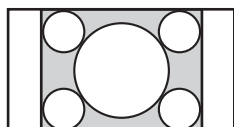
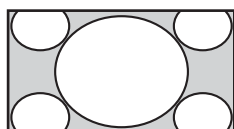
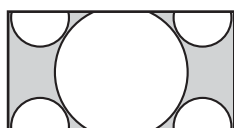
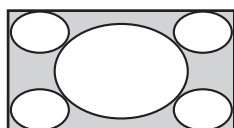
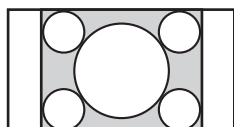
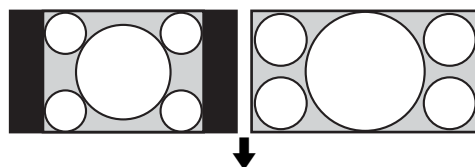
リモコンの特別ボタン

ワイド切換を使う

画面のアスペクト比を変更することができます。

ちょっと一言

「画面」メニューからも「アスペクト」を設定することができます。30、31 ページをご覧ください。

ビデオ、DVD などの映像機器からの入力の場合（PC 入力以外）

4:3 の映像ソース

ワイド
ズーム

ズーム

フル

4:3

16:9 の映像ソース

ワイドズーム

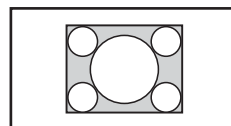
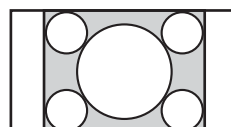
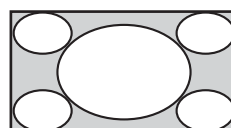
ズーム

フル

4:3

PC 入力の場合

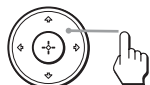
以下のイラストは解像度 800 × 600 の入力を行った場合です。

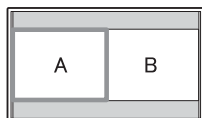
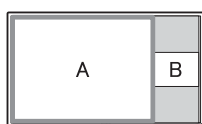
リアル

フル 1

フル 2

ご注意

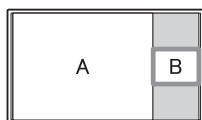
パネル解像度（1,920 × 1,080）より高い解像度の信号を入力した場合、リアルはフル 1 と同じように表示します。

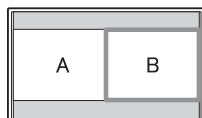
JP

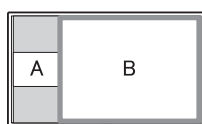
2 画面設定を使う

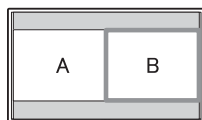
PC とビデオなど、ふたつの異なる信号の映像を、並べて表示します。またアクティブな画面の入れ換えや、画面の大きさのバランスも自由に変えられます。
また「画面」メニューからも「2 画面設定」を設定することができます。
28 ページをご覧ください。

アクティブな画面を示すカーソル

P&P の場合

A と B の横幅は同じになります。
高さは各画像のアスペクト比によって決まります。

⇦ ボタンを押す

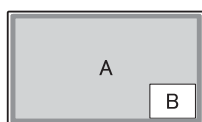
A の横幅は B の横幅より大きくなります。
A のアスペクト比が 4:3 なら、A の高さはパネルのサイズと等しくなります。

⇨ ボタンを押す

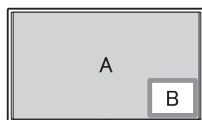
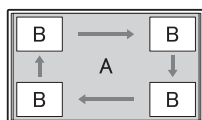
右側の B がアクティブな画像となります。

⇨ ボタンを押す

A と B の横幅は同じになります。
高さは各画像のアスペクト比によって決まります。

⇨ ボタンを押す

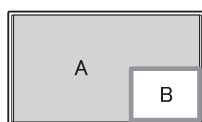
B の横幅は A の横幅より大きくなります。
B のアスペクト比が 4:3 なら、B の高さはパネルのサイズと等しくなります。

⇩ ボタンを押す

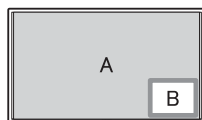
右側の B がアクティブな画像のまま、小さくなります。

PinP の場合

主画面 (A) の中に副画面 (B) が表示されます。

⇦/⇨ ボタンを押す

副画面 (B) がアクティブな画像となります。

⊕ ボタンを押す

副画面 (B) の位置が移動します。

⇧ ボタンを押す

副画面 (B) の画面が大きくなります。

⇩ ボタンを押す

副画面 (B) の画面が小さくなります。

ちょっと一言

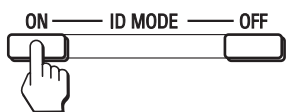
・ アクティブな画面を示すカーソルは、5 秒たつと表示が消えます。
・ 画面の大きさは 15 段階で変えられます。（P&P の場合）

ID MODE ボタンを使う

複数のディスプレイを使用しているとき、「インデックス番号」を指定して、特定のディスプレイのみを操作することができます。

1 ON ボタンを押す。

「インデックス番号」が、画面左下のメニューに黒い文字で表示されます（「インデックス番号」は、1 から 255 の範囲で、あらかじめ各ディスプレイに設定されています）。

インデックス番号

2 リモコンの 0 から 9 のボタンで、操作したいディスプレイの「インデックス番号」を入力する。

すべてのディスプレイの「インデックス番号」の右に、入力した数字が表示されます。

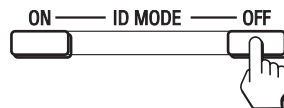
入力された番号

3 SET ボタンを押す。

選択したディスプレイの文字が緑色に変わり、その他のディスプレイの文字は赤色に変わります。

これで特定のディスプレイ（文字が緑色に変わったディスプレイ）のみを操作できます（POWER（電源）ON スイッチ、STANDBY ボタン、および ID MODE-OFF ボタンの操作だけは、ほかのディスプレイにも有効です）。

4 設定変更などの操作が終了したら、OFF ボタンを押す。

ディスプレイは通常の画面に戻ります。

インデックス番号を訂正するには

C ボタンを押して、現在入力されている「インデックス番号」を消去します。手順 2 に戻り、新しい「インデックス番号」を入力します。

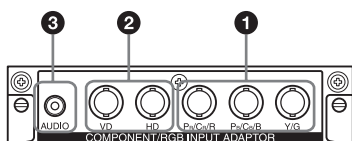
ちょっと一言

ディスプレイの「インデックス番号」を変更するには、32 ページの「コントロール設定」の「インデックス番号」をご覧ください。

JP

オプションアダプター

本機側面にある OPTION スロット ⓱（14 ページ）の端子部はスロットイン方式になっていて、以下のオプションアダプター（別売）に付け換えることができます。
各アダプターの取り付けかたについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
機能拡張用オプションアダプターについては、それぞれの取扱説明書も合わせてご覧ください。

コンポーネント /RGB 入力アダプター BKM-FW11

❶ **Y/G, P_B/C_B/B, P_R/C_R/R 映像入力端子（BNC 型）：**映像機器や PC のコンポーネント信号出力端子またはアナログ RGB 信号出力端子と接続します。

❷ **HD, VD 同期信号入力端子（BNC 型）：**PC の同期信号出力端子と接続します。

ご注意

コンポーネント信号を入力する際は HD, VD に同期信号を入力しないでください。画像が正しく表示されない場合があります。

❸ **AUDIO（音声入力）端子（ステレオミニジャック）：**音声信号を入力します。映像機器や PC の音声出力端子と接続します。

HDMI 入力アダプター BKM-FW15

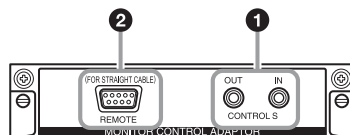
高精細な映像と 2 チャンネルのデジタル音声をお楽しみいただけます。
接続された機器によって、音声／映像機器または PC の適切なモードが自動選択されます。

ご注意

HDMI ケーブル（別売）は、必ず HDMI ロゴの付いたケーブルをご使用ください。

HD-SDI/SDI 入力アダプター BKM-FW16

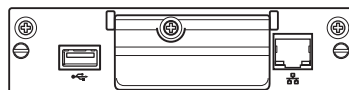
映像機器の HD-SDI 信号出力端子と接続します。

モニターコントロールアダプター BKM-FW21

❶ **CONTROL S IN/OUT（ミニジャック）：**ディスプレイを含む他機器の CONTROL S 端子に接続すると、1 台のリモコンで複数の機器を操作できます。CONTROL S OUT 端子とほかの機器の CONTROL S IN 端子、CONTROL S IN 端子とほかの機器の CONTROL S OUT 端子を接続します。

❷ **REMOTE（D-sub 9 ピン）：**RS-232C プロトコルを使って本機を遠隔操作するときに使います。詳しくはお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

ご注意

・ REMOTE 端子は本機側面にある REMOTE 端子 (LAN) ⓬（13 ページ）と併用することはできません。
・ REMOTE 端子を使用する際は、「ネットワークポート」の「Option」を選択してください（34 ページ）。

ストリーミングレシーバーアダプター BKM-FW50

本アダプターによって、本ディスプレイを電子看板（デジタルサイネージ）として活用できます。
指定のデータ形式の動画、静止画、BGM が含まれた記録メディアを差し込むだけで再生が簡単にできます。また、遠隔地にある PC からネットワークを利用してディスプレイへ映像を表示することもできます。

ご注意

別途コンパクトフラッシュが必要です。

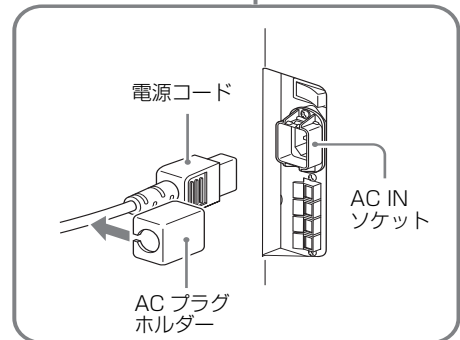
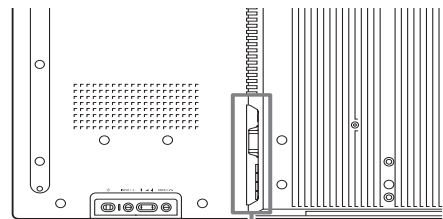
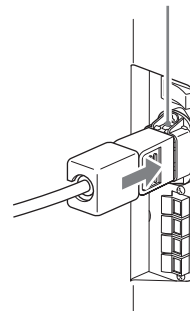
接続上のご注意

- 各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- 接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- 接続ケーブルは端子にしっかり差し込んでください。接続が悪いとノイズの原因となります。
- ケーブルを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。決してケーブルそのものを引っ張らないでください。
- 接続の詳細については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 電源コードのプラグは、AC IN ソケットに、まっすぐ突き当たるまで差し込んでください。
- 付属の AC プラグホルダーは、使用する電源コードのプラグが確実に固定できる方を選んでお使いください。

スピーカーの接続

スピーカー SS-SPG02（別売）を接続します。
スピーカーの接続について詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧の上、正しく接続してください。また、スピーカーコードのまとめかたは、22 ページをご覧ください。

電源コードの接続

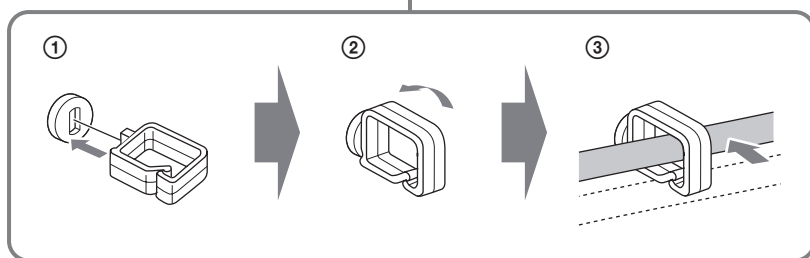
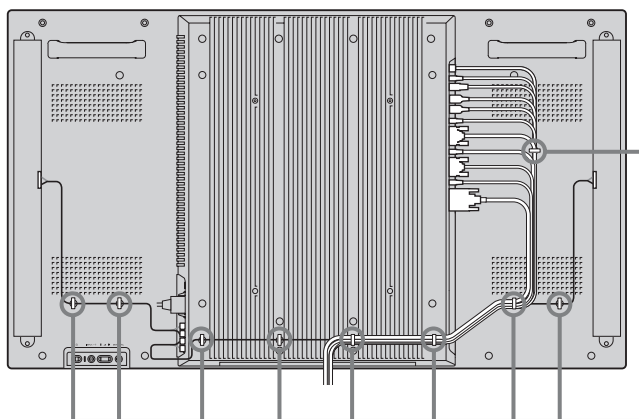
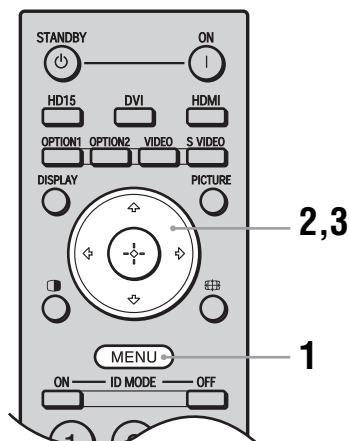
1 電源コードを底部の AC IN ソケットに差し込み、AC プラグホルダー（付属）を電源コードに取り付ける。

2 AC プラグホルダーをスライドさせて、本体側の AC IN ソケットカバーにはめ込む。

電源コードをはずすには

AC プラグホルダーのつめをはさみ、ロックを解除してからプラグをつかみ、電源コードをはずしてください。

JP

ケーブルを処理する

ケーブルホルダーを使う

付属のケーブルホルダー（× 9）を使って、ケーブル類をすっきりとまとめることができます。ケーブルホルダーは、以下のように取り付けます。

メニュー一覧

1 MENU ボタンを押す。

2 ⇧/⇩ ボタンで設定したいメニューのアイコンを選ぶ。

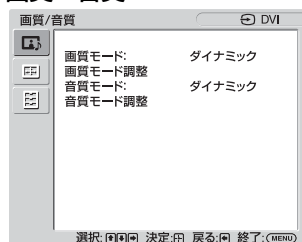
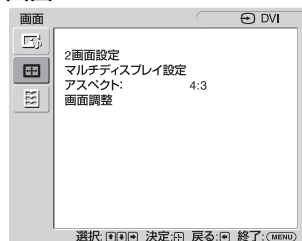
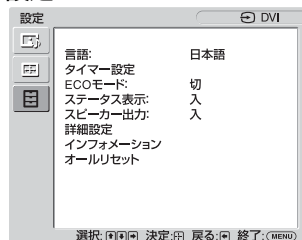
3 ⊕ ボタンまたは ⇨ ボタンを押す。
メニューの操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

メニュー表示の言語を変更する

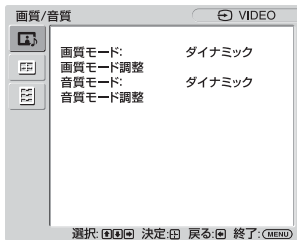
メニュー表示とメッセージの言語を、「English」、「Français」、「Deutsch」、「Español」、「Italiano」、「日本語」から選びます。
初期設定では「English」（英語）に設定されています。
32 ページをご覧ください。

JP

メニュー画面から以下の項目を設定することができます。

メニュー画面	設定 / 変更できる項目
画質 / 音質	画質モード：(24、26 ページ) 画質モード調整（24、26 ページ） 音質モード：(25、27 ページ) 音質モード調整（25、27 ページ） **ご注意** 信号が無入力の時は「画質モード」と「画質モード調整」の設定 / 変更はできません。
画面	2 画面設定（28、31 ページ） マルチディスプレイ設定（29、31 ページ） アスペクト：(30、31 ページ) 画面調整（30、31 ページ）
設定	言語：(32 ページ) タイマー設定 (32 ページ) ECO モード：(32 ページ) ステータス表示：(32 ページ) スピーカー出力：(32 ページ) 詳細設定（32 ページ） インフォメーション（34 ページ） オールリセット（34 ページ）

* メニュー画面の下の行に表示されているアイコンは、設定項目によっては、働かないことがあります。

画質 / 音質メニュー

ビデオ入力の場合

項目を選んで設定を変えるには、⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンを押します。
設定を確定するには ⊕ ボタンを押します。
「画質 / 音質」メニューには、以下の項目が含まれます。

画質モード

「ダイナミック」: 映像の輪郭を強調しコントラストを最大限に上げます。
「スタンダード」: 標準的な設定です。
「カスタム」: お好みに合わせて細かく調整できます。
「カンファレンス」: 蛍光灯下でのビデオ会議に適した画質になります。
「TC Control」: 設定は「ダイナミック」と共通です。加えて「True Color Control」機能（後述）が使用可能となります。

ちょっと一言
リモコンの PICTURE ボタンでも「画質モード」の設定を切り換えることができます。

ご注意

・「カンファレンス」は、ご使用の環境やビデオ会議システムによっては効果が少ない場合があります。その場合は画質調整をしたり、他の「画質モード」の設定に切り換えるなどしてください。
・「TC Control」においては「明るさ強調」は Off で固定です。

画質モード調整

「バックライト」: 液晶画面の明るさを調整します。
「コントラスト」: コントラストの強弱を調整します。
「明るさ」: 映像の明るさを調整します。
「色の濃さ」: 色の濃淡を調整します。
「色あい」: 映像の色調を調整します。
「シャープネス」: 映像の輪郭の強弱を調整します。
「NR」: 接続した機器からのノイズを軽減します。「切」、「低」、「中」、「高」から強弱を設定することができます。
「シネモーション」:「自動」を選ぶと、映画の映像素材を検知し、リバース 3-2 プルダウンまたはリバース 2-2 プルダウン処理によって画面表示を自動的に最適化します。
動画がより鮮明かつ自然に見えます。「切」を選ぶと、この検知を行いません。
「ダイナミックピクチャー」:「入」を選ぶと白をより白く、黒をより黒くしてコントラストを強めます。
「ガンマ補正」: 映像の明暗部分のバランスを調整することができます。
「高」、「中」、「低」から強弱を設定することができます。

ご注意

・「オプション」は DVI 入力の時のみ設定できます。
・ 医用におけるデジタル画像と通信（DICOM）規格のグレースケール標準関数（GSDF) に基づいたガンマ設定です。但し、本設定は参考用であり、医療診断には使えません。

「色温度」: お好みに合わせて、白色の色調を調整できます。工場出荷時は初期値が各色温度に調整されています。
　「高」: 青みがかった白色になります。
　「中」: 中間の白色になります。
　「低」: 赤みがかった白色になります。

「カスタム」：上記より広い範囲で白色の色調を調整し設定することができます。

ちょっと一言

色調調整画面で「標準」を選択すると工場出荷時の設定に戻すことができます。

「明るさ強調」：明るさを強調した画質になります。

ご注意

・「明るさ強調」を「入」にしたときは、「バックライト」、「コントラスト」、「明るさ」、「色温度」の設定は変更できません。
・「明るさ強調」が「入」で、なおかつ「ECOモード」が「切」のときに輝度が最大となります。

「True Color Control」：赤、緑、黄、青の4色それぞれについて色合いと鮮やかさを調整することで、画像の中の特定の色を強調することができます。
調整したい色を選択すると、現在の画像でどの部分が調整されようとしているのかを視認した後、ダイアログボックス上のマトリクスでその色を調整することができます。

ご注意

・ この項目は「画質モード」が「TC Control」の場合に調整することができます。
・ 画面モード時は、この設定を行うことはできません。たとえ1画面時に設定しても、「2画面モード時」には反映されない場合があります。

「標準」：「画質モード調整」のすべての設定項目を初期設定に戻します。

ご注意

・ 入力信号がビデオまたはSビデオで、映像信号のカラー方式がNTSCでない場合、「色あい」は調整できません。
・「画質モード」が「カンファレンス」または「TC Control」の場合「ダイナミックピクチャー」は調整できません。
・ それぞれの「画質モード」で設定や調整を行うことができますが、「バックライト」「NR」「シネモーション」はすべての画質モードで共通となります。
・ 2画面モード時には「ダイナミックピクチャー」および「シネモーション」は機能しません。

音質モード	各種「音質モード」によって、スピーカーSS-SPG02（別売）から出力される音声を調整できます。 **「ダイナミック」：**高音と低音を強調します。 **「スタンダード」：**標準的な設定です。 **「カスタム」：**お好みに合わせて細かく調整できます。
音質モード調整	**「高音」：**高音の強弱を調整します。 **「低音」：**低音の強弱を調整します。 **「バランス」：**スピーカーの左右出力バランスを調整します。 **「サラウンド」：**映像の種類に合わせて、サラウンドモードを選ぶことができます。 　**「切」：**サラウンド出力をしません。 　**「ホール」：**映画や音楽などのステレオ音声をより臨場感のある音にします。 　**「シミュレート」：**通常の放送やニュース番組のモノラル音声を擬似的にステレオ音声にして臨場感を高めます。 **「標準」：**「音質モード調整」のすべての設定項目を初期設定に戻します。

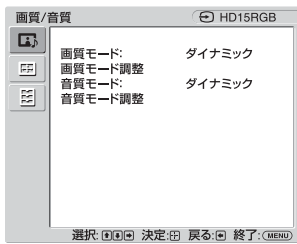
ちょっと一言

・ それぞれの「画質モード」ごとに、「画質モード調整」（「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」など）を設定することができます。
・「音質モード」で「カスタム」を選択しているときは、「音質モード調整」（「高音」、「低音」）を設定することができます。

ご注意

「2画面」モード時は、アクティブな画面の「画質／音質」メニューのみを調整します。

JP

PC 入力の場合

入力を PC 入力に切り換えた場合、PC 用の「画質 / 音質」メニューとなります。
PC 用の「画質 / 音質」メニューには、以下の項目が含まれます。

画質モード

「ダイナミック」: 映像の輪郭を強調しコントラストを最大限に上げます。
「スタンダード」: 標準的な設定です。
「カスタム」: お好みに合わせて細かく調整できます。
「カンファレンス」: 蛍光灯下でのビデオ会議に適した画質になります。
「TC Control」: 設定は「ダイナミック」と共通です。加えて「True Color Control」機能（後述）が使用可能となります。

ちょっと一言

リモコンの PICTURE ボタンでも「画質モード」の設定を切り換えることができます。

ご注意

・「カンファレンス」は、ご使用の環境やビデオ会議システムによっては効果が少ない場合があります。その場合は画質調整をしたり、他の「画質モード」の設定に切り換えるなどしてください。
・「TC Control」においては「明るさ強調」は Off で固定です。

画質モード調整

「バックライト」: 液晶画面の明るさを調整します。
「コントラスト」: コントラストの強弱を調整します。
「明るさ」: 映像の明るさを調整します。
「ガンマ補正」: 映像の明暗部分のバランスを調整することができます。
「高」、「中」、「低」から強弱を設定することができます。

ご注意

・「オプション」は DVI 入力の時のみ設定できます。
・ 医用におけるデジタル画像と通信（DICOM）規格のグレースケール標準関数 (GSDF) に基づいたガンマ設定です。但し、本設定は参考用であり、医療診断には使えません。

「色温度」: お好みに合わせて、白色の色調を調整できます。工場出荷時は初期値が各色温度に調整されています。

「高」: 青みがかった白色になります。
「中」: 中間の白色になります。
「低」: 赤みがかった白色になります。
「カスタム」: 上記より広い範囲で白色の色調を調整し設定することができます。

ちょっと一言

色調調整画面で「標準」を選択すると工場出荷時の設定に戻すことができます。

「明るさ強調」: 明るさを強調した画質になります。

ご注意

・「明るさ強調」を「入」にしたときは、「バックライト」、「コントラスト」、「明るさ」、「色温度」の設定は変更できません。
・「明るさ強調」が「入」で、なおかつ「ECO モード」が「切」のときに輝度が最大となります。

「True Color Control」: 赤、緑、黄、青の 4 色それぞれについて色合いと鮮やかさを調整することで、画像の中の特定の色を強調したりすることができます。

調整したい色を選択すると、現在の画像でどの部分が調整されようとしているのかを視認した後、ダイアログボックス上のマトリクスでその色を調整することができます。

ご注意
- この項目は「画質モード」が「TC Control」の場合に調整することができます。
- 画面モード時は、この設定を行うことはできません。たとえ1画面時に設定しても、「2画面モード」時には反映されない場合があります。

「標準」：「画質モード調整」のすべての設定項目を初期設定に戻します。

ご注意
それぞれの「画質モード」で設定や調整を行うことができますが、「バックライト」はすべての画質モードで共通となります。

音質モード

各種「音質モード」によって、スピーカー SS-SPG02（別売）から出力される音声を調整できます。
「ダイナミック」：高音と低音を強調します。
「スタンダード」：標準的な設定です。
「カスタム」：お好みに合わせて細かく調整できます。

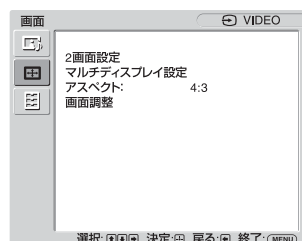
音質モード調整

「高音」：高音の強弱を調整します。
「低音」：低音の強弱を調整します。
「バランス」：スピーカーの左右出力バランスを調整します。
「サラウンド」：映像の種類に合わせて、サラウンドモードを選ぶことができます。
　「切」：サラウンド出力をしません。
　「ホール」：映画や音楽などのステレオ音声をより臨場感のある音にします。
　「シミュレート」：通常の放送やニュース番組のモノラル音声を擬似的にステレオ音声にして臨場感を高めます。
「標準」：「音質モード調整」のすべての設定項目を初期設定に戻します。

ちょっと一言
- それぞれの「画質モード」ごとに、「画質モード調整」（「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」など）を設定することができます。
- 「音質モード」で「カスタム」を選択しているときは、「音質モード調整」（「高音」、「低音」）を設定することができます。

ご注意
- 「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」、「NR」、「シネモーション」、「ダイナミックピクチャー」は、PC入力時は調整できません。
- 「2画面」モード時は、アクティブな画面の「画質／音質」メニューのみを調整します。

画面メニュー

ビデオ入力の場合

項目を選んで設定を変えるには、⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンを押します。
設定を確定するには ⊕ ボタンを押します。
「画面」メニューには、以下の項目が含まれます。

2 画面設定

PC とビデオなど、ふたつの異なる信号の映像を、並べて表示します。
「2 画面」
　「切」：「2 画面」機能を解除します。
　「P&P」：ふたつの映像を同時に並べて表示します。
　「PinP」：ふたつの映像を主画面の中に副画面として表示します。

P&P の場合

「操作画面」：操作する画面を選びます。
　「左操作」：左の画面がアクティブとなり、操作可能になります。
　「右操作」：右の画面がアクティブとなり、操作可能になります。
　「画面入替」：左右の画面を入れ換えます。
「画面サイズ」：左右の画面の大きさのバランスを調整します。⇦/⇨ ボタンを押しながら調整し、⊕ ボタンを押して決定します。（18 ページ）

PinP の場合

「操作画面」：操作する画面を選びます。
　「主操作」：主画面がアクティブとなり、操作可能になります。
　「副操作」：副画面がアクティブとなり、操作可能になります。
　「画面入替」：主画面と副画面を入れ替えます。

「画面サイズ」：副画面の大きさを設定します。「大」、「小」のどちらかを選びます。
「画面位置」：副画面を表示させたい位置を設定します。⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンで選び、⊕ ボタンで設定します。

ちょっと一言
「2 画面」モード時は、アスペクト設定の変更ができません。「2 画面」モード選択直前のアスペクトで表示します。

利用可能な 2 画面の組み合わせ

		S ビデオ	ビデオ	RGB/YUV		DVI	OPTION			
				RGB	コンポーネント		RGB	コンポーネント	HDMI	HD-SDI/SDI
S ビデオ				○	○	○	○	○	○	○
ビデオ				○	○	○	○	○	○	○
RGB/YUV	RGB	○	○			○		○[2]	○	○
	コンポーネント	○	○			○	○[1]		○	○
DVI		○	○	○	○		○	○		

[1]「RGB/YUV」の「本体」が「YUV」、「Option」が「RGB」に設定されている場合に対応します。
[2]「RGB/YUV」の「本体」が「RGB」、「Option」が「YUV」に設定されている場合に対応します。

ちょっと一言
BKM-FW50 は 2 画面時において上記表の RGB 出力として扱われます。

マルチディスプレイ設定

本機を複数台接続して、ビデオウォールを構成するための設定をします。

「マルチディスプレイ」

「切」：1画面表示になります。

「2 × 2」/「3 × 3」/「4 × 4」：本機を縦横それぞれに2、3、4台と複数台接続する場合に設定します。

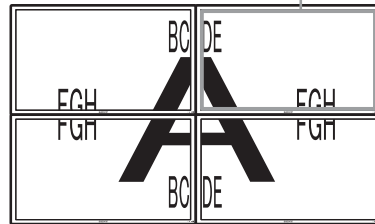
「1 × 2」/「1 × 3」/「1 × 4」：本機を横に2、3、4台と複数台接続する場合に設定します。

「2 × 1」/「3 × 1」/「4 × 1」：本機を縦に2、3、4台と複数台接続する場合に設定します。

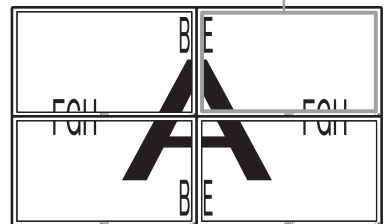
「ポジション設定」：個々のディスプレイの画面位置を、⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンで選びます。⊕ ボタンで位置を確定します。

「出画形式」：図にある2種類の映像出力形式から選びます。いずれかの形式を選択することにより、水平・垂直位置を手動で調整しなくても、最適な映像出力が得られます。「タイル」または「ウィンドウ」を選んでください。

「タイル」

ジャストスキャン

それぞれの画面に、映像信号を完全に表示します。

「ウィンドウ」

オーバースキャン

ひとつの大きな映像を、複数の画面で自然に表示します。
映像信号の一部は、ベゼルの後ろに隠れます。

「LED」：「入」を選ぶと、本機前面の ⏻ インジケーター（11ページ）が点灯しつづけます。「切」を選ぶと、消灯します。

ご注意

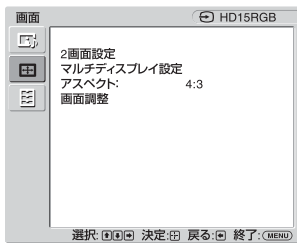
- 「マルチディスプレイ」は、ビデオ入力の場合は現在の「アスペクト」を極力維持した映像を、PC入力の場合は「アスペクト」の「フル2」の映像を表示することができます。
- 「2画面」機能を使用していないときにのみ、「マルチディスプレイ設定」を設定することができます。
- 「ポジション設定」を右下に設定すると、「LED」を「切」にしても、⏻ インジケーターが緑色に点灯します。インジケーターは、無信号時 / 未対応信号時も含め、ディスプレイがオフ（スタンバイ）時、異常検出時、スリープ状態時にも点灯します。

JP

アスペクト	**「ワイドズーム」：**ゆがみを最低限に抑えて映像を拡大し、画面いっぱいに表示します。 **「ズーム」：**アスペクト比を保ったまま、映像を拡大します。17 ページをご覧ください。 **「フル」：**4:3 の映像ソース（標準画質）を水平方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。16:9 の映像ソース（高画質）の場合は、そのままのアスペクト比で表示します。 **「4:3」：**すべての映像ソースを 4:3 のアスペクト比で表示します。 **ちょっと一言** ・ リモコンの ボタンでも「アスペクト」の設定を切り換えることができます。 ・ 映画などの DVD 映像で、黒帯のある映像を画面いっぱいに映して楽しみたいときは、「ズーム」を選んでください。 **ご注意** 「2 画面」機能または「マルチディスプレイ」使用時は、「アスペクト」は設定できません。
画面調整	**「水平サイズ」：**映像の左右の大きさを調整します。⇦/⇨ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。 **「水平位置」：**映像の左右の位置を調整します。⇦/⇨ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。 **「垂直サイズ」：**映像の上下の大きさを調整します。⇧/⇩ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。 **「垂直位置」：**映像の上下の位置を調整します。⇧/⇩ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。 **「標準」：**「画面調整」のすべての設定項目を初期設定に戻します。

ご注意

・「画面調整」は、「2 画面」機能使用時は設定できません。
・ 現在の入力が無信号の場合、「画面」メニューの項目は「2 画面設定」と「マルチディスプレイ設定」を除いて、すべて選択不可能となります。

PC 入力の場合

入力を PC 入力に切り換えた場合、PC 用の「画面」メニューとなります。
PC 用の「画面」メニューには、以下の項目が含まれます。

2 画面設定

ビデオ入力時の「2 画面設定」（28 ページ）をご覧ください。

マルチディスプレイ設定

ビデオ入力時の「マルチディスプレイ設定」（29 ページ）をご覧ください。

アスペクト

「フル 1」：アスペクト比を保ったまま、映像を画面垂直方向いっぱいに拡大します。映像の周囲に黒い帯が出ることがあります。
「フル 2」：映像を画面いっぱいに拡大します。
「リアル」：映像を元のままのドット数で表示します。

ご注意

- 「2 画面」機能または「マルチディスプレイ設定」使用時は、「アスペクト」は設定できません。
- パネル解像度（1,920 × 1,080）より高い解像度の信号を入力した場合、「リアル」は「フル 1」と同じように表示します。

画面調整

「自動調整」：「実行」を選ぶと接続した PC からの入力信号を受けたとき、自動的に映像の位置や位相を調整します。入力信号の種類によっては、「自動調整」がうまく働かないことがあります。その場合は、下記の項目を手動で調整してください。
「画位相」：画面がちらちらしているとき、位相を調整します。
「ドットピッチ」：映像におかしな縞模様が出るとき、ピッチを調整します。

ちょっと一言

「自動調整」、「画位相」、「ドットピッチ」は DVI などのデジタル信号を入力した場合は選択できません。

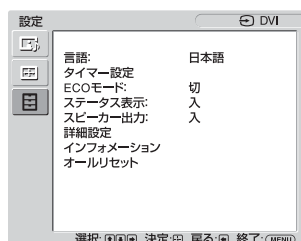
「水平サイズ」：映像の左右の大きさを調整します。⇦/⇨ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。

「水平位置」：映像の左右の位置を調整します。⇦/⇨ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。
「垂直サイズ」：映像の上下の大きさを調整します。⇧/⇩ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。
「垂直位置」：映像の上下の位置を調整します。⇧/⇩ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。
「標準」：「画面調整」のすべての設定項目を初期設定に戻します。

ご注意

現在の入力が無信号の場合、「画面」メニューの項目は「2 画面設定」と「マルチディスプレイ設定」を除いて、すべて選択不可能となります。

JP

設定メニュー

項目を選んで設定を変えるには、⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンを押します。
設定を確定するには ⊕ ボタンを押します。
「設定」メニューには、以下の項目が含まれます。

言語

メニュー表示の言語を、「English」、「Français」、「Deutsch」、「Español」、「Italiano」、「日本語」の中から選びます。

タイマー設定

時刻合わせ、内蔵時計の表示、およびあらかじめ決めた時間に自動で電源を入 / 切するタイマー機能の設定をすることができます。

「時刻設定」：年月日と時刻を設定します。

「日付設定」：年月日を設定します。曜日は自動的に設定されます。

「時間設定」：時刻を設定します。

「時計表示」：「入」を選ぶと、リモコンのディスプレイボタンを押したときに設定された現在時刻を表示します。

「電源タイマー」：自動的に電源を入 / 切する時間を設定します。

ご注意

時刻が大幅にずれたりするときは、内蔵電池の消耗が考えられます。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に電池の交換をご依頼ください（有料）。

ECO モード

「切」：省電力機能を使用しません。

「低」/「高」：明るさを変化させて、消費電力を減らします。

ステータス表示

「入」を選ぶと、電源を入れたときに入力信号と「アスペクト」の情報が、画面に約 5 秒間表示されます。また、入力信号を切り換えると、入力信号の情報が約 5 秒間表示されます。「切」を選ぶと、情報は表示されません。

ちょっと一言

リモコンの DISPLAY ボタンで、「ステータス表示」の設定にかかわらず入力信号と「アスペクト」の情報を表示させることができます。

スピーカー出力

「入」：スピーカーから音声を出力します。

「切」：スピーカーから音声を出力しません。

詳細設定

「コントロール設定」：本機およびリモコンの操作に関する設定を行います。

「インデックス番号」：必要に応じて、本機のインデックス番号を変更します。⇧/⇩ ボタンでインデックス番号を設定し、+（ENTER）ボタンで決定します。

ご注意

「インデックス番号」を設定するときは、本機のボタンをご使用ください。リモコンでは設定できません。

「コントロールモード」

「本体＋リモコン」：本機のボタンおよびリモコンで、本機を操作できます。

「本体のみ」：リモコンでの操作を無効にします。本機のボタンでのみ、本機の設定をすることができます。

「リモコンのみ」：リモコンだけで操作したいときに、本機の操作を無効にします。リモコンでのみ、本機の設定をすることができます。

ご注意

この項目を設定するとき、リモコンからか本体からかによって選べるモードが異なります。リモコンの ⊕ ボタンで設定するときは、「本体＋リモコン」か「リモコンのみ」を選べます。本機の ＋（ENTER）ボタンで設定するときは、「本体＋リモコン」か「本体のみ」を選べます。

「自動画面調整」

「入」：各入力信号ごとに調整値（サイズ、位置など）を保存でき、最後の調整値が自動的に適用されます。

「切」：入力信号を切り換えても自動調整されず、初期設定が適用されます。

「オートシャットオフ」

「入」：ビデオ入力、S ビデオ入力に無信号の状態が約 5 分続くと、本機は自動的にスタンバイ状態になります。また DVI 入力、HD15（RGB/コンポーネント）入力に無信号の状態が約 30 秒続くと、自動的にパワーセービング状態になります。

「切」：各入力に無信号の状態が続いても、本機の電源は切れません。

ちょっと一言

- スタンバイ状態のときは ⏻（POWER）スイッチまたはリモコンの POWER ON スイッチを押すと、電源が入ります。またパワーセービング状態のときは、信号が入力されると自動的に電源が入ります。
- 「オンスクリーンロゴ」を「入」に設定しているときやスクリーンセーバー機能を動作させているとき、2 画面設定がされているときは、本機能は無効となります。

「オーバースキャン」：オーバースキャンとアンダースキャンのどちらで画像を表示するかを設定します。

「自動」：DTV と判断できる信号を自動でオーバースキャンして表示します。

「入」：オーバースキャンして画像を表示します。

「切」：アンダースキャンして画像を表示します。

ご注意

DTV 信号でオーバースキャンを「切」に設定すると、入力信号の画面表示が PC 信号の画面表示のようになるものがあります。
例　480P　→　720 × 480/60

「同期モード」：HD15（RGB/COMPONENT）IN 端子の 13 番ピンに入力される信号によって、モードを設定します。

「同期信号」：水平同期信号またはコンポジット同期信号が入力される場合に選択します。

「映像信号」：映像信号が入力される場合に選択します。

ご注意

- 「同期モード」は、HD15 にアナログ RGB 信号が入力時のみ有効です。
- コンポジット同期の信号レベルによっては正しく画像が表示されない場合があります。その際は、「同期モード」の設定を変更してください。
- 「同期信号」しか選べない入力があります。この場合は水平・垂直同期信号を 13、14 ピンに入力してください。
- オプションボード入力では、「同期モード」の設定はできません。
- 本機は 576/60p の 3 値シンクには対応していません。
- 「同期モード」で「映像信号」を選択した場合、設定できる信号は、575/50i、480/60i のみです。
- 「同期モード」で「映像信号」を選択した場合、2 画面への切り換えはできません。

「RGB/YUV」

「本体」/「Option」：本体の HD15 (RGB/COMPONENT) およびオプションボードの 5BNC (RGB/COMPONENT) 端子に接続された映像機器や PC の信号の種類を設定します。

「自動」：アナログ RGB またはコンポーネント信号を自動的に選別します。

「RGB 」：アナログ RGB 信号入力の場合に選択します。

JP

「YUV」：コンポーネント信号入力の場合に選択します。

ご注意

コンポジット同期で RGB 信号を入力するときは「RGB」を選択してください。

ちょっと一言

利用可能な 2 画面の組み合わせについては、28 ページをご覧ください。

「カラー方式」：「自動」、「NTSC」、「NTSC4.43」、「PAL」、「PAL-M」、「PAL-N」、「PAL60」から映像信号のカラー方式を設定します。「自動」を選ぶと、カラー方式が自動的に設定されます。

ご注意

「カラー方式」は、PC 入力時は設定できません。

「スクリーンセーバー」：画面の焼きつきや残像の発生を補正したり、軽減させるために設定します。

「オールホワイト」：全白画面を表示します。（約 30 分で自動的に終了し、スタンバイ状態に移行します。）

「スウィープ」：白いバーが画面上をスクロールします。

「スタンバイ」：「タイマー設定」で指定した時間、スタンバイ状態（11 ページ）でスクリーンセーバーを行います。（スクリーンセーバー中、画面は表示されません。）終了後、通常のスタンバイ状態に移行します。

「ロゴ」：本機前面のソニーロゴが点灯します。

「位置」：「自動」、「横位置」、「縦位置」から本機の設置方法を設定することにより、常に画面下側のロゴを点灯させることができます。「自動」を選ぶと横位置または縦位置を自動的に選別します。

「イルミネーション」：ロゴを点灯させないときは「切」を選びます。「低」、「高」から明るさを選びます。

「オンスクリーンロゴ」

「入」：信号が入力されていないときにモデル名ロゴが表示されます。

「切」：信号が入力されていないときにモデル名ロゴが表示されません。

「ネットワークポート」：本機を遠隔操作する場合のポートを設定します。

「切」：ネットワークポートを使用しない場合に設定します。スタンバイ時の消費電力を抑えることができます。

「本体」：本機の REMOTE（LAN）端子に接続した PC で、ディスプレイの各種設定を行います。(37 ページ)

「Option」：OPTION スロットの REMOTE 端子や LAN 端子に接続した PC でディスプレイの各種設定を行います。(37 ページ)

「IP Address Setup」：本機やオプションアダプターの REMOTE（LAN）端子と、LAN ケーブルで接続された PC などの機器とが通信できるように IP アドレスを設定します。

「Speed Setup」：本機やオプションアダプターの REMOTE（LAN）端子と、LAN ケーブルで接続された PC などの機器との間の通信速度を設定します。

「パワーオンディレイ」：パワーオンに移行するまでの時間を調整します。Off、1 ～ 120 秒で設定できます。複数台をつないだ場合の電源設備への急激な負荷変動を抑制します。

ちょっと一言

「IP Address Setup」と「Speed Setup」の詳しい設定方法は“ネットワーク機能を使う準備をする”（35 ページ）をご覧ください。

インフォメーション

「日付」、「機種名」、「シリアル番号」、「累積通電時間」、「ソフトウェアバージョン」、および「IP Address」を表示します。オプションアダプター BKM-FW50 を装着している場合は「Player IP Address」（静止画、動画再生機能用の IP Address）も表示されます。詳しくは BKM-FW50 の取扱説明書をご覧ください。

オールリセット

すべての調整値、設定値を工場出荷時の状態に戻します。

ご注意

「インフォメーション」に含まれる内容と、「インデックス番号」はリセットされません。

ネットワーク機能を使う準備をする

使用上のご注意

・本機のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
・アプリケーションソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部異なる場合があります。
・安全のために該当ポートには過電圧が加わる恐れのないネットワークに接続してください。
・このマニュアルに記載されている操作方法は、下記の環境下でのみ動作を保証しています。

オペレーティングシステム：
Microsoft Windows XP/Windows Vista

ブラウザー：
Microsoft Internet Explorer 6.0 以上

・ネットワーク上の安全のために、ユーザー名とパスワードを設定して使用することを推奨します。設定方法について詳しくは"Setup 画面"（38 ページ）をご覧ください。
セキュリティーの設定については、ネットワーク管理者にお尋ねください。

IP アドレスを設定する

本機は、10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブルでネットワークに接続することができます。
本機を LAN に接続して使用するときは、次のどちらかの方法で本機の IP アドレスを設定します。IP アドレスの割り当てについては、サーバーの管理者にお問い合わせください。

・固定の IP アドレスを本機に設定する
通常はこの方法で使用することを推奨します。工場出荷時には自動取得になっておりますのでご注意ください。
・IP アドレスを自動取得する
本機を接続するネットワーク上に DHCP サーバーがある場合に、本機の IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得して使用することもできます。この場合、本機を取り付けたディスプレイの電源を入れるたび IP アドレスが変わる場合があるのでご注意ください。

IP アドレスを設定する前に、本機に LAN ケーブルでネットワークに接続し、電源を入れて 30 秒ほど待ってから設定を開始してください。

固定の IP アドレスを本機に設定する

1 MENU ボタンを押してメインメニューを表示させる。

2 「設定」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

3 「詳細設定」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

4 「IP Address Setup」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

5 「Manual」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

6 「IP Address」、「Subnet Mask」、「Default Gateway」、「Primary DNS」、「Secondary DNS」の中から設定する項目を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

7 本機の ⇧/⇩ ボタンまたはリモコンの数字ボタンで、最初の枠に 3 桁の値（0 ～ 255）を入力し、⊕ ボタンまたは ⇨ ボタンを押す。

8 4 つの枠にそれぞれ 3 桁の値(0 ～ 255)を入力し、⊕ ボタンを押す。手順 6 に戻り ⇧/⇩ ボタンで次に設定したい項目を選び、⊕ ボタンを押す。

9 設定したいすべての項目に値を入力したら、⇧/⇩ ボタンで「Execute」を選び、⊕ ボタンを押す。

「Execute」を選んで、⊕ ボタンを押すと、IP アドレスが手動で設定されます。
「Cancel」を選ぶと、変更前の設定に戻ります。

IP アドレスを自動取得する

1 MENU ボタンを押してメインメニューを表示させる。

2 「設定」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

3 「詳細設定」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

4 「IP Address Setup」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

5 「DHCP」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

「Execute」を選ぶと、自動的に IP アドレスを設定します。
「Cancel」を選ぶと、実行されません。

ご注意

IP アドレスが正しく設定されていないと、原因に応じて、次のようなエラーコードが表示されます。
Error 1：通信エラー
Error 2：IP アドレスがほかで使われている
Error 3：IP アドレスの設定不備
Error 4：Gateway address の設定不備
Error 5：Primary DNS の設定不備
Error 6：Secondary DNS の設定不備
Error 7：Subnet mask の設定不備

自動取得した IP アドレスを確認する

1 MENU ボタンを押してメインメニューを表示させる。

2 「設定」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

3 「インフォメーション」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

4 「IP Address」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

現在取得されている IP アドレスが表示されます。

ちょっと一言

IP アドレスが正常に取得できなかったときは、前回正常に取得できた IP アドレスが「インフォメーション」や「IP Address Setup」の「Manual」に表示されます。

通信速度を設定する

1 MENU ボタンを押してメインメニューを表示させる。

2 「設定」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

3 「詳細設定」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

4 「Speed Setup」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

5 「Auto」、「10Mbps Half」、「10Mbps Full」、「100Mbps Half」、「100Mbps Full」の中から設定する通信速度を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

「Auto」を選ぶとネットワーク構成に適切な通信速度が自動的に設定されます。

6 「Execute」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押すと、設定が反映されます。

PCで操作する

ディスプレイをコントロールする

PCの画面上でディスプレイの各種設定ができます。
本機、PC、ルーターまたはハブがネットワークケーブルで接続されていることを確認し、ディスプレイとPC、ルーターまたはハブの電源を入れてください。
ディスプレイコントロール画面は、機能別にInformation画面、Configure画面、Control画面、Setup画面の4画面を表示できます。

◆ボタンの働きについて詳しくは、ディスプレイ各機能の説明をご覧ください。

1 PCのブラウザー（Internet Explorer 6.0以上）を起動する。

2 アドレスに前ページで設定したIPアドレスを「http://xxx.xxx.xxx.xxx」と入力し、キーボードのEnterキーを押す。

ユーザー名とパスワードが設定されていると、Network Password（ネットワークパスワード）入力画面が表示されます。設定したユーザー名とパスワードを入力してから、次の手順に進んでください。

3 画面上部の機能タブをクリックして表示したい画面を選ぶ。

各画面の設定項目

本機のLAN機能を使用した場合

Information画面

Model Name（モデル名）やSerial No.（シリアル番号）などのディスプレイの情報や、POWER（電源）やINPUT（入力信号）などのディスプレイの現在の状態などを表示します。
この画面は確認のみで、設定の変更はできません。

Configure画面

Timer（タイマー）

タイマーを設定します。
設定後「Apply」をクリックします。

Screen Saver（スクリーンセーバー）

スクリーンセーバーを設定します。
設定後「Apply」をクリックします。

Picture and Picture（2画面）

2画面の設定をします。
設定後「Apply」をクリックします。

ご注意

「Timer」の設定を行うときは、あらかじめSetup画面（38ページ）で時刻の設定をしておいてください。

Control画面

POWER（電源）

ディスプレイの電源の入/切を切り換えます。

INPUT（入力切換）

入力信号を切り換えます。

PICTURE MODE（ピクチャーモード）

ピクチャーモードを切り換えます。

ASPECT（アスペクト）

画面の縦横比を切り換えます。

Contrast（コントラスト）+/– ボタン

コントラストを調整します。

Brightness（ブライトネス）+/– ボタン

画像の明るさを調整します。

Chroma（色の濃さ）+/– ボタン

色の濃さを調整します。

Phase（色あい）+/– ボタン

色あいを調整します。

Reset（リセット）ボタン

「Contrast（コントラスト）」から「Phase（色あい）」の設定値を出荷状態に戻します。

ご注意

- 入力信号がビデオまたはSビデオで、映像信号のカラー方式がNTSCでない場合、「Phase」は調整できません。
- 「Chroma」、「Phase」は、PC入力時は調整できません。
- 「ASPECT」における「Normal」はビデオ入力時の「4：3」、PC入力時の「リアル」にあたります。

Setup画面

Network Password（ネットワークパスワード）を設定するための画面が表示されます。お買い上げ時は、次のように設定されています。

Name： root
Password：pudadm

各画面で入力した情報、変更した設定などは、各画面下方の「Apply」をクリックすると反映されます。
特殊文字、日本語は使用できません。

Owner Information

Owner（所有者）

所有者の情報を入力します。

Display Location（ディスプレイ設置場所）

ディスプレイのLocation（設置場所）を入力します。

ご注意

入力する文字列にスペースは使用しないでください。ファイル名が正しく表示されないことがあります。

Memo（メモ）

メモを入力しておくことができます。

Time

Time（時刻）

時刻、曜日と年、月、日を入力設定します。

Network

Internet Protocol (TCP/IP)（インターネットプロトコル）

「Specify an IP address （IPアドレスを手動で設定する）」を選び、各数値を設定します。
「Obtain an IP address (DHCP) （IPアドレスを自動的に設定する）」を選び、DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得することもできます。この場合、本機の電源を入れるたびにIPアドレスが変わることがあるのでご注意ください。

ご注意

ディスプレイのメニューからも設定できます。詳しくは「IP Address Setup」（34ページ）をご覧ください。

Password（パスワード）

管理者、ユーザーそれぞれに名前とパスワードを設定できます。管理者の名前は「root」に固定されています。
最大入力文字数は、それぞれ8文字です。
ユーザー名とパスワードを設定すると、本機のディスプレイコントロール画面を呼び出したときに、Network Password（ネットワークパスワード）入力画面が表示されるようになります。ネットワーク上の安全のために、ユーザー名とパスワードを設定して使用することを推奨します。

Mail Report（メールレポートの設定）

Error Report（エラーレポート）

ディスプレイの機能にエラーが発生した場合、すぐにメールで通知します（エラー通知）。

Status Report（ステータスレポート）

設定したインターバルで設定時刻のDisplayのstatusをメールでレポートできます。

Address（送信先）

各テキストボックスに送信先のメールアドレスを入力します。同時に4か所に送信できます。
各アドレスの最大入力文字数は64文字です。

Mail Account（メールアカウント）

Mail Address（メールアドレス）：

割り当てられたメールアドレスを入力します。
最大入力文字数は64文字です。

Outgoing Mail Server (SMTP) （送信メールサーバー）：

メールサーバーのアドレスを設定します。
最大入力文字数は64文字です。

Requires the use of POP Authentication before Send e-mail (POP before SMTP)（メール送信にPOP認証が必要）：

SMTPサーバーに接続する際にPOP認証を行う必要がある場合、チェックボックスをチェックしてください。

Incoming Mail Server (POP3)（受信メールサーバー）：

「POP before SMTP」でのPOP認証に使用するPOP3サーバーのアドレスを入力します。

Account Name（アカウント名）：

メールアカウントを入力します。

Password（パスワード）：

メールパスワードを入力します。

Send Test Mail（テストメール送信）：

指定したアドレスにメールが送信されるかどうか、テストメールを送信することができます。チェックボックスをチェックして「Apply」をクリックすると送信されます。

ご注意

以下の項目が設定されていないか、設定が正しくない場合には、エラーメッセージが表示され、テストメールは送信できません。

- 送信先のアドレス
- メールアカウントのメールアドレスと送信メールサーバー（SMTP）

Advanced （高度な設定）

ネットワーク上で各種アプリケーションを利用可能にする高度な設定を行います。ご利用のアプリケーションの設定要求とあわせてご確認ください。

Advertisement

ネットワーク上での Advertisement、Broadcast の設定を行います。

ID Talk

ID Talk の設定を行います。ID Talk とは、ネットワーク経由で本機を操作するためのプロトコルです。ID Talk によって、色温度やガンマなどさまざまな調整や設定ができるようになります。

使用可能な ID Talk コマンドについて詳しくはサービスセンターにお問い合わせください。

SNMP

本機は SNMP に対応したネットワーク機器です。標準 MIB-II の他に、ソニーの Enterprise MIB に対応しています。この画面では、SNMP（Simple Network Management Protocol）に関する設定を行います。

使用可能な SNMP コマンドについて詳しくはサービスセンターにお問い合わせください。

初期化するには

「Setup」画面で入力した設定値を初期化するには、「オールリセット」で初期設定に戻し、再度ネットワークの設定を行ってください。

JP

故障かな？と思ったら

⏻ インジケーターが赤く点滅していないか確認する。

点滅している場合

自己診断機能が働いています。

1 ⏻ インジケーターの点滅回数および消灯時間をはかる。
たとえば、2 回点滅→ 3 秒消灯→ 2 回点滅となります。

2 本機の ⏻（POWER）スイッチおよび主電源スイッチを押して電源を切り、電源コードを抜く。
お買い上げ店またはソニーサービス窓口にインジケーターの点滅状態（点滅回数および消灯時間）をお知らせください。

点滅していない場合

1 以下の表の項目を点検する。

2 それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する。

こんなときは	原因と対処のしかた
本機の電源スイッチおよびコントロールボタンが働かない。	・「コントロール設定」を確認してください（32 ページ）。
⏻(POWER) スイッチまたはリモコンの POWER（電源）ON スイッチを「入」にしても、電源が入らない。	・主電源スイッチが「切」になっていないか確認してください（13 ページ）
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT 端子から映像信号が出力されない。	・本機がスタンバイ状態のときや AC 電源が Off しているときは HD15 (RGB/COMPONENT) OUT 端子から出力されません。
BKM-FW16 の HD-SDI OUT 端子から信号が出力されない。	・本機がスタンバイ状態や AC 電源が Off しているときは HD-SDI OUT 端子から出力されません。
画像が出ない。	
画像が出ない。	・映像機器と本機の接続を確認してください。 ・「RGB/YUV」の設定を確認してください（33 ページ）。 ・本機の INPUT ボタンまたはリモコンで入力を切り換えてみてください（13、15 ページ）。
本機の電源が自動的に切れる。	・「タイマー設定」が有効になっていないか確認してください（32 ページ）。 ・「オートシャットオフ」が「入」になっていないか確認してください（33 ページ）。 ・周囲温度が 35 度以上になっていないか確認してください。
画像が見にくい。	
色がつかない / 画像が暗い / 画像が明るすぎる / 色がおかしい / 画像が徐々に暗くなる / 画像に横方向のノイズが走る	・PICTURE ボタンを押してご希望の「画質モード」に切り換えてください（15 ページ）。 ・「画質 / 音質」メニューで「画質モード」の項目を調整してください（24、26 ページ）。 ・接続ケーブルの状態を点検してください。 ・周囲温度が 35 度以上になっていないか確認してください。 ・「ECO モード」の設定を確認してください（32 ページ）。 ・VIDEO OUT 端子に映像機器をつながない場合はビデオケーブル、変換用コネクター等をつながないでください。終端されずに映像が白浮きします。
画面全体が緑や紫になっている	・「RGB/YUV」の設定を間違えていないか確認してください（33 ページ）。

こんなときは	原因と対処のしかた
音が出ない / 音にノイズが混じる。	
画像は表示されているが、音声が出ない。	・音量を確認してください。 ・リモコンの🔇または◿ ＋を押して「消音」を画面から消してください（16 ページ）。 ・「スピーカー出力」の設定を確認してください（32 ページ）。
リモコンが動かない。	・電池の＋ / －が正しく挿入されているか確認してください。もしくは電池を交換してください。 ・リモコンを本機のリモコンセンサーに向けてください。 ・リモコンセンサーのまわりに障害物を置かないようにしてください。 ・「コントロール設定」を確認してください（32 ページ）。 ・CONTROL S IN 端子（BKM-FW21 別売）にケーブルが接続されていないか確認してください。本機が CONTROL S 接続によって制御されているとき、リモコンはご使用になれません。 ・蛍光灯によってリモコンの操作に障害が出る場合があります。蛍光灯を消してみてください。
ネットワークに接続できない。	・REMOTE 端子にケーブルを奥までしっかり差し込んでください。 ・PC のネットワーク設定を確認してください。 ・「設定」メニューの「オールリセット」で初期設定に戻し、再度ネットワークの設定を行ってください。 ・「ネットワークポート」の設定を確認してください（34 ページ）。
ディスプレイコントロール画面（本機の GUI が表示される Web 画面）が表示されない。	・ブラウザーで Web ページの更新を行ってください。 ・IP アドレスが正しいか確認してください。 ・ブラウザーは Internet Explorer 6.0 以上を使用してください。 ・ブラウザーのキャッシュをクリアしてください。

JP

入力信号一覧表

PC 信号

	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	VGA[a)]-1 (VGA 350)	31.5	70
2	640 × 480@60 Hz	31.5	60
3	Mac[b)] 13"	35.0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31.5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA[c)] STD)	37.9	60
6	Mac 16"	49.7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48.4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60.0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68.7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67.5	75
11	Mac 21"	68.7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60.0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64.0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD) *	75.0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT[d)])	29.8	60
16	848 × 480@75 Hz (CVT)	37.7	75
17	848 × 480@85 Hz (CVT)	43.0	85
18	1280 × 720@60 Hz (CVT)	44.8	60
19	1280 × 768@60 Hz (CVT)	47.8	60
20	1280 × 768@75 Hz (CVT)	60.3	75
21	1280 × 960@60 Hz (CVT)	59.7	60
22	1360 × 768@60 Hz (CVT)	47.7	60
23	800 × 600@60 Hz (CVT)	37.4	60
24	1024 × 768@60 Hz (CVT)	47.8	60
25	1280 × 1024@60 Hz (CVT)	63.7	60
26	1400 × 1050@60 Hz (CVT) *	65.3	60
27	1600 × 1200@60 Hz (CVT) *	74.5	60
28	1920 ×1080@60Hz	66.6	60
29	1920 ×1200@60Hz	74.0	60

TV/ ビデオ信号

	解像度	利用可能な入力				
		ビデオ	コンポーネント / RGB	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p				○	
10	1080/60p				○	
11	1080/ 24psf		○			

a) VGA は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
b) Mac（Macintosh）は Apple Inc. の登録商標です。
c) VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
d) VESA Coordinated Video Timing

ご注意

- HDTV 信号を入力する場合、同期信号は 3 値同期信号を HD15（RGB/COMPONENT）IN 端子（D-sub 15 ピンコネクター）の 2 番ピンに入力してください。
- 本機で DVD 信号を入力した場合、画像の色を薄く感じたら、「画質 / 音質」メニューの「色の濃さ」でお好みの色の濃さに調整してください。
- 位相を再調整すると解像度が低下します。
- Mac の信号は、デジタル RGB 信号入力では、保証されません。
- ＊の信号は、デジタル RGB 信号入力端子に入力できません。
- コンポジットシンク信号は左記の信号一覧の 2、4、5、7、12、13、14 に対応します。
- カラーバーストのないビデオ信号は保証されません。

入力信号 / ディスプレイ設定情報の画面表示

画面表示	意味
640 × 480 / 60（例）	PC 信号が入力されています。
480 / 60I （例）	コンポーネント信号が入力されています。
NTSC（例）	ビデオ信号が入力されています。
標準信号ではありません。	標準信号でない信号が入力されています。
信号がありません。	入力信号がありません。
HD15	HD15 入力が選択されています。「RGB/YUV」は「自動」に設定されています。
HD15 RGB	HD15 入力が選択されています。「RGB/YUV」は「RGB」に設定されています。
HD15 Component	HD15 入力が選択されています。「RGB/YUV」は「YUV」に設定されています。
DVI	DVI 入力が選択されています。
Video	コンポジットビデオが選択されています。
S Video	S ビデオが選択されています。
Option	Option 入力が選択されています。「RGB/YUV」は「自動」に設定されています。
Option RGB	Option 入力のアナログ RGB が選択されています。
Option Component	Option 入力のコンポーネントビデオが選択されています。
Option HDMI 1/ Option HDMI 2	Option 入力の HDMI 1 または HDMI 2 が選択されています。
Option HD SDI	Option 入力の HD SDI が選択されています。

仕様

映像処理系

パネル方式　a-Si：TFT Active Matrix LCD Panel
解像度　1,920 ドット（水平）× 1,080 ライン（垂直）
サンプリング周波数
　13.5 MHz 〜 162 MHz
カラー方式　NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/NTSC4.43/PAL60
入力信号　42 ページをご覧ください。

FWD-S42H1

ピクセルピッチ　0.4845（水平）× 0.4845（垂直）mm
有効表示寸法　930（水平）× 523（垂直）mm
画面サイズ　42（V）型（対角 1,067mm）

FWD-S47H1

ピクセルピッチ　0.5415（水平）× 0.5415（垂直）mm
有効表示寸法　1,040（水平）× 585（垂直）mm
画面サイズ　47（V）型（対角 1,193mm）

入出力

REMOTE　ネットワーク端子
（10BASE-T/100BASE-TX）

AUDIO　ステレオミニジャック（× 1）
500 mVrms、ハイインピーダンス

VIDEO　S VIDEO IN
ミニ DIN4 ピン（× 1）
Y（輝度）：1 Vp-p ± 2 dB 同期負、75 Ω 終端
C（クロマ）：バースト 0.286 Vp-p ± 2 dB（NTSC）、75 Ω 終端
バースト 0.3 Vp-p ± 2 dB（PAL）、75 Ω 終端
VIDEO IN BNC 型（× 1）
コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、75 Ω 自動終端
VIDEO OUT BNC 型（× 1）
ループスルー
AUDIO IN
ステレオミニジャック (× 1)
500mVrms、ハイインピーダンス

HD15（RGB/COMPONENT）

HD15（RGB/COMPONENT）IN
D-sub 15 ピン（凹）（× 1）
45 ページをご覧ください。
HD15（RGB/COMPONENT）OUT
D-sub 15 ピン（凹）（× 1）
45 ページをご覧ください。
AUDIO IN
ステレオミニジャック（× 1）
500 mVrms、ハイインピーダンス

DVI　DVI IN
（DVI 規格 1.0 準拠）
AUDIO IN
ステレオミニジャック（× 1）
500 mVrms、ハイインピーダンス

SPEAKER　スピーカー出力（L/R）
6Ω 7W + 7W

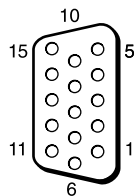
その他

電源 AC　100 V 〜 240 V、50/60 Hz、
FWD-S42H1：2.9 A（最大）
FWD-S47H1：3.3 A（最大）
消費電力　FWD-S42H1：280 W（最大）
FWD-S47H1：320 W（最大）
動作条件　温度：0 〜 35 ℃
湿度：20 〜 90%
（結露のないこと）
保存・輸送条件　温度：− 10 〜 + 40 ℃
湿度：20 〜 90%
（結露のないこと）
外形寸法　FWD-S42H1：972.1 × 565.1 × 125 mm
972.1 × 613.6 × 275 mm
（別売スタンド含む）
（幅 / 高さ / 奥行き、最大突起部含まず）
FWD-S47H1：1,081.6 × 626.8 × 129 mm
1,081.6 × 675.3 × 275 mm
（別売スタンド含む）
（幅 / 高さ / 奥行き、最大突起部含まず）
質量　FWD-S42H1：約 25.5 kg
約 29 kg（別売スタンド含む）
FWD-S47H1：約 30.5 kg
約 34 kg（別売スタンド含む）
付属品　電源コード（1）
LAN ケーブル（1）
AC プラグホルダー（2）
ケーブルホルダー（9）
変換プラグアダプター (1)
リモコン RM-FW002（1）
単 3 形乾電池（2）
取扱説明書（1）
保証書（ソニー業務用商品相談窓口のご案内）（1）

別売アクセサリー
ディスプレイスタンド SU-S01
スピーカー SS-SPG02
機能拡張用オプションアダプター BKM-FW シリーズ

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ピン配列

HD15（RGB/COMPONENT）端子（D-sub 15 ピン）

ピン No.	信号
1	赤映像信号または C_R/P_R 信号
2	緑映像信号または Y 信号
3	青映像信号または C_B/P_B 信号
4	接地 (GND)
5	接地 (GND)
6	赤接地 (GND)
7	緑接地 (GND)
8	青接地 (GND)
9	未使用
10	接地 (GND)
11	接地 (GND)
12	SDA
13	水平同期信号、コンポジット同期信号またはコンポジットビデオ信号 (同期信号として)
14	垂直同期信号
15	SCL

ご注意

コンポーネント信号を入力する際は 13、14 ピンに同期信号を入力しないでください。画像が正しく表示されない場合があります。

安全規格　電安法、VCCI クラス B
本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部：限度値 - 高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20 A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

JP

索引

T

V

JP

WARNING

Owner's Record

The model and serial numbers are located on the rear. Record the model and serial numbers in the spaces provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No.______ Serial No.______

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

On transportation

When you carry the display unit, hold the unit itself, not the speakers. If you fail to do so, the speakers may come out of the unit and the unit may fall. This can cause injury.

WARNING

When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power plug to an easily accessible socket-outlet near the unit.
If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power plug.

For customers in the U.S.A.

If you have any questions about this product, you may call; Sony Customer Information Services Center 1-800-222-7669 or http://www.sony.com/

Declaration of Conformity

Trade Name:	SONY
Model:	FWD-S42H1/FWD-S47H1
Responsible Party:	Sony Electronics Inc.
Address:	16530 Via Esprillo, San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone Number:	858-942-2230

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.
All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR USA ONLY.
If used in USA, use the UL LISTED power cord specified below.
DO NOT USE ANY OTHER POWER CORD.

Plug Cap	Parallel blade with ground pin (NEMA 5-15P Configuration)
Cord	Type SJT or SVT, three 16 or 18 AWG wires
Length	Minimum 1.5m (4 ft .11in.), Less than 2.5 m (8 ft. 3 in.)
Rating	Minimum 6A, 125V

Using this unit at a voltage other than 120V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both.
To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

For customers in Canada

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

The socket-outlet should be installed near the equipment and be easily accessible.

For the customers in Europe

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.
The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR OTHER COUNTRIES.

1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

For kundene i Norge

Dette utstyret kan kobles til et IT-strømfordelingssystem.

GB

Table of Contents

Introduction

Location and Function of Parts and Controls

GB

Connections

Using the Settings

Network Functions

Other Information

Precautions

On safety

- A nameplate indicating operating voltage, power consumption, etc. is located on the rear of the unit.
- Should any solid object or liquid fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it any further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days or more.
- To disconnect the AC power cord, pull it out by grasping the plug. Never pull the cord itself.

Cleaning

Be sure to unplug the power cord before cleaning the display.

On cleaning the display

Do not allow hard objects to scrape, or pound the display screen surface, or allow objects to hit the screen surface because that can damage the screen surface.
The display screen has a special surface treatment.
Follow the instructions below to prevent impair performance because of improper handling when cleaning.

- Gently remove any dust from the screen surface with a soft cloth. A cleaning cloth or cloth for wiping glasses is preferred.
- If it is excessively dirty, clean the screen surface with a soft cleaning cloth slightly dampened with water.
- Never use alcohol, benzine, thinner, acid or alkaline cleaning solvent, abrasive cleaners, or chemically-treated cloths because they will damage the screen surface.

Cleaning the cabinet

- Gently wipe off stains using a dry, soft cloth. Wipe off grimy stains using a cloth slightly moistened with a mild detergent, then wipe the area again using a dry, soft cloth.
- Do not use alcohol, benzine, thinner or insecticide. Doing so may damage the finish of the surface or remove the markings on the unit.
- There is a danger that the screen will be damaged if wiped with a cloth that is dirty.
- Allowing the unit to come into prolonged contact with rubber or plastic products may alter the unit or cause the protective coating to come off.

On the LCD panel

- Keeping the LCD panel facing toward the sun for a long time will damage the panel. Take this into account when you install the unit outdoor or by a window.
- Do not forcefully press or scratch the LCD screen. Do not place objects on the screen. Doing so may disrupt the display or damage the LCD screen.
- You may find that the screen is showing horizontal stripes or that it has afterimage. The screen may also look darker when using the unit in a cool environment. These do not indicate a screen malfunction. The screen will return to normal when the ambient temperature is higher.
- If a static image is displayed for a long time, screen burn or a residual image may occur. A residual image will disappear over time. If ghosting occurs, use the screensaver function, or use some kind of video or imaging software to provide constant movement on the screen. If light ghosting (image burn-in) occurs,it may become less conspicuous, but once burn-in occurs, it will never completely disappear.
- The panel surface, cabinet or frame may warm up during use.This does not a problem.

Bright spots and dark spots on the LCD screen

Although the LCD screen is manufactured by high technology with an effective resolution of at least 99.99%, it may show dark spots (pixel defects) or bright spots (red, blue, green, etc.) that are continuously lit or flashing. These are phenomenon of LCD screens that generated sometimes by pixel defects. These may occur after the device has been used for an extended period of time.
These are not screen malfunctions.

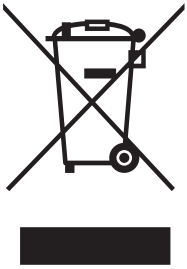
On installation

- Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.
- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust, mechanical vibration or shock.
- When you install multiple equipment with the unit, the following problems, such as malfunction of the remote control, noisy picture, noisy sound, may occur depending on the position of the unit and other equipment.

On repacking

Do not throw away the carton and packing materials.
They make an ideal container in which to transport the unit.
When shipping the unit, repack it as illustrated on the carton.

If you have any questions on this unit, contact your authorized Sony dealers.

Disposal of Waste Electrical and Electronic Equipment for business use (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)

This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable take-back scheme for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local Sony office or visit Sony Europe's web site for business customers: http://www.sonybiz.net/environment

GB

For the State of California, USA only

Perchlorate Material – special handling may apply, See www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate
Perchlorate Material : Lithium battery contains perchlorate.

For the customers in the USA

Lamp in this product contains mercury. Disposal of these materials may be regulated due to environmental considerations. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or the Electronic Industries Alliance (www.eiae.org).

For the customers in Taiwan only

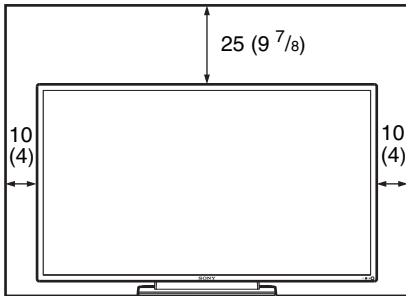
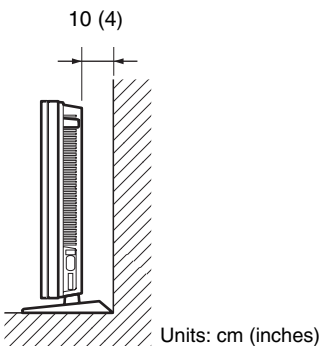
廢電池請回收

Recommendations on Installation

Provide an ample amount of space around the display

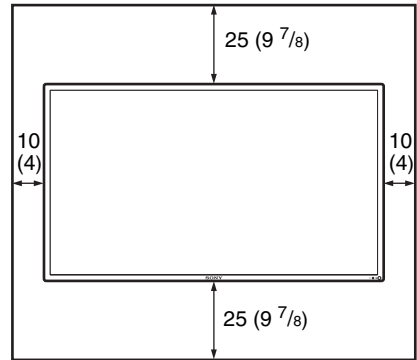
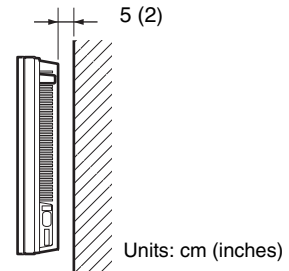
- To prevent internal heat buildup from sealing off the display, make sure to ensure proper ventilation by leaving open the minimum amount of space around the display, as illustrated below.
- The ambient temperature must be 0 °C to 35 °C (32 °F to 95 °F). Be careful when installing the display near a ceiling. The temperature there can become much higher than the normal, lower-level room temperature.
- When using the stand, you use the applicable Tabletop Stand SU-S01 (not supplied).For the fitting method, see the instruction manual of the Tabletop Stand.
- Regarding the installation of hardware such as brackets, screws, or bolts, we cannot specify the products. Actual installation is up to the authorized local dealers. Consult with qualified Sony personnel for installation.
- While the display is on, a certain amount of heat builds up inside. This can cause burns. Avoid touching the top or rear of the display when it is powered on or just after it has entered standby mode.

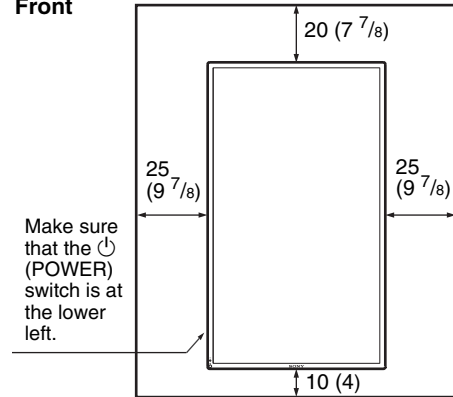
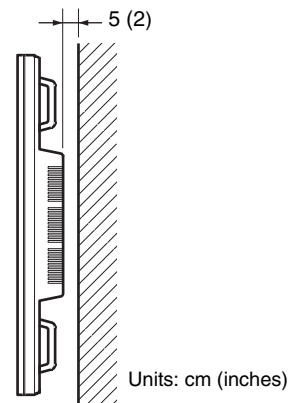
When using the Tabletop Stand

Front

Side

Note

When moving or installing the display when it is attached to the stand (not supplied), do so with at least 2 people.

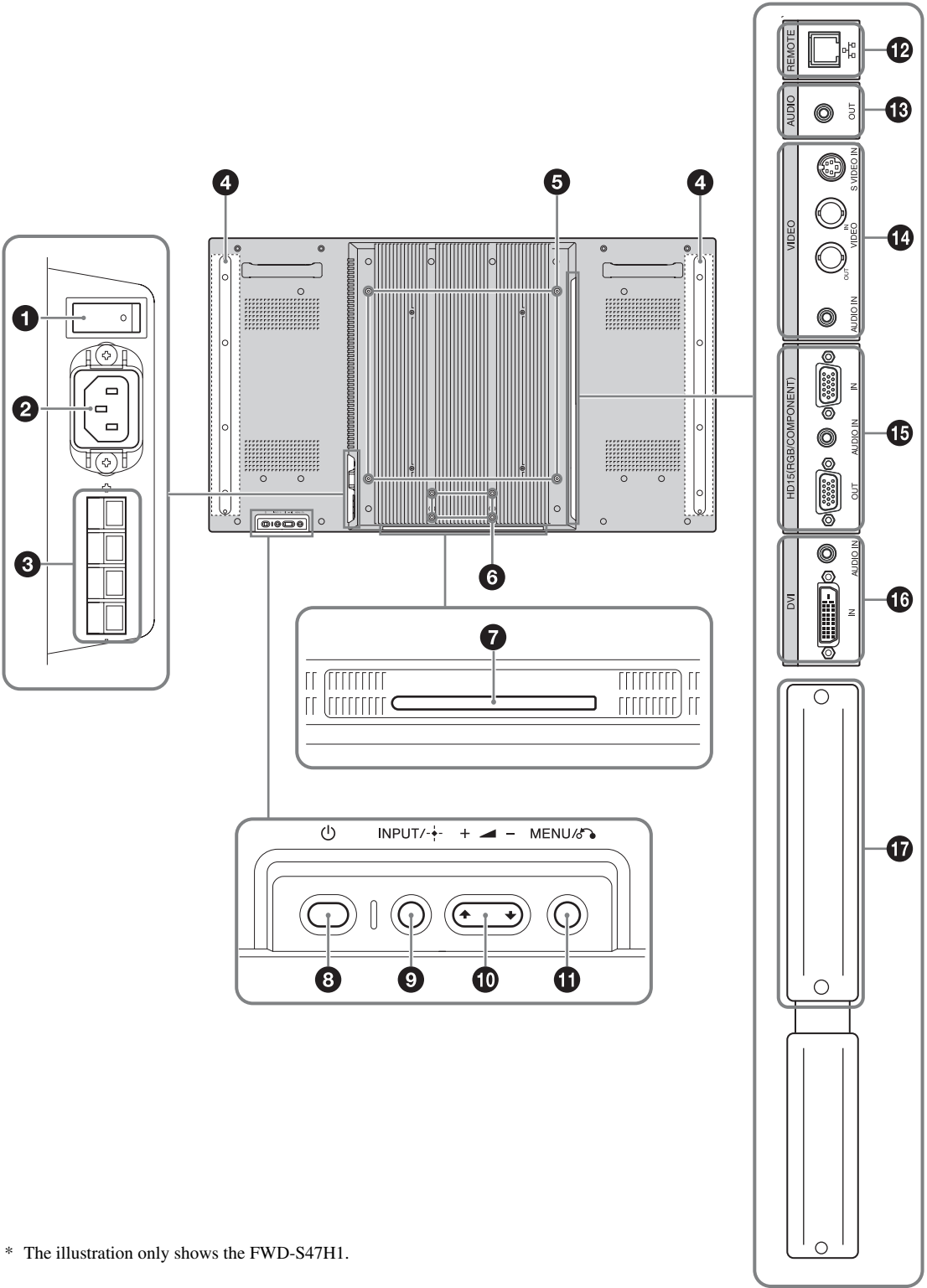
When mounting the display horizontally

Front

Side

When mounting the display vertically

Front

Side

Front

GB

Parts	Description
❶ Sony logo	The Sony logo lights up. On the menu screen, you can change from automatic to various manual settings. See “Logo” on page 32.
❷ ⏻ (Power/Stand by) indicator	• Lights up in green when the display is switched on. • Lights up in red when the display is in standby mode. Lights up in orange when the display enters the power saving mode while a signal is input from a PC. When the ⏻ indicator blinks in red, see page 39. **Note** When the “LED” option in the “Multi Display” settings is set to “Off” and the “Position” option is not set to the right-bottom, the indicator does not light up in green even when the display is turned on, except for the case of no signal or an unsupported signal.
❸ Remote control sensor	Remote control light receptor.

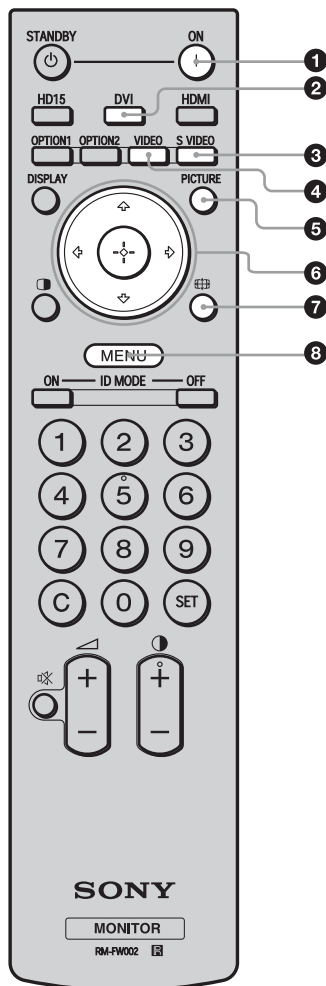
Rear

* The illustration only shows the FWD-S47H1.

Parts	Description
❶ Main power switch	Turn the main power switch to “ON”(press the ❘ side) when setting up the device. When the main power switch is turned “OFF” (press the ○ side), the power consumption is 0W.
❷ **AC IN** socket	Connect the supplied AC power cord to this socket and to a wall outlet. See page 19. Once you connect the AC power cord and turn on main power switch, the ⏻ indicator lights up in red and the display goes into the standby mode.
❸ **SPEAKER** socket	Connect the speakers SS-SPG02 (not supplied) to this socket. For more details on connecting the speakers, see the operating manual that came with the speakers. For details on how to route the speaker cords, see page 20.
❹ Speaker installation positions	Attach the dedicated speakers SS-SPG02.
❺ Stand installation holes	Screw holes conforming to VESA standard. (Pitch: 400mm × 400mm, Screw: M6)
❻ Applicable display stand installation holes	Use these hooks to install the display stand SU-S01 (not supplied).
❼ Dedicated display stand installation hole cover	Remove when mounting the display stand SU-S01 (not supplied).
❽ ⏻ **(POWER)** switch	Switches the display on or off (standby). Operate when the main power switch is “ON” (❘ side).
❾ **INPUT/** ⊹ **(ENTER)**button	Press to select a signal to be input from the INPUT or OPTION connector. The signal to be input switches as follows each time you press the INPUT button. → S Video → Video → HD15 → DVI → OPTION ┐ (returns to S Video) When an optional adaptor supporting the video signal is not installed in the OPTION slot, OPTION will be skipped. Press to set your choice.
❿ +/–/⇧/⇩ (volume/cursor) button	Press to control speaker volume. When the menu is displayed, press to move the cursor or set a value. Press to set your choice.
⓫ **MENU/⮌ (RETURN)** button	Press to show menus. This returns to the preceding menu screen.
⓬ **REMOTE** (10BASE-T/100BASE-TX)	Serves to connect the display to a network, using a 10BASE-T/100BASE-TX LAN cable. You can assign various settings and control the display via the network from a PC. **Cautions** • When you connect the LAN cable of the unit to peripheral device, use the supplied cable to prevent malfunction due to radiation noise. • For safety, do not connect the connector for peripheral device wiring that might have excessive voltage to this port. Follow the instructions for this port. **Note** When using this connector, select “Display” in “Network Port”. (page 32)
⓭ **AUDIO** (Stereo mini jack)	This is the audio monitor output terminal for external devices. Outputs an audio of the signal currently indicated on the screen. Outputs an audio signal corresponding to the active* picture while in the “P&P” or “PinP” mode. **Note** • Settings assigned in “Sound Mode” or “Speaker Out” will not be reflected. • The noise reduction status set by the remote control is not reflected.

Parts	Description
⓮ **VIDEO**	**S VIDEO IN** (Mini DIN 4-pin): Connects to the S Video output of a piece of video equipment. **VIDEO IN** (BNC): Connects to the video output of a piece of video equipment. **VIDEO OUT** (BNC): Connects to the video input of a piece of video equipment. Pictures input from VIDEO IN will be output. **AUDIO IN** (Stereo mini jack): Connects to the audio output of a piece of video equipment.
⓯ **HD15 (RGB/ COMPONENT)** (D-sub 15-pin)	**HD15 (RGB/COMPONENT) IN:** Connects to the analog RGB signal or component signal output of a piece of video equipment or PC. See page 44. **AUDIO IN:** Inputs an audio signal. Connects to the audio signal output of a piece of video equipment or PC. **HD15 (RGB/COMPONENT) OUT:** Connects to the analog RGB signal or component signal input of a piece of video equipment or PC. See page 44. Signals input from the HD15 (RGB/COMPONENT) IN connector above will be output. **Notes** • When inputting a component signal, be sure not to input sync signals to pins 13 and 14. If you do so, the picture may not be displayed properly. • When the display is not connected to an AC power or is in the standby mode, no signal is output from the HD15 (RGB/COMPONENT) OUT.
⓰ **DVI** (DVI-D 24-pin)	**DVI IN:** Connects to the digital signal output terminal of the video equipment or PC. Supports HDCP copy protection. **AUDIO IN:** Inputs an audio signal. Connects to the audio signal output of a piece of video equipment, etc.
⓱ **OPTION** slot (VIDEO/COM port)	This slot supports video signals and communication functions. Attach an optional adaptor (the BKM-FW series) in this slot to extend monitor functions. See page 18.

* The status when the sound is output and the input signal can be switched.

Remote Control

Button Description

❶ **POWER ON switch**

Press to turn the display on.
Operate when the main power switch on the backside of the display is "ON."

❷ **DVI button**

Press to select the signal input to the DVI port.

❸ **S VIDEO button**

Press to select the signal input to the S VIDEO IN connector from a piece of video equipment.

❹ **VIDEO button**

Press to select the signal input to the VIDEO IN connector from a piece of video equipment.

❺ **PICTURE button**

Selects "Picture Mode". Each press toggles between "Vivid", "Standard", "Custom", "Conference", and "TC Control".

❻ **⇧/⇩/⇦/⇨/⊕ buttons**

The ⇧/⇩/⇦/⇨ buttons move the menu cursor and set values, etc.
Pressing ⊕ sets the selected menu or setting items.
In the "PAP" mode, you can switch the Picture and Picture setting. See page 16.

❼ **button**

Press to change the aspect ratio. See page 15.

❽ **MENU button**

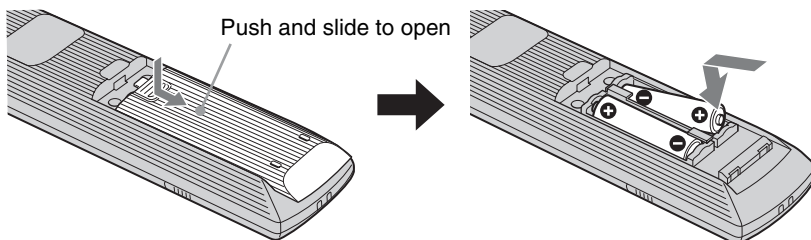
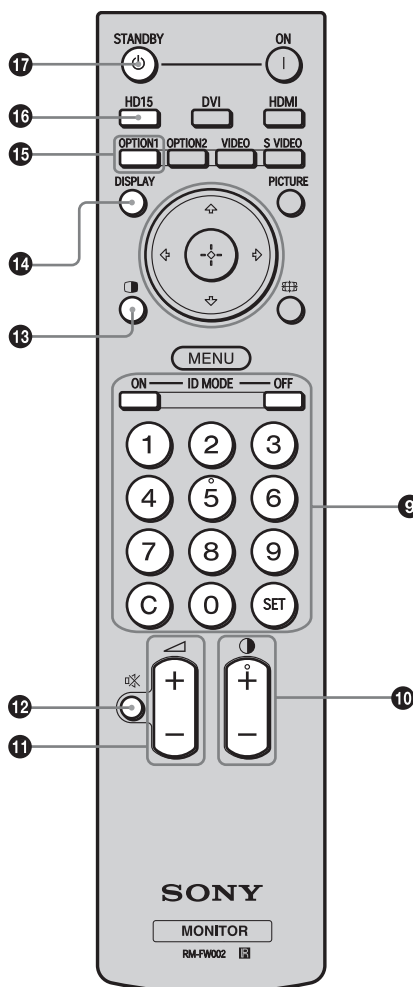
Press to show menus. Press again to hide them. See page 21.

GB

Notes

- The 5 button and ◑ button have a tactile dot. Use the tactile dot as a reference when operating the display.
- Insert two size AA (R6) batteries (supplied) by matching the ⊕ and ⊖ on the batteries to the diagram inside the remote control's battery compartment.

Caution

Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. When you dispose of the battery, you must obey the law in the relative area or country.

❾ ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF) buttons

You can operate a specific display without affecting other displays installed at the same time.

- ON button: Press to show the "Index Number" on the screen.
- 0-9 button: Press to enter the "Index Number" of the display you want to operate.
- SET button: Press to set the input "Index Number".
- C button: Press to clear the input "Index Number".
- OFF button: Press to return to the normal mode.

See page 17.

❿ ◑ +/– button

Adjusts the picture (contrast) level.

⓫ ◿ +/– button

Press to adjust the volume.

⓬ 🔇 button

Press to mute the sound. Press again to restore sound.

⓭ ◨ button

Selects the "PAP" (Picture And Picture) mode. Each press toggles between "P&P", "PinP" and the single-screen picture. See page 16.

⓮ DISPLAY button

Press to display the currently selected input, the type of the input signal and the "Aspect" setting on the screen. Press again to hide them. If this displayed information is left undisturbed for a short time, it will disappear automatically.

⓯ OPTION 1 button

When an optional adaptor is installed, selects an input signal from the equipment connected to the optional adaptor.
If the installed optional adaptor has multiple input connectors, each press of the button toggles between the input signals.

⓰ HD15 button

Press to select the input signal of the HD15 (RGB/COMPONENT) connector. The RGB signal or component signal is selected automatically or manually in accordance with the menu settings.

⓱ STANDBY button

Press to change the display to the standby mode.

Note

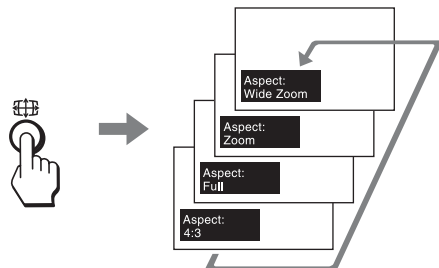
You cannot use the HDMI button and the OPTION 2 button on this display.

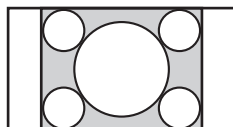
Special Buttons on the Remote Control

Using the Wide Mode

You can change the aspect ratio of the screen.

Tip

You can also access the “Aspect” settings in the “Screen” settings. See page 28, 29.

For input from video equipment such as Video, DVD, etc. (other than PC input)

4:3 Original Source

16:9 Original source

Wide Zoom

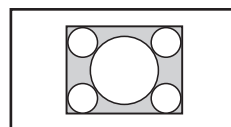
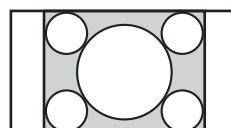
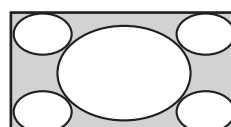
Zoom

Full

4:3

For PC Input

Illustrations below indicate the input resolution of 800×600

Real

Full 1

Full 2

Note

If the input resolution is higher than the panel resolution (1,920 × 1,080), the display of Real is the same as Full 1.

GB

Using the PAP Setting

You can show two pictures from different signal sources, such as a PC and a video, side by side.
You can also swap the active pictures, or change the balance of picture sizes.
You can also access the "PAP Setting" in the "Screen" settings. See page 26.

For P&P

For PinP

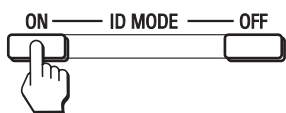
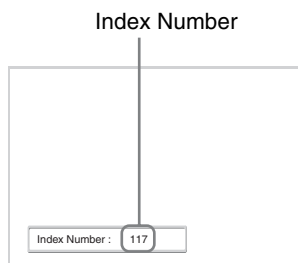
Tips

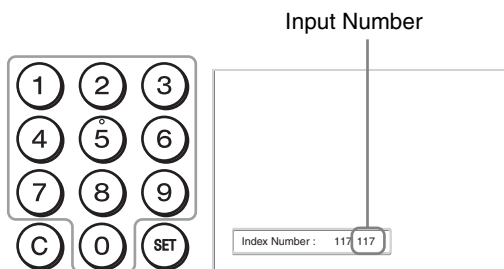
- The cursor indicating the active picture will disappear after 5 seconds.
- The picture can be adjusted to 15 sizes. (For P&P)

Using the ID MODE button

You can operate a specific display without affecting other displays installed at the same time.

1 Press **ON** button.

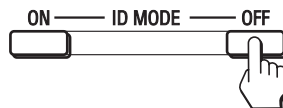
Display's "Index Number" appears in black characters on the lower left menu on the screen. (Every display is allocated an individual preset "Index Number" from 1 to 255.)

2 Input the "Index Number" of the display you want to operate using the 0 - 9 buttons on the remote control.

The input number appears right next to the "Index Number" of each display.

3 Press **SET** button.

The characters on the selected display change to green while the others change to red.

You can operate the specified display indicated with green characters only.
Only the operation of POWER ON switch and STANDBY/ID MODE-OFF button is effective to other displays, as well.

4 When all of the setting changes have been completed, press **OFF** button.

The display returns to the normal screen.

To correct the Index Number

Press the **C** button to clear the current input "Index Number". Return to Step 2, and input a new "Index Number".

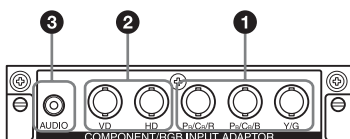
Tip

To change the "Index Number" of the display, see "Index Number" in "Control Setting" on page 30.

GB

Optional Adaptors

The terminal of the OPTION slot ⑰ (page 12) on the side of the equipment is a slot-in type. It can be switched to the following optional adapter (not supplied).
For details on installation, consult your Sony dealers.
For details on the optional adaptors for system expansion, see each instruction manual with this manual.

COMPONENT/RGB INPUT Adaptor BKM-FW11

❶ **Y/G, P_B/C_B/B, P_R/C_R/R IN (BNC)**: Connects to the analog RGB signal or component signal output of a piece of video equipment or PC.

❷ **HD, VD IN (BNC)**: Connects to the synchronization signal output of a PC.

Note

When inputting a component signal, be sure not to input sync signals to the HD and VD connectors. If you do so, the picture may not be displayed properly.

❸ **AUDIO (Stereo mini jack)**: Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a piece of video equipment or PC.

HDMI INPUT Adaptor BKM-FW15

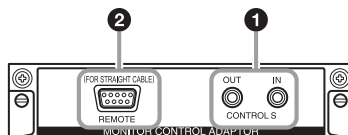
You can enjoy enhanced or high-definition video, and two-channel digital audio.
The appropriate mode for a piece of audio/video equipment or PC is automatically selected in accordance with the connected equipment.

Note

Be sure to use only an HDMI cable (not supplied) that bears the HDMI logo.

HD-SDI/SDI INPUT Adaptor BKM-FW16

Connects to the HD-SDI signal output of a piece of video equipment.

MONITOR CONTROL Adaptor BKM-FW21

❶ **CONTROL S IN/OUT** (Mini jack): You can control pieces of multiple equipment with a single remote control when the display is connected to the CONTROL S connector of the video equipment or another display. Connect the CONTROL S OUT connector on this adaptor to the CONTROL S IN connector of the other equipment, and connect the CONTROL S IN connector on this adaptor to the CONTROL S OUT connector of the other equipment.

❷ **REMOTE** (D-sub 9-pin): This connector allows remote control of the display using the RS-232C protocol. For details, contact your authorized Sony dealers.

Notes

- The REMOTE connector and the REMOTE (LAN) connector ⑫ (page 11) on the side of the equipment cannot be used at the same time.
- When using the REMOTE connector, select “Option” in “Network Port”. (page 32)

STREAMING RECEIVER Adaptor BKM-FW50

This adaptor enables you to use this display for digital signage.
You can easily play back movies, still images or background music in designated data formats by just inserting a recording media. You can also use a network to view images from a remote computer on the display.

Note

A compact flash memory card is required.

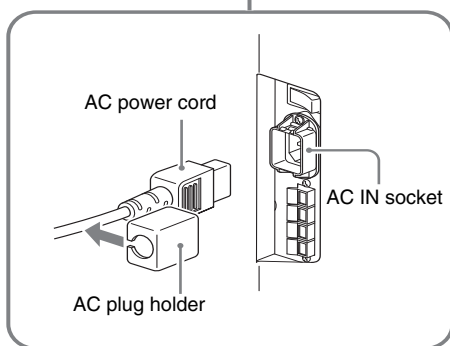
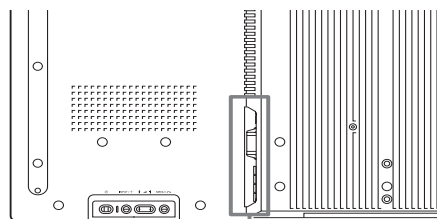
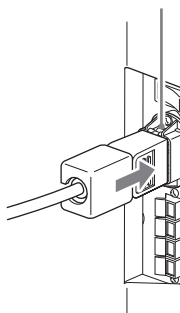
Before you start

- First make sure that the power of each piece of equipment is turned off.
- Use cables suitable for the equipment to be connected.
- Connect the cables, fully inserting them into the connectors or jacks. A loose connection may cause hum and other noise.
- To disconnect the cable, pull it out by grasping the plug. Never pull the cable itself.
- See the instruction manual of the equipment to be connected, too.
- Insert the plug securely into the AC IN socket.
- Use one of the two AC plug holders (supplied) to securely hold the AC plug.

Connecting the Speakers

Connect the speakers SS-SPG02 (not supplied). Please be sure to connect the speakers correctly. For more details on connecting the speakers, see the operating manual of the speakers. For details on how to route the speaker cords, see page 20.

Connecting the AC Power Cord

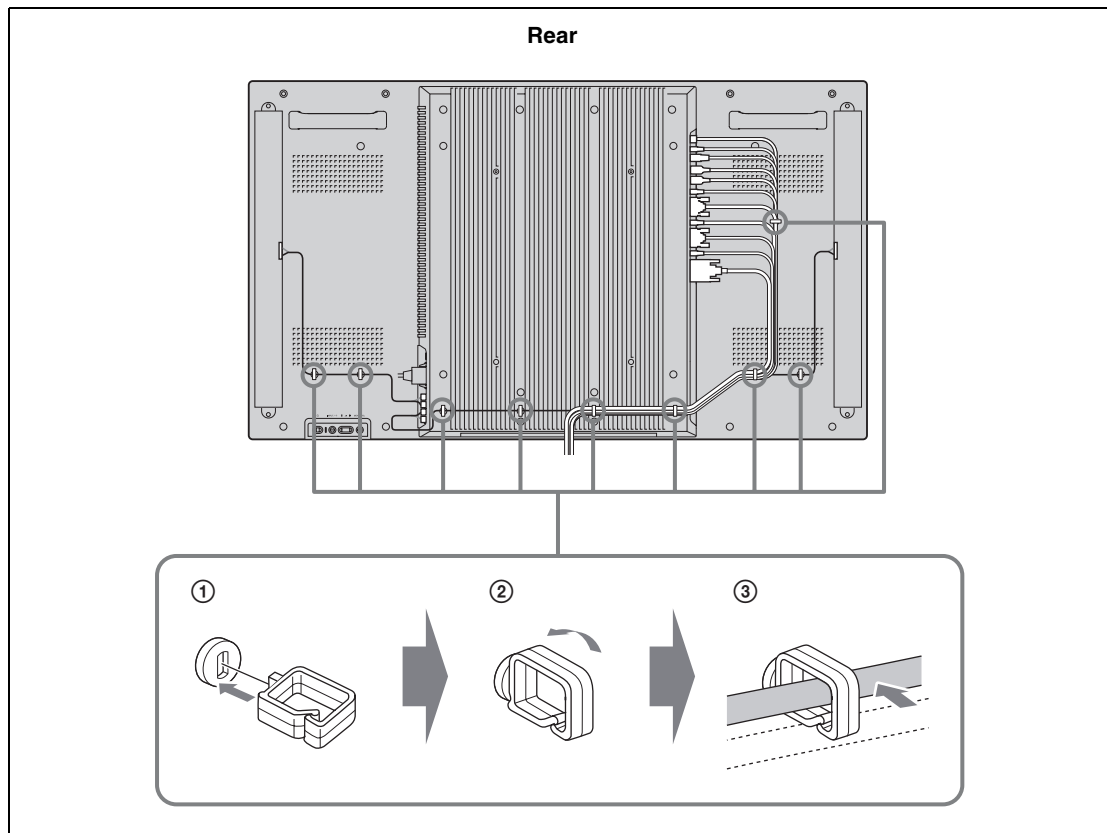
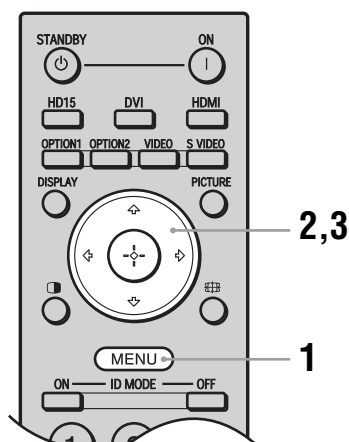
1 Plug the AC power cord into the AC IN socket. Then, attach the AC plug holder (supplied) to the AC power cord.

2 Slide the AC plug holder over the cord until it connects to the AC IN socket cover.

To remove the AC power cord

After squeezing the AC plug holder and freeing it, grasp the plug and pull out the AC power cord.

GB

Cable Management

Using the cable holders

You can neatly bundle the cables with the cable holders (×9) provided. Attach the cable holders as shown in the illustrations below.

Overview of the Menus

1 Press MENU button.

2 Press ⇧/⇩ to highlight the desired menu icon.

3 Press ⊕ or ⇨.

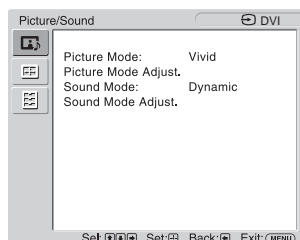
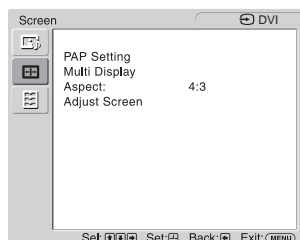
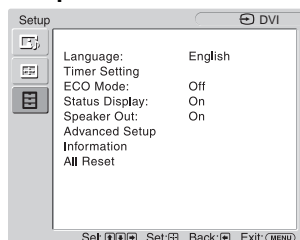
To exit the menu, press MENU button.

To change the on-screen language

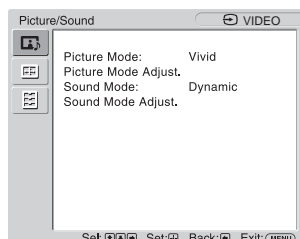
Select the desired language for on-screen settings and messages from "English", "Français", "Deutsch", "Español", "Italiano" or "日本語".
"English" (English) is set for the default setting.
See page 30.

GB

The settings provide you access to the following features:

Settings	Allows you to set/change
Picture/Sound	Picture Mode: (page 22, 24) Picture Mode Adjust. (page 22, 24) Sound Mode: (page 23, 25) Sound Mode Adjust. (page 23, 25) **Note** You cannot set or change "Picture Mode" or "Picture Mode Adjust." when there is no signal input.
Screen	PAP Setting (page 26, 29) Multi Display (page 27, 29) Aspect: (page 28, 29) Adjust Screen (page 28, 29)
Setup	Language: (page 30) Timer Setting (page 30) ECO Mode: (page 30) Status Display: (page 30) Speaker Out: (page 30) Advanced Setup (page 30) Information (page 33) All Reset (page 33)

* Menu icons displayed at the bottom of the screen may not work, depending on the settings.

Picture/Sound Settings

For Video Input

To highlight an option and to change settings, press ⇧/⇩/⇦/⇨.
Press ⊕ to confirm the selection.
The "Picture/Sound" settings include the following options:

Picture Mode

"Vivid": Select for enhanced picture contrast and sharpness.
"Standard": Select for standard picture settings.
"Custom": Allows you to store preferred settings.
"Conference": Adjusts the picture quality for video conferencing under fluorescent lights.
"TC Control": The setting is common with "Vivid". In addition, you can use the "True Color Control" function (after-mentioned).

Tip

To change from one "Picture Mode" option to another, you can also use PICTURE on the remote control instead.

Notes

- "Conference" may not be effective depending on the environment or the video conference system under use. In this case, adjust the picture quality, switch to other settings of "Picture Mode", etc.
- In "TC Control", "Brightness Boost" is fixed to Off.

Picture Mode Adjust.

"Backlight": Adjusts to brighten or darken the screen.
"Contrast": Adjusts picture contrast.
"Brightness": Adjusts to brighten or darken the picture.
"Chroma": Adjusts to increase or decrease color intensity.
"Phase": Adjusts the color tones of the picture.
"Sharpness": Adjusts to sharpen or soften the picture.
"Noise Reduction": Select to reduce the noise level of connected equipment. Select from "Off", "Low", "Mid", "High" to set the noise level.
"CineMotion": Select "Auto" to optimize the screen display automatically detecting film content and applying a reverse 3-2 pull down or 2-2 pull down process. Moving picture will appear clearer and more natural looking. Select "Off" to disable the detection.
"Dynamic Picture": Select "On" to enhance contrast by making white brighter and black darker.
"Gamma Correct.": Balances the light and dark portions of pictures. Select from "High", "Mid", "Low" to make settings.

Notes

- "Option" can only be set when there is a DVI input.
- Gamma setting is in accordance with the Grayscale Standard Display Function (GSDF) of the Digital Imaging and Communications in Medicine (DICOM) standards. However, this setting is for reference only and cannot be used for medical diagnosis.

"Color Temp.": White tone can be adjusted to suit your preference. The factory default settings are adjusted to color temperature.

"Cool": Select to give the white colors a blue tint.
"Neutral": Select to give the white colors a neutral tint.
"Warm": Select to give the white colors a red tint.
"Custom": Enables a broader range of white tone to be set than above.

Tip

Restores the default settings by selecting "Reset" on the tone adjusting screen.

"Brightness Boost": Emphasizes the brightness of the image.

Notes

- When "Brightness Boost" is set to "On", you cannot adjust the "Backlight", "Contrast", "Brightness" or "Color Temp." settings.
- When "Brightness Boost" is set to "On" and "ECO Mode" is switched "Off", the brightness is at its maximum.

"True Color Control": You can adjust the details of hue and saturation for each of 4 colors : red, green, yellow, blue, and you can highlight specific colors in the image. Select the color which you want to adjust, and you can check and see which part of current image will be adjusted. Then you can adjust it using the matrix dialog.

Notes

- This option can be adjusted when "Picture Mode" is set to "TC Control".
- In "PAP" mode, you cannot select this option. Even if you select this option in the single-picture screen, the setting of this option may not be applied in the "PAP" mode

"Reset": Resets all settings of "Picture Mode Adjust." to default settings.

Notes

- "Phase" is not available when the input is Video or S Video and the color system of video signal is not NTSC.
- "Dynamic Picture" is not available when "Picture Mode" is set to "Conference" or "TC Control."
- You can make settings and adjustments for each "Picture Mode" but "Backlight," "Noise Reduction" and "CineMotion" settings are common for all "Picture Mode."
- "Dynamic Picture" and "CineMotion" do not function in PAP mode.

GB

Sound Mode

You can adjust the sound output from the speakers SS-SPG02 (not supplied) with various "Sound Mode" settings.

"Dynamic": Select to enhance treble and bass.
"Standard": Flat setting.
"Custom": Allows you to store preferred settings.

Sound Mode Adjust.

"Treble": Adjusts to increase or decrease higher-pitched sounds.
"Bass": Adjusts to increase or decrease lower-pitched sounds.
"Balance": Adjusts to emphasize left or right speaker balance.
"Surround": Select the surround mode according to the type of picture.

- **"Off":** No surround output.
- **"Hall":** When desiring to give the stereo sound of movies or music programs a greater sense of presence.
- **"Simul.":** When desiring to give ordinary monaural programs or news telecasts an enhanced sense of presence using simulated stereo sound.

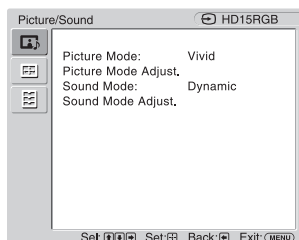
"Reset": Resets all settings of "Sound Mode Adjust." to default settings.

Tips

- You can alter the "Picture Mode Adjust." settings ("Contrast", "Brightness", "Chroma ", etc.) for each "Picture Mode".
- You can adjust the "Sound Mode Adjust." settings ("Treble" and "Bass") when the "Sound Mode" is set to "Custom".

Note

In the "PAP" mode, only "Picture/Sound" settings for the active picture can be adjusted.

For PC Input

When input is switched to a PC input source, the "Picture/Sound" settings specific to PC input are applied.
The "Picture/Sound" settings for a PC include the following options:

Picture Mode

"Vivid": Select for enhanced picture contrast and sharpness.
"Standard": Select for standard picture settings.
"Custom": Allows you to store preferred settings.
"Conference": Adjusts the picture quality for video conferencing under fluorescent lights.
"TC Control": The setting is common with "Vivid". In addition, you can use the "True Color Control" function (after-mentioned).

Tip

To change from one "Picture Mode" option to another, you can also use PICTURE on the remote control instead.

Notes

- "Conference" may not be effective depending on the environment or the video conference system under use. In this case, adjust the picture quality, switch to other settings of "Picture Mode", etc.
- In "TC Control", "Brightness Boost" is fixed to Off.

Picture Mode Adjust.

"Backlight": Adjusts to brighten or darken the screen.
"Contrast": Adjusts picture contrast.
"Brightness": Adjusts to brighten or darken the picture.
"Gamma Correct.": Balances the light and dark portions of pictures. Select from "High", "Mid", "Low" to make settings.

Notes

- "Option"can only be set when there is a DVI input.
- Gamma setting is in accordance with the Grayscale Standard Display Function (GSDF) of the Digital Imaging and Communications in Medicine (DICOM) standards. However, this setting is for reference only and cannot be used for medical diagnosis.

"Color Temp.": White tone can be adjusted to suit your preference. The factory default settings are adjusted to color temperature.

"Cool": Select to give the white colors a blue tint.
"Neutral": Select to give the white colors a neutral tint.
"Warm": Select to give the white colors a red tint.
"Custom": Enables a broader range of white tone to be set than above.

Tip

Restores the default settings by selecting "Reset" on the tone adjusting screen.

"Brightness Boost": Emphasizes the brightness of the image.

Notes

- When "Brightness Boost" is set to "On", you cannot adjust the "Backlight", "Contrast", "Brightness" or "Color Temp." settings.
- When "Brightness Boost" is set to "On" and "ECO Mode" is switched "Off", the brightness is at its maximum.

"True Color Control": You can adjust the details of hue and saturation for each of 4 colors : red, green, yellow, blue, and you can highlight specific colors in the image. Select the color which you want to adjust, and you can check and see which part of current image will be adjusted. Then you can adjust it using the matrix dialog.

Notes

- This option can be adjusted when “Picture Mode” is set to “TC Control”.
- In “PAP” mode, you cannot select this option. Even if you select this option in the single-picture screen, the setting of this option may not be applied in the “PAP” mode

“Reset”: Resets all settings of “Picture Mode Adjust.” to default settings.

Note

You can make settings and adjustments for each “Picture Mode” but “Backlight” is common for all “Picture Mode.”

Sound Mode

You can adjust the sound output from the speakers SS-SPG02 (not supplied) with various “Sound Mode” settings.
“Dynamic”: Select to enhance treble and bass.
“Standard”: Flat setting.
“Custom”: Allows you to store preferred settings.

Sound Mode Adjust.

“Treble”: Adjusts to increase or decrease higher-pitched sounds.
“Bass”: Adjusts to increase or decrease lower-pitched sounds.
“Balance”: Adjusts to emphasize left or right speaker balance.
“Surround”: Select the surround mode according to the type of picture.
  “Off”: No surround output.
  “Hall”: When desiring to give the stereo sound of movies or music programs a greater sense of presence.
  “Simul.”: When desiring to give ordinary monaural programs or news telecasts an enhanced sense of presence using simulated stereo sound.
“Reset”: Resets all settings of “Sound Mode Adjust.” to default settings.

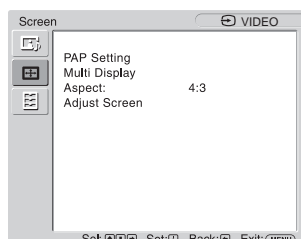
Tips

- You can alter the “Picture Mode Adjust.” settings (“Contrast”, “Brightness”, “Chroma ”, etc.) for each “Picture Mode”.
- You can adjust the “Sound Mode Adjust.” settings (“Treble” and “Bass”) when the “Sound Mode” is set to “Custom”.

Notes

- “Chroma”, “Phase”, “Sharpness”, “Noise Reduction”, “CineMotion”, and “Dynamic Picture” are not available for PC input.
- In the “PAP” mode, only “Picture/Sound” settings for the active picture can be adjusted.

Screen Settings

For Video Input

To highlight an option and to change settings, press ⇧/⇩/⇦/⇨.
Press ⊕ to confirm the selection.
The “Screen” settings include the following options:

PAP Setting

Allows you to show two pictures from different signal sources, such as a PC and a video, side by side.

“**PAP**”

“Off”: Disables “PAP” function.
“P&P”: Shows two pictures side by side at the same time.
“PinP”: Displays two pictures as the inset picture within the main picture.

For P&P

“Active Picture”: Selects the screen to operate.
“Left”: You can activate the left picture to operate it.
“Right”: You can activate the right picture to operate it.
“Swap”: Swaps the two pictures side by side.
“Picture Size”: Adjusts the balance between two pictures side by side. Adjust the balance by pressing ⇦ or ⇨ button, and then press ⊕ button to set the adjustment. (page 16)

For PinP

“Active Picture”: Selects the screen to operate.
“Main”: You can activate the main picture to operate it.
“Sub”: You can activate the inset picture to operate it.
“Swap”: Swaps the main and the inset pictures.
“Picture Size”: Adjusts the size of the inset picture. Select from “Large” or “Small”.
“Picture Position”: Adjusts the position of the inset picture with ⇧/⇩/⇦/⇨, then press ⊕.

Tip

You cannot change the aspect ratio in the “PAP” mode. The picture is displayed in the last aspect ratio used prior to selecting “PAP” mode.

Available combination of two pictures

		S Video	Video	RGB/YUV		DVI	OPTION			
				RGB	Component		RGB	Component	HDMI	HD-SDI/ SDI
S Video				○	○	○	○	○	○	○
Video				○	○	○	○	○	○	○
RGB/YUV	RGB	○	○			○		○[2]	○	○
	Component	○	○			○	○[1]		○	○
DVI		○	○	○	○		○	○		

1) Supported when “Display” is set to “YUV” or when “Option” is set to “RGB” in “RGB/YUV”.
2) Supported when “Display” is set to “RGB” or when “Option” is set to “YUV” in “RGB/YUV”.

Tip

Output from BKM-FW50 is considered as RGB output shown in the table in the “PAP” mode.

Multi Display

Allows you to make settings for connecting multiple displays to form a video wall.

"Multi Display"

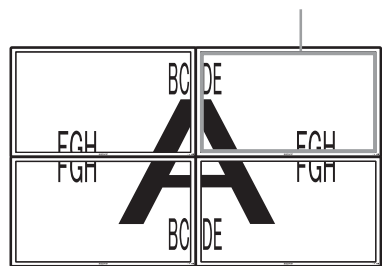
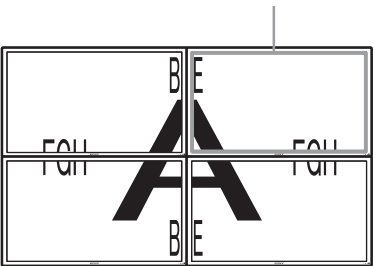
"Off": Uses a single screen.

"2×2"/"3×3"/"4×4": Sets to connect multiple displays such as 2, 3 or 4 displays both vertically and horizontally.

"1×2"/"1×3"/"1×4": Sets to connect multiple displays such as 2, 3 or 4 displays horizontally.

"2×1"/"3×1"/"4×1": Sets to connect multiple displays such as 2, 3 or 4 displays vertically.

"Position": Select the position of each display in the arrangement of the video wall with ⇧/⇩/⇦/⇨. Press ⊕ to set the position.

"Output Format": Selection of two picture output formats will be available as shown in the figures. By simply selecting either format, suitable picture output will be available without manually adjusting the horizontal and vertical shift. Select either "Tiles" or "Window".

"LED": "On" makes the ⏻ indicator on the front panel (page 9) to be continually turned on, and "Off" makes the ⏻ indicator on the front panel to be continually turned off.

Notes

- "Multi Display" can display an enlarged picture keeping the current "Aspect" setting as much as possible for video input, and can display an enlarged picture of which "Aspect" is set to "Full 2" for PC input.
- You can set the "Multi Display" only when the "PAP" function is disabled.
- When "Position" is set to the right-bottom, the ⏻ indicator lights up even if "LED" is set to "Off". The indicator also lights up even when the display is off (standby), errors are detected, or the display is in sleep mode including the case of no signal or unsupported signal.

GB

Aspect

"Wide Zoom": Select to enlarge to fill screen with minimum distortion.
"Zoom": Select to enlarge the original picture without distorting the aspect ratio. See page 15.
"Full": Select to enlarge the original picture horizontally to fill the screen when the original source is 4:3 (Standard definition source). When the original source is 16:9 (High definition source), select this mode to display 16:9 picture in original size.
"4:3": Select to display all the pictures in original size to 4:3 aspect ratio..

Tips

- To change from one "Aspect" option to another, you can also use ⊞ on the remote control.
- Select "Zoom" to display movies and other DVD content with black bands, using the entire viewable area of the screen.

Note

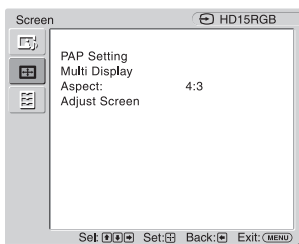
You cannot set the "Aspect" while using the "PAP" function or the "Multi Display".

Adjust Screen

"H Size": Allows you to adjust the size of the picture horizontally. Press ⇦/⇨ and press ⊕ to choose a correction.
"H Shift": Allows you to move the position of the picture left and right in the window. Press ⇦/⇨ and press ⊕ to choose a correction.
"V Size": Allows you to adjust the size of the picture vertically. Press ⇧/⇩ and press ⊕ to choose a correction.
"V Shift": Allows you to move the position of the picture up and down in the window. Press ⇧/⇩ and press ⊕ to choose a correction.
"Reset": Resets all settings of "Adjust Screen" to default settings.

Notes

- "Adjust Screen" is not available while using the "PAP" function.
- If there is no signal currently being input, none of the "Screen" settings options, except for "PAP Setting" and "Multi Display" can be selected.

For PC Input

When input is switched to PC input source, the "Screen" settings specific for PC input are applied. The "Screen" settings for a PC include the following options:

PAP Setting

See "PAP Setting" for video input (page 26).

Multi Display

See "Multi Display" for video input (page 27).

Aspect

"Full 1": Select to enlarge the picture to fill the display area in the vertical direction, keeping its original horizontal-to-vertical aspect ratio. A black frame will appear on the surrounding of the picture.
"Full 2": Select to enlarge the picture to fill the display area.
"Real": Select to display the picture in its original number of dots.

Notes

- You cannot set the "Aspect" while using the "PAP" function or the "Multi Display" function.
- If the input resolution is higher than the panel resolution (1,920 × 1,080), the display of "Real" is the same as "Full 1".

Adjust Screen

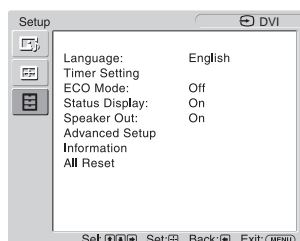
"Auto Adjustment": Select "OK" to automatically adjust the display position and phase of the picture when the display receives an input signal from the connected PC. Note that "Auto Adjustment" may not work well with certain input signals. In such cases, manually adjust the options below.
"Phase": Select to adjust the phase when the screen flickers.
"Pitch": Select to adjust the pitch when the picture has unwanted vertical stripes.

Tip

"Auto Adjustment," "Phase," "Pitch" are not available when digital signal such as DVI is input.
"H Size": Allows you to adjust the size of the picture horizontally. Press ⇦/⇨ and press ⊕ to choose a correction.
"H Shift": Allows you to move the position of the picture left and right in the window. Press ⇦/⇨ and press ⊕ to choose a correction.
"V Size": Allows you to adjust the size of the picture vertically. Press ⇧/⇩ and press ⊕ to choose a correction.
"V Shift": Allows you to move the position of the picture up and down in the window. Press ⇧/⇩ and press ⊕ to choose a correction.
"Reset": Resets all settings of "Adjust Screen" to default settings.

Note

If there is no signal currently being input, none of the "Screen" settings options, except for "PAP Setting" and "Multi Display" can be selected.

Setup Settings

To highlight an option and to change settings, press ⇧/⇩/⇦/⇨.
Press ⊕ to confirm the selection.
The “Setup” settings include the following options:

Language

Select to display all on-screen settings in your language of choice: “English”, “Français”, “Deutsch”, “Español”, “Italiano” or “日本語”.

Timer Setting

You can adjust time, display the built-in clock, or set the timer to make the display power on/off at a predetermined time.
“Clock Set”: Sets the day of the week and the hour of the day.
“Date Set”: Sets the date (year, month, date). The day is automatically set.
“Time Set”: Sets the time.
“Clock Display”: Displays the currently set time on the screen when set to “On,” by pressing the display button on the remote control.
“On/Off Timer”: Sets the day of the week and the hour of the day.

Note

If the built-in clock tends to lose time, the internal battery may be exhausted. Please contact your authorized Sony dealer to have the battery replaced.

ECO Mode

“Off”: Select to view picture without the benefit of power saving.
“Low”/“High”: Select to change brightness and reduce power consumption.

Status Display

“On” makes input signal and “Aspect” information appear on the screen for about 5 seconds when the display is turned on, and the input signal information appear for about 5 seconds when the input signal is switched, while “Off” disables display of status information.

Tip

You can display the input signal and “Aspect” information by using DISPLAY on the remote control regardless of the “Status Display” setting.

Speaker Out

“On”: Enables sound to be emitted from the speakers.
“Off”: Disables sound to be emitted from the speakers.

Advanced Setup

“Control Setting”: This menu is used for settings of operation of the display and the remote control.
“Index Number”: You can change the index number of the display if necessary. Select to set the index number of the display with ⇧/⇩ and press ⊕ (ENTER) to confirm the setting.

Note

When you set the “Index Number”, use the buttons on the display. The “Index Number” cannot be set with the remote control.

“Control Mode”
“Display+Remote”: You can operate the display with the control buttons on the display and the remote control.
“Display Only”: Disables the remote control function. You can make settings for the display only using the control buttons on the display.
“Remote Only”: Disables the controls on the display. You can make settings for the display only using the remote control.

Note

When this item is operated, the available modes will differ depending on whether you select by the remote control or the display. When setting this item with ⊕ on the remote control, you can select only "Display+Remote" or "Remote Only". When setting this item with ⊹ (ENTER) on the display, you can select only "Display+Remote" or "Display Only".

"Auto Screen Adjust"

"On": The settings such as picture size and position are saved for each input signal, and the last settings are automatically applied each time the input signals are switched.

"Off": The "Auto Screen Adjust" is disabled even when input signals are switched and the default settings are applied.

"Auto Shut Off":

"On": The display automatically enters the standby mode when a signal is not input to the Video or S Video input connectors for more than about 5 minutes. The display automatically enters the power saving mode when a signal is not input to the DVI or HD15 (RGB/Component) input connectors for more than about 30 seconds.

"Off": The display is not turned off automatically even when no signal is input to any connector.

Tips

- While in the standby mode, press the ⏻ (POWER) switch on the display or the POWER ON switch on the remote control to turn the display on. In the power saving mode, the display is turned on automatically when a signal is input.
- This function is not available when "On-Screen Logo" is set to "On", the screensaver function is activated, or PAP is selected.

"Overscan": Selects whether to display images with overscan or underscan.

"Auto": Switches automatically signal image which are supposed to be DTV to image with overscan.

"On": Displays image with overscan.

"Off": Displays image with underscan.

Note

If "Overscan" is set to "Off," DTV signal image may be displayed like PC signal display. Example: 480P → 720 × 480/60

"Sync Mode": Sets the mode according to the signal input at pin 13 of the HD15 (RGB/COMPONENT) IN connector.

"H/Comp": Select when a horizontal synchronous signal or a composite synchronous signal is input.

"Video": Select when a video signal is input.

Notes

- "Sync Mode" is available only when analog RGB signal is input to HD15 connector.
- Depending on the level of the composite synchronous signal, the image may not be displayed correctly. In this case, change the "Sync Mode" setting.
- There are some inputs for which only synchronizing signals can be selected. In this case, input horizontal/vertical synchronization signals through the pin 13 or 14 of the connectors.
- Sync Mode settings cannot be carried out for the input through the optional adaptors.
- This display does not support the three value sync format of 576/60p.
- When "Video" is selected in "Sync Mode", you can only set the 575/50i and 480/60i signals.
- When you select the video signal for the synchronous mode setting, you cannot use the PAP function.

“RGB/YUV”

“Display”/“Option”: Sets the type of signal for a video device or PC connected to the HD15 (RGB/COMPONENT) terminal of the display or the 5BNC (RGB/COMPONENT) terminal of an optional adaptor.

“Auto”: Select to choose either an analog RGB input signal or a component input signal from a connected equipment.

“RGB”: Select to choose an analog RGB input signal from a connected equipment.

“YUV”: Select to choose a component input signal from a connected equipment.

Note

Select “RGB” to input RGB signals using a composite synchronous signal.

Tip

For the available combination of two pictures, see page 26.

“Color System”: Select the color system of video signals from “Auto”, “NTSC”, “NTSC4.43”, “PAL”, “PAL-M”, “PAL-N” or “PAL60”. Select “Auto” to set the color system automatically.

Note

“Color System” is not available for PC input.

“Screen Saver”: This is a setting to prevent or reduce screen burn or after-image that can occur by long periods of screen display of the same image.

“All White”: Displays an all white screen. (Stops automatically after about 30 minutes and the display enters standby mode.)

“Sweep”: Scrolls a white bar over the screen.

“Standby”: The screensaver operates in standby (page 9) for the time specified in “Timer Setting.” (The display is blank during screensaver operation.) When the screensaver ends, normal standby mode is resumed.

“Logo”: The Sony logo on the front of the unit lights.

“Position”: The logo can be constantly lit at the bottom side of the screen by setting the setup method of the equipment from “Auto,” “Landscape,” and “Portrait.” If “Auto” is selected, Landscape or Portrait will automatically be selected.

“Illumination”: Select “Off” to have the logo extinguished. Select “Low” and “High” for the brightness.

“On-Screen Logo”

“On”: The model name logo is displayed when the signal is not inputted.

“Off”: The model name logo is not displayed when the signal is not inputted.

“Network Port”: Sets the network port to operate the display by remote control.

“Off”: Select when not using the network port. The power consumption during standby mode can be reduced.

“Display”: Allows you to make settings of the display from a PC connected to the REMOTE (LAN) connector of the display. (page 36)

“Option”: Allows you to make settings of the display from a PC connected to the REMOTE connector or the LAN connector of the OPTION slot. (page 36)

“IP Address Setup”: Sets an IP address to enable communication speed between the REMOTE (LAN) connector of the display or the optional adaptor and the equipment such as a PC connected with the LAN cable.

“Speed Setup”: Sets a communication speed between the REMOTE (LAN) connector of the display or the optional adaptor and the equipment such as a PC connected with the LAN cable.

“Power On Delay”: Adjusts the time until power-on. Sets to Off, and 1 to 120 seconds. This suppresses a sudden load fluctuation to the power equipment when multiple units are connected.

Tip

For details on how to make the settings of “IP Address Setup” and “Speed Setup”, see the section of “Preparations for Using the Network Functions” (page 34).

Information	Displays the “Date”, “Model Name”, “Serial Number”, “Operation Time”, “Software Version” and “IP Address” of your display. When the optional adapter BKM-FW50 is mounted, “Player IP Address” (IP address for still image and movie playback function) is displayed. For details, see the instruction manual of the BKM-FW50.
All Reset	Resets all adjustments and settings to factory settings. **Note** The items included in the “Information” option and the “Index Number” will not be reset.

GB

Preparations for Using the Network Functions

Precautions

- The software specifications of this display are subject to change for improvements without notice.
- Screens shown by application software may differ slightly from the illustrations shown in this manual.
- For safety, connect the port of this display only to a network where there is no danger of excessive voltage or voltage surges.
- The steps described in this manual are guaranteed only for use under the following environment conditions.

  Operating system:

  Microsoft Windows XP/Windows Vista

  Browser:

  Microsoft Internet Explorer 6.0 or later
- To ensure security on the network, setting a user name and password is recommended. For information on how to make these settings, see the section "Setup screen" (page 37).

  For security settings, refer to your network administrator.

Setting an IP address

The display can be connected to a network with 10BASE-T/100BASE-TX LAN cable.
When connected to a LAN, the IP addresses of the display can be set using one of the following two methods. Consult your network administrator regarding details about IP address selection.

- Assigning a fixed IP address to the display
  Normally this method should be used. Note that in factory setting, the display is set to obtain an IP address automatically.
- Automatically obtaining an IP address
  If the network to which the display is connected has a DHCP server, you can have the DHCP server automatically assign an IP address. Note that in this case the IP address may change every time the display in which the display is installed is turned on.

Before setting the IP address, connect the LAN cable to the display to establish the network. After about 30 seconds, turn on the display, and then start making the desired settings.

Assigning a fixed IP address to the display

1. Press MENU to bring up the main menu.
2. Select “Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
3. Select “Advanced Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
4. Select “IP Address Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
5. Select “Manual” with ⇧/⇩ and press ⊕.
6. Select an desired item to set from “IP Address”, “Subnet Mask”, “Default Gateway”, “Primary DNS”, “Secondary DNS” with ⇧/⇩ and press ⊕.
7. Set the three digit value (0 to 255) for each of the four box with ⇧/⇩ on the display or numeric keys on the remote control and press ⊕ or ⇨.
8. Set the three digit value (0 to 255) for each of the four boxes and press ⊕. Repeat the same procedure as step 6 and select the next desired item to set with ⇧/⇩ and press ⊕.
9. After values are set for all the desired items, select “Execute” with ⇧/⇩, then press ⊕.

Select “Execute” and press ⊕. An IP address is set manually.
When “Cancel” is selected, the setting will return to the original setting.

Automatically obtaining an IP address

1. Press MENU to bring up the main menu.
2. Select “Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
3. Select “Advanced Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
4. Select “IP Address Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
5. Select “DHCP” with ⇧/⇩ and press ⊕.

Select “Execute” and press ⊕. An IP address is automatically set.
When “Cancel” is selected, the setting will not be executed.

Note

When an IP address is not set properly, the following error codes will be displayed in accordance with the error cause.
Error 1: Communication error
Error 2: The specified IP address is already used for other equipment
Error 3: IP address error
Error 4: Gateway address error
Error 5: Primary DNS address error
Error 6: Secondary DNS address error
Error 7: Subnet mask error

Checking the automatically assigned IP address

1. Press MENU to bring up the main menu.
2. Select “Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
3. Select “Information” with ⇧/⇩ and press ⊕.
4. Select “IP Address” with ⇧/⇩ and press ⊕.

The IP address currently acquired is displayed.

Tip

When an IP address cannot be acquired properly, the previously acquired IP address is shown in “Information” and in “Manual” of “IP Address Setup”.

Setting a communication speed

1. Press MENU to bring up the main menu.
2. Select “Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
3. Select “Advanced Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
4. Select “Speed Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
5. Select a desired communication speed to set from “Auto”, “10Mbps Half”, “10Mbps Full”, “100Mbps Half”, or “100Mbps Full” with ⇧/⇩ and press ⊕.

When “Auto” is selected, a communication speed appropriate for your network configuration is automatically set.

6. Select “Execute” with ⇧/⇩ and press ⊕ to reflect the setting.

PC Operation

Controlling the display

You can make various display settings on the screen of the PC.
Make sure that the display, PC, and router or hub are properly connected with the network cable. Then turn on power to the display, the PC, and the router or hub.
There are four display screens, divided by function: Information screen, Configure screen, Control screen, and Setup screen.
For details on the functions of buttons, see instructions for each function of the display.

1. Start the browser of the PC (Internet Explorer 6.0 or later).
2. Enter the IP address that was assigned to the display in the previous page as "http://xxx.xxx.xxx.xxx", then press the ENTER key on the keyboard.
   When a user name and password have been set, the "Network Password" screen appears. Enter the user name and password that were set, and then proceed to the next step.
3. Click the function tab at the top of the screen and select the desired screen.

Setting items on respective screens

When using the LAN function of the display

Information screen

This screen shows the model name, serial number and other display information, as well as the power status and the input signal selection.
The screen is for information only. There are no items that can be set.

Configure screen

Timer
Lets you make settings for the timer function.
Click "Apply" when done.

Screen Saver
Lets you make settings for the screensaver function.
Click "Apply" when done.

Picture and Picture
Lets you make settings for the Picture and Picture function.
Click "Apply" when done.

Note

Before setting the "Timer" function, make sure to configure the time setting on the Setup screen (page 37).

Control screen

POWER
Switches the display on or off.

INPUT
Lets you select the input signal.

PICTURE MODE
Lets you select the picture mode.

ASPECT
Lets you switch the aspect ratio of the image.

Contrast +/– buttons
Adjust the screen contrast.

Brightness +/– buttons
Adjust the picture brightness.

Chroma +/– buttons
Adjust the color intensity.

Phase +/– buttons
Adjust the color balance.

Reset button
Resets the settings from “Contrast” to “Phase” to their factory default values.

Notes

- If the input signal is Video or S Video and the color system of the video signal is not NTSC, “Phase” is not available.
- “Chroma” and “Phase” are not available for PC input.
- “Normal” at the ASPECT setting corresponds to “4:3” for video input or “Real” for PC input.

Setup screen

This screen lets you set up the Network Password. The factory default settings are as follows:

Name: root
Password: pudadm

After you have made any changes or entered information, click “Apply” at the bottom of each screen to enable the settings.
Special characters cannot be used in the text fields.

Owner Information

Owner
Enter owner information here.

Display Location
Enter information about the display installation location here.

Note

Do not use spaces when entering the information. Doing so may cause the file name to display incorrectly.

Memo
You can enter auxiliary information here.

Time

Time
Enter the time, day of the week, year, month, and day.

Network

Internet Protocol (TCP/IP)
Select “Specify an IP address” to enter each value in the IP address’s numeric string.
Select “Obtain an IP address (DHCP)” to acquire an IP address automatically from the DHCP server. Note that in this case the IP address may change every time the display in which the display is installed is turned on.

Note

The IP address can be set from the menu of the display. For details, see “IP Address Setup” (page 32).

Password
The administrator and user name and password information can be entered here. The administrator name is fixed to “root”.
Each can be a maximum of 8 characters long.
Once a user name and password are set, the “Network Password” screen appears whenever the display control screen of the display is called up. To ensure security on the network, setting a user name and password is recommended.

Mail Report

Error Report
When a display function error has occurred, an error report is immediately sent by e-mail (error notification).

Status Report
The status of the display can be reported via email according to the selected time interval.

Address
Enter the target e-mail address here. Up to four addresses can be specified, for simultaneous sending of an error report. The maximum length for each address is 64 characters.

Mail Account

Mail Address:
Enter the allocated mail address here.
The maximum length for the address is 64 characters.
Outgoing Mail Server (SMTP):
Enter the mail server address here.
The maximum length for the address is 64 characters.
Requires the use of POP Authentication before Send e-mail (POP before SMTP):
If POP authentication is required when connecting to the SMTP server, select this check box.
Incoming Mail Server (POP3):
When POP authentication is used for the “POP before SMTP” setting, enter the POP3 server address here.
Account Name:
Enter the mail account name here.
Password:
Enter the mail password here.
Send Test Mail:
To test whether mail can be sent successfully to the specified address(es), select this check box and click “Apply”. A test mail will be sent.

Note

If any of the following items is not set or not set correctly, an error message appears, and test mail cannot be sent:

- Target address
- Mail account address and mail server address (SMTP)

Advanced

Gives access to advanced settings to enable use of various applications on the network. Make the settings as required by the respective application.

Advertisement

Lets you make settings for the Advertisement and Broadcast functions on the network.

ID Talk

Lets you make settings for the ID Talk function. ID Talk is a protocol that allows network-based control of the display. Controlled items includes various settings and adjustments such as color temperature and gamma. For information about supported ID Talk commands, contact your local Sony dealer.

SNMP

The display is a network equipment which supports SNMP (Simple Network Management Protocol). Besides standard MIB-II, Sony Enterprise MIB is also supported. This screen allows making settings for SNMP.
For information about supported SNMP commands, contact your local Sony dealer.

Returning to default settings

To reset all settings made on the “Setup” screen to the factory default condition, reset to the default settings by assigning the “All Reset” setting, and then assign the appropriate settings of the network again.

Troubleshooting

Check whether the ⏻ indicator is flashing red.

When it is flashing

The self-diagnosis function is activated.

1 Check how many times the ⏻ indicator flashes and how long it stops flashing.
   For example, the indicator flashes 2 times, stops flashing for 3 seconds, and flashes 2 times.
2 Press ⏻ (POWER) switch on the display and the main power switch to switch off the power, then disconnect the power cord.
   Inform your dealer or Sony service center of how the indicator flashes (the number of flashes and the duration of light out).

When it is not flashing

1 Check the items in the table below.
2 If the problem still persists, have your display serviced by qualified personnel

Problem	Possible Remedies
The power switch and control buttons on the display do not work.	• Check “Control Setting” (page 30).
The power will not come on even if the ⏻ (POWER) switch is turned ON, or the POWER ON switch on the remote control is turned ON.	• Check that the main power switch is not turned “OFF.” (page 11)
No video signal is output from the HD15 (RGB/COMPONENT) OUT terminal.	• There is no HD15 (RGB/COMPONENT) OUT output when this device is in standby status or the AC power supply is switched off.
No signal is output from the HD-SDI OUT terminal of the BKM-FW16.	• There is no HD-SDI OUT output when this device is in standby status or the AC power supply is switched off.
No picture.	
No picture.	• Check the connection between the video equipment and the display. • Check the settings of “RGB/YUV” (page 32). • Try switching input using the INPUT button of the display, or the remote control (page 11, 13).
The display turns off automatically.	• Check if “Timer Setting” is activated (page 30). • Check if the “Auto Shut Off” function is set to “On” (page 31). • Check if the room temperature is above 35°C.
Poor picture.	
No color/Dark picture/The picture is too bright/Color is not correct/The picture gradually becomes dark/Horizontal noise appears on the picture	• Press PICTURE to select the desired “Picture Mode” (page 13). • Adjust the “Picture Mode” options in the “Picture/Sound” settings (page 22, 24). • Check the condition of the signal cable. • Check if the room temperature is above 35°C. • Check the settings in “ECO mode.” (page 30) • When not connecting a video device, do not connect a video cable or conversion connector to the VIDEO OUT terminal. The white areas of the image will be too bright due to the display signal not being terminated.
The whole screen is tinged green or purple.	• Check whether the “RGB/YUV” settings are incorrect (page 32).

Problem	Possible Remedies
No sound/Noisy sound.	
Picture displayed, no sound.	• Check the volume control. • Press 🔇 on the remote control or ◿ + so that Muting disappears from the screen (page 14). • Check “Speaker Out” settings (page 30).
Remote control does not operate.	• Check the polarity of the batteries or replace the batteries. • Point the remote control at the remote control sensor of the display. • Keep the remote control sensor area clear from obstacles. • Check “Control Setting” (page 30). • Check whether a cable is connected to the CONTROL S IN connector (BKM-FW21 not supplied). The remote control cannot be used while the display is controlled via a CONTROL S connection. • Fluorescent lamps can interfere with remote control operation; try turning off the fluorescent lamps.
Cannot connect to the network.	• Plug the cable firmly into the REMOTE connector. • Check the network settings of the PC. • Reset to the default settings by assigning the “All Reset” setting on the “Setup” setting menu, and then assign the appropriate settings of the network again. • Check the settings in “Network Port.” (page 32)
The display control screen (the Web screen displaying the display’s GUI) does not appear.	• Click the refresh or reload button on your Web browser. • Make sure the IP address is correct. • Use Internet Explorer 6.0 or later. • Clear the browser cache.

Input Signal Reference Chart

PC signals

	Resolution	horizontal frequency (kHz)	vertical frequency (Hz)
1	VGA[a]-1 (VGA 350)	31.5	70
2	640 × 480@60 Hz	31.5	60
3	Mac[b] 13"	35.0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31.5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA[c] STD)	37.9	60
6	Mac 16"	49.7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48.4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60.0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68.7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67.5	75
11	Mac 21"	68.7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60.0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64.0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD)*	75.0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT[d])	29.8	60
16	848 × 480@75Hz (CVT)	37.7	75
17	848 × 480@85Hz (CVT)	43.0	85
18	1280 × 720@60Hz (CVT)	44.8	60
19	1280 × 768@60Hz (CVT)	47.8	60
20	1280 × 768@75Hz (CVT)	60.3	75
21	1280 × 960@60Hz (CVT)	59.7	60
22	1360 × 768@60Hz (CVT)	47.7	60
23	800 × 600@60Hz (CVT)	37.4	60
24	1024 × 768@60Hz (CVT)	47.8	60
25	1280 × 1024@60Hz (CVT)	63.7	60
26	1400 × 1050@60Hz (CVT)*	65.3	60
27	1600 × 1200@60Hz (CVT)*	74.5	60
28	1920 × 1080@60Hz	66.6	60
29	1920 × 1200@60Hz	74.0	60

TV/Video signals

	Resolution	Available Inputs				
		Video	Component/RGB	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p				○	
10	1080/60p				○	
11	1080/24psf		○			

a) VGA is a registered trademark of International Business Machines Corporation, U.S.A.
b) Macintosh is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
c) VESA is a registered trademark of the Video Electronics Standards Association.
d) VESA Coordinated Video Timing

GB

Notes

- For HDTV signals, input the tri-level sync signal to the 2nd pin of HD15 (RGB/COMPONENT) IN connector.
- If colors appear too light after input of a DVD signal to the display, adjust "Chroma" in the "Picture/Sound" settings.
- When the phase is readjusted, the resolution will be reduced.
- The signals from the Macintosh computer will not be guaranteed for recognizing the digital RGB input.
- You cannot input the signal indicated with * to DVI IN.
- Composite synchronous signals correspond to no.2, 4, 5, 7, 12, 13 and 14 in the signal table shown in the left.
- Video signals without color burst signal are not guaranteed.

Actual on-screen display of the input signal and the display's status

On-screen display	Significance
640 × 480 / 60 (e.g.)	The selected input signal is a PC signal.
480 / 60I (e.g.)	The selected input signal is component video.
NTSC (e.g.)	The selected input signal is video signal.
Not Supported Signal	The selected input signal is non-supported signal.
No Signal	There is no input signal.
HD15	The selected input is HD15. "RGB/YUV" is set to "Auto".
HD15 RGB	The selected input is HD15. "RGB/YUV" is set to "RGB".
HD15 Component	The selected input is HD15. "RGB/YUV" is set to "YUV".
DVI	The selected input signal is DVI.
Video	The Composite Video signal is selected.
S Video	The S video signal is selected.
Option	Option input is selected. "RGB/ YUV" is set to "Auto".
Option RGB	The analogue RGB signal of Option input is selected.
Option Component	The component video signal of Option input is selected.
Option HDMI 1/ Option HDMI 2	The HDMI 1 or HDMI 2 signal of Option input is selected.
Option HD SDI	The HD SDI signal of Option input is selected.

Specifications

Video processing

Panel system a-Si TFT Active Matrix LCD Panel
Display resolution 1,920 dots (horizontal) × 1,080 lines (vertical)
Sampling rate 13.5 MHz to 162 MHz
Color system NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/NTSC4.43/PAL60
Input signal See page 41.

FWD-S42H1

Pixel pitch 0.4845 (horizontal × 0.4845 (vertical) mm ($^1/_{52}$ × $^1/_{52}$ inches)
Picture size 930 (horizontal) × 523 (vertical) mm (36 $^3/_4$ × 20 $^5/_8$ inches)
Panel size 42-inch (diagonal 1,067 mm)

FWD-S47H1

Pixel pitch 0.5415 (horizontal) × 0.5415 (vertical) mm ($^1/_{46}$ × $^1/_{46}$ inches)
Picture size 1,040 (horizontal) × 585 (vertical) mm (41 × 23$^1/_8$ inches)
Panel size 47-inch (diagonal 1,193 mm)

Inputs and Outputs

REMOTE Network port (10BASE-T/100BASE-TX)

AUDIO Stereo mini jack (× 1)
500 mVrms, high impedance

VIDEO S VIDEO IN
Mini DIN 4pin (× 1)
Y (luminance): 1 Vp-p ± 2 dB sync negative, 75 ohms terminated
C (chrominance): Burst
0.286 Vp-p ± 2 dB (NTSC), 75 ohms terminated
Burst 0.3 Vp-p ± 2 dB (PAL), 75 ohms terminated
VIDEO IN BNC (× 1)
Composite video, 1 Vp-p ± 2 dB sync negative, 75 ohms (automatic termination)
VIDEO OUT BNC (× 1) Loop-through
AUDIO IN
Stereo mini jack (× 1)
500 mVrms, high impedance

HD15 (RGB/COMPONENT)

HD15 (RGB/COMPONENT) IN
D-sub 15-pin (female) (× 1) (See page 44.)
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT
D-sub 15-pin (female)(× 1)
(See page 44)
AUDIO IN
Stereo mini jack (× 1)
500 mVrms, high impedance

DVI DVI IN
(DVI Specification Rev. 1.0 compliant)
AUDIO IN
Stereo minijack (× 1)
500 mVrms, high impedance

SPEAKER Speaker output (L/R)
6 ohms 7W + 7W

General

Power requirements
100 V to 240 V AC, 50/60 Hz,
FWD-S42H1: 2.9 A (Maximum)
FWD-S47H1: 3.3 A (Maximum)

Power consumption
FWD-S42H1: 280 W (Maximum)
FWD-S47H1: 320 W (Maximum)

Operating conditions
Temperature: 0 °C to 35 °C (32 °F to 95 °F)
Humidity: 20% to 90% (no condensation)

Storing/transporting conditions
Temperature: –10 °C to +40 °C (14 °F to 104 °F)
Humidity: 20% to 90% (no condensation)

Dimensions FWD-S42H1: 972.1 × 565.1 × 125 mm
(38 $^3/_8$ × 22 $^1/_4$ × 4 $^7/_8$ inches)
972.1 × 613.6 × 275 mm
(38 $^3/_8$ × 24 $^1/_4$ × 10 $^7/_8$ inches)
(including optional stand)
(w/h/d, excluding projections)
FWD-S47H1: 1,081.6 ×626.8 × 129 mm
(42 $^3/_4$ × 24 $^3/_4$ × 5 $^1/_8$ inches)
1,081.6 × 675.3 × 275 mm
(42 $^3/_4$ × 26 $^5/_8$ × 10 $^7/_8$ inches)
(including optional stand)
(w/h/d, excluding projections)

Mass FWD-S42H1: Approx. 25.5 kg (56.2 lb.)
Approx. 29 kg (63.9 lb.)
(including optional stand)
FWD-S47H1: Approx. 30.5 kg (67.2 lb.)
Approx. 34 kg (75 lb.)
(including optional stand)

Supplied accessories
AC power cord (1)
LAN cable (1) 1-834-812-11 (SONY)
AC plug holder (2)
Cable holder (9)
Remote Control RM-FW002 (1)
Size AA (R6) batteries (2)
Operating instructions (1)

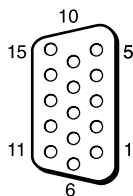
Optional accessories
Display stand SU-S01
Speakers SS-SPG02
Optional adaptors for system expansion, BKM-FW series

Safety regulations

UL 60950-1, CSA No. 60950-1-03 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Design and specifications are subject to change without notice.

Pin assignment

HD15 RGB/COMPONENT connector (D-sub 15-pin)

Pin No.	Signal
1	Red video or C_R/P_R
2	Green video or Y
3	Blue video or C_B/P_B
4	Ground
5	Ground
6	Red ground
7	Green ground
8	Blue ground
9	Not used
10	Ground
11	Ground
12	SDA
13	H sync, Composite sync or Composite Video (as sync signal)
14	V sync
15	SCL

Note

When inputting a component signal, be sure not to input sync signals to pins 13 and 14. If you do so, the picture may not be displayed properly.

Index

AVERTISSEMENT

Pour réduire le risque d'incendie ou d'électrocution, placez cet appareil à l'abri de la pluie et de l'humidité.

De dangereuses hautes tensions circulent à l'intérieur de cet appareil. N'ouvrez pas le châssis. Confiez-en l'entretien exclusivement à un personnel qualifié.

AVERTISSEMENT

CET APPAREIL DOIT ÊTRE RELIÉ À LA TERRE.

Transport

Lorsque que vous transportez l'écran, tenez le par l'appareil lui même et non par les haut parleurs. Dans le cas contraire, ces derniers peuvent se détacher et l'appareil risque de tomber. Ceci pourrait entraîner des blessures.

AVERTISSEMENT

Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupure dans le câblage fixe ou brancher la fiche d'alimentation dans une prise murale facilement accessible proche de l'appareil. En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupure d'alimentation ou débrancher la fiche d'alimentation.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil est numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

La prise doit être près de l'appareil et facile d'accès.

Pour les clients en Europe

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japon.
Le représentant autorisé pour EMC et la sécurité des produits est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question concernant le service ou la garantie, veuillez consulter les adresses indiquées dans les documents de service ou de garantie séparés.

AVERTISSEMENT

1. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des contacts de mise à la terre conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
2. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

Table des matières

Introduction

Emplacement et fonction des pièces et commandes

FR

Raccordements

Utilisation des réglages

Fonctions réseau

Informations supplémentaires

Précautions

Sécurité

- Une plaque signalétique indiquant la tension de service, la consommation électrique, etc., est située à l'arrière de l'appareil.
- Si des solides ou des liquides pénètrent à l'intérieur du châssis, débranchez le moniteur et faites-le vérifier par un technicien qualifié avant de le remettre en service.
- Débranchez le cordon de la prise murale si vous prévoyez de ne pas utiliser le moniteur pendant quelques jours.
- Pour débrancher le cordon d'alimentation secteur, tirez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.

Nettoyage

Veillez à débrancher le cordon d'alimentation avant de nettoyer l'écran.

Nettoyage de l'écran

Ne laissez pas d'objets durs frotter ou cogner la surface de l'écran ou d'objets entrer en contact avec la surface de l'écran car cela risquerait de l'endommager.
La surface de l'écran a bénéficié d'un traitement spécial. Suivez les instructions ci-dessous afin d'éviter tout dysfonctionnement résultant d'une mauvaise manipulation lors du nettoyage de l'écran.

- Nettoyez la surface de l'écran à l'aide d'un chiffon doux afin de le dépoussiérer. Il est conseillé d'utiliser un chiffon de nettoyage ou un chiffon à lunettes.
- Si l'écran est excessivement sale, nettoyez-le à l'aide d'un chiffon de nettoyage légèrement humidifié avec de l'eau.
- N'utilisez jamais d'alcool, d'essence, de dissolvant, de détergent acide ou alcalin, de produits nettoyants abrasifs ou de chiffons traités chimiquement car cela risquerait d'endommager la surface de l'écran.

Nettoyage du châssis

- Eliminez doucement les taches à l'aide d'un chiffon doux et sec. Eliminez les taches tenaces avec un chiffon légèrement imprégné d'une solution détergente neutre, puis essuyez de nouveau la zone avec un chiffon doux et sec.
- N'utilisez pas d'alcool, d'essence, de dissolvant ou d'insecticide. Cela risquerait d'endommager le fini de la surface ou d'effacer les inscriptions sur l'appareil.
- Le nettoyage de l'écran avec un chiffon sale risque de l'endommager.
- Ne laissez pas l'appareil en contact prolongé avec des produits en caoutchouc ou en plastique car cela risquerait de l'endommager ou de détériorer le revêtement de protection.

Ecran LCD

- L'exposition de l'écran LCD au soleil pendant une période prolongée risque de l'endommager. Veillez à prendre en compte cette contrainte lorsque vous utilisez l'appareil à l'extérieur ou à proximité d'une fenêtre.
- N'exercez pas de pression sur l'écran LCD et ne l'éraflez pas. Ne posez pas d'objets sur l'écran. Cela risquerait de perturber l'affichage ou d'endommager l'écran LCD.
- Des lignes horizontales ou une image rémanente peuvent apparaître sur l'écran. Par temps très froid, l'écran risque également de paraître plus sombre. Il ne s'agit pas d'un problème de fonctionnement. L'écran redevient normal lorsque la température augmente.
- La présence prolongée d'une image fixe peut endommager l'écran ou provoquer l'apparition d'une image résiduelle. L'image résiduelle disparaîtra avec le temps. Si une image fantôme est occasionnée, utilisez la fonction d'économiseur d'écran ou un logiciel vidéo ou de traitement des images pour obtenir un mouvement permanent sur l'écran. Si une image fantôme légère (image imprimée) est occasionnée, elle peut s'atténuer mais ce phénomène ne disparaît jamais complètement après s'être produit.
- En cours d'utilisation, la surface de l'écran, le châssis ou le cadre risque de chauffer. Il ne s'agit pas d'un problème de fonctionnement.

Points lumineux et points sombres sur l'écran LCD

Bien que l'écran LCD soit issu d'une technologie de haute précision qui garantit une résolution effective d'au moins 99,99%, il est possible que des points sombres (défauts de pixels) ou des points lumineux (rouges, bleus, verts, etc.) restent allumés ou clignotent en permanence. Ces phénomènes communs sur les écrans LCD sont générés par des défauts de pixels. Ils peuvent survenir après une utilisation prolongée de l'appareil.
Ils ne s'agir en aucun cas d'un problème de fonctionnement.

Installation

- Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit.
- Veillez à assurer une circulation d'air adéquate pour éviter une surchauffe interne de l'appareil. Ne placez pas l'appareil sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation.
- N'installez pas l'appareil à proximité de sources de chaleur, comme un radiateur ou une bouche d'air chaud, ni dans un endroit exposé aux rayons directs du soleil, à de la poussière excessive, à des vibrations ou à des chocs mécaniques.
- Lorsque vous installez plusieurs équipements avec l'appareil, des problèmes peuvent survenir selon leur position les uns par rapport aux autres, tels qu'un mauvais fonctionnement de la télécommande, l'apparition de parasites à l'écran ou sonores.

Remballage

Conservez le carton ainsi que les matériaux d'emballage. Vous pourriez en avoir de nouveau besoin pour transporter l'appareil ultérieurement. Lors du transport de l'appareil, remballez-le comme illustré sur le carton.

Pour toute question au sujet de cet appareil, consultez un distributeur Sony agréé.

Elimination des appareils électriques et électroniques professionnels en fin de vie (Applicable dans les pays de l'Union Européenne et aux autres pays européens disposant de systèmes de collecte sélective)

Ce symbole, apposé sur le produit ou sur son emballage, indique que ce produit ne doit pas être traité avec les déchets ménagers. Il doit être déposé dans un point de collecte spécialisé dans le recyclage des équipements électriques et électroniques. En s'assurant que ce produit est bien mis au rebut de manière appropriée, vous aiderez à prévenir les conséquences négatives potentielles pour l'environnement et la santé humaine. Le recyclage des matériaux aidera à conserver les ressources naturelles. Pour toute information supplémentaire concernant le recyclage de ce produit, contactez votre centre Sony local ou consultez le site web de Sony pour l'Europe destiné aux professionnels :
http://www.sonybiz.net/environment

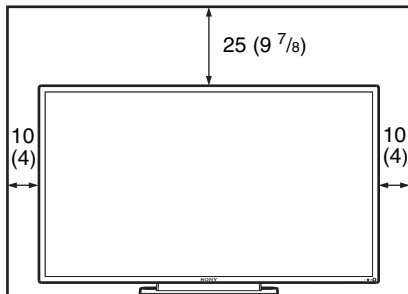
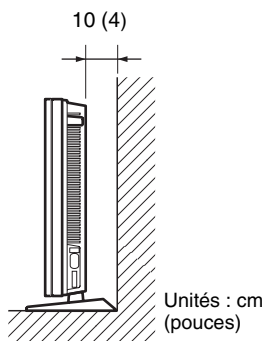
FR

Recommandations pour l'installation

Laissez un espace suffisant autour de l'écran

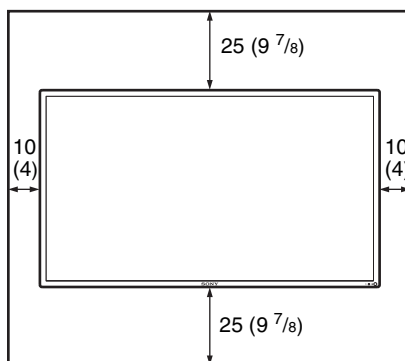
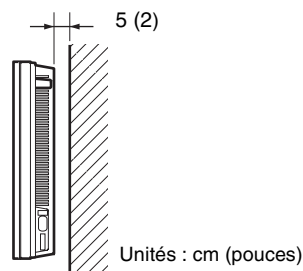
- Veillez à assurer une ventilation adaptée en laissant un espace suffisant autour de l'écran comme illustré ci-dessous afin d'éviter toute surchauffe interne.
- La température ambiante doit être comprise entre 0 °C et 35 °C (32 °F à 95 °F). Faites attention lorsque vous installez l'écran à proximité d'un plafond. La température peut largement y dépasser la température ambiante normale mesurée à un niveau inférieur.
- Lorsque vous utilisez le support, utilisez le support de table SU-S01 approprié (non fourni). Pour savoir comment le fixer, reportez-vous au mode d'emploi du support de table.
- Nous ne pouvons pas spécifier les produits utilisés en ce qui concerne l'installation du matériel tels que les supports de fixation, les vis ou les boulons. L'installation proprement dite est réservée aux revendeurs locaux agréés. Consultez un technicien Sony qualifié pour l'installation.
- Lorsque l'écran est sous tension, il chauffe à l'intérieur. Ceci peut provoquer des brûlures. Evitez de toucher le dessus ou l'arrière de l'écran lorsqu'il est sous tension ou juste après qu'il soit passé en mode de veille.

Utilisation du support de table

Avant

Côté

Remarque

Le déplacement ou l'installation de l'écran lorsqu'il est fixé sur le support (non fourni) nécessite au moins 2 personnes.

Montage horizontal de l'écran

Avant

Montage vertical de l'écran

Avant

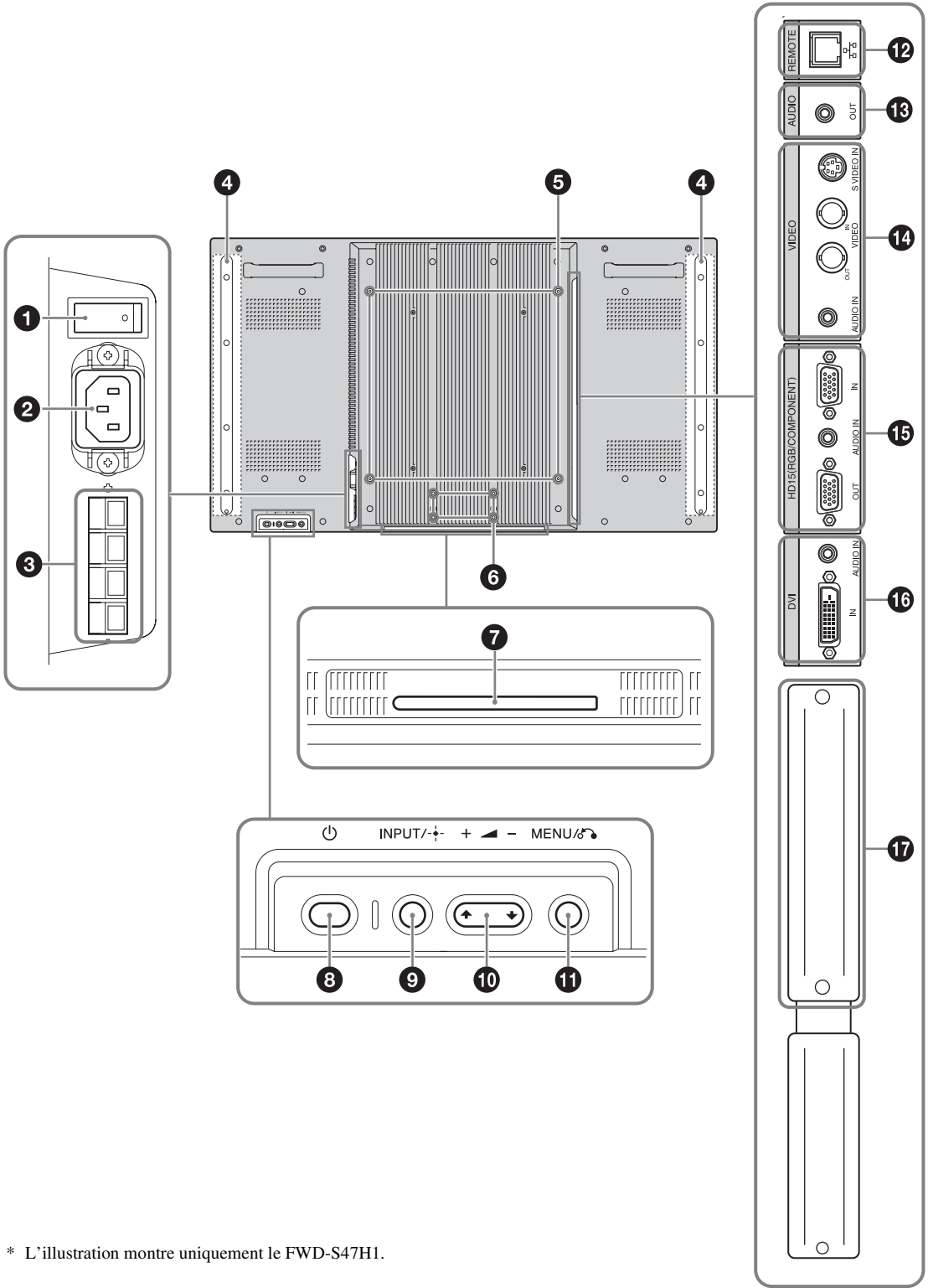
Côté

Emplacement et fonction des pièces et commandes

Avant

FR

Pièces	Description
❶ Logo Sony	Le logo Sony s'allume. Dans l'écran de menu, vous pouvez passer du réglage automatique à divers réglages manuels. Reportez-vous à la section « Logo » à la page 30.
❷ Indicateur ⏻ (de mise sous tension/de veille)	• S'allume en vert lors de la mise sous tension de l'écran. • S'allume en rouge lorsque l'écran est en mode de veille. S'allume en orange lorsque l'écran passe en mode d'économie d'énergie alors qu'il reçoit un signal provenant d'un ordinateur. Lorsque l'indicateur ⏻ clignote en rouge, voir page 37. **Remarque** Lorsque l'option « LED » des réglages « Affichage multiple » est réglée sur « Non » et l'option « Position » n'est pas réglée sur la position inférieure droite, le témoin ne s'allume pas en vert même si l'écran est allumé, sauf si aucun signal ou un signal non pris en charge est reçu.
❸ Capteur de télécommande	Photorécepteur de télécommande.

Arrière

* L’illustration montre uniquement le FWD-S47H1.

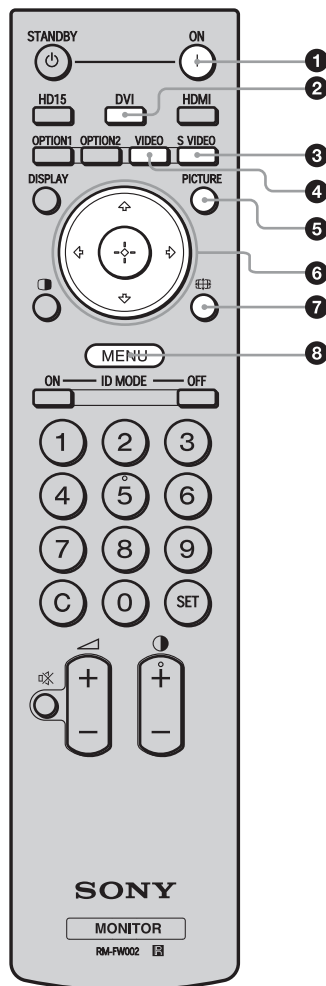
Pièces	Description
❶ Commutateur d'alimentation	Mettez le commutateur d'alimentation sur « ON » (appuyez sur le côté |) lors de la configuration de l'appareil. Lorsque le commutateur d'alimentation est réglé sur « OFF » (appuyez sur le côté ○), la consommation d'énergie est de 0 W.
❷ Prise **AC IN**	Raccordez le cordon d'alimentation secteur fourni à cette prise et à une prise murale. Voir page 17. Une fois le cordon d'alimentation raccordé et le commutateur d'alimentation activé, le témoin ⏻ s'allume en rouge et l'écran passe en mode de veille.
❸ Prise **SPEAKER**	Raccordez les enceintes SS-SPG02 (non fournies) à la prise. Pour plus de détails sur le raccordement des enceintes, reportez-vous à leur mode d'emploi. Pour plus de détails sur le cheminement des cordons d'enceintes, voir page 18.
❹ Positions d'installation des enceintes	Fixez les enceintes SS-SPG02 dédiées.
❺ Trous d'installation du support	Trous pour vis conformes à la norme VESA. (Espacement : 400 mm × 400 mm, vis : M6)
❻ Trous d'installation du support d'affichage approprié	Utilisez ces crochets pour installer le support d'écran SU-S01 (non fourni).
❼ Cache de l'orifice d'installation du support d'affichage dédié	Retirez-le lors de l'installation du support d'affichage SU-S01 (non fourni).
❽ Commutateur ⏻ **(POWER)**	Permet de mettre l'écran sous tension ou hors tension (veille). Fonctionne lorsque le commutateur d'alimentation est réglé sur « ON » (côté |).
❾ Touche **INPUT/ ✢ (ENTER)**	Appuyez sur cette touche pour sélectionner un signal à transmettre à partir du connecteur INPUT ou OPTION. Le signal est commuté comme suit chaque fois que vous appuyez sur la touche INPUT. → S Video → Video → HD15 → DVI → OPTION ─┐ (retour au début) Si un adaptateur en option, qui prend en charge le signal vidéo, n'est pas inséré dans l'emplacement OPTION, OPTION n'est pas disponible. Appuyez sur cette touche pour valider votre choix.
❿ Touche +/–/⇧/⇩ (volume/ curseur)	Appuyez sur cette touche pour commander le volume des enceintes. Lorsque le menu est affiché, appuyez sur cette touche pour déplacer le curseur ou définir une valeur. Appuyez sur cette touche pour valider votre choix.
⓫ Touche **MENU/⟲ (RETURN)**	Appuyez sur cette touche pour afficher les menus. Permet de revenir à l'écran de menu précédent.
⓬ **REMOTE** (10BASE-T/100BASE-TX)	Permet de raccorder l'écran à un réseau à l'aide d'un câble LAN 10BASE-T/100BASE-TX. Vous pouvez affecter différents réglages et contrôler l'écran via le réseau à partir d'un ordinateur. **Attention** • Lorsque vous raccordez le câble LAN de l'appareil à un périphérique, utilisez le câble fourni afin d'éviter tout dysfonctionnement dû aux radiations. • Par mesure de sécurité, ne raccordez pas le connecteur pour le câblage de périphériques pouvant avoir une tension excessive à ce port. Suivez les instructions pour ce port. **Remarque** Lorsque vous utilisez ce connecteur, sélectionnez « Écran » dans « Port réseau ». (page 30)

FR

Pièces	Description
⓭ **AUDIO** (mini-prise stéréo)	Il s'agit de la borne de sortie de contrôle audio pour appareils externes. Emet le son du signal indiqué à l'écran. Emet le son correspondant à l'image active* en mode « P&P » ou « PinP ». **Remarques** • Les paramètres définis en « Mode du son » ou « Sortie haut-p. » ne sont pas pris en compte. • L'état de réduction du bruit défini par la télécommande n'est pas pris en compte.
⓮ Touche **VIDEO**	**S VIDEO IN** (mini DIN à 4 broches) : Se raccorde à la sortie S Video d'un module d'équipement vidéo. **VIDEO IN** (BNC) : Se raccorde à la sortie vidéo d'un module d'équipement vidéo. **VIDEO OUT** (BNC) : Se raccorde à l'entrée vidéo d'un module d'équipement vidéo. Les images provenant de VIDEO IN sont reproduites. **AUDIO IN** (mini-prise stéréo) : Se raccorde à la sortie audio d'un module d'équipement vidéo.
⓯ **HD15 (RGB/ COMPONENT)** (D-sub à 15 broches)	**HD15 (RGB/COMPONENT) IN :** Se raccorde à la sortie du signal analogique RVB ou du signal composante d'un équipement vidéo ou d'un ordinateur. Voir page 42. **AUDIO IN :** Permet de recevoir un signal audio. Se raccorde à la sortie du signal audio d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur. **HD15 (RGB/COMPONENT) OUT :** Se raccorde à l'entrée du signal RVB analogique ou du signal composante d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur. Voir page 42. Les signaux transmis par le connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) IN sont reproduits. **Remarques** • Lors de la transmission d'un signal composante, veillez à ne pas transmettre de signaux de synchronisation aux broches 13 et 14. Sinon, il est possible que l'image ne s'affiche pas correctement. • Si l'écran n'est pas raccordé à l'alimentation secteur ou s'il est en mode de veille, aucun signal n'est reproduit via le connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) OUT.
⓰ **DVI** (DVI-D à 24 broches)	**DVI IN :** Se raccorde à la borne de sortie du signal numérique de l'équipement vidéo ou de l'ordinateur. Prend en charge la protection contre la copie HDCP. **AUDIO IN :** Permet de recevoir un signal audio. Se raccorde à la sortie du signal audio d'un module d'équipement vidéo, etc.
⓱ Emplacement **OPTION** (port VIDEO/COM)	Cet emplacement prend en charge les signaux vidéo et la fonction communication. Insérez un adaptateur en option (de la série BKM-FW) dans cet emplacement pour étendre les fonctions de votre moniteur. Voir page 16.

* Vous pouvez permuter le signal d'entrée et l'état qui correspond à la reproduction du son.

Télécommande

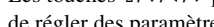
Description des touches

1 Commutateur POWER ON

Appuyez sur ce commutateur pour mettre l'écran sous tension. Fonctionne lorsque le commutateur d'alimentation à l'arrière de l'affichage est réglé sur « ON ».

2 Touche DVI

Appuyez sur cette touche pour sélectionner l'entrée du signal vers le port DVI.

3 Touche S VIDEO

Appuyez sur cette touche pour sélectionner l'entrée du signal d'un module d'équipement vidéo vers le connecteur S VIDEO IN.

4 Touche VIDEO

Appuyez sur cette touche pour sélectionner l'entrée du signal d'un module d'équipement vidéo vers le connecteur VIDEO IN.

5 Touche PICTURE

Permet de sélectionner le « Mode de l'image ». Chaque pression sur cette touche permet de basculer entre « Éclatant », « Standard », « Personnalisé », « Conférence » et « TC Control ».

6 Touches ⇧/⇩/⇦/⇨/⊕

Les touches ⇧/⇩/⇦/⇨ permettent de déplacer le curseur du menu et de régler des paramètres, etc. Appuyez sur ⊕ pour valider le menu ou le réglage sélectionné.
En mode « PAP », vous pouvez commuter le réglage Picture and Picture. Voir page 14.

7 Touche ⊞

Appuyez sur cette touche pour modifier le format de l'écran. Voir page 13.

8 Touche MENU

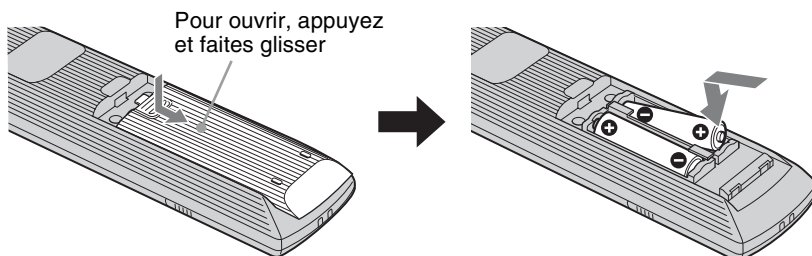
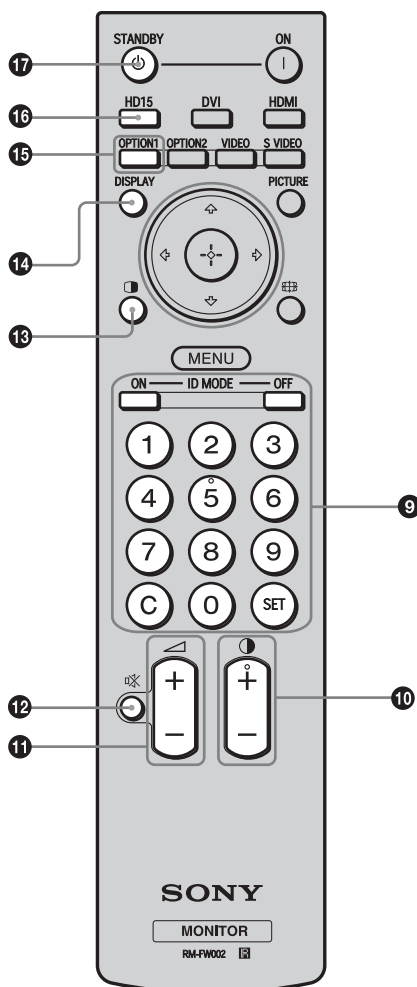
Appuyez sur cette touche pour afficher les menus. Appuyez de nouveau pour les masquer. Voir page 19.

FR

Remarques

- Les touches 5 et ◑ sont dotées d'un point tactile. Utilisez le point tactile comme repère lors de l'utilisation de l'écran.
- Introduisez deux piles AA (R6) (fournies) en faisant correspondre la polarité ⊕ et ⊖ des piles avec celle du logement des piles.

Attention

Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur. Lorsque vous mettez la batterie au rebut, vous devez respecter la législation en vigueur dans le pays ou la région où vous vous trouvez.

❾ Touches ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF)

Vous pouvez faire fonctionner un écran particulier sans affecter d'autres écrans installés en même temps.

- Touche ON : appuyez sur cette touche pour afficher le « Numéro d'index » à l'écran.
- Touches 0-9 : appuyez sur ces touches pour saisir le « Numéro d'index » de l'écran que vous souhaitez faire fonctionner.
- Touche SET : appuyez sur cette touche pour valider le « Numéro d'index » saisi.
- Touche C : appuyez sur cette touche pour effacer le « Numéro d'index » saisi.
- Touche OFF : appuyez sur cette touche pour revenir en mode normal.

Voir page 15.

❿ Touche ◑ +/–

Permet de régler le niveau de l'image (contraste).

⓫ Touche ◿ +/–

Appuyez sur cette touche pour régler le volume.

⓬ Touche 🔇

Appuyez sur cette touche pour couper le son. Appuyez de nouveau pour restaurer le son.

⓭ Touche ◧

Permet de sélectionner le mode « PAP » (Image et Image). Chaque pression sur cette touche permet de basculer entre « P&P », « PinP » et l'écran à une image. Reportez-vous à la page 14.

⓮ Touche DISPLAY

Appuyez sur cette touche pour afficher l'entrée actuellement sélectionnée ainsi que le type du signal d'entrée et le réglage « Format » à l'écran. Appuyez de nouveau pour les masquer. Après être restées affichées pendant quelques instants, les informations disparaissent automatiquement.

⓯ Touche OPTION 1

Si un adaptateur en option est installé, cette touche permet de sélectionner un signal d'entrée de l'équipement raccordé vers l'adaptateur en option.
Si l'adaptateur en option que vous avez installé possède plusieurs connecteurs d'entrée, chaque pression sur la touche permute les signaux d'entrée.

⓰ Touche HD15

Appuyez sur cette touche pour sélectionner le signal d'entrée du connecteur HD15 (RGB/COMPONENT). Le signal RVB ou le signal composante est sélectionné automatiquement ou manuellement selon les paramètres du menu.

⓱ Touche STANDBY

Appuyez sur cette touche pour mettre l'écran en mode de veille.

Remarque

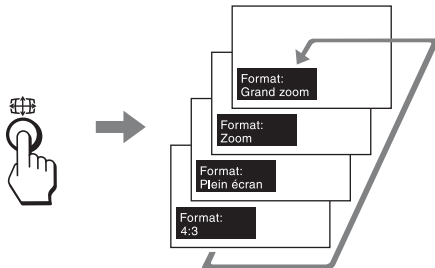
Vous ne pouvez pas utiliser les touches HDMI et OPTION 2 sur cet écran.

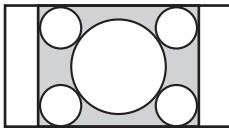
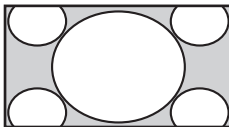
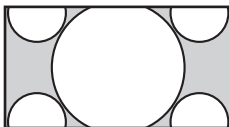
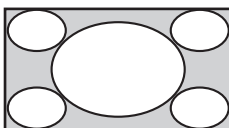
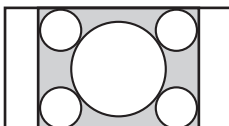
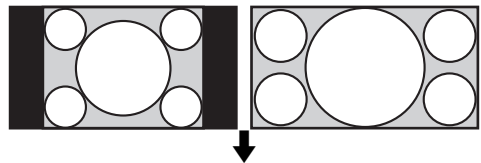
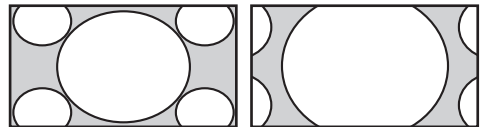
Touches spéciales de la télécommande

Utilisation du Mode cinéma

Vous pouvez modifier le format de l’écran.

Conseil

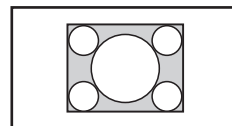
Vous pouvez également accéder aux réglages « Format » dans les réglages « Écran ». Voir page 26, 27.

Pour un signal d’entrée provenant d’un équipement vidéo tel qu’un magnétoscope, un lecteur DVD, etc. (autre qu’une entrée d’ordinateur)

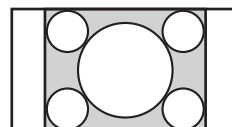
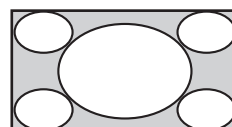
Source d’origine 4:3

Grand zoom

Zoom

Plein écran

4:3

Source d’origine 16:9

Grand zoom

Zoom

Plein écran

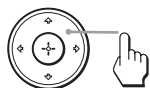
4:3

Pour une entrée d’ordinateur

Les illustrations ci-dessous indiquent la résolution d’entrée 800×600

Réel

Plein écran 1

Plein écran 2

Remarque

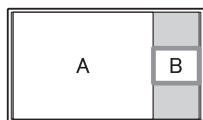
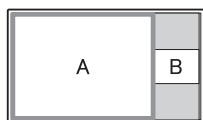
Si la résolution d’entrée est supérieure à la résolution de l’écran (1 920 × 1 080), l’affichage Réel est le même que l’affichage Plein écran 1.

FR

Utilisation du réglage PAP

Vous pouvez afficher deux images provenant de deux sources de signaux différentes, telles qu'un ordinateur et un équipement vidéo, côte à côte.
Vous pouvez aussi permuter les images actives ou modifier l'équilibre des formats d'image.
Vous pouvez également accéder aux réglages « Réglage PAP » dans les réglages « Écran ». Voir page 24.

Curseur signalant l'image active

Pour P&P

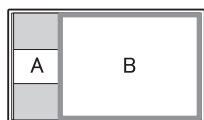
La largeur de A et B est la même.
La hauteur est réglée afin de correspondre au format de chaque image.

Appuyez sur la touche ⇦.

La largeur de A est supérieure à celle de B.
Si le format de A est 4:3, la hauteur de A est égale à la taille de l'écran.

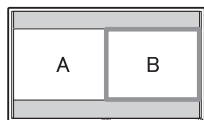
Appuyez sur la touche ⇨.

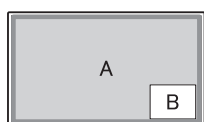
B, à droite, devient l'image active.

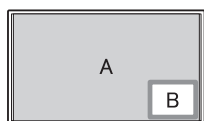
Appuyez sur la touche ⇨.

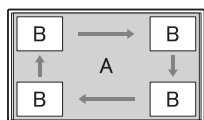
La largeur de A et B est la même.
La hauteur est réglée afin de correspondre au format de chaque image.

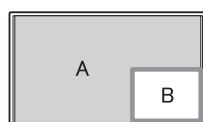
Appuyez sur la touche ⇨.

La largeur de B est supérieure à celle de A.
Si le format de B est 4:3, la hauteur de B est égale à la taille de l'écran.

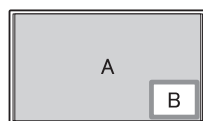
Appuyez sur la touche ⇩.

L'image B de droite est réduite, mais demeure l'image active.

Pour PinP

L'image (B) est incrustée dans l'image principale (A).

Appuyez sur la touche ⇦/⇨.

L'image incrustée (B) devient l'image active.

Appuyez sur la touche ⊕.

La position de l'image incrustée (B) change.

Appuyez sur la touche ⇧.

La taille de l'image incrustée (B) augmente.

Appuyez sur la touche ⇩.

La taille de l'image incrustée (B) diminue.

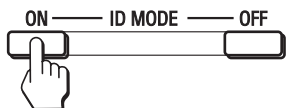
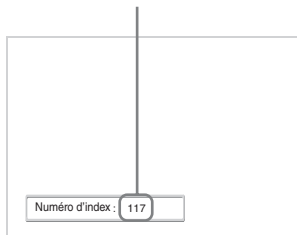
Conseils

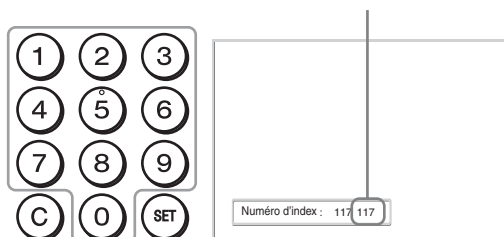
- Le curseur désignant l'image active disparaît après 5 secondes.
- L'image peut être ajustée sur 15 tailles. (Pour P&P)

Utilisation de la touche ID MODE

Vous pouvez faire fonctionner un écran particulier sans affecter d'autres écrans installés en même temps.

1 Appuyez sur la touche **ON** .

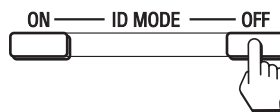
Le « Numéro d'index » de l'écran s'affiche en caractères noirs dans le menu inférieur gauche de l'écran. (Chaque écran possède un « Numéro d'index » individuel préréglé compris entre 1 et 255.)

2 Saisissez le « Numéro d'index » de l'écran que vous souhaitez faire fonctionner à l'aide des touches 0 à 9 de la télécommande.

Le numéro saisi s'affiche à droite du « Numéro d'index » de chaque écran.

3 Appuyez sur la touche **SET** .

Les caractères sur l'écran sélectionné deviennent verts, tandis que les autres deviennent rouges.

Vous pouvez faire fonctionner l'écran particulier repéré par les caractères verts uniquement.
Seuls le commutateur POWER ON et la touche STANDBY/ID MODE-OFF fonctionnent également avec d'autres écrans.

4 Lorsque toutes les modifications de réglages sont terminées, appuyez sur la touche **OFF**.

L'affichage revient à l'écran normal.

Correction du Numéro d'index

Appuyez sur la touche **C** pour effacer le « Numéro d'index » saisi. Retournez à l'étape 2, puis saisissez un nouveau « Numéro d'index ».

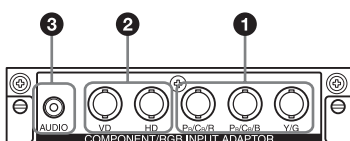
Conseil

Pour modifier le « Numéro d'index » de l'écran, reportez-vous au « Numéro d'index » dans « Réglage commande », page 28.

FR

Adaptateurs en option

La borne de l'emplacement OPTION ⓱ (page 10) située sur le côté de l'équipement est une borne enfichable. Elle peut être raccordée à l'adaptateur en option suivant (non fourni).
Pour plus de détails sur l'installation, consultez votre revendeur Sony.
Pour plus de détails sur les adaptateurs en option pour l'extension du système, reportez-vous au mode d'emploi correspondant.

Adaptateur COMPONENT/RGB INPUT BKM-FW11

❶ **Y/G, P_B/C_B/B, P_R/C_R/R IN (BNC)** : se raccorde à la sortie du signal RGB analogique ou du signal composante d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur.

❷ **HD, VD IN (BNC)** : se raccorde à la sortie du signal de synchronisation d'un ordinateur.

Remarque

Lors de la transmission d'un signal composante, veillez à ne pas transmettre de signaux de synchronisation aux connecteurs HD et VD. Sinon, il est possible que l'image ne s'affiche pas correctement.

❸ **AUDIO (mini-prise stéréo)** : permet de recevoir un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur.

Adaptateur HDMI INPUT BKM-FW15

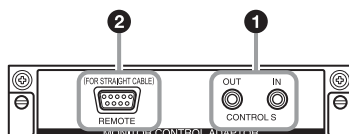
Vous pouvez bénéficier de vidéos à définition améliorée ou haute définition et d'un son numérique deux canaux.
Le mode approprié pour un module d'équipement audio/vidéo ou pour un ordinateur est automatiquement sélectionné selon l'équipement raccordé.

Remarque

Veillez à utiliser uniquement un câble HDMI (non fourni) portant le logo HDMI.

Adaptateur HD-SDI/SDI INPUT BKM-FW16

Se raccorde à la sortie du signal HD-SDI d'un module d'équipement vidéo.

Adaptateur MONITOR CONTROL BKM-FW21

❶ **CONTROL S IN/OUT** (mini-prise) : vous pouvez commander plusieurs appareils avec une seule télécommande lorsque l'écran est raccordé au connecteur CONTROL S d'un appareil vidéo ou d'un autre écran. Raccordez le connecteur CONTROL S OUT de cet adaptateur au connecteur CONTROL S IN de l'autre appareil, puis raccordez le connecteur CONTROL S IN de cet adaptateur au connecteur CONTROL S OUT de l'autre appareil.

❷ **REMOTE** (D-sub à 9 broches) : ce connecteur permet de commander l'écran à l'aide du protocole RS-232C. Pour plus de détails, contactez votre revendeur Sony agréé.

Remarques

- Vous ne pouvez pas utiliser simultanément le connecteur REMOTE et le connecteur REMOTE (LAN) ⓬ (page 9) situés sur le côté de l'équipement.
- Lorsque vous utilisez le connecteur REMOTE, sélectionnez « Option » dans « Port réseau ». (page 30)

Adaptateur STREAMING RECIVER BKM-FW50

Cet adaptateur vous permet d'utiliser cet écran pour un programme d'identification visuelle numérique. Vous pouvez aisément regarder des films, des photos ou écouter de la musique à l'arrière-plan aux formats de données désignés, simplement en insérant un support d'enregistrement. Vous pouvez également utiliser un réseau pour afficher des images depuis un ordinateur distant sur l'écran.

Remarque

Une carte mémoire flash compacte est nécessaire.

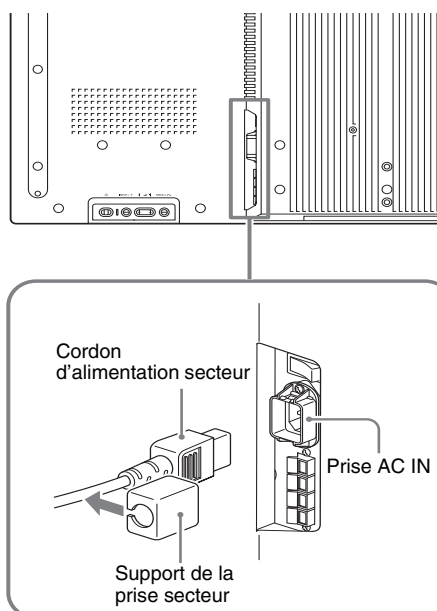
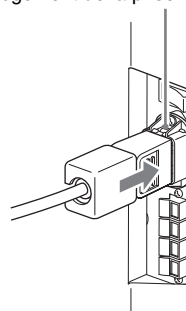
Avant de commencer

- Assurez-vous dans un premier temps que tous les appareils sont hors tension.
- Utilisez des câbles adaptés aux appareils à raccorder.
- Insérez les câbles à fond dans les connecteurs ou les prises. Une connexion lâche risque de provoquer du souffle ou d'autres parasites.
- Pour débrancher le câble, saisissez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le câble lui-même.
- Consultez également le mode d'emploi de l'appareil à raccorder.
- Insérez bien la fiche dans la prise AC IN.
- Utilisez l'un des deux supports de la prise secteur (fournis) pour maintenir la prise secteur en place.

Raccordement des enceintes

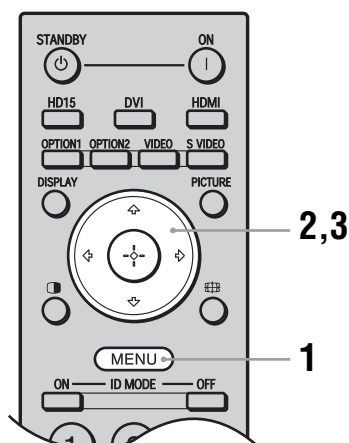
Raccordez les enceintes SS-SPG02 (non fournies). Assurez-vous de raccorder les enceintes correctement. Pour plus de détails sur le raccordement des enceintes, reportez-vous à leur mode d'emploi. Pour plus de détails sur le cheminement des cordons d'enceintes, voir page 18.

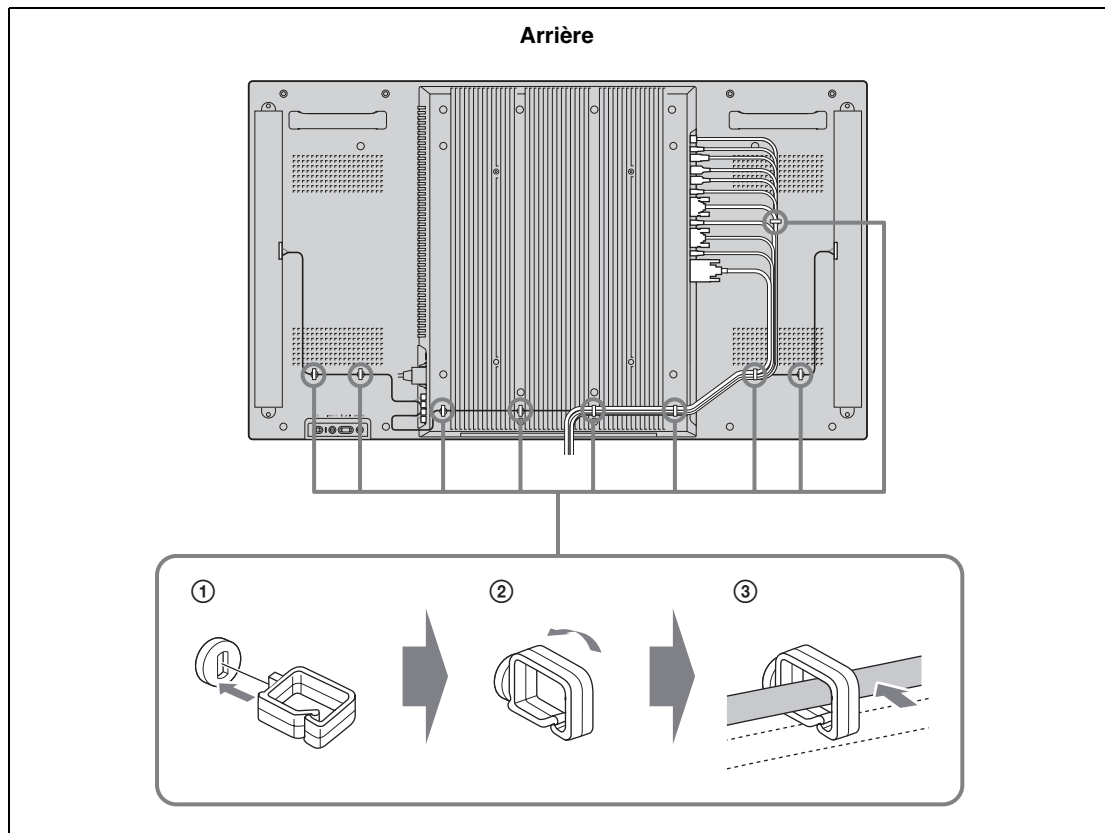
Raccordement du cordon d'alimentation secteur

1 Branchez le cordon d'alimentation secteur dans la prise AC IN. Fixez ensuite le support de la prise secteur (fourni) au cordon d'alimentation secteur.

2 Faites glisser le support de la prise secteur par-dessus le cordon jusqu'à ce qu'il s'enclenche dans le logement de la prise AC IN.

Retrait du cordon d'alimentation secteur

Après avoir exercé une pression sur le support de la prise secteur pour le libérer, saisissez la prise et tirez le cordon d'alimentation secteur.

FR

Gestion des câbles

Utilisation des porte-câbles

Les porte-câbles (×9) fournis vous permettent de regrouper les câbles en un faisceau net. Fixez les porte-câbles comme indiqué dans l'illustration ci-dessous.

Description générale des menus

1 Appuyez sur la touche MENU.

2 Appuyez sur ⇧/⇩ pour sélectionner l'icône du menu de votre choix.

3 Appuyez sur ⊕ ou ⇨.

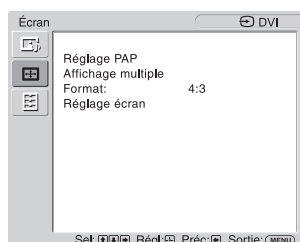
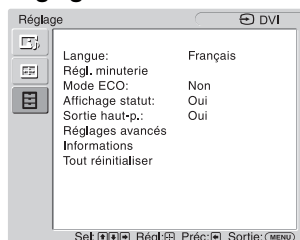
Pour quitter le menu, appuyez sur la touche MENU.

Pour modifier la langue d'affichage à l'écran

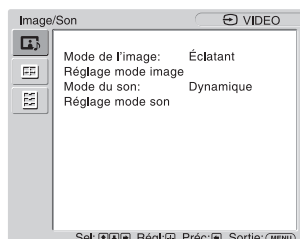
Sélectionnez la langue d'affichage souhaitée pour les messages et les réglages parmi les langues suivantes : « English », « Français », « Deutsch », « Español », « Italiano » ou « 日本語 ».
« English » (anglais) est la langue par défaut.
Voir page 28.

FR

Les réglages permettent d'accéder aux fonctions suivantes :

Réglages	Réglages/modifications disponibles
Image/Son	Mode de l'image : (page 20, 22) Réglage mode image (page 20, 22) Mode du son : (page 21, 23) Réglage mode son (page 21, 23) **Remarque** Vous ne pouvez pas régler ou modifier « Mode de l'image » ou « Réglage mode image » si aucun signal d'entrée n'est reçu.
Écran	Réglage PAP (page 24, 27) Affichage multiple (page 25, 27) Format : (page 26, 27) Réglage écran (page 26, 27)
Réglage	Langue : (page 28) Régl. minuterie (page 28) Mode ECO : (page 28) Affichage statut : (page 28) Sortie haut-p. : (page 28) Réglages avancés (page 28) Informations (page 31) Tout réinitialiser (page 31)

* Il est possible que les icônes de menu affichées en bas de l'écran ne fonctionnent pas selon les réglages.

Réglages Image/Son

Pour l'entrée vidéo

Pour sélectionner une option et changer le réglage, appuyez sur ⇧/⇩/⇦/⇨.
Appuyez sur ⊕ pour valider votre choix.
Les réglages « Image/Son » comprennent les options suivantes :

Mode de l'image

« Éclatant » : Pour sélectionner un réglage maximal des contrastes et de la netteté de l'image.
« Standard » : Pour sélectionner un réglage moyen de l'image.
« Personnalisé » : Vous permet de mémoriser vos réglages personnels.
« Conférence » : Pour régler la qualité de l'image des vidéoconférences sous un éclairage fluorescent.
« TC Control » : Le réglage est commun à « Éclatant ». Vous pouvez également utiliser la fonction « True Color Control » (voir ci-après).

Conseil
Pour passer de l'option « Mode de l'image » à une autre, vous pouvez également utiliser la touche PICTURE de la télécommande.

Remarques

- « Conférence » risque de ne pas être opérante, selon l'environnement ou le système de conférence vidéo utilisé. Dans ce cas, réglez la qualité de l'image, basculez vers l'autre réglage de « Mode de l'image », etc.
- Dans « TC Control », « Plus lumineux » est réglé sur Non.

Réglage mode image

« Rétro-éclairage » : A utiliser pour augmenter ou diminuer la luminosité de l'écran.
« Contraste » : A utiliser pour augmenter ou diminuer le contraste de l'image.
« Luminosité » : A utiliser pour augmenter ou diminuer la luminosité de l'écran.
« Chrominance » : A utiliser pour augmenter ou diminuer l'intensité des couleurs.
« Phase » : A utiliser pour régler les tons des couleurs de l'image.
« Netteté » : A utiliser pour augmenter ou diminuer la netteté de l'image.
« Réduction du bruit » : A utiliser pour réduire le niveau de bruit de l'appareil raccordé. Vous avez le choix entre les valeurs suivantes pour le niveau de bruit : « Non », « Bas », « Moyen », « Haut »
« CineMotion » : Sélectionnez « Automatique » pour optimiser la lecture de l'image filmée qui est automatiquement détectée et ajustée selon un processus d'ajustement inversé de l'image 3-2 ou 2-2. Les images dynamiques apparaitront alors plus nettes et naturelles. Sélectionnez « Non » pour désactiver la détection.
« Image Dynamique » : Sélectionnez « Oui » pour améliorer le contraste en rendant le blanc plus lumineux et le noir plus sombre.
« Correct. gamma » : Équilibre les parties claires et foncées de l'image. Vous avez le choix entre les valeurs « Haut », « Moyen » et « Bas ».

Remarques

- « Option » peut uniquement être défini en cas d'entrée DVI.
- Le gamma correspond à la GSDF (Grayscale Standard Display Function) des normes DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine). Toutefois, ce réglage ne vaut qu'à titre de référence et ne peut pas être utilisé pour réaliser un diagnostic médical.

« Temp. couleur » : Les tonalités blanches peuvent être ajustées selon vos préférences. Les paramètres réglés par défaut sont ajustés sur la température des couleurs.

« Froide » : Sélectionnez pour donner une teinte bleuâtre aux couleurs blanches.
« Neutre » : Sélectionnez pour donner une teinte neutre aux couleurs blanches.
« Chaude » : Sélectionnez pour donner une teinte rougeâtre aux couleurs blanches.
« Personnalisé » : Permet d'obtenir une plus large gamme de blancs.

Conseil

Permet de restaurer les réglages par défaut en sélectionnant « Réinitialiser » dans l'écran de réglage des tons.

« Plus lumineux » : Accentue la luminosité de l'image.

Remarques

- Lorsque « Plus lumineux » est réglé sur « Oui », vous ne pouvez pas régler les paramètres « Rétro-éclairage », « Contraste », « Luminosité » ou « Temp. couleur ».
- Lorsque « Plus lumineux » est réglé sur « Oui » et « Mode ECO » est réglé sur « Non », la luminosité est maximale.

« True Color Control » : Pour régler la teinte et la saturation de chacune de ces quatre couleurs : rouge, vert, jaune et bleu. Vous pouvez également sélectionner des couleurs spécifiques de l'image.
En sélectionnant la couleur à régler, vous pourrez vérifier quelle zone de l'image sera modifiée. Vous pouvez ensuite régler la couleur choisie en utilisant la matrice couleur.

Remarques

- Cette option peut être réglée lorsque « Mode de l'image » est réglé sur « TC Control ».
- En mode « PAP », cette option ne peut pas être sélectionnée. Même si vous sélectionnez cette option dans l'écran à une image, il est possible que le réglage de cette option ne soit pas appliqué en mode « PAP »

« Réinitialiser » : Pour réinitialiser tous les réglages de « Réglage mode image » à leur valeur par défaut.

Remarques

- « Phase » n'est pas disponible si l'entrée Video (Vidéo) ou S Video (S Video) est sélectionnée et si le système de couleurs du signal vidéo n'est pas NTSC.
- « Image Dynamique » n'est pas disponible lorsque le « Mode de l'image » est réglé sur « Conférence » ou « TC Control ».
- Vous pouvez faire des réglages et des ajustements pour chaque « Mode de l'image », mais les paramètres « Rétro-éclairage », « Réduction du bruit » et « CineMotion » sont communs à tous les « Mode de l'image ».
- « Image Dynamique » et « CineMotion » ne fonctionnent pas en mode PAP.

FR

Mode du son

Vous pouvez régler le son reproduit par les enceintes SS-SPG02 (non fournies) à l'aide des différents réglages du « Mode du son ».
« Dynamique » : Sélectionnez pour augmenter les aigus et les graves.
« Standard » : Réglage plat.
« Personnalisé » : Vous permet de mémoriser vos réglages personnels.

Réglage mode son

« Aigu » : A utiliser pour augmenter ou réduire le niveau des sons plus aigus.
« Grave » : A utiliser pour augmenter ou réduire le niveau des sons plus graves.
« Balance » : A utiliser pour accentuer la balance de l'enceinte droite ou gauche.
« Surround » : Sélectionnez le mode ambiophonique selon le type d'image.

« Non » : Aucune sortie surround.
« Hall » : Lorsque vous souhaitez augmenter la sensation d'enveloppement du son stéréo de vos films et programmes musicaux.
« Simul. » : Lorsque vous souhaitez augmenter la présence audio de vos programmes mono ordinaires ou d'actualités télévisées à l'aide d'un son stéréo simulé.

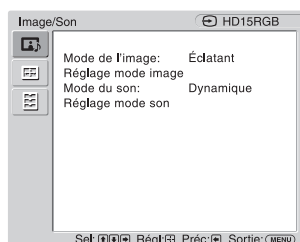
« Réinitialiser » : Pour réinitialiser tous les réglages de « Réglage mode son » à leur valeur par défaut.

Conseils

- Vous pouvez modifier les réglages « Réglage mode image » (« Contraste », « Luminosité », « Chrominance », etc.) pour chaque « Mode de l'image ».
- Vous pouvez modifier les réglages de « Réglage mode son » (« Aigu » et « Grave ») lorsque le « Mode du son » est réglé sur « Personnalisé ».

Remarque

En mode « PAP », seuls les paramètres « Image/Son » pour l'image active peuvent être ajustés.

Pour une entrée d'ordinateur

Lorsque l'entrée est commutée sur une source d'entrée de l'ordinateur, les réglages « Image/Son » spécifiques à l'entrée de l'ordinateur sont appliqués. Les réglages « Image/Son » pour l'ordinateur incluent les options suivantes :

Mode de l'image

« Éclatant » : Pour sélectionner un réglage maximal des contrastes et de la netteté de l'image.
« Standard » : Pour sélectionner un réglage moyen de l'image.
« Personnalisé » : Vous permet de mémoriser vos réglages personnels.
« Conférence » : Pour régler la qualité de l'image des vidéoconférences sous un éclairage fluorescent.
« TC Control » : Le réglage est commun à « Éclatant ». Vous pouvez également utiliser la fonction « True Color Control » (voir ci-après).

Conseil

Pour passer de l'option « Mode de l'image » à une autre, vous pouvez également utiliser la touche PICTURE de la télécommande.

Remarques

- « Conférence » risque de ne pas être opérante, selon l'environnement ou le système de conférence vidéo utilisé. Dans ce cas, réglez la qualité de l'image, basculez vers l'autre réglage de « Mode de l'image », etc.
- Dans « TC Control », « Plus lumineux » est réglé sur Non.

Réglage mode image

« Rétro-éclairage » : A utiliser pour augmenter ou diminuer la luminosité de l'écran.
« Contraste » : A utiliser pour augmenter ou diminuer le contraste de l'image.
« Luminosité » : A utiliser pour augmenter ou diminuer la luminosité de l'écran.
« Correct. gamma » : Équilibre les parties claires et foncées de l'image. Vous avez le choix entre les valeurs « Haut », « Moyen » et « Bas ».

Remarques

- « Option » peut uniquement être défini en cas d'entrée DVI.
- Le gamma correspond à la GSDF (Grayscale Standard Display Function) des normes DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine). Toutefois, ce réglage ne vaut qu'à titre de référence et ne peut pas être utilisé pour réaliser un diagnostic médical.

« Temp. couleur » : Les tonalités blanches peuvent être ajustées selon vos préférences. Les paramètres réglés par défaut sont ajustés sur la température des couleurs.

« Froide » : Sélectionnez pour donner une teinte bleuâtre aux couleurs blanches.
« Neutre » : Sélectionnez pour donner une teinte neutre aux couleurs blanches.
« Chaude » : Sélectionnez pour donner une teinte rougeâtre aux couleurs blanches.
« Personnalisé » : Permet d'obtenir une plus large gamme de blancs.

Conseil

Permet de restaurer les réglages par défaut en sélectionnant « Réinitialiser » dans l'écran de réglage des tons.

« Plus lumineux » : Accentue la luminosité de l'image.

Remarques

- Lorsque « Plus lumineux » est réglé sur « Oui », vous ne pouvez pas régler les paramètres « Rétro-éclairage », « Contraste », « Luminosité » ou « Temp. couleur ».
- Lorsque « Plus lumineux » est réglé sur « Oui » et « Mode ECO » est réglé sur « Non », la luminosité est maximale.

« True Color Control » : Pour régler la teinte et la saturation de chacune de ces quatre couleurs : rouge, vert, jaune et bleu. Vous pouvez également sélectionner des couleurs spécifiques de l'image.
En sélectionnant la couleur à régler, vous pourrez vérifier quelle zone de l'image sera modifiée. Vous pouvez ensuite régler la couleur choisie en utilisant la matrice couleur.

Remarques

- Cette option peut être réglée lorsque « Mode de l'image » est réglé sur « TC Control ».
- En mode « PAP », cette option ne peut pas être sélectionnée. Même si vous sélectionnez cette option dans l'écran à une image, il est possible que le réglage de cette option ne soit pas appliqué en mode « PAP »

« Réinitialiser » : Pour réinitialiser tous les réglages de « Réglage mode image » à leur valeur par défaut.

Remarque

Vous pouvez faire des réglages et des ajustements pour chaque « Mode de l'image », mais les paramètres « Rétro-éclairage » sont communs à tous les « Mode de l'image ».

Mode du son

Vous pouvez régler le son reproduit par les enceintes SS-SPG02 (non fournies) à l'aide des différents réglages du « Mode du son ».
« Dynamique » : Sélectionnez pour augmenter les aigus et les graves.
« Standard » : Réglage plat.
« Personnalisé » : Vous permet de mémoriser vos réglages personnels.

Réglage mode son

« Aigu » : A utiliser pour augmenter ou réduire le niveau des sons plus aigus.
« Grave » : A utiliser pour augmenter ou réduire le niveau des sons plus graves.
« Balance » : A utiliser pour accentuer la balance de l'enceinte droite ou gauche.
« Surround » : Sélectionnez le mode ambiophonique selon le type d'image.
« Non » : Aucune sortie surround.
« Hall » : Lorsque vous souhaitez augmenter la sensation d'enveloppement du son stéréo de vos films et programmes musicaux.
« Simul. » : Lorsque vous souhaitez augmenter la présence audio de vos programmes mono ordinaires ou d'actualités télévisées à l'aide d'un son stéréo simulé.
« Réinitialiser » : Pour réinitialiser tous les réglages de « Réglage mode son » à leur valeur par défaut.

Conseils

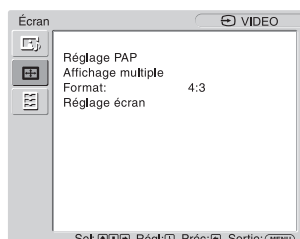
- Vous pouvez modifier les réglages « Réglage mode image » (« Contraste », « Luminosité », « Chrominance », etc.) pour chaque « Mode de l'image ».
- Vous pouvez modifier les réglages de « Réglage mode son » (« Aigu » et « Grave ») lorsque le « Mode du son » est réglé sur « Personnalisé ».

Remarques

- « Chrominance », « Phase », « Netteté », « Réduction du bruit », « CineMotion » et « Image Dynamique » ne sont pas disponibles pour l'entrée provenant de l'ordinateur.
- En mode « PAP », seuls les paramètres « Image/Son » de l'image active peuvent être ajustés.

FR

Réglages Écran

Pour l'entrée vidéo

Pour sélectionner une option et changer le réglage, appuyez sur ⇧/⇩/⇦/⇨.
Appuyez sur ⊕ pour valider votre choix.
Les réglages « Écran » comprennent les options suivantes :

Réglage PAP

Vous pouvez afficher deux images provenant de deux sources de signaux différentes, telles qu'un ordinateur et un équipement vidéo, côte à côte.

« **PAP** »

« **Non** » **:** Désactive la fonction « PAP ».
« **P&P** » **:** Affiche deux images simultanément côte à côte.
« **PinP** » **:** Affiche deux images, l'une étant incrustée dans l'image principale.

Pour P&P

« **Image active** » **:** Sélectionnez l'écran à utiliser.

« **Gauche** » **:** Permet d'activer l'image de gauche et de l'afficher.
« **Droite** » **:** Permet d'activer l'image de droite et de l'afficher.
« **Échanger** » **:** Permet de permuter les deux images côte à côte.

« **Taille image** » **:** Permet d'équilibrer les deux images côte à côte. Réglez l'équilibre en appuyant sur la touche ⇦ ou ⇨, puis appuyez sur la touche ⊕ pour valider. (page 14)

Pour PinP

« **Image active** » **:** Sélectionnez l'écran à utiliser.

« **Principal** » **:** Permet d'activer l'image principale et de l'afficher.
« **Sous** » **:** Permet d'activer l'image incrustée et de l'afficher.
« **Échanger** » **:** Permet de permuter l'image principale et l'image incrustée.

« **Taille image** » **:** A utiliser pour régler la taille de l'image incrustée. Vous avez le choix entre « Grand » et « Petit ».

« **Position de l'image** » **:** A utiliser pour régler la position de l'image incrustée à l'aide des touches ⇧/⇩/⇦/⇨, puis de la touche ⊕.

Conseil

Vous ne pouvez pas modifier le format en mode « PAP ». L'image est affichée au dernier format utilisé avant la sélection du mode « PAP ».

Combinaisons de deux images disponibles

		S Video	Video	RGB/YUV		DVI	OPTION			
				RGB	Component		RGB	Component	HDMI	HD-SDI/ SDI
S Video				○	○	○	○	○	○	○
Video				○	○	○	○	○	○	○
RGB/YUV	RGB	○	○			○		○2)	○	○
	Component	○	○			○	○1)		○	○
DVI		○	○	○	○		○	○		

1) Pris en charge si « Écran » est réglé sur « YUV » ou si « Option » est réglé sur « RGB » dans « RGB/YUV ».
2) Pris en charge si « Écran » est réglé sur « RGB » ou si « Option » est réglé sur « YUV » dans « RGB/YUV ».

Conseil

En mode « PAP », les images provenant du BKM-FW50 sont considérées comme celles de la sortie RGB indiquée dans le tableau.

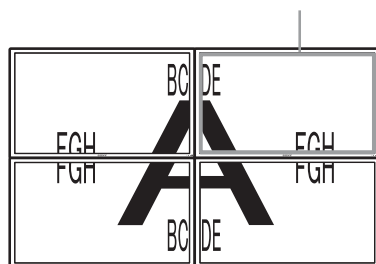
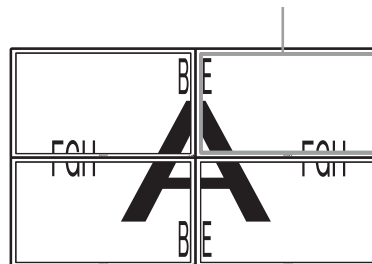
Affichage multiple

Permet d'effectuer des réglages pour raccorder plusieurs écrans afin de former un mur vidéo.

« Affichage multiple »

- **« Non » :** Utilise un seul écran.
- **« 2×2 »/« 3×3 »/« 4×4 » :** Permet de connecter plusieurs écrans (2, 3 ou 4) verticalement ou horizontalement.
- **« 1×2 »/« 1×3 »/« 1×4 » :** Permet de connecter plusieurs écrans (2, 3 ou 4) horizontalement.
- **« 2×1 »/« 3×1 »/« 4×1 » :** Permet de connecter plusieurs écrans (2, 3 ou 4) verticalement.

« Position » : Sélectionnez la position de chaque écran dans la disposition du mur vidéo à l'aide des touches ⇧/⇩/⇦/⇨. Appuyez sur ⊕ pour sélectionner la position.

« Format de sortie » : La sélection des deux formats de sortie de l'image est possible comme indiqué ci-dessous. En sélectionnant simplement l'un des formats, une image appropriée sera reproduite sans régler manuellement la position horizontale ou verticale. Sélectionnez « Tuiles » ou « Fenêtre ».

Pour afficher un signal complet sur chaque écran.

Pour afficher une grande image sur plusieurs écrans de façon naturelle.
Une partie du signal disparaît derrière l'encadrement.

« LED » : Avec « Oui », l'indicateur ⏻ sur le panneau avant (page 7) est allumé en continu, tandis qu'avec « Non », l'indicateur ⏻ sur le panneau avant est éteint en continu.

Remarques

- L'option « Affichage multiple » permet d'afficher une image agrandie en gardant le réglage « Format » sélectionné pour une entrée vidéo, dans la mesure du possible, et permet d'afficher une image agrandie avec l'option « Format » réglée sur « Plein écran 2 » pour l'entrée de l'ordinateur.
- Vous pouvez régler « Affichage multiple » uniquement si la fonction « PAP » est désactivée.
- Si l'option « Position » est réglée sur le bas à droite, l'indicateur ⏻ s'allume même si l'option « LED » est réglée sur « Non ». L'indicateur s'allume également même si l'écran est éteint (en veille), les erreurs sont détectées ou l'écran est en mode veille, ce qui inclut l'absence de signaux ou des signaux non pris en charge.

Format

« Grand zoom » : Sélectionnez pour agrandir l'image en plein écran avec un minimum de distorsions.
« Zoom » : Sélectionnez pour agrandir l'image d'origine sans générer de distorsions du format de l'image.
Voir page 13.
« Plein écran » : Sélectionnez pour agrandir horizontalement l'image d'origine en plein écran si la source d'origine est 4:3 (source en définition standard). Si la source d'origine est 16:9 (source en Haute Définition), sélectionnez ce mode pour afficher l'image 16:9 dans son format d'origine.
« 4:3 » : Sélectionnez pour afficher toutes les images dans leur taille d'origine au format 4:3.

Conseils

- Pour passer de l'option « Format » à une autre, vous pouvez également utiliser la touche de la télécommande.
- Sélectionnez « Zoom » pour afficher les films ou toute autre information et toute autre donnée du DVD avec des bandes noires en utilisant la totalité de la surface utile de l'écran.

Remarque

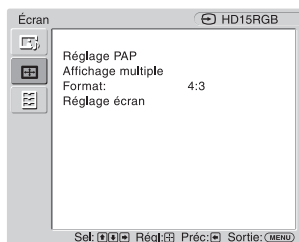
Vous ne pouvez pas régler « Format » en utilisant la fonction « PAP » ou « Affichage multiple ».

Réglage écran

« Taille horizontale » : Vous permet de régler la taille horizontale de l'image. Appuyez sur les touches ⇦/⇨, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Pos. horizontale » : Permet de déplacer la position de l'image vers la gauche ou vers la droite dans la fenêtre. Appuyez sur les touches ⇦/⇨, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Taille verticale » : Vous permet de régler la taille verticale de l'image. Appuyez sur les touches ⇧/⇩, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Pos. verticale » : Vous permet de déplacer la position de l'image vers le haut ou vers le bas dans la fenêtre. Appuyez sur les touches ⇧/⇩, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Réinitialiser » : Pour réinitialiser tous les réglages de « Réglage écran » à leur valeur par défaut.

Remarques

- « Réglage écran » n'est pas disponible lors de l'utilisation de la fonction « PAP ».
- Si aucun signal n'est en cours de transmission, aucune option des réglages « Écran » ne peut être sélectionnée, à l'exception de « Réglage PAP » et « Affichage multiple ».

Pour une entrée d'ordinateur

Lorsque l'entrée est commutée sur une source d'entrée de l'ordinateur, les réglages « Écran » spécifiques à l'entrée de l'ordinateur sont appliqués. Les réglages « Écran » pour l'ordinateur incluent les options suivantes :

Réglage PAP

Reportez-vous à « Réglage PAP » pour l'entrée vidéo (page 24).

Affichage multiple

Reportez-vous à « Affichage multiple » pour l'entrée vidéo (page 25).

Format

« Plein écran 1 » : Sélectionnez cette option pour agrandir l'image afin de remplir la zone d'affichage verticalement, tout en conservant le rapport horizontal/vertical d'origine. Un cadre noir apparaît autour de l'image.
« Plein écran 2 » : Sélectionnez pour agrandir l'image jusqu'à ce qu'elle remplisse la zone d'affichage.
« Réel » : Sélectionnez pour afficher l'image avec son nombre de points d'origine.

Remarques

- Vous ne pouvez pas régler « Format » en utilisant la fonction « PAP » ou « Affichage multiple ».
- Si la résolution d'entrée est supérieure à la résolution de l'écran (1 920 × 1 080), l'affichage « Réel » est le même que l'affichage « Plein écran 1 ».

FR

Réglage écran

« Réglage automatique » : Sélectionnez « OK » pour régler automatiquement la position de l'écran et la phase de l'image lorsque l'écran reçoit un signal d'entrée provenant de l'ordinateur raccordé.
Notez que l'option « Réglage automatique » risque de ne pas fonctionner correctement avec certains signaux d'entrée. Dans ce cas, réglez manuellement les options ci-dessous.
« Phase » : Sélectionnez pour ajuster la phase quand l'écran émet des papillotements.
« Espacement » : Sélectionnez pour ajuster l'espacement lorsque des bandes verticales indésirables apparaissent sur l'image.

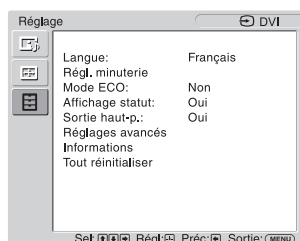
Conseil

« Réglage automatique », « Phase », « Espacement » ne sont pas disponibles lorsqu'un signal numérique tel que DVI est reçu.

« Taille horizontale » : Vous permet de régler la taille horizontale de l'image. Appuyez sur les touches ⇦/⇨, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Pos. horizontale » : Permet de déplacer la position de l'image vers la gauche ou vers la droite dans la fenêtre. Appuyez sur les touches ⇦/⇨, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Taille verticale » : Vous permet de régler la taille verticale de l'image. Appuyez sur les touches ⇧/⇩, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Pos. verticale » : Vous permet de déplacer la position de l'image vers le haut ou vers le bas dans la fenêtre. Appuyez sur les touches ⇧/⇩, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Réinitialiser » : Pour réinitialiser tous les réglages de « Réglage écran » à leur valeur par défaut.

Remarque

Si aucun signal n'est en cours de transmission, aucune option des réglages « Écran » ne peut être sélectionnée, à l'exception de « Réglage PAP » et « Affichage multiple ».

Réglages Réglage

Pour sélectionner une option et changer le réglage, appuyez sur ⇧/⇩/⇦/⇨.
Appuyez sur ⊕ pour valider votre choix.
Les réglages « Réglage » comprennent les options suivantes :

Langue

Sélectionnez pour afficher tous les réglages à l'écran dans la langue de votre choix : « English », « Français », « Deutsch », « Español », « Italiano » ou « 日本語 ».

Régl. minuterie

Vous pouvez régler l'heure, afficher l'horloge intégrée ou régler la minuterie pour allumer ou éteindre l'écran à une heure préréglée.
« Régl. horloge » : Règle l'heure et le jour.
« Réglage date » : Définit la date (année, mois, date). Le jour est automatiquement défini.
« Réglage heure » : Règle l'heure.
« Aff. horloge » : Permet d'afficher l'heure réglée actuellement sur l'écran si « Oui », est sélectionné en appuyant sur la touche DISPLAY de la télécommande.
« Minuterie M/A » : Règle le jour de la semaine et l'heure de la journée.

Remarque

Si l'horloge intégrée a tendance à retarder, il est possible que la pile interne soit épuisée. Contactez votre revendeur Sony agréé pour faire remplacer la pile.

Mode ECO

« Non » : Sélectionnez pour visualiser l'image sans bénéficier du mode d'économie d'énergie.
« Bas »/« Haut » : Sélectionnez pour visualiser l'image avec le mode réduction de consommation d'énergie.

Affichage statut

« Oui » permet d'afficher des informations sur le signal d'entrée et le « Format » à l'écran pendant environ 5 secondes lorsque l'écran est mis sous tension et les informations sur le signal d'entrée apparaissent pendant environ 5 secondes lorsque le signal d'entrée est commuté, tandis que « Non » désactive l'affichage des informations d'état.

Conseil

Pour afficher les informations concernant le signal d'entrée et le « Format », utilisez la touche DISPLAY de la télécommande, quel que soit le réglage « Affichage statut ».

Sortie haut-p.

« Oui » : Permet au son d'être reproduit par les enceintes.
« Non » : Désactive le son reproduit par les enceintes.

Réglages avancés

« Réglage commande » : Ce menu est utilisé pour les réglages des commandes de l'écran et de la télécommande.
« Numéro d'index » : Vous pouvez modifier le numéro d'index de l'écran, si nécessaire. Permet de définir le numéro d'index de l'écran à l'aide des touches ⇧/⇩ et de le valider en appuyant sur ⊕ (ENTER).

Remarque

Lorsque vous réglez le « Numéro d'index », utilisez les touches de l'écran. Vous ne pouvez pas régler le « Numéro d'index » avec la télécommande.

« Mode de contrôle »
« Écran+Téléc. » : Vous pouvez faire fonctionner l'écran à l'aide des touches de commande de l'écran et de la télécommande.
« Écran seul » : Désactive la fonction télécommande. Vous pouvez régler l'écran uniquement à l'aide des touches de commande de l'écran.
« Telecom. seule » : Désactive les commandes de l'écran. Vous pouvez régler l'écran uniquement à l'aide de la télécommande.

Remarque

Lorsque vous choisissez ce paramètre, les modes disponibles varient selon que vous effectuez la sélection à partir de la télécommande ou de l'écran. Lors du réglage de cette option à l'aide de la touche ⊕ de la télécommande, vous pouvez uniquement sélectionner « Écran+Téléc. » ou « Telecom. seule ». Lors du réglage de cette option à l'aide de la touche + (ENTER) de l'écran, vous pouvez uniquement sélectionner « Écran+Téléc. » ou « Écran seul ».

« Régl. écran auto »

« Oui » : Les réglages tels que la taille et la position de l'image sont enregistrés pour chaque signal d'entrée tandis que les derniers réglages sont automatiquement appliqués chaque fois que les signaux d'entrée sont commutés.

« Non » : Le « Régl. écran auto » est désactivé, même si des signaux d'entrée sont commutés et si les réglages par défaut sont appliqués.

« Arrêt auto » :

« Oui » : L'écran passe automatiquement en mode veille si aucun signal n'est transmis aux connecteurs d'entrée Video (Vidéo) ou S Video (S Vidéo) pendant plus de 5 minutes environ. L'écran passe automatiquement en mode d'économie d'énergie si aucun signal n'est transmis aux connecteurs d'entrée HD15 (RGB/Composante) ou DVI pendant plus de 30 secondes environ.

« Non » : L'écran n'est pas mis hors tension automatiquement, même si aucun signal n'est transmis à un connecteur.

Conseils

- En mode de veille, appuyez sur le commutateur ⏻ (POWER) de l'écran ou sur la touche POWER ON de la télécommande pour mettre l'écran sous tension. En mode d'économie d'énergie, l'écran s'allume automatiquement lorsqu'un signal est transmis.
- Cette fonction n'est pas disponible si « Logo affiché » est réglé sur « Oui », si la fonction d'économiseur d'écran est activée ou si PAP est sélectionné.

« Surbalayage » : Pour sélectionner si les images doivent être affichées avec un surbalayage ou un sous-balayage.

« Automatique » : Commute automatiquement les images de signal supposés DTV en images avec surbalayage.

« Oui » : Pour afficher l'image avec surbalayage.

« Non » : Pour afficher l'image avec sous-balayage.

Remarque

Si « Surbalayage » est réglé sur « Non », l'image de signal DTV peut être affichée comme un signal d'ordinateur.
Exemple : 480P → 720 × 480/60

« Mode sync. » : Pour régler le mode en fonction du signal d'entrée à la broche 13 du connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) IN.

« Comp. H » : Pour sélectionner quand un signal synchrone horizontal ou un signal synchrone composite est transmis.

« Vidéo » : Pour sélectionner quand un signal vidéo est transmis.

Remarques

- « Mode sync. » est disponible uniquement lorsqu'un signal RVB analogique parvient au connecteur HD15.
- Selon le niveau du signal synchrone composite, il est possible que l'image ne s'affiche pas correctement. Dans ce cas, modifiez le réglage « Mode sync. ».
- Pour certaines entrées, seuls les signaux de synchronisation peuvent être sélectionnés. Dans ce cas, transmettez les signaux de synchronisation horizontale/verticale par l'intermédiaire de la broche 13 ou 14 des connecteurs.
- Les paramètres de Mode sync ne peuvent pas être appliqués si l'entrée est transmise par l'intermédiaire des adaptateurs en option.
- Cet écran ne prend pas en charge le format de synchronisation à 3 valeurs de 576/60p.
- Lorsque « Vidéo » est sélectionné dans « Mode sync. », vous ne pouvez définir que les signaux 575/50i et 480/60i.
- Si vous sélectionnez le signal vidéo comme réglage du mode synchrone, vous ne pouvez pas utiliser la fonction PAP.

« RGB/YUV »

« Écran »/« Option » : Définit le type de signal d'un appareil vidéo ou d'un PC raccordé à la borne HD15 (RGB/COMPONENT) de l'écran à la borne 5BNC (RGB/COMPONENT) d'un adaptateur en option.

« Automatique » : Sélectionnez pour choisir un signal d'entrée RVB analogique ou un signal d'entrée composante provenant d'un équipement raccordé.

« RGB » : Sélectionnez pour choisir un signal d'entrée RVB analogique provenant d'un équipement raccordé.

« YUV » : Sélectionnez pour choisir un signal d'entrée composante provenant d'un équipement raccordé.

Remarque

Sélectionnez « RGB » pour transmettre des signaux RVB à l'aide d'un signal synchrone composite.

Conseil

Pour connaître les combinaisons possibles de deux images, voir page 24.

« Standard couler » : Pour sélectionner le système colorimétrique des signaux vidéo parmi « Automatique », « NTSC », « NTSC4.43 », « PAL », « PAL-M », « PAL-N » ou « PAL60 ». Sélectionnez « Automatique » pour régler automatiquement le système de couleurs.

Remarque

« Standard couler » n'est pas disponible pour l'entrée de l'ordinateur.

« Économiseur d'écran » : Permet de prévenir ou de réduire les phénomènes d'image rémanente ou persistante occasionnés lorsqu'une image fixe est affichée pendant une longue période.

« All White » : Permet d'afficher un écran complètement blanc. (S'arrête automatiquement après 30 minutes environ et l'écran passe en mode de veille.)

« Sweep » : Permet de faire défiler une barre blanche à l'écran.

« Veille » : L'économiseur d'écran agit en mode de veille (page 7) pendant la durée spécifiée sous « Régl. minuterie ». (L'écran est vierge durant le fonctionnement de l'économiseur d'écran.) Lorsque l'économiseur d'écran arrête de fonctionner, le mode de veille normal est restauré.

« Logo » : Le logo Sony situé à l'avant de l'appareil s'allume.

« Position » : Si vous souhaitez que le logo soit constamment allumé au bas de l'écran, définissez la configuration de l'appareil sur « Automatique », « Paysage », et « Portrait ». Si « Automatique » est sélectionné, le mode Portrait ou Paysage sera automatiquement sélectionné.

« Éclairage » : Sélectionnez « Non » pour éteindre le logo. Sélectionnez « Bas » et « Haut » pour la luminosité.

« Logo affiché »

« Oui » : Le logo du nom du modèle est affiché lorsque aucun signal n'est transmis.

« Non » : Le logo du nom du modèle n'est pas affiché lorsque aucun signal n'est transmis.

« Port réseau » : Pour définir le port réseau afin de commander l'écran à partir de la télécommande.

« Non » : Sélectionnez cette option quand vous n'utilisez pas le port réseau. La consommation d'énergie en mode de veille peut être réduite.

« Écran » : Vous permet d'effectuer des réglages de l'écran à partir d'un ordinateur raccordé au connecteur REMOTE (LAN) de l'écran. (page 34)

« Option » : Vous permet d'effectuer des réglages de l'écran à partir d'un ordinateur raccordé au connecteur REMOTE ou au connecteur LAN de l'emplacement OPTION. (page 34)

« IP Address Setup » : Pour définir une adresse IP et permettre au connecteur REMOTE (LAN) de l'écran ou à un adaptateur en option de communiquer à une certaine vitesse avec un autre équipement tel qu'un ordinateur raccordé à l'aide du câble réseau.
« Speed Setup » : Pour définir la vitesse de communication entre le connecteur REMOTE (LAN) de l'écran ou l'adaptateur en option et un autre équipement tel qu'un ordinateur raccordé à l'aide du câble réseau.
« Délai d'activation » : Règle le temps jusqu'à la mise sous tension. Définit sur Non, et sur 1 à 120 secondes. Cela supprime une fluctuation de charge soudaine de l'équipement lorsque plusieurs appareils sont connectés.

Conseil

Pour savoir comment effectuer les réglages de « IP Address Setup » et « Speed Setup », reportez-vous à la section de « Préparation à l'utilisation des fonctions réseau » (page 32).

Informations

Permet d'afficher le « Date », le « Nom modèle », le « Numéro de série », la « Temps de fonct. », la « Vers. Logiciel » et le « IP Address » de votre écran. Lorsque l'adaptateur en option BKM-FW50 est installé, « Player IP Address » (Adresse IP pour photos et fontion de lecture de films) est affiché. Pour plus de détails, reportez-vous au mode d'emploi du BKM-FW50.

Tout réinitialiser

Permet de réinitialiser tous les réglages et paramètres à leurs valeurs d'origine.

Remarque

Les éléments inclus dans l'option « Informations » et le « Numéro d'index » ne sont pas réinitialisés.

Préparation à l'utilisation des fonctions réseau

Précautions

- Les spécifications logicielles de cet écran sont sujettes à modification sans préavis.
- Les écrans du logiciel d'application peuvent être légèrement différents des illustrations du présent manuel.
- Pour votre sécurité, raccordez exclusivement le port de cet écran à un réseau ne présentant aucun risque de tension excessive ou de surtension.
- Les étapes décrites dans le présent manuel sont garanties uniquement pour une utilisation dans les conditions d'environnement suivantes :
  Système d'exploitation :
  Microsoft Windows XP/Windows Vista
  Navigateur :
  Microsoft Internet Explorer 6.0 ou une version ultérieure
- Pour garantir la sécurité du réseau, il est recommandé de définir un nom d'utilisateur et un mot de passe. Pour obtenir davantage d'informations sur ce réglage, reportez-vous à la section « Ecran Setup (Réglage) » (page 35).
  Pour les paramètres de sécurité réseau, consultez votre administrateur réseau.

Définition d'une adresse IP

L'écran peut être connecté à un réseau à l'aide du câble LAN 10BASE-T/100BASE-TX.
En cas de raccordement à un réseau LAN, les adresses IP de l'écran peuvent être définies en utilisant l'une des deux méthodes suivantes. Consultez l'administrateur de votre réseau pour obtenir davantage d'informations concernant la sélection de l'adresse IP.

- Attribution d'une adresse IP fixe à l'écran
  Vous devez normalement utiliser cette méthode. Remarquez que selon ses paramètres d'origine, l'écran est configuré pour obtenir automatiquement une adresse IP.
- Obtention automatique d'une adresse IP
  Si le réseau auquel l'écran est raccordé possède un serveur DHCP, celui-ci peut attribuer automatiquement une adresse IP. Notez qu'en pareil cas, l'adresse IP peut changer chaque fois que l'écran installé est mis sous tension.

Avant de définir l'adresse IP, raccordez le câble LAN à l'écran afin d'établir le réseau. Après 30 secondes environ, mettez l'écran sous tension, puis effectuez les réglages souhaités.

Attribution d'une adresse IP fixe à l'écran

1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher le menu principal.

2 Sélectionnez « Réglage » avec ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

3 Sélectionnez « Réglages avancés » avec ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

4 Sélectionnez « IP Address Setup » avec ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

5 Sélectionnez « Manual » avec ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

6 Sélectionnez les options à définir parmi « IP Address », « Subnet Mask », « Default Gateway », « Primary DNS », « Secondary DNS » à l'aide des touches ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

7 Définissez la valeur à trois chiffres (0 à 255) pour chacune des quatre zones à l'aide des touches ⇧/⇩ de l'écran ou des touches numériques de la télécommande et appuyez sur ⊕ ou ⇨.

8 Définissez la valeur à trois chiffres (0 à 255) pour chacune des quatre zones et appuyez sur ⊕. Répétez la procédure de l'étape 6 et sélectionnez l'élément suivant à définir à l'aide des touches ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

9 Une fois que les valeurs sont définies pour tous les éléments, sélectionnez « Execute » à l'aide des touches ⇧/⇩, puis appuyez sur ⊕.

Sélectionnez « Execute » et appuyez sur ⊕. Une adresse IP est définie manuellement.
Lorsque « Cancel » est sélectionné, le paramètre retrouve son réglage d'origine.

Obtention automatique d'une adresse IP

1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher le menu principal.

2 Sélectionnez « Réglage » avec ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

3 Sélectionnez « Réglages avancés » avec ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

4 Sélectionnez « IP Address Setup » avec ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

5 Sélectionnez « DHCP » avec ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

Sélectionnez « Execute » et appuyez sur ⊕. Une adresse IP est définie automatiquement.
Lorsque « Cancel » est sélectionné, le paramètre n'est pas exécuté.

Remarque

Lorsqu'une adresse IP n'est pas définie correctement, les codes d'erreur suivants s'affichent, selon la cause de l'erreur.
Erreur 1 : erreur de communication
Erreur 2 : l'adresse IP spécifiée est déjà utilisée par un autre appareil
Erreur 3 : erreur d'adresse IP
Erreur 4 : erreur d'adresse de passerelle
Erreur 5 : erreur d'adresse de serveur de noms de domaine primaire
Erreur 6 : erreur d'adresse de serveur de noms de domaine secondaire
Erreur 7 : erreur de masque de sous-réseau

Vérification de l'adresse IP affectée automatiquement

1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher le menu principal.

2 Sélectionnez « Réglage » avec ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

3 Sélectionnez « Informations » avec ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

4 Sélectionnez « IP Address » avec ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

L'adresse IP actuellement acquise s'affiche.

Conseil

Si une adresse IP ne peut pas être obtenue correctement, l'adresse IP précédemment obtenue apparaît dans « Informations » et dans « Manual » de « IP Address Setup ».

Définition d'une vitesse de communication

1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher le menu principal.

2 Sélectionnez « Réglage » avec ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

3 Sélectionnez « Réglages avancés » avec ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

4 Sélectionnez « Speed Setup » avec ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

5 Sélectionnez une vitesse de communication souhaitée parmi « Auto », « 10Mbps Half », « 10Mbps Full », « 100Mbps Half » ou « 100Mbps Full » à l'aide des touches ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

Si « Auto » est sélectionné, une vitesse de communication adaptée à votre configuration réseau est automatiquement définie.

6 Sélectionnez « Execute » avec ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕ pour valider le réglage.

Utilisation d'un ordinateur

Contrôle de l'écran

Vous pouvez effectuer différents réglages de l'écran à partir de votre ordinateur.
Assurez-vous que l'écran, l'ordinateur et le routeur ou le concentrateur (hub) sont correctement connectés à l'aide du câble réseau. Mettez sous tension l'écran, l'ordinateur et le routeur ou le concentrateur (hub).
Il existe quatre écrans répartis selon leur fonction : l'écran Informations, l'écran Configure, l'écran Control et l'écran Setup (Réglage).
Pour plus d'informations sur les fonctions des touches, reportez-vous aux instructions de chacune des fonctions de l'écran.

1. Démarrez le navigateur sur l'ordinateur (Internet Explorer 6.0 ou version ultérieure).
2. Saisissez l'adresse IP qui a été attribuée à l'écran à la page précédente sous la forme « http://xxx.xxx.xxx.xxx », puis appuyez sur la touche ENTER du clavier.
   Lorsqu'un nom d'utilisateur et un mot de passe ont été définis, l'écran « Network Password (Mot de passe réseau) » apparaît. Saisissez le nom d'utilisateur et le mot de passe définis, puis passez à l'étape suivante.
3. Cliquez sur l'onglet de la fonction en haut de l'écran et sélectionnez la fenêtre de votre choix.

Configuration des paramètres sur chaque écran

En cas d'utilisation de la fonction LAN de l'écran

Fenêtre Information (Informations)

Cette fenêtre affiche le nom du modèle, le numéro de série et d'autres informations, ainsi que l'état de fonctionnement actuel de l'écran et la sélection du signal d'entrée.
Cette fenêtre ne fait qu'afficher des informations. Vous ne pouvez pas en modifier les réglages.

Fenêtre Configure (Configurer)

Timer (Minuterie)
Permet de régler la fonction de minuterie.
Une fois cette fonction réglée, cliquez sur « Apply ».

Économiseur d'écran
Permet de régler la fonction d'écran de veille.
Une fois cette fonction réglée, cliquez sur « Apply ».

Picture and Picture (Image et Image)
Permet de régler la fonction Picture and Picture.
Une fois cette fonction réglée, cliquez sur « Apply ».

Remarque

Avant de régler la fonction « Timer » (Minuterie), assurez-vous de configurer le réglage de l'heure dans la fenêtre Setup (Réglage) (page 35).

Fenêtre Control (Commande)

POWER (Alimentation)
Met l'écran sous ou hors tension.

INPUT
Permet de sélectionner le signal d'entrée.

PICTURE MODE (Mode d'image)
Permet de sélectionner le mode d'image.

ASPECT (Format)
Permet de commuter le format de l'image.

Boutons Contrast (Contraste) +/–
Permettent de régler le contraste de l'écran.

Boutons Brightness (Luminosité) +/–
Permettent de régler la luminosité de l'écran.

Boutons Chrominance (Saturation) +/–
Permettent de régler l'intensité des couleurs.

Boutons Phase +/–
Permettent de régler la balance des couleurs.

Touche Reset (Réinitialiser)
Permet de réinitialiser les réglages de « Contrast » (Contraste) à « Phase » à leurs réglages par défaut.

Remarques

- Si le signal d'entrée est Vidéo ou S Video et si le système de couleurs du signal vidéo n'est pas NTSC, « Phase » n'est pas disponible.
- « Chrominance » et « Phase » ne sont pas disponibles pour l'entrée provenant de l'ordinateur.
- « Normal » dans le réglage ASPECT (Format) correspond à « 4:3 » pour l'entrée vidéo ou « Réel » pour l'entrée PC.

Fenêtre Setup (Réglage)

Cette fenêtre vous permet de définir le Network Password (Mot de passe réseau). Les paramètres réglés par défaut sont les suivants :

Name (Nom) : root
Password (Mot de passe) : pudadm

Une fois que vous avez effectué des modifications ou saisi des informations, cliquez sur « Apply » (Appliquer) en bas de chaque fenêtre pour activer les réglages.
Il est impossible d'utiliser des caractères spéciaux dans les zones de texte.

Owner Information (Informations concernant le propriétaire)

Owner (Propriétaire)
Saisissez ici les informations relatives au propriétaire.

Display Location (Emplacement de l'écran)
Saisissez ici les informations relatives à l'emplacement d'installation de l'écran.

Remarque

N'utilisez pas d'espace lorsque vous saisissez les informations. Sinon, il est possible que le nom du fichier ne s'affiche pas correctement.

Memo (Mémo)
Vous pouvez saisir des informations complémentaires ici.

Time (Heure)

Time (Heure)
Saisissez la date, le jour de la semaine, l'année, le mois et le jour.

Network (Réseau)

Internet Protocol (Protocole Internet) (TCP/IP)
Sélectionnez « Specify an IP address » (Spécifier une adresse IP) pour saisir chaque valeur dans la chaîne numérique de l'adresse IP.
Sélectionnez « Obtain an IP address (DHCP) » (Obtenir une adresse IP (DHCP)) pour obtenir une adresse automatiquement auprès du serveur DHCP. Notez qu'en pareil cas, l'adresse IP peut changer chaque fois que l'écran installé est mis sous tension.

Remarque

L'adresse IP peut être définie à partir du menu de l'écran. Pour plus de détails, voir « IP Address Setup » (page 31).

Password (Mot de passe)
Le nom d'administrateur, le nom d'utilisateur ainsi que les informations relatives au mot de passe peuvent être saisis ici. Le nom d'administrateur est toujours « root ».
Chaque nom peut contenir 8 caractères au maximum. Lorsqu'un nom d'utilisateur et un mot de passe ont été définis, l'écran « Network Password » (Mot de passe réseau) s'affiche dès que l'affichage de l'écran de contrôle de l'écran est activé. Pour garantir la sécurité du réseau, il est recommandé de définir un nom d'utilisateur et un mot de passe.

Mail Report (Rapport d'erreur)

Error Report (Rapport d'erreur)
Si une erreur de fonctionnement s'est produite au niveau de l'écran, un rapport d'erreur est immédiatement envoyé par e-mail (notification d'erreur).

Status Report (Rapport d'état)
L'état de l'écran peut être signalé par e-mail, à intervalle déterminé.

Address (Adresse)
Saisissez ici l'adresse e-mail de destination. Le rapport d'erreur peut être envoyé simultanément vers quatre destinations maximum. Chaque adresse peut contenir au maximum 64 caractères.

Mail Account (Compte de messagerie)

Mail Address (Adresse de messagerie) :
Saisissez ici l'adresse e-mail attribuée.
L'adresse peut contenir au maximum 64 caractères.
Outgoing Mail Server (Serveur de courrier sortant) (SMTP) :
Saisissez ici l'adresse du serveur de messagerie.
L'adresse peut contenir au maximum 64 caractères.
Requires the use of POP Authentication before Send e-mail (POP before SMTP) (Requiert une authentification POP avant l'envoi de courrier (POP avant SMTP)) :
Si une authentification POP est nécessaire avant la connexion au serveur SMTP, cochez cette case.

FR

Incoming Mail Server (Serveur de messagerie pour courrier entrant) (POP3) :
Si une authentification POP est utilisée pour le réglage « POP before SMTP » saisissez l'adresse du serveur POP3 ici.
Account Name (Nom du compte) :
Saisissez ici le nom du compte e-mail.
Password (Mot de passe) :
Saisissez ici le mot de passe du compte e-mail.
Send Test Mail (Envoyer courrier test) :
Afin de tester si l'e-mail peut être envoyé avec succès à l'adresse ou aux adresses spécifiées, cochez cette case et cliquez sur « Apply ». Un e-mail test sera envoyé.

Remarque

Si les éléments suivants ne sont pas définis ou si les réglages sont incorrects, un message d'erreur apparaît et il se peut que l'e-mail test ne soit pas envoyé :
- Adresse de destination
- Adresse du compte de messagerie et l'adresse du serveur de messagerie (SMTP)

Advanced (Réglages avancés)
Permet d'accéder aux réglages avancés pour utiliser différentes applications sur le réseau. Effectuez les réglages correspondants à chaque application respective.

Advertisement (Publicité)
Permet de régler les paramètres des fonctions Advertisement et Broadcast (Diffusion) sur le réseau.

ID Talk
Permet de régler les paramètres de la fonction ID Talk. ID Talk est un protocole permettant la commande de l'écran à partir du réseau. Les options commandées incluent divers réglages et ajustements comme la température des couleurs et le gamma. Pour plus de détails concernant les commandes ID Talk prises en charge, contactez votre revendeur Sony local.

SNMP
L'écran est un périphérique réseau prenant en charge le protocole SNMP (Simple Network Management Protocol). Outre le MIB-II standard, Sony Enterprise MIB est également pris en charge. Cette fenêtre permet également d'effectuer les réglages SNMP. Pour plus de détails sur les commandes SNMP prises en charge, contactez votre revendeur Sony local.

Réinitialisation aux valeurs par défaut
Pour réinitialiser tous les réglages effectués au niveau de l'écran « Setup » (Configuration) et rétablir les paramètres d'origine par défaut, réinitialisez les paramètres par défaut en attribuant le réglage « Tout réinitialiser », puis en attribuant de nouveau au réseau les réglages appropriés.

Dépannage

Vérifiez si l'indicateur ⏻ clignote en rouge.

Lorsqu'il clignote

La fonction d'auto-diagnostic est activée.

1 Comptez le nombre de fois où l'indicateur ⏻ clignote et mesurez la durée pendant laquelle il s'arrête de clignoter.

Par exemple, l'indicateur clignote 2 fois, s'arrête pendant 3 secondes, puis clignote de nouveau 2 fois.

2 Appuyez sur le commutateur ⏻ (POWER) à l'écran et sur le commutateur d'alimentation pour couper l'alimentation, puis débranchez le cordon d'alimentation.

Contactez votre revendeur ou un centre de service Sony et indiquez la séquence de clignotement (nombre de clignotements et durée d'extinction).

Lorsqu'il ne clignote pas

1 Vérifiez les éléments dans le tableau ci-dessous.

2 Si le problème persiste, confiez votre écran à un personnel qualifié.

Problème	Solution possible
Le commutateur d'alimentation et les touches de commande de l'écran ne fonctionnent pas.	• Vérifiez « Réglage commande » (page 28).
Il n'y a pas d'alimentation même si le commutateur ⏻ (POWER) est activé ou si le commutateur POWER ON de la télécommande est réglé sur ON.	• Vérifiez si le commutateur d'alimentation n'est pas réglé sur « OFF ». (page 9)
Aucun signal vidéo n'est émis du terminal HD15 (RGB/COMPONENT) OUT.	• Il n'y a aucun sortie HD15 (RGB/COMPONENT) OUT lorsque cet appareil est en mode veille ou lorsque l'alimentation CA est désactivée.
Aucun signal n'est émis de la borne HD-SDI OUT du BKM-FW16.	• Il n'y a aucune sortie HD-SDI OUT lorsque cet appareil est en mode veille ou lorsque l'alimentation CA est désactivée.
Pas d'image.	
Pas d'image.	• Vérifiez le raccordement entre l'équipement vidéo et l'écran. • Vérifiez les paramètres du « RGB/YUV » (page 30). • Commutez l'entrée à l'aide de la touche INPUT de l'écran ou de la télécommande (page 9, 11).
L'écran se met automatiquement hors tension.	• Vérifiez si « Régl. minuterie » est activé (page 28). • Vérifiez si la fonction « Arrêt auto » est réglée sur « Oui » (page 29). • Vérifiez si la température ambiante est supérieure à 35°C.

FR

Problème	Solution possible
Image de mauvaise qualité.	
Aucune couleur/Image sombre/ Image trop lumineuse/Couleurs incorrectes/L'image devient de plus en plus sombre/Des parasites horizontaux apparaissent sur l'image	• Appuyez sur PICTURE pour sélectionner le « Mode de l'image » de votre choix (page 11). • Réglez les options « Mode de l'image » dans les réglages « Image/ Son » (page 20, 22). • Vérifiez l'état du câble de signal. • Vérifiez si la température ambiante est supérieure à 35°C. • Vérifiez les paramètres du « Mode ECO ». (page 28) • Lorsque vous ne raccordez pas de dispositif vidéo, ne connectez pas un câble vidéo ou un connecteur de conversion à la borne VIDEO OUT. Les parties blanches de l'image seraient alors trop brillantes en raison de l'absence de terminaison du signal d'affichage.
Tout l'écran est vert ou pourpre.	• Vérifiez si les paramètres « RGB/YUV » sont incorrects (page 30).
Pas de son/Son parasité.	
Image affichée, pas de son.	• Vérifiez la commande du volume. • Appuyez sur la touche de la télécommande ou sur + de sorte que Sourdine disparaisse de l'écran (page 12). • Vérifiez les réglages « Sortie haut-p. » (page 28).
La télécommande ne fonctionne pas.	• Vérifiez la polarité des piles ou changez les piles. • Dirigez la télécommande vers le capteur de télécommande de l'écran. • Ne placez pas d'obstacles dans la portée du capteur de télécommande. • Vérifiez « Réglage commande » (page 28). • Vérifiez si un câble est raccordé au connecteur CONTROL S IN (BKM-FW21 non fourni). La télécommande est inopérante si l'écran est commandé via un raccordement CONTROL S. • Des lampes fluorescentes peuvent interférer avec le fonctionnement de la télécommande. Eteignez les lampes fluorescentes.
Connexion impossible au réseau.	• Branchez fermement le câble sur le connecteur REMOTE. • Vérifiez les paramètres réseau de l'ordinateur. • Rétablissez les réglages par défaut en attribuant le réglage « Tout réinitialiser » du menu de réglage « Réglage » puis en attribuant de nouveau au réseau les réglages appropriés. • Vérifiez les paramètres du « Port réseau ». (page 30)
L'écran de contrôle de l'écran (l'écran Web qui affiche l'interface utilisateur graphique de l'écran) ne s'affiche pas.	• Cliquez sur le bouton d'actualisation ou de rechargement de votre navigateur Web. • Assurez-vous que l'adresse IP est correcte. • Utilisez Internet Explorer 6.0 ou une version ultérieure. • Effacez le cache du navigateur.

Tableau de référence des signaux d'entrée

Signaux d'ordinateur

	Résolution	Fréquence horizontale (kHz)	Fréquence verticale (Hz)
1	VGA[a)]-1 (VGA 350)	31,5	70
2	640 × 480@60 Hz	31,5	60
3	Mac[b)] 13"	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA[c)] STD)	37,9	60
6	Mac 16"	49,7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67,5	75
11	Mac 21"	68,7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60,0	60
13	1280 × 1 024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT[d)])	29,8	60
16	848 × 480@75 Hz (CVT)	37,7	75
17	848 × 480@85 Hz (CVT)	43,0	85
18	1280 × 720@60 Hz (CVT)	44,8	60
19	1280 × 768@60 Hz (CVT)	47,8	60
20	1280 × 768@75 Hz (CVT)	60,3	75
21	1280 × 960@60 Hz (CVT)	59,7	60
22	1360 × 768@60 Hz (CVT)	47,7	60
23	800 × 600@60 Hz (CVT)	37,4	60
24	1024 × 768@60 Hz (CVT)	47,8	60
25	1280 × 1024@60 Hz (CVT)	63,7	60
26	1400 × 1050@60 Hz (CVT)*	65,3	60
27	1600 × 1200@60 Hz (CVT)*	74,5	60
28	1920 × 1080@60 Hz	66,6	60
29	1920 × 1200@60 Hz	74,0	60

Signaux TV/Vidéo

	Résolution	Entrées disponibles				
		Vidéo	Composante/ RVB	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p				○	
10	1080/60p				○	
11	1080/24psf		○			

a) VGA est une marque déposée de International Business Machines Corporation, Etats-Unis.
b) Macintosh est une marque commerciale de Apple Inc., déposée aux Etats-Unis et dans d'autres pays.
c) VESA est une marque déposée de la Video Electronics Standards Association.
d) VESA Coordinated Video Timing (Synchronisation de vidéo coordonnée VESA)

FR

Remarques

- Pour les signaux HDTV, émettez le signal de synchronisation à trois niveaux vers la deuxième broche du connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) IN.
- Si les couleurs sont très claires après avoir émis un signal DVD vers l'écran, réglez « Chrominance » dans les réglages « Image/Son ».
- Lorsque la phase est réajustée, la résolution diminue.
- Il n'est pas certain que les signaux provenant de l'ordinateur Macintosh reconnaissent l'entrée RVB numérique.
- Le signal suivi de * ne peut pas être transmis à DVI IN.
- Les signaux synchrones composites correspondent aux n° 2, 4, 5, 7, 12, 13 et 14 du tableau des signaux à gauche.
- Il n'est pas certain que les signaux vidéo sans signal de salve couleur soient reconnus.

Affichage à l'écran du signal d'entrée et du statut de l'écran

Affichage à l'écran	Signification
640 × 480/60 (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal d'ordinateur.
480/60I (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal vidéo composante.
NTSC (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal vidéo.
Signal non pris en charge	Le signal d'entrée sélectionné n'est pas un signal pris en charge.
Pas de signal	Aucun signal d'entrée n'est reçu.
HD15	L'entrée sélectionnée est HD15. « RGB/YUV » est défini sur « Automatique ».
HD15 RGB	L'entrée sélectionnée est HD15. « RGB/YUV » est défini sur « RGB ».
Composante HD15	L'entrée sélectionnée est HD15. « RGB/YUV » est défini sur « YUV ».
DVI	Le signal d'entrée sélectionné est DVI.
Vidéo	Le signal vidéo composite est sélectionné.
S Vidéo	Le signal S Video est sélectionné.
Option	L'entrée de l'option est sélectionnée. « RGB/YUV » est réglé sur « Automatique ».
Option RGB	Le signal RVB analogique de l'entrée Option est sélectionné.
Option Composite	Le signal vidéo composante de l'entrée Option est sélectionné.
Option HDMI 1/ Option HDMI 2	Le signal HDMI 1 ou HDMI 2 signal de l'entrée Option est sélectionné.
Option HD SDI	Le signal HD SDI de l'entrée Option est sélectionné.

Spécifications

Traitement du signal vidéo

Système écran Ecran LCD a-Si TFT à matrice active
Résolution de l'écran
1 920 points (horizontale) × 1 080 lignes (verticale)
Taux d'échantillonnage
13,5 MHz à 162 MHz
Standard couleur NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/NTSC4.43/PAL60
Signal d'entrée Voir page 39.

FWD-S42H1

Profondeur de pixels
0,4845 (horizontale) × 0,4845 (verticale) mm (1/52 × 1/52 pouces)
Taille d'image 930 (horizontale) × 523 (verticale) mm (36 3/4 × 20 5/8 pouces)
Taille de l'écran 42 pouces (diagonale 1 067 mm)

FWD-S47H1

Profondeur de pixels
0,5415 (horizontale) × 0,5415 (verticale) mm (1/46 × 1/46 pouces)
Taille d'image 1 040 (horizontale) × 585 (verticale) mm (41 × 23 1/8 pouces)
Taille de l'écran 47 pouces (diagonale 1 193 mm)

Entrées et sorties

REMOTE Port réseau (10BASE-T/100BASE-TX)

AUDIO Mini-prise stéréo (× 1)
500 mVrms, haute impédance

VIDEO S VIDEO IN
Mini DIN à 4 broches (× 1)
Y (luminance) : 1 Vcc ±2 dB sync négative, 75 ohms terminé
C (chrominance) : Salve 0,286 Vp-p ± 2 dB (NTSC), 75 ohms terminé
Salve 0,3 Vp-p ± 2 dB (PAL), 75 ohms terminé
VIDEO IN BNC (× 1)
Vidéo composite, 1 Vcc ±2 dB sync négative, 75 ohms (fin automatique)
VIDEO OUT BNC (× 1) boucle directe
AUDIO IN
Mini-prise stéréo (× 1)
500 mVrms, haute impédance

HD15 (RGB/COMPONENT)
HD15 (RGB/COMPONENT) IN
D-sub à 15 broches (femelle) (× 1) (Voir page 42.)
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT
D-sub à 15 broches (femelle) (× 1) (Voir page 42)
AUDIO IN
Mini-prise stéréo (× 1)
500 mVrms, haute impédance

DVI DVI IN
(Compatible avec la spécification DVI rév. 1.0)
AUDIO IN
Mini-prise stéréo (× 1)
500 mVrms, haute impédance

SPEAKER Sortie enceintes (L/R)
6 ohms 7W + 7W

Caractéristiques générales

Alimentation requise
100 V à 240 V CA, 50/60 Hz,
FWD-S42H1 : 2,9 A (Maximum)
FWD-S47H1 : 3,3 A (Maximum)
Consommation électrique
FWD-S42H1 : 280 W (Maximum)
FWD-S47H1 : 320 W (Maximum)
Conditions d'utilisation
Température : 0 °C à 35 °C (32 °F à 95 °F)
Humidité : 20% à 90% (sans condensation)
Conditions de stockage/transport
Température : –10 °C à +40 °C (14 °F à 104 °F)
Humidité : 20% à 90% (sans condensation)
Dimensions FWD-S42H1 : 972,1 × 565,1 × 125 mm (38 3/8 × 22 1/4 × 4 7/8 pouces)
972,1 × 613,6 × 275 mm (38 3/8 × 24 1/4 × 10 7/8 pouces) (support en option inclus) (l/h/p, hors éléments saillants)
FWD-S47H1 : 1 081,6 × 626,8 × 129 mm (42 3/4 × 24 3/4 × 5 1/8 pouces)
1 081,6 × 675,3 × 275 mm (42 3/4 × 26 5/8 × 10 7/8 pouces) (support en option inclus) (l/h/p, hors éléments saillants)
Poids FWD-S42H1 : Environ 25,5 kg (56,2 lb.)
Environ 29 kg (63,9 lb.) (support en option inclu)
FWD-S47H1 : Environ 30,5 kg (67,2 lb.)
Environ 34 kg (75 lb.) (support en option inclu)
Accessoires fournis
Cordon d'alimentation secteur (1)
Câble LAN (1) 1-834-812-11 (SONY)
Support de la prise secteur (2)
Supports de câbles (9)
Télécommande RM-FW002 (1)
Piles AA (R6) (2)
Mode d'emploi (1)

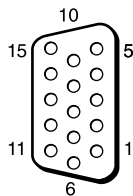
FR

Accessoires en option
Support d'écran SU-S01
Enceintes SS-SPG02
Adaptateurs en option pour l'extension du système, série BKM-FW

Règlementations de sécurité
UL 60950-1, CSA No. 60950-1-03 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

La conception et les spécifications sont sujettes à modification sans préavis.

Affectation des broches

Connecteur HD15 RGB/COMPONENT (D-sub à 15 broches)

N° de broche	Signal
1	Vidéo rouge ou C_R/P_R
2	Vidéo verte ou Y
3	Vidéo bleue ou C_B/P_B
4	Masse
5	Masse
6	Masse du rouge
7	Masse du vert
8	Masse du bleu
9	Non utilisé
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	H sync, sync composite ou vidéo composite (comme signal sync)
14	Sync V
15	SCL

Remarque

Lors de la transmission d'un signal composante, veillez à ne pas transmettre de signaux de synchronisation aux broches 13 et 14. Sinon, il est possible que l'image ne s'affiche pas correctement.

Index

ACHTUNG

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlags zu vermeiden, setzen Sie das Gerät weder Regen noch sonstiger Feuchtigkeit aus.

Im Inneren des Geräts liegen gefährlich hohe Spannungen an. Öffnen Sie daher das Gehäuse nicht.
Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

WARNUNG

DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

Transport

Wenn Sie den Bildschirm transportieren, halten Sie ihn nicht an den Lautsprechern, sondern halten Sie das Gerät selbst. Andernfalls könnten sich die Lautsprecher vom Gerät lösen und das Gerät könnte herunterfallen. Dadurch kann es zu Verletzungen kommen.

WARNUNG

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder der Netzstecker muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden. Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. der Netzstecker abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Geräts befinden und leicht zugänglich sein.

Für Kunden in Europa

Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.
Der autorisierte Repräsentant für EMV und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Bei jeglichen Angelegenheiten in Bezug auf Kundendienst oder Garantie wenden Sie sich bitte an die in den separaten Kundendienst- oder Garantiedokumenten aufgeführten Anschriften.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

WARNUNG

1. Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/ einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/ Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

Inhalt

Einführung

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

DE

Anschlüsse

Arbeiten mit den Menüeinstellungen

Netzwerkfunktionen

Weitere Informationen

Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Ein Typenschild mit Betriebsspannung, Leistungsaufnahme usw. befindet sich an der Geräterückseite.
- Sollten Fremdkörper oder Flüssigkeiten in das Gehäuse gelangen, trennen Sie das Gerät von der Netzsteckdose. Lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Wollen Sie das Gerät einige Tage oder länger nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.
- Um das Gerät vom Netzstrom zu trennen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Netzsteckdose. Ziehen Sie nicht am Kabel.

Reinigung

Ziehen Sie vor dem Reinigen des Monitors unbedingt das Netzkabel aus der Netzsteckdose.

Reinigen des Monitors

Kratzen Sie nicht mit scharfen Gegenständen über die Bildschirmoberfläche und stoßen Sie nicht mit harten Gegenständen dagegen, um eine Beschädigung zu vermeiden.
Die Bildschirmoberfläche ist mit einer Spezialbeschichtung versehen.
Beachten Sie die folgenden Anweisungen, damit sich nicht aufgrund einer fehlerhaften Reinigung die Bildqualität verringert.

- Entfernen Sie Staub von der Bildschirmoberfläche vorsichtig mit einem weichen Tuch. Es empfiehlt sich, ein Brillenreinigungstuch zu verwenden.
- Bei starken Verschmutzungen können Sie die Bildschirmoberfläche mit einem weichen Reinigungstuch, das Sie leicht mit Wasser angefeuchtet haben, abwischen.
- Verwenden Sie auf gar keinen Fall Alkohol, Benzin, Verdünner, säurehaltige oder alkalische Reinigungslösungen, Scheuermittel oder chemisch imprägnierte Reinigungstücher, da diese die Bildschirmoberfläche beschädigen.

Reinigen des Gehäuses

- Wischen Sie Flecken behutsam mit einem trockenen, weichen Tuch ab. Bei stärkerer Verschmutzung verwenden Sie ein leicht mit einem milden Reinigungsmittel angefeuchtetes Tuch und wischen den Bereich anschließend mit einem trockenen, weichen Tuch trocken.
- Verwenden Sie auf keinen Fall Alkohol, Benzin, Verdünner oder Insektizide. Diese könnten die Gehäuseoberfläche angreifen oder die Markierungen davon entfernen.
- Der Bildschirm kann beschädigt werden, wenn Sie mit einem verschmutzten Tuch darüber wischen.
- Legen Sie nicht für längere Zeit Gummi- oder Kunststoffgegenstände auf dem Gerät ab. Andernfalls kann es zu Veränderungen kommen und die Schutzschicht kann sich lösen.

Der LCD-Bildschirm

- Wenn der LCD-Bildschirm lange Zeit auf die Sonne weist, führt dies zu Beschädigungen. Beachten Sie dies, wenn Sie das Gerät im Freien oder an einem Fenster aufstellen.
- Drücken Sie nicht zu stark auf den LCD-Bildschirm und zerkratzen Sie ihn nicht. Stellen Sie keine Gegenstände auf den Bildschirm. Andernfalls kann es zu Funktionsstörungen des Monitors oder einer Beschädigung des LCD-Bildschirms kommen.
- Auf dem Bildschirm sind möglicherweise horizontale Streifen oder Nachbilder zu sehen. In kalter Umgebung ist der Bildschirm außerdem möglicherweise dunkler als üblich. Dabei handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion des Bildschirms. Der Bildschirm arbeitet wieder normal, wenn die Umgebungstemperatur ansteigt.
- Wenn über längere Zeit ein statisches Bild angezeigt wird, kann es zum Einbrennen auf dem Bildschirm oder zu einem Restbild kommen. Ein Restbild verschwindet mit der Zeit wieder. Wenn Nachbilder auftreten, verwenden Sie die Bildschirmschonerfunktion oder eine andere Video- oder Bildsoftware, die eine ständig bewegte Anzeige erzeugt. Wenn die durch das Einbrennen des Bildes entstandenen Nachbilder schwach sind, lassen sie möglicherweise auch wieder nach, doch vollständig verschwinden werden sie nicht.
- Die Bildschirmoberfläche, das Gehäuse oder der Rahmen kann sich während des Betriebs erwärmen. Dies ist keine Fehlfunktion.

Helle und dunkle Punkte auf dem LCD-Bildschirm

Der LCD-Bildschirm wird in einer Hochpräzisionstechnologie mit einer effektiven Auflösung von mindestens 99,99 % hergestellt. Trotzdem sind möglicherweise schwarze Punkte (defekte Pixel) oder helle Lichtpunkte (rot, blau oder grün usw.) auf dem Bildschirm zu sehen, die permanent leuchten oder blinken. Solche Pixelfehler können bei LCD-Bildschirmen herstellungsbedingt auftreten. Auch nach längerer Gebrauchsdauer des Geräts kann es zu solchen Fehlern kommen.
Bei diesen Phänomenen handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion des Bildschirms.

Aufstellung

- Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.
- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen und Wandbehängen auf, die die Lüftungsöffnungen blockieren könnten.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt ist.
- Wenn Sie mehrere andere Geräte an dieses Gerät anschließen, kann es je nach Standort dieses Geräts und der anderen Geräte zu Problemen wie Fehlfunktionen der Fernbedienung, Bildstörungen und Tonstörungen kommen.

Verpacken

Werfen Sie den Karton und die Verpackungsmaterialien nicht weg.
Sie sind ideal für den Transport des Geräts geeignet. Wenn Sie das Gerät transportieren müssen, verpacken Sie es wie auf dem Karton abgebildet.

Wenn Sie Fragen zu dem Gerät haben, wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler.

Entsorgung von als Industriemüll anfallenden elektrischen und elektronischen Geräten (anzuwenden in den Ländern der Europäischen Union und anderen europäischen Ländern mit einem separaten Sammelsystem für diese Geräte)

Das Symbol auf dem Produkt oder seiner Verpackung weist darauf hin, dass dieses Produkt nicht als normaler Haushaltsabfall zu behandeln ist, sondern im Rahmen des entsprechenden Rücknahmeprogramms für das Recycling von elektrischen und elektronischen Geräten abgegeben werden muss. Durch Ihren Beitrag zum korrekten Entsorgen dieses Produkts schützen Sie die Umwelt und die Gesundheit Ihrer Mitmenschen. Umwelt und Gesundheit werden durch falsches Entsorgen gefährdet. Materialrecycling hilft, den Verbrauch von Rohstoffen zu verringern. Weitere Informationen über das Recycling dieses Produkts erhalten Sie von der örtlichen Sony-Niederlassung oder auf der für Firmenkunden eingerichteten Website von Sony Europe:
http://www.sonybiz.net/environment

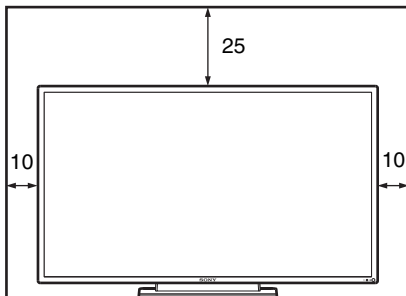
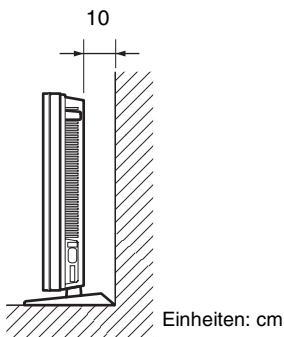
DE

Empfehlungen zur Installation

Lassen Sie um den Monitor herum viel Platz

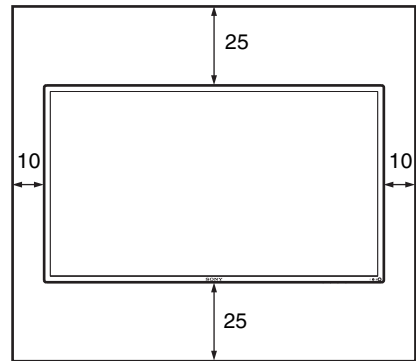
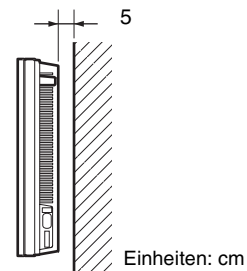
- Um einen internen Wärmestau durch Zustellen des Monitors zu verhindern, achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, indem Sie mindestens so viel Platz wie in der Abbildung unten dargestellt um den Monitor herum frei lassen.
- Die Umgebungstemperatur muss zwischen 0 °C und 35 °C betragen. Seien Sie vorsichtig, wenn Sie den Monitor nahe an der Decke montieren. Die Temperatur kann dort sehr viel höher sein als die normale Raumtemperatur weiter unten.
- Verwenden Sie ausschließlich den Tischständer SU-S01 (nicht mitgeliefert). Informationen zur Anpassung finden Sie in der Bedienungsanleitung des Tischständers.
- Zu Metallteilen für die Montage wie Halterungen, Schrauben oder Bolzen können wir keine genauen Produktangaben machen. Die Montage ist Aufgabe der autorisierten Händler vor Ort. Wenden Sie sich für die Montage bitte an qualifiziertes Personal von Sony.
- Bei eingeschaltetem Monitor kommt es im Inneren zu einer gewissen Wärmeentwicklung. Dadurch kann es zu Verbrennungen kommen. Berühren Sie den Monitor nicht an der Ober- oder Rückseite, wenn er eingeschaltet ist oder gerade erst in den Bereitschaftsmodus geschaltet wurde.

Bei Verwendung des Tischständers

Vorderseite

Seite

Hinweis

Zum Versetzen oder Montieren des Bildschirms mit angebrachtem Ständer (nicht mitgeliefert) sind mindestens 2 Personen erforderlich.

Wenn Sie den Monitor horizontal installieren

Vorderseite

Seite

Wenn Sie den Monitor vertikal installieren

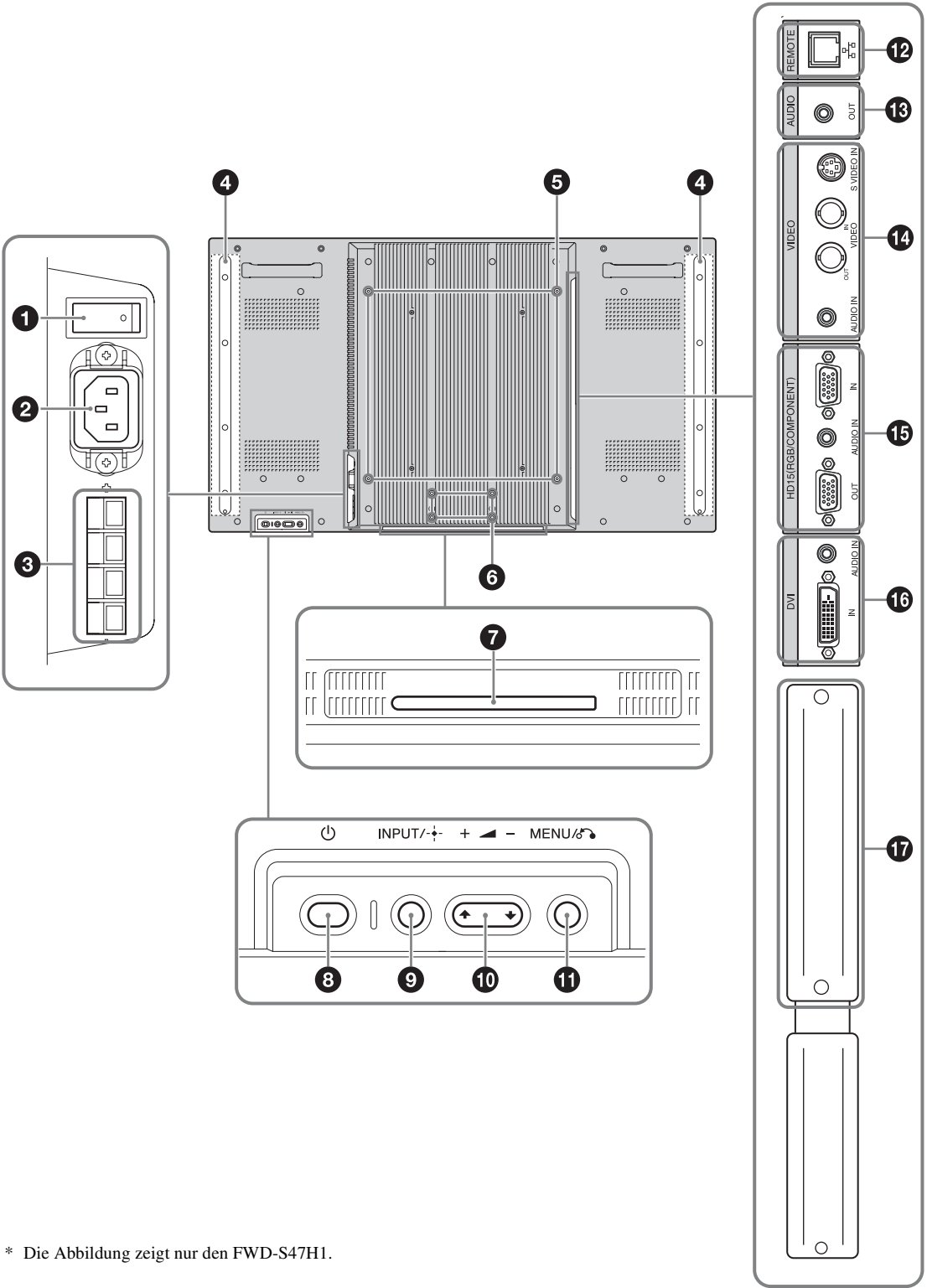
Vorderseite

Seite

Vorderseite

DE

Teile	Beschreibung
❶ Sony-Logo	Sie können ein Sony-Logo einblenden. Im Menübildschirm können Sie von den automatischen zu verschiedenen manuellen Einstellungen wechseln. Siehe „Logo“ auf Seite 30.
❷ Anzeige ⏻ (Ein/ Bereitschaft)	• Leuchtet grün, wenn der Monitor eingeschaltet ist. • Leuchtet rot, wenn sich der Monitor im Bereitschaftsmodus befindet. Leuchtet orange, wenn der Monitor in den Energiesparmodus schaltet, während vom PC ein Signal eingeht. Wenn die Anzeige ⏻ rot blinkt, schlagen Sie auf Seite 37 nach. **Hinweis** Wenn die Option „LED“ unter „Multi-Display“ auf „Aus“ gesetzt und für „Position“ etwas anderes als rechts unten eingestellt ist, leuchtet die Anzeige beim Einschalten des Monitors nicht grün, es sei denn, dass kein oder ein nicht unterstütztes Signal eingeht.
❸ Fernbedienungssensor	Empfänger des Fernbedienungssignals

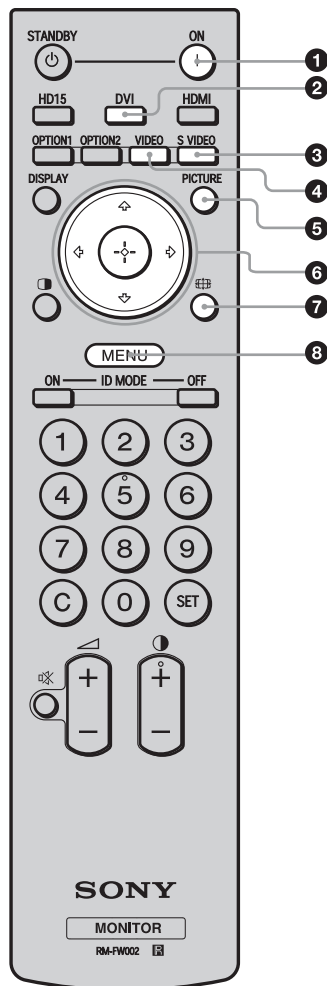
Rückseite

* Die Abbildung zeigt nur den FWD-S47H1.

Teile	Beschreibung
❶ Hauptschalter	Schalten Sie den Hauptschalter auf „ON“ (drücken Sie auf die Seite ❘), wenn Sie das Gerät einrichten. Wenn der Hauptschalter auf „OFF“ geschaltet wird (drücken Sie auf die Seite ◌), beläuft sich die Leistungsaufnahme auf 0 W.
❷ Buchse **AC IN**	Schließen Sie das mitgelieferte Netzkabel an diese Buchse und an eine Netzsteckdose an. Siehe Seite 17. Sobald Sie das Netzkabel angeschlossen und den Hauptschalter eingeschaltet haben, leuchtet die Anzeige ⏻ rot und der Monitor wechselt in den Bereitschaftsmodus.
❸ **SPEAKER**-Buchse	Schließen Sie die Lautsprecher SS-SPG02 (nicht mitgeliefert) an diese Buchse an. Nähere Informationen zum Anschließen der Lautsprecher finden Sie in der Bedienungsanleitung zu den Lautsprechern. Einzelheiten zum Verlegen der Lautsprecherkabel finden Sie auf Seite 18.
❹ Lautsprechermontagestellen	Zum Anbringen der dedizierten Lautsprecher SS-SPG02.
❺ Bohrungen für Ständerbefestigung	Die Schraubenbohrungen entsprechen der VESA-Norm. (Abstand: 400 mm × 400 mm, Schraube: M6)
❻ Verwendbare Monitorständer-Montagelöcher	Befestigen Sie mit diesen Haken den Monitorständer SU-S01 (nicht mitgeliefert).
❼ Dedizierte Monitorständer-Montagelöcher	Zur Montage des Monitorständers SU-S01 (nicht mitgeliefert) entfernen.
❽ ⏻ **(POWER)**-Schalter	Zum Ein- und Ausschalten (Bereitschaftsmodus) des Bildschirms. Bedienen Sie das Gerät, wenn sich der Hauptschalter in der Position „ON“ (Seite ❘) befindet.
❾ Taste **INPUT/ ✢ (ENTER)**	Zum Auswählen eines Signals, das am INPUT- oder OPTION-Anschluss eingespeist werden soll. Das einzuspeisende Signal wechselt mit jedem Tastendruck auf die Taste INPUT folgendermaßen. → S Video → Video → HD15 → DVI → OPTION ┐ (zurück zum Anfang) Wenn am OPTION-Anschlussbereich kein Zusatzadapter installiert ist, der Videosignale unterstützt, wird OPTION übersprungen. Zum Bestätigen der Auswahl.
❿ Taste +/–/⇧/⇩ (Lautstärke/Cursor)	Zum Regulieren der Lautsprecherlautstärke. Bei eingeblendetem Menü dienen diese Tasten zum Verschieben des Cursors bzw. zum Einstellen von Werten. Zum Bestätigen der Auswahl.
⓫ Taste **MENU/ ↩ (RETURN)**	Zum Aufrufen von Menüs. Zum Zurückschalten zum vorherigen Menübildschirm.
⓬ **REMOTE** (10BASE-T/100BASE-TX)	Zum Anschließen des Monitors an ein Netzwerk mithilfe eines 10BASE-T/100BASE-TX-LAN-Kabels. Sie können den Monitor vom PC aus über das Netzwerk steuern und ihm diverse Einstellungen zuweisen. **Vorsicht** • Wenn Sie das LAN-Kabel des Geräts an ein Peripheriegerät anschließen wollen, verwenden Sie das mitgelieferte Kabel. Andernfalls kann es aufgrund von Störstrahlungen zu Fehlfunktionen kommen. • Verbinden Sie diese Buchse aus Sicherheitsgründen nicht mit einem Peripheriegeräteanschluss, der für diese Buchse eine zu hohe Spannung aufweisen könnte. Beachten Sie die Anweisungen zu dieser Buchse. **Hinweis** Wählen Sie „Display“ unter „Netzwerkanschluss“, wenn Sie diesen Anschluss verwenden (Seite 30).

Teile	Beschreibung
⑬ **AUDIO** (Stereominibuchse)	Dies ist der Audio-Monitorausgang für externe Geräte. Zum Ausgeben des Tons zu dem Signal, das gerade auf dem Bildschirm angezeigt wird. Das ausgegebene Audiosignal entspricht im Modus „P&P“ oder „PinP“ dem aktiven* Bild. **Hinweise** • Unter „Ton-Modus“ oder „Lautspr.ausgang“ vorgenommene Einstellungen haben keine Wirkung. • Der über die Fernbedienung eingestellte Status der Rauschverminderung hat keine Wirkung.
⑭ **VIDEO**	**S VIDEO IN** (Mini DIN 4-polig): Zum Anschließen an den S-Video-Signalausgang eines Videogeräts. **VIDEO IN** (BNC): Zum Anschließen an den Videosignalausgang eines Videogeräts. **VIDEO OUT** (BNC): Zum Anschließen an den Videosignaleingang eines Videogeräts. Über VIDEO IN eingespeiste Bilder werden ausgegeben. **AUDIO IN** (Stereominibuchse): Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts.
⑮ **HD15 (RGB/ COMPONENT)** (D-Sub, 15-polig)	**HD15 (RGB/COMPONENT) IN:** Zum Anschließen an den analogen RGB- oder Farbdifferenzsignalausgang eines Videogeräts oder PCs. Siehe Seite 42. **AUDIO IN:** Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audiosignalausgang eines Videogeräts oder PCs. **HD15 (RGB/COMPONENT) OUT:** Zum Anschließen an den analogen RGB- oder Farbdifferenzsignaleingang eines Videogeräts oder PCs. Siehe Seite 42. Hier werden die Signale ausgegeben, die über den oben genannten Anschluss HD15 (RGB/ COMPONENT) IN eingespeist werden. **Hinweise** • Bei Farbdifferenzsignalen dürfen Sie keine Synchronisationssignale an den Polen 13 und 14 einspeisen. Andernfalls wird das Bild möglicherweise nicht einwandfrei angezeigt. • Wenn der Monitor nicht an den Netzstrom angeschlossen ist oder sich im Bereitschaftsmodus befindet, wird über HD15 (RGB/COMPONENT) OUT kein Signal ausgegeben.
⑯ **DVI** (DVI-D, 24-polig)	**DVI IN:** Zum Anschließen an den digitalen Signalausgang eines Videogeräts oder PCs. Unterstützt HDCP als Kopierschutz. **AUDIO IN:** Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audiosignalausgang eines Videogeräts usw.
⑰ **OPTION**-Anschlussbereich (VIDEO/COM-Buchse)	Dieser Anschlussbereich unterstützt Videosignale und Kommunikationsfunktionen. Bei Installation eines Zusatzadapters (der BKM-FW-Serie) in diesem Anschlussbereich stehen weitere Monitor-Funktionen zur Verfügung. Siehe Seite 16.

* In diesem Status wird Ton ausgegeben und das Eingangssignal kann gewechselt werden.

Fernbedienung

Beschreibung der Tasten

❶ **Schalter POWER ON**

Zum Einschalten des Monitors.
Bedienen Sie das Gerät, wenn sich der Hauptschalter an der Rückseite des Monitors in der Position „ON" befindet.

❷ **Taste DVI**

Zum Auswählen des Signals, das am DVI-Anschluss eingespeist wird.

❸ **Taste S VIDEO**

Zum Auswählen des Signals von einem Videogerät, das am Anschluss S VIDEO IN eingespeist wird.

❹ **Taste VIDEO**

Zum Auswählen des Signals von einem Videogerät, das am Anschluss VIDEO IN eingespeist wird.

❺ **Taste PICTURE**

Zum Auswählen von „Bild-Modus". Mit jedem Tastendruck wird zwischen „Brilliant", „Standard", „Anwender", „Konferenz" und „TC Control" gewechselt.

❻ **Tasten ⇧/⇩/⇦/⇨/⊕**

Die Tasten ⇧/⇩/⇦/⇨ dienen zum Bewegen des Cursors, zum Auswählen von Werten usw. Die Taste ⊕ dient zum Einstellen ausgewählter Menüs oder Menüoptionen.
Im Modus „PAP" können Sie die Einstellung für die Funktion „Picture and Picture" (Bild und Bild) ändern. Siehe Seite 14.

❼ **Taste ⊞**

Zum Wechseln des Bildformats. Siehe Seite 13.

❽ **Taste MENU**

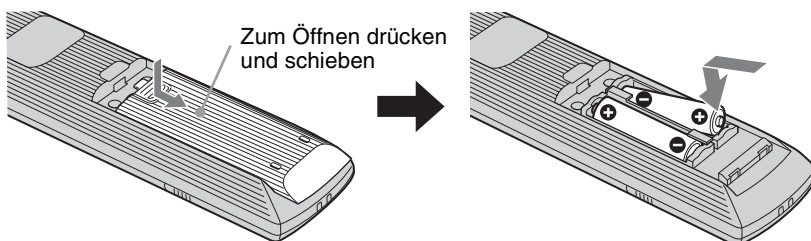
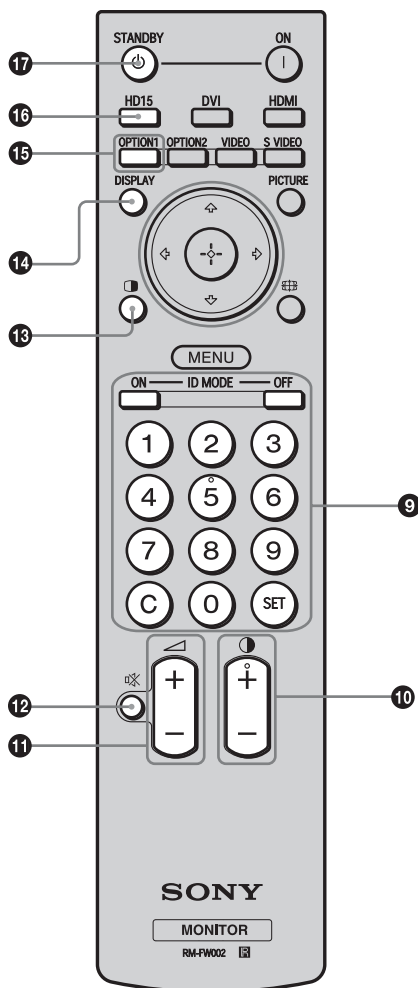
Zum Aufrufen von Menüs. Drücken Sie zum Ausblenden der Informationen die Taste erneut. Siehe Seite 19.

DE

Hinweise

- Die Tasten 5 und ◑ sind mit einem fühlbaren Punkt gekennzeichnet. Verwenden Sie den fühlbaren Punkt als Anhaltspunkt beim Bedienen des Monitors.
- Legen Sie zwei R6-Batterien der Größe AA (mitgeliefert) polaritätsrichtig in das Batteriefach der Fernbedienung ein: Plus- und Minus-Pol der Batterien müssen den Markierungen ⊕ und ⊖ im Batteriefach entsprechen.

Vorsicht

Explosionsgefahr bei Verwendung falscher Batterien. Batterien nur durch den vom Hersteller empfohlenen oder einen gleichwertigen Typ ersetzen. Wenn Sie die Batterie entsorgen, müssen Sie die Gesetze der jeweiligen Region und des jeweiligen Landes befolgen..

❾ Tasten ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF)

Wenn mehrere Monitore installiert sind, können Sie einen bestimmten davon bedienen, ohne die anderen zu beeinflussen.

- Taste ON: Drücken Sie diese Taste, um die „Indexnummer“ am Bildschirm anzuzeigen.
- Taste 0-9: Drücken Sie diese Taste, um die „Indexnummer“ des zu bedienenden Monitors einzugeben.
- Taste SET: Drücken Sie die Taste, um die „Indexnummer“ des Eingangs festzulegen.
- Taste C: Drücken Sie die Taste, um die „Indexnummer“ des Eingangs zu löschen.
- Taste OFF: Drücken Sie diese Taste, um in den normalen Modus zurückzuschalten.

Siehe Seite 15.

❿ Taste ◑ +/–

Zum Einstellen des Bildkontrasts.

⓫ Tasten ◿ +/–

Zum Einstellen der Lautstärke.

⓬ Taste 🔇

Zum Stummschalten des Tons. Drücken Sie die Taste nochmals, wenn Sie den Ton wieder hören wollen.

⓭ Taste ◨

Zum Auswählen des Modus „PAP“ (Picture And Picture). Mit jedem Tastendruck wird zwischen „P&P“, „PinP“ und dem Bildschirm mit einem Bild gewechselt. Siehe Seite 14.

⓮ Taste DISPLAY

Zum Anzeigen des ausgewählten Eingangs, des Eingangssignaltyps und der Einstellung für „Seitenverhältnis“ auf dem Bildschirm. Drücken Sie zum Ausblenden der Informationen die Taste erneut. Wenn die angezeigten Informationen kurze Zeit angezeigt werden, ohne dass Sie eine Funktion ausführen, werden sie automatisch wieder ausgeblendet.

⓯ Taste OPTION 1

Wenn ein Zusatzadapter installiert ist, wählen Sie hiermit das Signal von dem an den Zusatzadapter angeschlossenen Gerät aus.
Wenn der installierte Zusatzadapter über mehrere Eingänge verfügt, wird mit jedem Tastendruck zwischen den Eingangssignalen gewechselt.

⓰ Taste HD15

Zum Auswählen des Eingangssignals am Anschluss HD15 (RGB/ COMPONENT). Das RGB- oder Farbdifferenzsignal wird je nach den Menüeinstellungen automatisch oder manuell ausgewählt.

⓱ Taste STANDBY

Mit dieser Taste wird der Monitor in den Bereitschaftsmodus geschaltet.

Hinweis

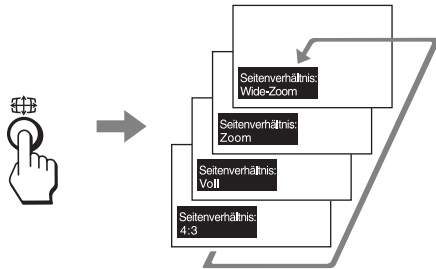
Sie können die Taste HDMI und OPTION 2 bei diesem Monitor nicht verwenden.

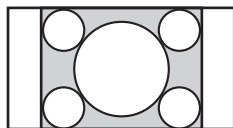
Sondertasten auf der Fernbedienung

Der Breitbildmodus

Sie können für die Anzeige am Bildschirm das Bildformat ändern.

Tipp

Stattdessen können Sie die Einstellungen auch über „Seitenverhältnis“ unter „Bildschirm“ vornehmen. Siehe Seite 26, 27.

Bei Eingangssignalen von Videogeräten, DVD-Geräten usw. (außer bei einem PC als Eingangsquelle)

4:3-Originalbildquelle

16:9-Originalbildquelle

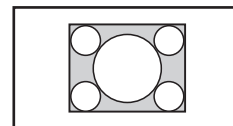
Wide-Zoom

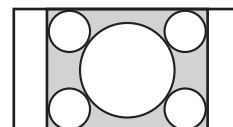
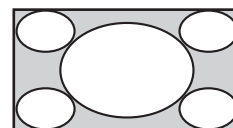
Zoom

Voll

4:3

Bei einem PC als Eingangsquelle

Die Abbildungen unten zeigen eine Eingangssignalauflösung von 800×600.

Original

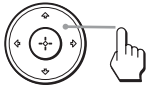
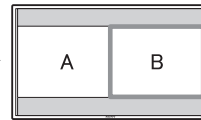
Voll 1

Voll 2

Hinweis

Wenn die Eingangssignalauflösung höher ist als die Bildschirmauflösung (1.920 × 1.080), sieht die Anzeige bei Original genauso aus wie bei Voll 1.

DE

Einstellen von PAP

Sie können zwei Bilder von verschiedenen Signalquellen wie einem PC und einem Videogerät nebeneinander anzeigen lassen.
Darüber hinaus können Sie das aktive Bild wechseln bzw. die Größe der Bilder verändern.
Stattdessen können Sie die Einstellungen auch über „PAP einstellen“ unter den „Bildschirm“-Einstellungen vornehmen. Siehe Seite 24.

Cursor zeigt aktives Bild an

Bei P&P

A und B haben die gleiche Breite. Die Höhe der Bilder wird entsprechend dem Bildformat eingestellt.

Drücken Sie die Taste ⇦.

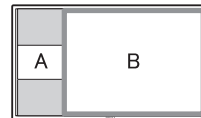
A ist breiter als B. Hat A das Bildformat 4:3, entspricht die Höhe von A der Bildschirmgröße.

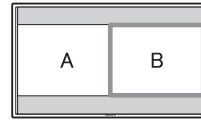
Drücken Sie die Taste ⇨.

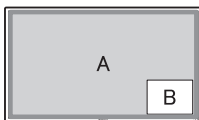
B auf der rechten Seite wird das aktive Bild.

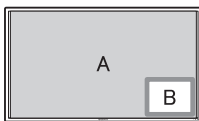
Drücken Sie die Taste ⇨.

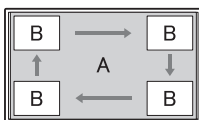
A und B haben die gleiche Breite. Die Höhe der Bilder wird entsprechend dem Bildformat eingestellt.

Drücken Sie die Taste ⇨.

B ist breiter als A. Hat B das Bildformat 4:3, entspricht die Höhe von B der Bildschirmgröße.

Drücken Sie die Taste ⇩.

B auf der rechten Seite wird kleiner, bleibt jedoch das aktive Bild.

Bei PinP

Das Zusatzbild (B) wird im Hauptbild (A) angezeigt.

Drücken Sie die Taste ⇦/⇨.

Das Zusatzbild (B) wird zum aktiven Bild.

Drücken Sie die Taste ⊕.

Die Position des Zusatzbildes (B) ändert sich.

Drücken Sie die Taste ⇧.

Das Zusatzbild (B) wird größer.

Drücken Sie die Taste ⇩.

Das Zusatzbild (B) wird kleiner.

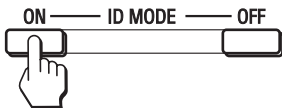
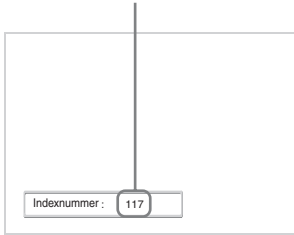
Tipps

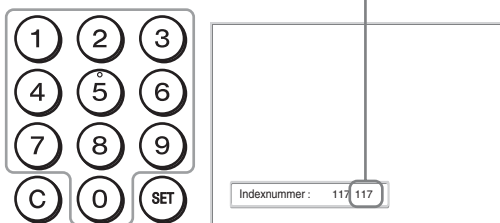
- Der Cursor, der das aktive Bild kennzeichnet, wird nach 5 Sekunden ausgeblendet.
- Das Bild kann auf eine von 15 Größen eingestellt werden (bei P&P).

Die Taste ID MODE

Wenn mehrere Monitore installiert sind, können Sie einen bestimmten davon bedienen, ohne die anderen zu beeinflussen.

1 Drücken Sie die Taste **ON**.

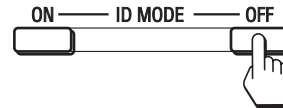
Die „Indexnummer“ des Monitors erscheint in Schwarz im Bildschirmmenü unten links. (Jedem Monitor ist werkseitig eine eigene „Indexnummer“ zwischen 1 und 255 zugeordnet.)

2 Geben Sie mit den Tasten 0 - 9 auf der Fernbedienung die „Indexnummer“ des Monitors ein, den Sie steuern wollen.

Die eingegebene Nummer erscheint rechts neben der „Indexnummer“ des jeweiligen Monitors.

3 Drücken Sie die Taste **SET**.

Die Zeichen auf dem ausgewählten Monitor werden nun grün angezeigt, die auf den anderen Monitoren rot.

Sie können nun ausschließlich den Monitor mit den grün angezeigten Zeichen bedienen.
Nur der Netzschalter POWER ON und die Taste STANDBY/ID MODE-OFF funktionieren auch noch bei den anderen Monitoren.

4 Nachdem Sie alle gewünschten Einstellungen geändert haben, drücken Sie die Taste **OFF**.

Auf dem Bildschirm erscheint wieder die normale Anzeige.

So korrigieren Sie die Indexnummer

Löschen Sie zunächst mit der Taste **C** die aktuelle „Indexnummer“. Geben Sie nun, wie in Schritt 2 erläutert, eine neue „Indexnummer“ ein.

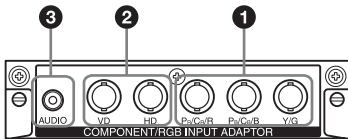
Tipp

Wie Sie die „Indexnummer“ des Monitors ändern, erfahren Sie unter „Indexnummer“ in „Steuerung einst.“ auf Seite 28.

DE

Zusatzadapter

Beim OPTION-Anschlussbereich ⓱ (Seite 10) seitlich am Monitor handelt es sich um einen Steckplatz. Sie können dort die folgenden Zusatzadapter (nicht mitgeliefert) installieren. Näheres zur Installation erfahren Sie bei Ihrem Sony-Händler.
Detaillierte Erläuterungen zu den Zusatzadaptern zur Systemerweiterung finden Sie in der jeweiligen Bedienungsanleitung.

COMPONENT/RGB INPUT-Adapter BKM-FW11

❶ **Y/G, P_B/C_B/B, P_R/C_R/R IN (BNC)**: Zum Anschließen an den analogen RGB- oder Farbdifferenzsignalausgang eines Videogeräts oder PCs.

❷ **HD, VD IN (BNC)**: Zum Anschließen an den Synchronisationssignalausgang eines PCs.

Hinweis

Bei Farbdifferenzsignalen dürfen Sie keine Synchronisationssignale an den HD- und VD-Anschlüssen einspeisen. Andernfalls wird das Bild möglicherweise nicht einwandfrei angezeigt.

❸ **AUDIO (Stereominibuchse)**: Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts oder PCs.

HDMI INPUT-Adapter BKM-FW15

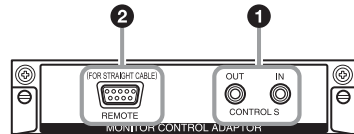
So können Sie Videos in verbesserter bzw. HD-Qualität und zweikanaligem Digitalton wiedergeben lassen.
Der geeignete Modus für das angeschlossene Audio-/Videogerät bzw. den PC wird automatisch ausgewählt.

Hinweis

Verwenden Sie unbedingt ein HDMI-Kabel (nicht mitgeliefert) mit HDMI-Logo.

HD-SDI/SDI INPUT-Adapter BKM-FW16

Zum Anschließen an den HD-SDI-Signalausgang eines Videogeräts.

MONITOR CONTROL-Adapter BKM-FW21

❶ **CONTROL S IN/OUT** (Minibuchse): Sie können mehrere Geräte mit nur einer Fernbedienung steuern, wenn der Monitor an den Anschluss CONTROL S eines Videogeräts oder eines anderen Monitors angeschlossen wird. Verbinden Sie den Anschluss CONTROL S OUT an diesem Adapter mit dem Anschluss CONTROL S IN am anderen Gerät und den Anschluss CONTROL S IN an diesem Adapter mit dem Anschluss CONTROL S OUT am anderen Gerät.

❷ **REMOTE** (D-Sub, 9-polig): Mit diesem Anschluss können Sie den Monitor über das RS-232C-Protokoll fernsteuern. Näheres dazu erfahren Sie bei Ihrem autorisierten Sony-Händler.

Hinweise

- Sie können den Anschluss REMOTE und den Anschluss REMOTE (LAN) ⓬ (Seite 9) seitlich am Monitor nicht gleichzeitig verwenden.
- Wählen Sie „Option“ unter „Netzwerkanschluss“, wenn Sie den Anschluss REMOTE verwenden (Seite 30).

STREAMING RECEIVER-Adapter BKM-FW50

Mit diesem Adapter können Sie den Monitor für Digitalsignale nutzen.
Sie können ganz einfach Filme, Standbilder oder Hintergrundmusik in designierten Datenformaten abspielen, indem Sie einfach ein Aufnahmemedium einlegen. Sie können auch ein Netzwerk verwenden, um Bilder von einem Remote-Computer auf dem Monitor anzuzeigen.

Hinweis

Eine Compact Flash-Speicherkarte ist erforderlich.

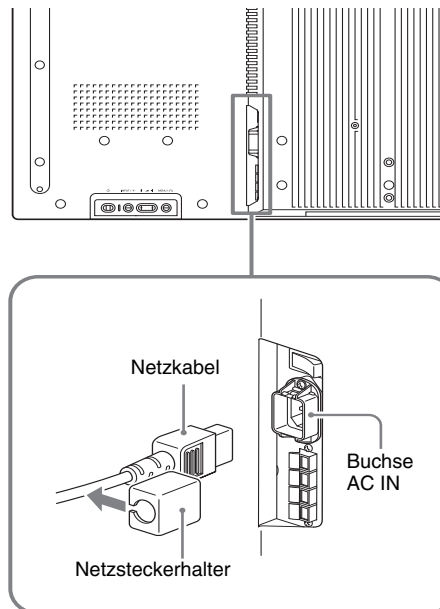
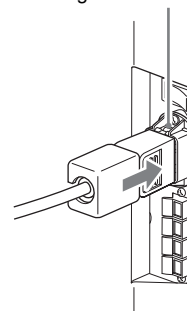
Vorbereitungen

- Achten Sie darauf, dass alle Geräte ausgeschaltet sind.
- Verwenden Sie nur Kabel, die für die anzuschließenden Geräte geeignet sind.
- Schließen Sie die Kabel an, indem Sie die Stecker ganz in die Buchsen stecken. Eine lose Verbindung kann Störungen verursachen.
- Um ein Kabel zu lösen, ziehen Sie immer am Stecker. Ziehen Sie auf keinen Fall am Kabel selbst.
- Schlagen Sie bitte auch in den Bedienungsanleitungen zu den anzuschließenden Geräten nach.
- Stecken Sie den Stecker fest in die Buchse AC IN.
- Verwenden Sie einen der beiden Netzsteckerhalter (mitgeliefert), damit der Netzstecker sicher hält.

Anschließen der Lautsprecher

Schließen Sie die Lautsprecher SS-SPG02 (nicht mitgeliefert) an. Achten Sie darauf, die Lautsprecher korrekt anzuschließen. Nähere Informationen zum Anschließen der Lautsprecher finden Sie in der Bedienungsanleitung zu den Lautsprechern. Einzelheiten zum Verlegen der Lautsprecherkabel finden Sie auf Seite 18.

Anschließen des Netzkabels

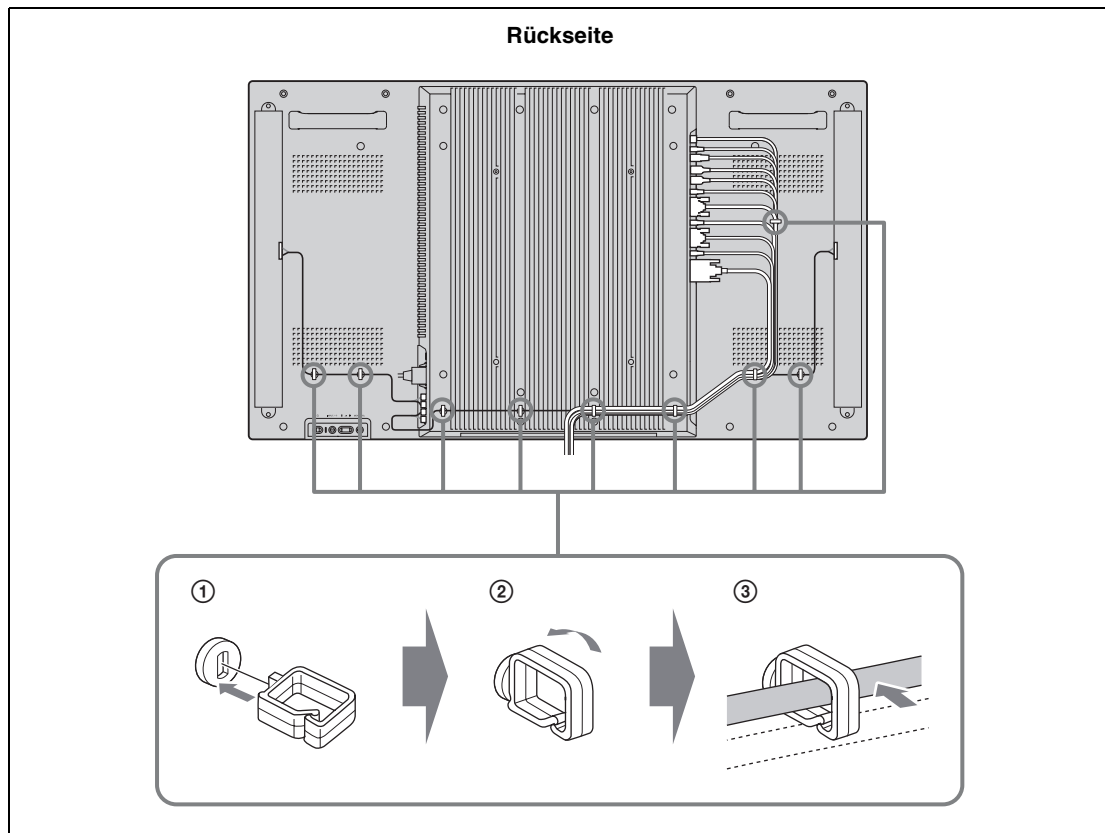
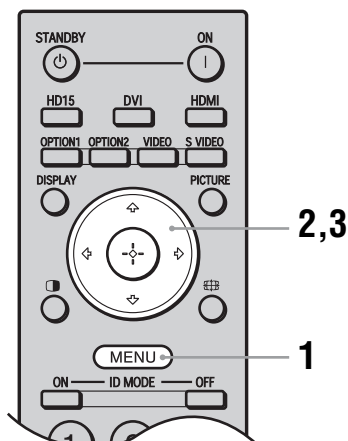
1 Schließen Sie das Netzkabel an die Buchse AC IN an. Bringen Sie dann den Netzsteckerhalter (mitgeliefert) am Netzkabel an.

2 Schieben Sie den Netzsteckerhalter über das Kabel, bis er mit der Abdeckung der Buchse AC IN verbunden ist.

So nehmen Sie das Netzkabel ab

Nachdem Sie auf beide Seiten des Netzsteckerhalters gedrückt und ihn gelöst haben, ziehen Sie das Netzkabel am Stecker heraus.

DE

Umgang mit den Kabeln

Anbringen der Kabelhalter

Die Kabel lassen sich mit den mitgelieferten Kabelhaltern (×9) ideal bündeln. Bringen Sie die Kabelhalter wie in der Abbildung unten dargestellt an.

Übersicht über die Menüs

1 Drücken Sie die Taste MENU.

2 Heben Sie mit der Taste ⇧/⇩ die gewünschte Menüoption hervor.

3 Drücken Sie ⊕ oder ⇨.

Um das Menü auszublenden, drücken Sie erneut die Taste MENU.

So wechseln Sie die Sprache für die Bildschirmanzeigen

Sie können die gewünschte Sprache für die Menüs und Meldungen auf dem Bildschirm auswählen: „English", „Français", „Deutsch", „Español", „Italiano" oder „日本語".
Standardmäßig ist „English" (Englisch) eingestellt.
Siehe Seite 28.

Über die Einstellungen in den einzelnen Menüs haben Sie Zugriff auf folgende Funktionen:

Menü	Auswählbare/einstellbare Optionen
Bild/Ton	Bild-Modus: (Seite 20, 22)

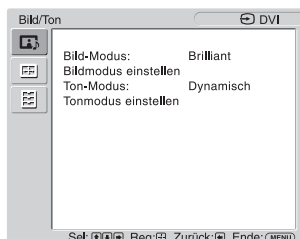
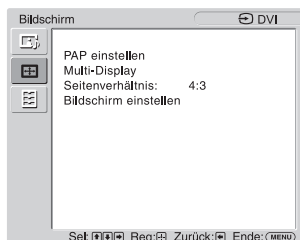
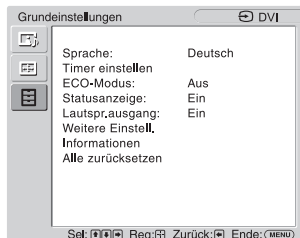



Bild-Modus: (Seite 20, 22)
Bildmodus einstellen (Seite 20, 22)
Ton-Modus: (Seite 21, 23)
Tonmodus einstellen (Seite 21, 23)

Hinweis

Sie können „Bild-Modus" oder „Bildmodus einstellen" nicht einstellen oder ändern, wenn kein Eingangssignal vorliegt.

Bildschirm

PAP einstellen (Seite 24, 27)
Multi-Display (Seite 25, 27)
Seitenverhältnis: (Seite 26, 27)
Bildschirm einstellen (Seite 26, 27)

Grundeinstellungen

Sprache: (Seite 28)
Timer einstellen (Seite 28)
ECO-Modus: (Seite 28)
Statusanzeige: (Seite 28)
Lautspr.ausgang: (Seite 28)
Weitere Einstell. (Seite 28)
Informationen (Seite 31)
Alle zurücksetzen (Seite 31)

* Je nach den Einstellungen stehen die Menüsymbole unten am Bildschirm unter Umständen nicht zur Verfügung.

DE

Bild/Ton-Einstellungen

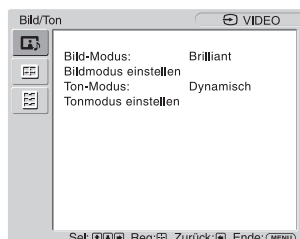
Bei einem Videogerät als Eingangsquelle

Zum Hervorheben einer Option und zum Ändern von Einstellungen drücken Sie ⇧/⇩/⇦/⇨.
Mit ⊕ bestätigen Sie Ihre Auswahl.
Die Einstellungen unter „Bild/Ton“ enthalten folgende Optionen:

Bild-Modus

„Brilliant“: Zur Verbesserung von Bildkontrast und Bildschärfe.
„Standard“: Für die Standardbildeinstellungen.
„Anwender“: Zum Speichern anwenderspezifischer Einstellungen.
„Konferenz“: Zum Einstellen der Bildqualität für Videokonferenzen im Licht von Leuchtstoffröhren.
„TC Control“: Diese Einstellung ähnelt der Einstellung „Brilliant“. Zusätzlich können Sie die Funktion „True Color Control“ (siehe unten) verwenden.

Tipp
Zum Wechseln zwischen den einzelnen Optionen unter „Bild-Modus“ können Sie stattdessen auch PICTURE auf der Fernbedienung verwenden.

Hinweise

- „Konferenz“ ist je nach der Umgebung oder dem verwendeten Videokonferenzsystem möglicherweise nicht wirksam. Stellen Sie in diesem Fall die Bildqualität ein, wählen Sie unter „Bild-Modus“ eine andere Einstellung usw.
- In „TC Control“ ist „Helligkeit erhöhen“ fest auf Aus eingestellt.

Bildmodus einstellen

„Ht. Grd. Licht“: Zum Erhöhen oder Verringern der Helligkeit des Bildschirms.
„Kontrast“: Zum Verstärken oder Abschwächen des Bildkontrasts.
„Helligkeit“: Zum Erhöhen oder Verringern der Bildhelligkeit.
„Chrominanz“: Zum Verstärken oder Abschwächen der Farbintensität.
„Phase“: Zum Einstellen der Farbtöne des Bildes.
„Bildschärfe“: Zum Verstärken oder Abschwächen der Bildschärfe.
„Rauschvermind.“: Zum Verringern des Störrauschens von angeschlossenen Geräten. Wählen Sie unter „Aus“, „Niedrig“, „Mittel“ und „Hoch“ als Einstellung für die Rauschverminderung.
„CineMotion“: Wenn Sie „Automatisch“ wählen, erkennt das Gerät automatisch Filme und optimiert die Anzeige, indem es einen umgekehrten 3-2- oder 2-2-Pull-Down-Prozess durchführt. Dadurch verbessert sich bei Filmen die Bildschärfe und sie wirken natürlicher. Mit „Aus“ deaktivieren Sie die automatische Filmerkennung.
„Dynamisch. Bild“: Bei „Ein“ wird der Kontrast verstärkt, indem Weiß heller und Schwarz dunkler eingestellt wird.
„Gamma-Korrektur“: Sorgt für einen Ausgleich zwischen den hellen und dunklen Bildbereichen. Sie haben die Wahl zwischen „Hoch“, „Mittel“ und „Niedrig“.

Hinweise

- „Option“ kann nur eingestellt werden, wenn es einen DVI-Eingang gibt.
- Die Gamma-Einstellung entspricht der Grayscale Standard Display Function (GSDF) der Digital Imaging and Communications in Medicine (DICOM)-Standards. Diese Einstellung dient aber nur der Referenz und kann nicht zur medizinischen Diagnoe verwendet werden.

„Farbtemperatur“: Der Weißton kann entsprechend Ihren Wünschen angepasst werden. Die werkseitigen Standardeinstellungen werden an die Farbtemperatur angepasst.

„Kalt“: Weiß erhält einen bläulichen Stich.

„Neutral“: Weiß erscheint neutral.
„Warm“: Weiß erhält einen rötlichen Stich.
„Anwender“: Mit dieser Einstellung kann ein breiterer Bereich für den Weißton als oben eingestellt werden.

Tipp

Zum Wiederherstellen der Standardeinstellungen wählen Sie „Zurücksetzen“ auf dem Bildschirm zum Einstellen der Farbtöne.

„Helligkeit erhöhen“: Betont die Helligkeit des Bildes.

Hinweise

- Wenn „Helligkeit erhöhen“ auf „Ein“ eingestellt ist, können Sie die Einstellungen „Ht. Grd. Licht“, „Kontrast“, „Helligkeit“ oder „Farbtemperatur“ nicht anpassen.
- Wenn „Helligkeit erhöhen“ auf „Ein“ eingestellt ist und „ECO-Modus“ in „Aus“ geändert wird, ist die Helligkeit auf das Maximum eingestellt.

„True Color Control“: Sie können Farbton und Sättigung der folgenden 4 Farben präzise einstellen: Rot, Grün, Gelb, Blau und Sie können spezielle Farben im Bild hervorheben.
Wählen Sie die einzustellende Farbe aus und Sie können sehen, welche Farbe im Bild eingestellt wird. Sie können sie dann mit dem Matrixdialogfeld einstellen.

Hinweise

- Diese Option kann eingestellt werden, wenn „Bild-Modus“ auf „TC Control“ gesetzt ist.
- Im Modus „PAP“ können Sie diese Option nicht auswählen. Wenn nur ein Bild angezeigt wird und Sie diese Option einstellen, gilt die Einstellung im Modus „PAP“ möglicherweise nicht.

„Zurücksetzen“: Zum Zurücksetzen aller Einstellungen unter „Bildmodus einstellen“ auf die Standardeinstellungen.

Hinweise

- „Phase“ steht nicht zur Verfügung, wenn ein Video- oder S-Video-Signal eingespeist wird und es sich bei dem Farbsystem des Videosignals nicht um NTSC handelt.
- „Dynamisch. Bild“ ist nicht verfügbar, wenn „Bild-Modus“ auf „Konferenz“ oder „TC Control“ eingestellt ist.
- Sie können für jeden „Bild-Modus“ Einstellungen vornehmen, aber in jedem „Bild-Modus“ gelten für „Ht. Grd. Licht“, „Rauschvermind.“ und „CineMotion“ die gleichen Einstellungen.
- „Dynamisch. Bild“ und „CineMotion“ funktionieren im Modus PAP nicht.

Ton-Modus

Unter „Ton-Modus“ können Sie verschiedene Einstellungen für den über die Lautsprecher SS-SPG02 (nicht mitgeliefert) ausgegebenen Ton vornehmen.
„Dynamisch“: Zum Verstärken von Höhen und Tiefen.
„Standard“: Normale Einstellung ohne Verstärkung.
„Anwender“: Zum Speichern anwenderspezifischer Einstellungen.

Tonmodus einstellen

„Höhen“: Zum Verstärken oder Abschwächen hoher Töne.
„Tiefen“: Zum Verstärken oder Abschwächen tiefer Töne (Bässe).
„Balance“: Zum Einstellen der Balance zwischen linkem und rechtem Lautsprecher.
„Raumklang“: Wählen Sie je nach Bildtyp den Raumklangmodus aus.
„Aus“: Es wird kein Raumklang ausgegeben.
„Saal“: Die Stereowirkung des Tons wird bei Filmen oder Musiksendungen intensiviert.
„Simul.“: Bei normalen Mono-Sendungen oder Nachrichtensendungen erzielen Sie mit simuliertem Stereoklang eine bessere räumliche Wirkung.
„Zurücksetzen“: Zum Zurücksetzen aller Einstellungen unter „Tonmodus einstellen“ auf die Standardeinstellungen.

Tipps

- Sie können die Einstellungen unter „Bildmodus einstellen“ („Kontrast“, „Helligkeit“, „Chrominanz“ usw.) für jeden „Bild-Modus“ einzeln ändern.
- Die Einstellungen unter „Tonmodus einstellen“ („Höhen“ und „Tiefen“) können Sie ändern, wenn „Ton-Modus“ auf „Anwender“ gesetzt ist.

Hinweis

Im Modus „PAP“ können nur die Einstellungen „Bild/Ton“ für das aktive Bild angepasst werden.

Bei einem PC als Eingangsquelle

Wenn als Eingangsquelle PC-Eingangssignale ausgewählt werden, gelten PC-spezifische Einstellungen für „Bild/Ton".
Die Einstellungen für einen PC unter „Bild/Ton" enthalten folgende Optionen:

Bild-Modus

„Brilliant": Zur Verbesserung von Bildkontrast und Bildschärfe.
„Standard": Für die Standardbildeinstellungen.
„Anwender": Zum Speichern anwenderspezifischer Einstellungen.
„Konferenz": Zum Einstellen der Bildqualität für Videokonferenzen im Licht von Leuchtstoffröhren.
„TC Control": Diese Einstellung ähnelt der Einstellung „Brilliant". Zusätzlich können Sie die Funktion „True Color Control" (siehe unten) verwenden.

Tipp

Zum Wechseln zwischen den einzelnen Optionen unter „Bild-Modus" können Sie stattdessen auch PICTURE auf der Fernbedienung verwenden.

Hinweise

- „Konferenz" ist je nach der Umgebung oder dem verwendeten Videokonferenzsystem möglicherweise nicht wirksam. Stellen Sie in diesem Fall die Bildqualität ein, wählen Sie unter „Bild-Modus" eine andere Einstellung usw.
- In „TC Control" ist „Helligkeit erhöhen" fest auf Aus eingestellt.

Bildmodus einstellen

„Ht. Grd. Licht": Zum Erhöhen oder Verringern der Helligkeit des Bildschirms.
„Kontrast": Zum Verstärken oder Abschwächen des Bildkontrasts.
„Helligkeit": Zum Erhöhen oder Verringern der Bildhelligkeit.
„Gamma-Korrektur": Sorgt für einen Ausgleich zwischen den hellen und dunklen Bildbereichen. Sie haben die Wahl zwischen „Hoch", „Mittel" und „Niedrig".

Hinweise

- „Option" kann nur eingestellt werden, wenn es einen DVI-Eingang gibt.
- Die Gamma-Einstellung entspricht der Grayscale Standard Display Function (GSDF) der Digital Imaging and Communications in Medicine (DICOM)-Standards. Diese Einstellung dient aber nur der Referenz und kann nicht zur medizinischen Diagnoe verwendet werden.

„Farbtemperatur": Der Weißton kann entsprechend Ihren Wünschen angepasst werden. Die werkseitigen Standardeinstellungen werden an die Farbtemperatur angepasst.

„Kalt": Weiß erhält einen bläulichen Stich.
„Neutral": Weiß erscheint neutral.
„Warm": Weiß erhält einen rötlichen Stich.
„Anwender": Mit dieser Einstellung kann ein breiterer Bereich für den Weißton als oben eingestellt werden.

Tipp

Zum Wiederherstellen der Standardeinstellungen wählen Sie „Zurücksetzen" auf dem Bildschirm zum Einstellen der Farbtöne.

„Helligkeit erhöhen": Betont die Helligkeit des Bildes.

Hinweise

- Wenn „Helligkeit erhöhen" auf „Ein" eingestellt ist, können Sie die Einstellungen „Ht. Grd. Licht", „Kontrast", „Helligkeit" oder „Farbtemperatur" nicht anpassen.
- Wenn „Helligkeit erhöhen" auf „Ein" eingestellt ist und „ECO-Modus" in „Aus" geändert wird, ist die Helligkeit auf das Maximum eingestellt.

„True Color Control": Sie können Farbton und Sättigung der folgenden 4 Farben präzise einstellen: Rot, Grün, Gelb, Blau und Sie können spezielle Farben im Bild hervorheben.

Wählen Sie die einzustellende Farbe aus und Sie können sehen, welche Farbe im Bild eingestellt wird. Sie können sie dann mit dem Matrixdialogfeld einstellen.

Hinweise

- Diese Option kann eingestellt werden, wenn „Bild-Modus“ auf „TC Control“ gesetzt ist.
- Im Modus „PAP“ können Sie diese Option nicht auswählen. Wenn nur ein Bild angezeigt wird und Sie diese Option einstellen, gilt die Einstellung im Modus „PAP“ möglicherweise nicht.

„Zurücksetzen“: Zum Zurücksetzen aller Einstellungen unter „Bildmodus einstellen“ auf die Standardeinstellungen.

Hinweis

Sie können für jeden „Bild-Modus“ Einstellungen vornehmen, aber in jedem „Bild-Modus“ gelten für „Ht. Grd. Licht“ die gleichen Einstellungen.

Ton-Modus

Unter „Ton-Modus“ können Sie verschiedene Einstellungen für den über die Lautsprecher SS-SPG02 (nicht mitgeliefert) ausgegebenen Ton vornehmen.
„Dynamisch“: Zum Verstärken von Höhen und Tiefen.
„Standard“: Normale Einstellung ohne Verstärkung.
„Anwender“: Zum Speichern anwenderspezifischer Einstellungen.

Tonmodus einstellen

„Höhen“: Zum Verstärken oder Abschwächen hoher Töne.
„Tiefen“: Zum Verstärken oder Abschwächen tiefer Töne (Bässe).
„Balance“: Zum Einstellen der Balance zwischen linkem und rechtem Lautsprecher.
„Raumklang“: Wählen Sie je nach Bildtyp den Raumklangmodus aus.
- **„Aus“:** Es wird kein Raumklang ausgegeben.
- **„Saal“:** Die Stereowirkung des Tons wird bei Filmen oder Musiksendungen intensiviert.
- **„Simul.“:** Bei normalen Mono-Sendungen oder Nachrichtensendungen erzielen Sie mit simuliertem Stereoklang eine bessere räumliche Wirkung.

„Zurücksetzen“: Zum Zurücksetzen aller Einstellungen unter „Tonmodus einstellen“ auf die Standardeinstellungen.

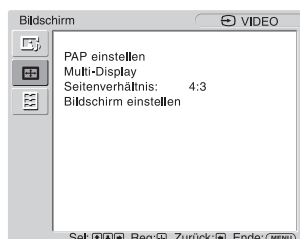
Tipps

- Sie können die Einstellungen unter „Bildmodus einstellen“ („Kontrast“, „Helligkeit“, „Chrominanz“ usw.) für jeden „Bild-Modus“ einzeln ändern.
- Die Einstellungen unter „Tonmodus einstellen“ („Höhen“ und „Tiefen“) können Sie ändern, wenn „Ton-Modus“ auf „Anwender“ gesetzt ist.

Hinweise

- „Chrominanz“, „Phase“, „Bildschärfe“, „Rauschvermind.“, „CineMotion“ und „Dynamisch. Bild“ stehen bei einem PC als Eingangsquelle nicht zur Verfügung.
- Im Modus „PAP“ können nur die Einstellungen „Bild/Ton“ für das aktive Bild angepasst werden.

Bildschirm-Einstellungen

Bei einem Videogerät als Eingangsquelle

Zum Hervorheben einer Option und zum Ändern von Einstellungen drücken Sie ⇧/⇩/⇦/⇨.
Mit ⊕ bestätigen Sie Ihre Auswahl.
Die Einstellungen unter „Bildschirm“ enthalten folgende Optionen:

PAP einstellen

Sie können zwei Bilder aus verschiedenen Signalquellen wie einem PC und einem Videogerät nebeneinander anzeigen lassen.

„PAP“

„Aus“: Zum Deaktivieren der Funktion „PAP“.
„P&P“: Zum Anzeigen von zwei Bildern gleichzeitig nebeneinander.
„PinP“: Zum Anzeigen zweier Zusatzbilder im Hauptbild.

Bei P&P

„Aktives Bild“: Zum Auswählen des zu steuernden Bildschirms.

„Links“: Zum Aktivieren des linken Bildes, um Funktionen daran auszuführen.
„Rechts“: Zum Aktivieren des rechten Bildes, um Funktionen daran auszuführen.
„Tauschen“: Zum Vertauschen der beiden nebeneinander angeordneten Bilder.

„Bildgröße“: Zum Einstellen der Bildgrößen der beiden nebeneinander angeordneten Bilder. Stellen Sie die relative Größe mit der Taste ⇦ oder ⇨ ein und drücken Sie dann ⊕, um die Einstellung zu bestätigen (Seite 14).

Bei PinP

„Aktives Bild“: Zum Auswählen des zu steuernden Bildschirms.

„Haupt“: Zum Aktivieren des Hauptbildes, um Funktionen daran auszuführen.
„Zusatzbild“: Zum Aktivieren des Zusatzbildes, um Funktionen daran auszuführen.
„Tauschen“: Zum Vertauschen des Haupt- und des Zusatzbildes.

„Bildgröße“: Zum Einstellen der Größe des Zusatzbildes. Sie haben die Wahl zwischen „Groß“ und „Klein“.
„Bildposition“: Stellen Sie die Position des Zusatzbildes mit ⇧/⇩/⇦/⇨ ein, und drücken Sie dann ⊕.

Tipp

Im Modus „PAP“ kann das Bildseitenverhältnis nicht gewechselt werden. Das Bild wird in dem Bildseitenverhältnis angezeigt, das vor dem Wechsel in den Modus „PAP“ eingestellt war.

Mögliche Kombinationen bei zwei Bildern

		S Video	Video	RGB/YUV		DVI	OPTION			
				RGB	Component		RGB	Component	HDMI	HD-SDI/ SDI
S Video				○	○	○	○	○	○	○
Video				○	○	○	○	○	○	○
RGB/YUV	RGB	○	○			○		○[2]	○	○
	Component	○	○			○	○[1]		○	○
DVI		○	○	○	○		○	○		

1) Wird unterstützt, wenn „Display“ auf „YUV“ oder wenn „Option“ auf „RGB“ unter „RGB/YUV“ gesetzt ist.
2) Wird unterstützt, wenn „Display“ auf „RGB“ oder wenn „Option“ auf „YUV“ unter „RGB/YUV“ gesetzt ist.

Tipp

Die Ausgabe des BKM-FW50 gilt als RGB-Ausgabe (siehe in der Tabelle unter dem Modus „PAP“).

Multi-Display

Zum Vornehmen der nötigen Einstellungen, wenn eine Videowand aus mehreren Monitoren zusammengestellt werden soll.

„Multi-Display“

„Aus“: Es wird nur ein einziger Monitor verwendet.

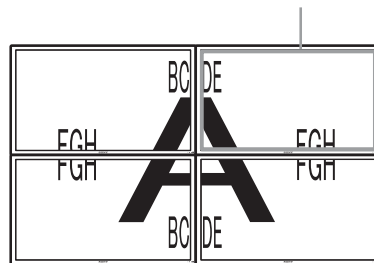
„2×2“/„3×3“/„4×4“: Mehrere Monitore werden angeschlossen, zum Beispiel je 2, 3 oder 4 Monitore vertikal und horizontal.

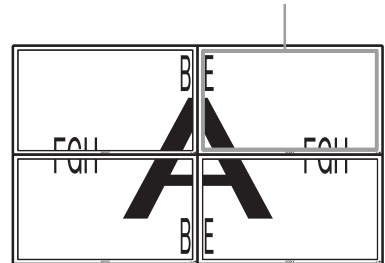
„1×2“/„1×3“/„1×4“: Mehrere Monitore werden angeschlossen, zum Beispiel 2, 3 oder 4 Monitore horizontal.

„2×1“/„3×1“/„4×1“: Mehrere Monitore werden angeschlossen, zum Beispiel 2, 3 oder 4 Monitore vertikal.

„Position“: Zum Auswählen der Position der einzelnen Monitore in der Videowand mit ⇧/⇩/⇦/⇨. Bestätigen Sie die Position mit ⊕.

„Ausgabeformat“: Sie haben die Wahl zwischen zwei Bildausgabeformaten, wie in den Abbildungen gezeigt. Sie wählen einfach das gewünschte Format aus und das Bild wird in geeigneter Weise angezeigt, ohne dass Sie die horizontale und vertikale Bildposition von Hand einstellen müssen. Sie haben die Wahl zwischen „Fliesen“ und „Fenster“.

„Fliesen“

Das gesamte Bildsignal erscheint auf den einzelnen Bildschirmen.

„Fenster“

Zur Anzeige des Bildes als ein einziges, großes Bild.
Ein Teil des Bildsignals verschwindet hinter den Blenden.

„LED“: Bei „Ein“ leuchtet die Anzeige ⏻ an der Vorderseite ständig (Seite 7), bei „Aus“ leuchtet die Anzeige ⏻ an der Vorderseite nicht.

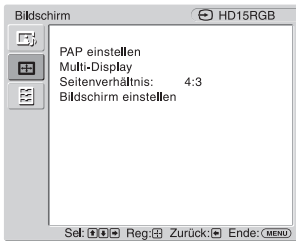
Hinweise

- Bei einem Videogerät als Eingangsquelle kann mit „Multi-Display“ ein vergrößertes Bild angezeigt werden, wobei die aktuelle Einstellung für „Seitenverhältnis“ weitgehend beibehalten wird. Bei einem PC als Eingangsquelle kann ein vergrößertes Bild angezeigt werden, wobei „Seitenverhältnis“ auf „Voll 2“ gesetzt wird.
- Sie können „Multi-Display“ nur einstellen, wenn „PAP“ deaktiviert ist.
- Wenn als „Position“ rechts unten eingestellt ist, leuchtet die Anzeige ⏻ auch dann, wenn die Option „LED“ auf „Aus“ gesetzt ist. Die Anzeige leuchtet auch, wenn der Monitor ausgeschaltet (im Bereitschaftsmodus) ist, Fehler erkannt werden oder sich das Gerät im Energiesparmodus befindet, ebenso wenn kein oder ein nicht unterstütztes Signal eingeht.

Seitenverhältnis	**„Wide-Zoom“:** Das Bild wird vergrößert und füllt den Bildschirm, wobei Verzerrungen auf ein Minimum beschränkt werden. **„Zoom“:** Zum Vergrößern des Originalbildes, ohne das Bildseitenverhältnis zu verändern. Siehe Seite 13. **„Voll“:** Zum Verbreitern eines Originalbildes von einer 4:3-Bildquelle (Standard Definition-Bildquelle), so dass es den Bildschirm füllt. Handelt es sich bei der Originalbildquelle um eine 16:9-Bildquelle (High Definition-Bildquelle), so wird das 16:9-Bild in diesem Modus im Originalformat angezeigt. **„4:3“:** Zum Anzeigen aller Bilder in Originalgröße im Bildseitenverhältnis 4:3. **Tipps** • Zum Wechseln zwischen den einzelnen Optionen unter „Seitenverhältnis“ können Sie stattdessen auch ⿻ auf der Fernbedienung verwenden. • Wählen Sie „Zoom“, wenn Sie Filme und andere DVD-Inhalte mit schwarzen Balken so anzeigen lassen wollen, dass sie den gesamten Anzeigebereich auf dem Bildschirm füllen. **Hinweis** „Seitenverhältnis“ lässt sich nicht einstellen, wenn die Funktion „PAP“ oder „Multi-Display“ verwendet wird.
Bildschirm einstellen	**„H. Größe“:** Zum Einstellen der Bildbreite. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇦/⇨ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕. **„H. Position“:** Zum Verschieben des Bildes im Fenster nach links oder rechts. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇦/⇨ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕. **„V. Größe“:** Zum Einstellen der Bildhöhe. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇧/⇩ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕. **„V. Position“:** Zum Verschieben des Bildes im Fenster nach oben oder unten. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇧/⇩ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕. **„Zurücksetzen“:** Zum Zurücksetzen aller Einstellungen unter „Bildschirm einstellen“ auf die Standardeinstellungen.

Hinweise

- „Bildschirm einstellen“ steht nicht zur Verfügung, wenn die Funktion „PAP“ verwendet wird.
- Wenn gerade kein Signal eingespeist wird, kann keine der Optionen unter „Bildschirm“ ausgewählt werden, mit Ausnahme von „PAP einstellen“ und „Multi-Display“.

Bei einem PC als Eingangsquelle

Wenn als Eingangsquelle PC-Eingangssignale ausgewählt werden, gelten PC-spezifische Einstellungen für „Bildschirm“.
Die Einstellungen für einen PC unter „Bildschirm“ enthalten folgende Optionen:

PAP einstellen

Schlagen Sie unter „PAP einstellen“ für ein Videogerät als Eingangsquelle nach (Seite 24).

Multi-Display

Schlagen Sie unter „Multi-Display“ für ein Videogerät als Eingangsquelle nach (Seite 25).

Seitenverhältnis

„Voll 1“: Zum Vergrößern des Bildes, so dass es den Anzeigebereich in der Vertikalen füllt, wobei das ursprüngliche Bildseitenverhältnis (horizontal-vertikal) erhalten bleibt. Das Bild wird mit schwarzen Streifen am Rand angezeigt.
„Voll 2“: Zum Vergrößern des Bildes, so dass es den Anzeigebereich füllt.
„Original“: Zum Anzeigen des Bildes mit der Originalpixelanzahl.

Hinweise

- „Seitenverhältnis“ lässt sich nicht einstellen, wenn die Funktion „PAP“ oder „Multi-Display“ verwendet wird.
- Wenn die Eingangssignalauflösung höher ist als die Bildschirmauflösung (1.920 × 1.080), sieht die Anzeige bei „Original“ genauso aus wie bei „Voll 1“.

DE

Bildschirm einstellen

„Autom. einstellen“: Wählen Sie „OK“ zum automatischen Einstellen von Anzeigeposition und Phase des Bildes, wenn ein angeschlossener PC als Eingangsquelle dient.
Beachten Sie bitte, dass „Autom. einstellen“ nicht bei allen Eingangssignalen optimal funktioniert. Stellen Sie die folgenden Optionen in solchen Fällen von Hand ein.
„Phase“: Zum Einstellen der Phase, falls das Bild flimmert.
„Pitch“: Zum Einstellen des Pitch, wenn das Bild unerwünschte vertikale Streifen aufweist.

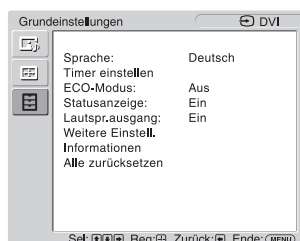
Tipp

„Autom. einstellen“, „Phase“, „Pitch“ sind nicht verfügbar, wenn Digitalsignale wie DVI eingespeist werden.

„H. Größe“: Zum Einstellen der Bildbreite. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇦/⇨ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕.
„H. Position“: Zum Verschieben des Bildes im Fenster nach links oder rechts. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇦/⇨ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕.
„V. Größe“: Zum Einstellen der Bildhöhe. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇧/⇩ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕.
„V. Position“: Zum Verschieben des Bildes im Fenster nach oben oder unten. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇧/⇩ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕.
„Zurücksetzen“: Zum Zurücksetzen aller Einstellungen unter „Bildschirm einstellen“ auf die Standardeinstellungen.

Hinweis

Wenn gerade kein Signal eingespeist wird, kann keine der Optionen unter „Bildschirm“ ausgewählt werden, mit Ausnahme von „PAP einstellen“ und „Multi-Display“.

Grundeinstellungen-Einstellungen

Zum Hervorheben einer Option und zum Ändern von Einstellungen drücken Sie ⇧/⇩/⇦/⇨.
Mit ⊕ bestätigen Sie Ihre Auswahl.
Die Einstellungen unter „Grundeinstellungen“ enthalten folgende Optionen:

Sprache

Zum Auswählen der Sprache, in der die Bildschirmanzeigen erscheinen sollen: „English“, „Français“, „Deutsch“, „Español“, „Italiano“ oder „日本語“.

Timer einstellen

Mit diesem Menü können Sie die Uhrzeit einstellen, die Uhrzeit anzeigen lassen oder den Timer einstellen, so dass sich der Monitor zur voreingestellten Zeit ein- bzw. ausschaltet.

„Uhr einstellen“: Zum Einstellen des Datums und der Uhrzeit.

„Datum einst.“: Stellt das Datum ein (Jahr, Monat, Tag). Der Wochentag wird automatisch eingestellt.

„Uhrzeit einst.“: Stellt die Zeit ein.

„Uhrzeitanzeige“: Zum Anzeigen der aktuellen Uhrzeit am Bildschirm durch Drücken der Taste DISPLAY auf der Fernbedienung, wenn die Option auf „Ein“ gesetzt ist.

„Ein/Aus-Timer“: Zum Einstellen des Datums und der Uhrzeit.

Hinweis

Wenn die eingebaute Uhr nachgeht, ist der interne Akku möglicherweise erschöpft. Wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler, um den Akku austauschen zu lassen.

ECO-Modus

„Aus“: Zur Bildanzeige ohne Energiesparmodus.

„Niedrig“/„Hoch“: Zum Verringern der Helligkeit und des Stromverbrauchs.

Statusanzeige

Bei „Ein“ erscheinen beim Einschalten des Monitors etwa 5 Sekunden lang Informationen zum Eingangssignal und zum „Seitenverhältnis“ auf dem Bildschirm. Beim Umschalten des Eingangssignals erscheinen sie etwa 5 Sekunden lang. Bei „Aus“ erscheinen keine Statusinformationen.

Tipp

Mit DISPLAY auf der Fernbedienung können Sie Informationen zum Eingangssignal und zum „Seitenverhältnis“ unabhängig von der Einstellung für „Statusanzeige“ aufrufen.

Lautspr.ausgang

„Ein“: Der Ton wird über die Lautsprecher ausgegeben.

„Aus“: Der Ton wird nicht über die Lautsprecher ausgegeben.

Weitere Einstell.

„Steuerung einst.“: Über dieses Menü können Sie die Bedienung des Monitors und die Fernbedienung einstellen.

„Indexnummer“: Bei Bedarf können Sie die Indexnummer des Monitors ändern. Stellen Sie die Indexnummer mit ⇧/⇩ ein und drücken Sie zur Bestätigung ⊕ (ENTER).

Hinweis

Verwenden Sie zum Einstellen der „Indexnummer“ die Tasten am Gerät. Mit der Fernbedienung lässt sich die „Indexnummer“ nicht einstellen.

„Steuerung“

„Display+Fernbed.“: Sie können den Monitor mit den Bedienelementen am Monitor und mit der Fernbedienung bedienen.

„Nur Display“: Zum Deaktivieren der Fernbedienungsfunktion. In diesem Fall können Sie Einstellungen nur noch mit den Bedienelementen am Monitor vornehmen.

„Nur Fernbed.“: Zum Deaktivieren der Bedienelemente am Monitor. In diesem Fall können Sie zum Bedienen des Geräts nur noch die Fernbedienung verwenden.

Hinweis

Welche Einstellungen Sie auswählen können, hängt bei dieser Option davon ab, ob Sie die Auswahl mit der Fernbedienung oder am Monitor selbst vornehmen. Wenn Sie die Option mit ⊕ auf der Fernbedienung einstellen, können Sie ausschließlich „Display+Fernbed.“ oder „Nur Fernbed.“ auswählen. Wenn Sie die Option mit ⊹ (ENTER) am Monitor einstellen, können Sie ausschließlich „Display+Fernbed.“ oder „Nur Display“ auswählen.

„Autom. Bildeinst“

„Ein“: Einstellungen wie Bildgröße und Position werden für jedes Eingangssignal gespeichert. Wenn das Eingangssignal gewechselt wird, gelten automatisch die letzten für dieses Eingangssignal ausgewählten Einstellungen.
„Aus“: Die Funktion „Autom. Bildeinst“ wird deaktiviert, selbst wenn das Eingangssignal gewechselt wird, und es gelten die Standardeinstellungen.

„Auto. ausschalten“:

„Ein“: Der Monitor wechselt automatisch in den Bereitschaftsmodus, wenn über 5 Minuten lang kein Signal an den Video- oder S-Video-Eingängen eingeht. Der Monitor wechselt automatisch in den Energiesparmodus, wenn über 30 Sekunden lang kein Signal am Eingang DVI bzw. HD15 (RGB-/Farbdifferenzsignal) eingeht.
„Aus“: Der Monitor schaltet sich nicht automatisch aus, auch wenn an keinem Anschluss ein Signal eingespeist wird.

Tipps

- Wenn sich der Monitor im Bereitschaftsmodus befindet, können Sie ihn mit dem Schalter ⏻ (POWER) am Monitor oder dem Schalter POWER ON auf der Fernbedienung einschalten. Im Energiesparmodus schaltet sich der Monitor automatisch ein, sobald ein Signal eingespeist wird.
- Diese Funktion ist nicht verfügbar, wenn „Bildschirm-Logo“ auf „Ein“ eingestellt, die Bildschirmschonerfunktion aktiviert oder PAP ausgewählt ist.

„Overscan“: Zum Auswählen, ob Bilder mit Overscan oder Underscan angezeigt werden sollen.

„Automatisch“: Zum automatischen Umschalten von DTV-Signalen in ein Bild mit Overscan.
„Ein“: Das Bild wird mit Overscan angezeigt.
„Aus“: Das Bild wird mit Underscan angezeigt.

Hinweis

Wenn „Overscan“ auf „Aus“ eingestellt ist, kann das DTV-Signalbild wie ein PC-Signalbild angezeigt werden.
Beispiel: 480P → 720 × 480/60

„Sync-Modus“: Zum Einstellen des Modus je nach dem Signal, das an Stift 13 des Anschlusses HD15 (RGB/COMPONENT) IN eingespeist wird.

„H/Zus. gesetzt“: Wählen Sie diese Option, wenn ein horizontales Synchronisationssignal oder ein zusammengesetztes Synchronisationssignal eingespeist wird.
„Video“: Wählen Sie diese Option, wenn ein Videosignal eingespeist wird.

Hinweise

- „Sync-Modus“ steht nur zur Verfügung, wenn ein analoges RGB-Signal über den Anschluss HD15 eingespeist wird.
- Je nach dem Pegel des zusammengesetzten Synchronisationssignals wird das Bild unter Umständen nicht korrekt angezeigt. Ändern Sie in diesem Fall die Einstellung für „Sync-Modus“.
- Für einige Eingänge können nur Synchronisationssignale ausgewählt werden. Speisen Sie in diesem Fall horizontale/vertikale Synchronisationssignale über Stift 13 oder 14 der Anschlüsse ein.
- Synchronmoduseinstellungen können für über die Zusatzadapter eingespeiste Signale nicht vorgenommen werden.

- Dieser Monitor unterstützt keine 576/60p-Signale mit dreiwertiger Synchronisation.
- Wenn „Video“ unter „Sync-Modus“ ausgewählt ist, können Sie nur die Signale 575/50i und 480/60i einstellen.
- Wenn Sie als Synchronisationsmodus das Videosignal auswählen, können Sie die Funktion PAP nicht verwenden.

„RGB/YUV“

„Display“/„Option“: Zum Einstellen des Signaltyps für ein Videogerät oder einen PC, das bzw. der an den Anschluss HD15 (RGB/COMPONENT) des Monitors oder den Anschluss 5BNC (RGB/COMPONENT) eines Zusatzadapters angeschlossen ist.

„Automatisch“: Zum Auswählen eines analogen RGB-Eingangssignals oder eines Farbdifferenzeingangssignals von einem angeschlossenen Gerät.
„RGB“: Zum Auswählen des analogen RGB-Eingangssignals von einem angeschlossenen Gerät.
„YUV“: Zum Auswählen des Farbdifferenzeingangssignals von einem angeschlossenen Gerät.

Hinweis

Wählen Sie „RGB“, wenn RGB-Signale mit einem zusammengesetzten Synchronisationssignal eingespeist werden sollen.

Tipp

Informationen zu den möglichen Kombinationen bei zwei Bildern finden Sie auf Seite 24.

„Farbsystem“: Zum Auswählen des Farbsystems für Videosignale. Die Optionen sind „Automatisch“, „NTSC“, „NTSC4.43“, „PAL“, „PAL-M“, „PAL-N“ und „PAL60“. Bei „Automatisch“ wird das Farbsystem automatisch ausgewählt.

Hinweis

„Farbsystem“ steht bei einem PC als Eingangsquelle nicht zur Verfügung.

„Bildschirmschoner“: Mit dieser Einstellung können Sie das Einbrennen von Bildern und damit die Nachbilder verhindern, die entstehen können, wenn auf dem Bildschirm lange Zeit dasselbe Standbild angezeigt wird.

„All White“: Ein komplett weißer Bildschirm wird angezeigt. (Diese Funktion wird nach etwa 30 Minuten automatisch beendet und der Monitor wechselt in den Bereitschaftsmodus.)
„Sweep“: Ein weißer Streifen läuft über den Bildschirm.
„Bereitschaft“: Der Bildschirmschoner ist im Bereitschaftsmodus (Seite 7) für die unter „Timer einstellen“ eingestellte Zeitspanne aktiv. (Während des Bildschirmschonerbetriebs ist der Bildschirm leer.) Wenn der Bildschirmschoner beendet wird, schaltet das Gerät wieder in den normalen Bereitschaftsmodus.

„Logo“: Sie können an der Vorderseite des Geräts ein Sony-Logo einblenden.

„Position“: Das Logo ist ständig unten in den Bildschirm eingeblendet. Wählen Sie je nach Aufstellung des Monitors für die Position des Logos die Option „Automatisch“, „Waagerecht“ oder „Hochkant“. Wenn Sie „Automatisch“ wählen, wird automatisch Waagerecht oder Hochkant ausgewählt.
„Beleuchtung“: Wählen Sie „Aus“, wenn das Logo nicht eingeblendet werden soll. Mit „Niedrig“ und „Hoch“ können Sie die Helligkeit einstellen, in der das Logo angezeigt wird.

„Bildschirm-Logo“

„Ein“: Das Logo mit dem Modellnamen wird auch dann eingeblendet, wenn kein Signal eingespeist wird.
„Aus“: Das Logo mit dem Modellnamen wird nicht eingeblendet, wenn kein Signal eingespeist wird.

„Netzwerkanschluss“: Zum Einstellen des Netzwerkanschlusses zum Fernsteuern des Monitors.

„Aus“: Wählen Sie diese Option, wenn Sie den Netzwerkanschluss nicht verwenden. So lässt sich die Leistungsaufnahme im Bereitschaftsmodus verringern.

„**Display**“: Bei dieser Option können Sie Einstellungen für den Monitor über einen PC vornehmen, der an den Anschluss REMOTE (LAN) des Monitors angeschlossen ist (Seite 34).

„**Option**“: Bei dieser Option können Sie Einstellungen für den Monitor über einen PC vornehmen, der an den Anschluss REMOTE oder LAN am OPTION-Anschlussbereich angeschlossen ist (Seite 34).

„**IP Address Setup**“: Zum Festlegen einer IP-Adresse für die Kommunikation zwischen dem Anschluss REMOTE (LAN) des Monitors oder eines Zusatzadapters und einem über LAN-Kabel angeschlossenen Gerät wie einem PC.

„**Speed Setup**“: Zum Festlegen der Geschwindigkeit für die Kommunikation zwischen dem Anschluss REMOTE (LAN) des Monitors oder eines Zusatzadapters und einem über LAN-Kabel angeschlossenen Gerät wie einem PC.

„**Einschaltverzöger.**“: Passt die Zeit bis zum Einschalten an. Lässt sich auf Aus und 1 bis 120 Sekunden einstellen. Damit wird eine plötzliche Lastfluktuation beim Netzgerät unterdrückt, wenn mehrere Geräte angeschlossen sind.

Tipp

Nähere Informationen zu den Einstellungen für „IP Address Setup“ und „Speed Setup“ finden Sie im Abschnitt „Vorbereitungen zum Arbeiten mit den Netzwerkfunktionen“ (Seite 32).

Informationen

Zeigt die Informationen „Datum“, „Modellname“, „Seriennummer“, „Betriebsdauer“, „Software-Ver“ und „IP Address“ Ihres Monitors an. Wenn der optionale Adapter BKM-FW50 verwendet wird, wird „Player IP Address“ (IP-Adresse für Standbild- und Film-Wiedergabefunktion) angezeigt. Einzelheiten finden Sie in der Bedienungsanleitung zum BKM-FW50.

Alle zurücksetzen

Zum Zurücksetzen aller Einstellungen auf die werkseitigen Einstellungen.

Hinweis

Die Angaben unter „Informationen“ und die „Indexnummer“ werden nicht zurückgesetzt.

Vorbereitungen zum Arbeiten mit den Netzwerkfunktionen

Sicherheitsmaßnahmen

- Die Softwarespezifikationen dieses Geräts unterliegen aufgrund von Verbesserungen unangekündigten Änderungen.
- Die Fenster der Anwendungssoftware können sich etwas von den Abbildungen in dieser Anleitung unterscheiden.
- Schließen Sie den Anschluss dieses Geräts aus Sicherheitsgründen nur an ein Netzwerk an, bei dem keine Gefahr von übermäßiger Spannung oder von Spannungsstößen besteht.
- Mit den Anweisungen in dieser Anleitung lässt sich der Betrieb nur in folgender Umgebung gewährleisten.

  Betriebssystem:

  Microsoft Windows XP/Windows Vista

  Browser:

  Microsoft Internet Explorer 6.0 oder höher
- Um die Sicherheit im Netzwerk sicherzustellen, empfiehlt es sich, einen Benutzernamen und ein Kennwort zu definieren. Weitere Informationen dazu finden Sie im Abschnitt „Fenster „Setup“ (Grundeinstellungen)“ (Seite 35).

  Fragen Sie Ihren Netzwerkadministrator nach Sicherheitseinstellungen.

Einstellen einer IP-Adresse

Der Monitor lässt sich mit einem 10BASE-T/ 100BASE-TX-LAN-Kabel an ein Netzwerk anschließen.
Beim Anschluss an ein LAN können Sie die IP-Adressen des Monitors anhand eines der beiden folgenden Verfahren einstellen. Fragen Sie Ihren Netzwerkadministrator nach Einzelheiten zur Auswahl der IP-Adresse.

- Zuweisen einer festen IP-Adresse für den Monitor
  Normalerweise sollten Sie dieses Verfahren verwenden. Werkseitig ist der Monitor allerdings so eingestellt, dass die IP-Adresse automatisch bezogen wird.
- Automatisches Beziehen einer IP-Adresse
  Wenn das Netzwerk, an das der Monitor angeschlossen ist, über einen DHCP-Server verfügt, können Sie den DHCP-Server automatisch eine IP-Adresse zuweisen lassen. Beachten Sie, dass sich die IP-Adresse in diesem Fall bei jedem Einschalten des Monitors ändern kann.

Bevor Sie die IP-Adresse festlegen, schließen Sie das LAN-Kabel an den Monitor an, um den Netzwerkanschluss herzustellen. Schalten Sie den Monitor nach etwa 30 Sekunden ein und nehmen Sie dann die gewünschten Einstellungen vor.

- Microsoft und Windows sind eingetragene Markenzeichen der Microsoft Corporation in den USA und/oder anderen Ländern.
- Alle anderen in dieser Anleitung erwähnten Produkt- oder Firmennamen usw. sind Markenzeichen oder eingetragene Markenzeichen der jeweiligen Eigentümer.

Zuweisen einer festen IP-Adresse für den Monitor

1 Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf.

2 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Grundeinstellungen“ aus und drücken Sie ⊕.

3 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Weitere Einstell.“ aus und drücken Sie ⊕.

4 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „IP Address Setup“ aus und drücken Sie ⊕.

5 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Manual“ aus und drücken Sie ⊕.

6 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die einzustellende Option unter „IP Address“, „Subnet Mask“, „Default Gateway“, „Primary DNS“ bzw. „Secondary DNS“ aus und drücken Sie ⊕.

7 Geben Sie in jedes der vier Felder mit ⇧/⇩ am Monitor oder mit den Zahlentasten auf der Fernbedienung drei Ziffern (0 bis 255) ein und drücken Sie ⊕ oder ⇨.

8 Stellen Sie den dreistelligen Wert (0 bis 255) für die vier Felder ein und drücken Sie ⊕. Wählen Sie, wie unter Schritt 6 erläutert, mit ⇧/⇩ die nächste einzustellende Option aus und drücken Sie ⊕.

9 Nachdem Sie die Werte für alle gewünschten Optionen eingestellt haben, wählen Sie mit ⇧/⇩ „Execute“ aus und drücken Sie ⊕.

Wählen Sie „Execute“ und drücken Sie ⊕. Damit haben Sie die IP-Adresse manuell festgelegt.
Wenn Sie „Cancel“ wählen, gilt wieder die ursprüngliche Einstellung.

Automatisches Beziehen einer IP-Adresse

1 Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf.

2 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Grundeinstellungen“ aus und drücken Sie ⊕.

3 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Weitere Einstell.“ aus und drücken Sie ⊕.

4 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „IP Address Setup“ aus und drücken Sie ⊕.

5 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „DHCP“ aus und drücken Sie ⊕.

Wählen Sie „Execute“ und drücken Sie ⊕. Eine IP-Adresse wird automatisch zugewiesen.
Wenn Sie „Cancel“ wählen, wird die Einstellung nicht vorgenommen.

Hinweis

Wurde die IP-Adresse nicht korrekt festgelegt, werden je nach Art des Fehlers folgende Fehlercodes angezeigt.
Fehler 1: Kommunikationsfehler
Fehler 2: Die angegebene IP-Adresse wird bereits für ein anderes Gerät benutzt.
Fehler 3: IP-Adressfehler
Fehler 4: Gateway-Adressfehler
Fehler 5: Fehler primäre DNS-Adresse
Fehler 6: Fehler sekundäre DNS-Adresse
Fehler 7: Subnetzmaskenfehler

Anzeigen der automatisch zugewiesenen IP-Adresse

1 Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf.

2 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Grundeinstellungen“ aus und drücken Sie ⊕.

3 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Informationen“ aus und drücken Sie ⊕.

4 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „IP Address“ aus und drücken Sie ⊕.

Die zurzeit geltende IP-Adresse wird angezeigt.

Tipp

Wenn die IP-Adresse nicht richtig abgerufen werden kann, wird unter „Informationen“ und „Manual“ von „IP Address Setup“ die zuvor abgerufene IP-Adresse angezeigt.

Einstellen der Kommunikationsgeschwindigkeit

1 Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf.

2 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Grundeinstellungen“ aus und drücken Sie ⊕.

3 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Weitere Einstell.“ aus und drücken Sie ⊕.

4 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Speed Setup“ aus und drücken Sie ⊕.

5 Wählen Sie mit ⇧/⇩ unter „Auto“, „10Mbps Half“, „10Mbps Full“, „100Mbps Half“ oder „100Mbps Full“ die gewünschte Option für die Kommunikationsgeschwindigkeit aus und drücken Sie ⊕.

Wenn Sie „Auto“ wählen, wird automatisch eine zu Ihrer Netzwerkkonfiguration passende Kommunikationsgeschwindigkeit eingestellt.

6 Wählen Sie „Execute“ mit ⇧/⇩ und drücken Sie ⊕, um die Einstellung zu übernehmen.

PC-Betrieb

Steuern des Monitors

Sie können vom PC-Bildschirm aus verschiedene Einstellungen für den Monitor vornehmen.
Vergewissern Sie sich, dass der Monitor, der PC sowie Router bzw. Hub ordnungsgemäß über das Netzwerkkabel verbunden sind. Schalten Sie dann den Monitor, den PC und den Router oder Hub ein.
Für den Monitor stehen vier Fenster mit unterschiedlichen Steuerfunktionen zur Verfügung: Fenster Information, Fenster Configure, Fenster Control und Fenster Setup.
Nähere Erläuterungen zu den Funktionen der einzelnen Tasten finden Sie in den Anweisungen zu den Monitorfunktionen.

1 Starten Sie den Browser des PCs (Internet Explorer 6.0 oder höher).

2 Geben Sie die IP-Adresse, die dem Monitor auf der vorherigen Seite zugewiesen wurde, als „http://xxx.xxx.xxx.xxx" ein, und drücken Sie dann die Taste ENTER auf der Tastatur.
Wenn ein Benutzername und ein Kennwort definiert wurden, erscheint der Bildschirm „Network Password" (Netzwerkkennwort). Geben Sie den definierten Benutzernamen und das Kennwort ein und fahren Sie dann mit dem nächsten Schritt fort.

3 Klicken Sie auf die Funktionsregisterkarte oben im Fenster und wählen Sie das gewünschte Fenster aus.

Einstellen von Optionen in den einzelnen Fenstern

Bei Verwendung der LAN-Funktionen des Monitors

Fenster „Information" (Informationen)

In diesem Fenster werden der Modellname, die Seriennummer und andere Monitorinformationen sowie der Stromversorgungsstatus und die Eingangssignalauswahl angezeigt.
In diesem Fenster werden Informationen nur angezeigt. Sie können hier keine Optionen einstellen.

Fenster „Configure" (Konfiguration)

Timer (Timer)
Zum Vornehmen von Einstellungen für die Timer-Funktion.
Klicken Sie nach dem Abschluss auf „Apply".

Screen Saver (Bildschirmschoner)
Zum Vornehmen von Einstellungen für die Bildschirmschonerfunktion.
Klicken Sie nach dem Abschluss auf „Apply".

Picture and Picture (Bild und Bild)
Zum Vornehmen von Einstellungen für die Bild-und-Bild-Funktion.
Klicken Sie nach dem Abschluss auf „Apply".

Hinweis

Ehe Sie die Funktion „Timer" (Timer) verwenden können, muss im Bildschirm „Setup" (Grundeinstellungen) (Seite 35) die Uhrzeit eingestellt werden.

Fenster „Control" (Steuerung)

POWER (Netzschalter)
Zum Ein- und Ausschalten des Monitors.

INPUT (Eingangswählschalter)
Zum Auswählen des Eingangssignals.

PICTURE MODE (Bildmodus)
Zum Auswählen des Bildmodus.

ASPECT (Bildformat)
Zum Wechseln des Bildseitenverhältnisses.

Tasten „Contrast +/–" (Kontrast)
Zum Einstellen des Kontrasts auf dem Bildschirm.

Tasten „Brightness +/–" (Helligkeit)
Zum Einstellen der Bildhelligkeit.

Tasten „Chroma +/–“ (Farbe)
Zum Einstellen der Farbintensität.

Tasten „Phase +/–“ (Phase)
Zum Einstellen der Farbbalance.

Taste Reset (Zurücksetzen)
Zum Zurücksetzen der Einstellungen von „Contrast“ (Kontrast) bis „Phase“ (Phase) auf ihre Standardwerte.

Hinweise

- Wenn ein Video- oder S-Video-Signal eingespeist wird und es sich bei dem Farbsystem des Videosignals nicht um NTSC handelt, steht „Phase“ nicht zur Verfügung.
- „Chrominanz“ und „Phase“ stehen bei einem PC als Eingangsquelle nicht zur Verfügung.
- „Normal“ bei der Einstellung ASPECT entspricht „4:3“ für den Videoeingang oder „Original“ für den PC-Eingang.

Fenster „Setup“ (Grundeinstellungen)

In diesem Fenster können Sie das Network Password (Netzwerkkennwort) festlegen. Die werkseitig vorgegebenen Einstellungen sind folgendermaßen konfiguriert:

Name (Name): root
Password (Kennwort): pudadm

Wenn Sie Änderungen vorgenommen oder Daten eingegeben haben, klicken Sie auf „Apply“ unten im jeweiligen Fenster, um die Einstellungen zu aktivieren.
In die Textfelder können keine Sonderzeichen eingegeben werden.

Owner Information (Besitzer-Informationen)

Owner (Besitzer)
Geben Sie hier Informationen zum Eigentümer ein.

Display Location (Display-Platzierung)
Geben Sie hier Informationen zum Standort des Monitors ein.

Hinweis

Verwenden Sie beim Eingeben der Informationen keine Leerzeichen. Andernfalls wird der Dateiname möglicherweise nicht richtig angezeigt.

Memo (Notiz)
Hier können Sie Kommentare oder Notizen eingeben.

Time (Zeit)

Time (Zeit)
Geben Sie hier die Uhrzeit, den Wochentag, das Jahr, den Monat und den Tag ein.

Network (Netzwerk)

Internet Protocol (Internet-Protokoll) (TCP/IP)
Wählen Sie „Specify an IP address“ (IP-Adresse angeben), wenn Sie die einzelnen Ziffern der numerischen Zeichenfolge für die IP-Adresse manuell eingeben wollen.
Wählen Sie „Obtain an IP address (DHCP)“ (IP-Adresse automatisch beziehen (DHCP)), wenn die IP-Adresse automatisch vom DHCP-Server bezogen werden soll. Beachten Sie, dass sich die IP-Adresse in diesem Fall bei jedem Einschalten des Monitors ändern kann.

Hinweis

Die IP-Adresse kann über das Monitormenü festgelegt werden. Weitere Informationen finden Sie unter „IP Address Setup“ (Seite 31).

Password (Kennwort)
Hier können Sie Informationen zum Administrator, Benutzernamen und Kennwort eingeben. Der Administratorname ist fest auf „root“ eingestellt.
Sie können jeweils maximal 8 Zeichen eingeben.
Wenn Sie einen Benutzernamen und ein Kennwort definiert haben, erscheint das Fenster „Network Password“ (Netzwerkkennwort), wann immer das Fenster für die Bildschirmsteuerung des Monitors aufgerufen wird. Um die Sicherheit im Netzwerk sicherzustellen, empfiehlt es sich, einen Benutzernamen und ein Kennwort zu definieren.

Mail Report (E-Mail-Report)

Error Report (Fehlerbericht)
Wenn ein Monitorfunktionsfehler aufgetreten ist, wird sofort per E-Mail ein Fehlerbericht gesendet (Fehlerbenachrichtigung).

Status Report (Statusbericht)
Der Status des Monitors kann im ausgewählten Zeitintervall per E-Mail gemeldet werden.

Address (Ziel)
Geben Sie hier die E-Mail-Adresse des Empfängers ein. Sie können bis zu vier Adressen angeben, an die dann gleichzeitig ein Fehlerbericht gesendet wird. Die maximale Länge der einzelnen Adressen beträgt 64 Zeichen.

Mail Account (E-Mail-Konto)

Mail Address (E-Mail-Adresse):
Geben Sie hier die zugeordnete E-Mail-Adresse ein.
Die maximale Länge der Adresse beträgt 64 Zeichen.

Outgoing Mail Server (SMTP) (Server für ausgehende Mail (SMTP-Server)):
Geben Sie hier die Mail-Server-Adresse ein.
Die maximale Länge der Adresse beträgt 64 Zeichen.

Requires the use of POP Authentication before Send e-mail (POP before SMTP) (Erfordert die Anwendung von POP-Authentifizierung vor dem Senden von E-Mail (POP vor SMTP)):
Wenn beim Herstellen der Verbindung mit dem SMTP-Server eine POP-Authentifizierung erforderlich ist, aktivieren Sie dieses Kontrollkästchen.

Incoming Mail Server (POP3) (Server für ankommende Mail (POP3)):
Wenn die POP-Authentifizierung für die Einstellung „POP before SMTP" verwendet wird, geben Sie hier die POP3-Server-Adresse ein.

Account Name (Konto-Name):
Geben Sie hier den Namen des E-Mail-Kontos ein.

Password (Kennwort):
Geben Sie hier das Kennwort für das E-Mail-Konto ein.

Send Test Mail (Test-Mail senden):
Wenn Sie testen wollen, ob E-Mails erfolgreich an die angegebene(n) Adresse(n) gesendet werden können, aktivieren Sie dieses Kontrollkästchen und klicken auf „Apply". Eine Test-E-Mail wird gesendet.

Hinweis

Wenn eine der folgenden Angaben nicht vorhanden oder nicht richtig ist, erscheint eine Fehlermeldung und es kann keine Test-E-Mail gesendet werden:

- Zieladresse
- Adresse des E-Mail-Kontos und Adresse des Mail-Servers (SMTP)

Advanced (Weitere Einstellungen)

Hiermit haben Sie Zugriff auf weitere Einstellungen, die für die Verwendung verschiedener Anwendungen im Netzwerk erforderlich sind. Nehmen Sie die Einstellungen wie in der jeweiligen Anwendung erforderlich vor.

Advertisement (Ankündigung)

Zum Vornehmen von Einstellungen für die Funktionen „Advertisement" und „Broadcast" im Netzwerk.

ID Talk

Zum Vornehmen von Einstellungen für die Funktion „ID Talk". „ID Talk" ist ein Protokoll, das die netzwerkbasierte Steuerung des Monitors ermöglicht. Gesteuert werden können verschiedene Einstellungen, wie z. B. Farbtemperatur und Gamma. Informationen zu unterstützten ID Talk-Befehlen erhalten Sie bei Ihrem Sony-Händler.

SNMP

Der Monitor ist ein Netzwerkgerät, das SNMP (Simple Network Management Protocol) unterstützt. Neben dem Standard MIB-II wird auch Sony Enterprise MIB unterstützt. In diesem Fenster können Sie Einstellungen für SNMP vornehmen. Informationen zu unterstützten SNMP-Befehlen erhalten Sie bei Ihrem Sony-Händler.

Zurücksetzen auf die Standardeinstellungen

Wenn alle Einstellungen, die Sie über den Bildschirm „Setup" vorgenommen haben, wieder auf die werkseitigen Standardeinstellungen zurückgesetzt werden sollen, wählen Sie die Option „Alle zurücksetzen" und nehmen Sie dann erneut geeignete Einstellungen für das Netzwerk vor.

Störungsbehebung

Prüfen Sie, ob die Anzeige ⏻ rot blinkt.

Wenn sie blinkt

Die Selbstdiagnosefunktion wurde aktiviert.

1. Überprüfen Sie, wie oft die Anzeige ⏻ blinkt und wie lange sie nicht blinkt.
   Beispiel: Die Anzeige blinkt 2-mal, blinkt 3 Sekunden lang nicht und blinkt erneut 2-mal.
2. Drücken Sie den ⏻ (POWER)-Schalter am Monitor und den Hauptschalter, um das Gerät auszuschalten, und trennen Sie dann das Netzkabel.
   Teilen Sie Ihrem Händler oder dem Sony-Kundendienst mit, wie die Anzeige blinkt (Häufigkeit und Intervall).

Wenn sie nicht blinkt

1. Gehen Sie nach der folgenden Tabelle vor.
2. Wenn das Problem dennoch bestehen bleibt, lassen Sie den Monitor von qualifiziertem Fachpersonal reparieren.

Problem	Mögliche Abhilfemaßnahmen
Der Netzschalter und die Steuertasten am Monitor funktionieren nicht.	• Überprüfen Sie „Steuerung einst.“ (Seite 28).
Das Gerät schaltet sich nicht ein, auch wenn der ⏻ (POWER)-Schalter eingeschaltet wird oder wenn der POWER ON-Schalter auf der Fernbedienung eingeschaltet wird.	• Überprüfen Sie, ob der Hauptschalter in der Position „OFF“ steht (Seite 9).
Über den Anschluss HD15 (RGB/ COMPONENT) OUT wird kein Videosignal ausgegeben.	• Wenn sich dieses Gerät im Bereitschaftsmodus befindet oder wenn die Stromzufuhr ausgeschaltet ist, liegt keine HD15 (RGB/ COMPONENT) OUT-Ausgabe vor.
Über den Anschluss HD-SDI OUT des BKM-FW16 wird kein Signal ausgegeben.	• Wenn sich dieses Gerät im Bereitschaftsmodus befindet oder wenn die Stromzufuhr ausgeschaltet ist, liegt keine HD-SDI OUT-Ausgabe vor.
Es wird kein Bild angezeigt.	
Es wird kein Bild angezeigt.	• Überprüfen Sie die Verbindung zwischen dem angeschlossenen Videogerät und dem Monitor. • Überprüfen Sie die Einstellung für „RGB/YUV“ (Seite 30). • Wechseln Sie mit der Taste INPUT am Monitor oder mit der Fernbedienung den Eingang (Seite 9, 11).
Der Monitor schaltet sich automatisch aus.	• Überprüfen Sie, ob „Timer einstellen“ aktiviert ist (Seite 28). • Überprüfen Sie, ob die Funktion „Auto. ausschalten“ auf „Ein“ gesetzt ist (Seite 29). • Überprüfen Sie, ob die Zimmertemperatur über 35 °C liegt.

Problem	Mögliche Abhilfemaßnahmen
Die Bildqualität ist schlecht.	
Keine Farbe/Bild zu dunkel/Bild zu hell/Farbe fehlerhaft/Bild wird langsam dunkel/ Horizontale Störstreifen erscheinen im Bild	• Wählen Sie mit PICTURE den gewünschten „Bild-Modus“ (Seite 11). • Passen Sie die Optionen „Bild-Modus“ der Einstellungen „Bild/Ton“ an (Seite 20, 22). • Überprüfen Sie den Zustand des Signalkabels. • Überprüfen Sie, ob die Zimmertemperatur über 35 °C liegt. • Überprüfen Sie die Einstellung für „ECO-Modus“ (Seite 28). • Schließen Sie kein Videokabel oder Umwandlungsstecker an den Anschluss VIDEO OUT an, wenn Sie kein Videogerät anschließen. Da das Anzeigesignal nicht unterbrochen wird, sind die weißen Bereiche des Bildes andernfalls zu hell.
Der gesamte Bildschirm erscheint grünlich oder lila.	• Überprüfen Sie, ob die Einstellungen „RGB/YUV“ falsch sind (Seite 30).
Es ist kein Ton zu hören oder der Ton ist verrauscht.	
Das Bild wird angezeigt, aber es ist kein Ton zu hören.	• Überprüfen Sie die Lautstärkeeinstellung. • Drücken Sie 🔇 auf der Fernbedienung oder ◿+, so dass die Stummschaltungsanzeige nicht mehr am Bildschirm angezeigt wird (Seite 12). • Überprüfen Sie die Einstellungen unter „Lautspr.ausgang“ (Seite 28).
Die Fernbedienung funktioniert nicht.	• Überprüfen Sie, ob die Batterien polaritätsrichtig eingelegt sind, oder tauschen Sie die Batterien aus. • Richten Sie die Fernbedienung auf den Fernbedienungssensor am Monitor. • Achten Sie darauf, dass sich vor dem Fernbedienungssensor keine Hindernisse befinden. • Überprüfen Sie „Steuerung einst.“ (Seite 28). • Überprüfen Sie, ob ein Kabel an den Anschluss CONTROL S IN angeschlossen ist (BKM-FW21 nicht mitgeliefert). Die Fernbedienung kann nicht verwendet werden, solange der Monitor über eine CONTROL S-Verbindung gesteuert wird. • Leuchtstoffröhren können die Funktion der Fernbedienung stören. Schalten Sie solche Röhren aus.
Eine Verbindung zum Netzwerk kann nicht hergestellt werden.	• Stecken Sie den Kabelstecker fest in den Anschluss REMOTE. • Überprüfen Sie die Netzwerkeinstellungen für den PC. • Setzen Sie alle Einstellungen über die Option „Alle zurücksetzen“ im Einstellmenü „Grundeinstellungen“ auf die Standardeinstellungen zurück und nehmen Sie dann erneut geeignete Einstellungen für das Netzwerk vor. • Überprüfen Sie die Einstellung für „Netzwerkanschluss“ (Seite 30).
Das Fenster für die Monitorsteuerung (das Web-Fenster mit der grafischen Benutzeroberfläche des Monitors) wird nicht angezeigt.	• Klicken Sie im Web-Browser auf die Schaltfläche zum Auffrischen oder Aktualisieren. • Überprüfen Sie, ob die IP-Adresse korrekt ist. • Verwenden Sie Internet Explorer 6.0 oder höher. • Löschen Sie den Cache des Browsers.

Diagramm der Eingangssignale

PC-Signale

	Auflösung	Horizontal-frequenz (kHz)	Vertikal-frequenz (Hz)
1	VGA[a)]-1 (VGA 350)	31,5	70
2	640 × 480@60 Hz	31,5	60
3	Mac[b)] 13 Zoll	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA[c)] STD)	37,9	60
6	Mac 16 Zoll	49,7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67,5	75
11	Mac 21 Zoll	68,7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60,0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT[d)])	29,8	60
16	848 × 480@75 Hz (CVT)	37,7	75
17	848 × 480@85 Hz (CVT)	43,0	85
18	1280 × 720@60 Hz (CVT)	44,8	60
19	1280 × 768@60 Hz (CVT)	47,8	60
20	1280 × 768@75 Hz (CVT)	60,3	75
21	1280 × 960@60 Hz (CVT)	59,7	60
22	1360 × 768@60 Hz (CVT)	47,7	60
23	800 × 600@60 Hz (CVT)	37,4	60
24	1024 × 768@60 Hz (CVT)	47,8	60
25	1280 × 1024@60 Hz (CVT)	63,7	60
26	1400 × 1050@60Hz (CVT)*	65,3	60
27	1600 × 1200@60Hz (CVT)*	74,5	60
28	1920 × 1080@60 Hz	66,6	60
29	1920 × 1200@60 Hz	74,0	60

Fernseh-/Videosignale

	Auflösung	Verfügbare Eingänge				
		Video	Farbdifferenz/ RGB	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p				○	
10	1080/60p				○	
11	1080/24psf		○			

a) VGA ist ein eingetragenes Markenzeichen der International Business Machines Corporation, USA.
b) Macintosh ist ein Markenzeichen von Apple Inc., eingetragen in den USA und anderen Ländern.
c) VESA ist ein eingetragenes Markenzeichen der Video Electronics Standards Association.
d) VESA Coordinated Video Timing

DE

Hinweise

- Speisen Sie bei HDTV-Signalen das dreistufige Synchronisationssignal über den 2. Stift des Anschlusses HD15 (RGB/COMPONENT) IN ein.
- Wenn die Farben beim Einspeisen von DVD-Signalen in den Monitor zu hell sind, korrigieren Sie die Einstellung von „Chrominanz“ unter „Bild/Ton“.
- Wenn die Phase neu eingestellt wird, wird die Auflösung reduziert.
- Bei Signalen vom Macintosh-Computer kann nicht gewährleistet werden, dass der digitale RGB-Eingang erkannt wird.
- Sie können nicht das mit * markierte Signal in DVI IN einspeisen.
- Zusammengesetzte Synchronisationssignale entsprechen den Nummern 2, 4, 5, 7, 12, 13 und 14 in der Signaltabelle links.
- Bei Videosignalen ohne Farb-Burst-Signal kann die Darstellung nicht garantiert werden.

Anzeigen zum Eingangssignal und zum Monitorstatus auf dem Bildschirm

Bildschirmanzeigen	Bedeutung
640 × 480 / 60 (Beispiel)	Das ausgewählte Eingangssignal ist ein PC-Signal.
480 / 60I (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Farbdifferenzvideosignal.
NTSC (Beispiel)	Als Eingangssignal ist Videosignal ausgewählt.
Signal nicht unterstützt	Das ausgewählte Eingangssignal ist ein nicht unterstütztes Signal.
Kein Signal	Es ist kein Eingangssignal vorhanden.
HD15	Der HD15-Eingang ist ausgewählt. „RGB/YUV“ ist auf „Automatisch“ gesetzt.
HD15 RGB	Der HD15-Eingang ist ausgewählt. „RGB/YUV“ ist auf „RGB“ gesetzt.
HD15 Component	Der HD15-Eingang ist ausgewählt. „RGB/YUV“ ist auf „YUV“ gesetzt.
DVI	Als Eingangssignal ist DVI ausgewählt.
Video	Das FBAS-Signal ist ausgewählt.
S-Video	Das S-Video-Signal ist ausgewählt.
Option	Der Option-Eingang ist ausgewählt. „RGB/YUV“ ist auf „Automatisch“ eingestellt.
Option RGB	Das analoge RGB-Signal vom Option-Eingang ist ausgewählt.
Option Component	Das Farbdifferenzsignal vom Option-Eingang ist ausgewählt.
Option HDMI 1/ Option HDMI 2	Das HDMI 1- oder HDMI 2-Signal vom Option-Eingang ist ausgewählt.
Option HD SDI	Das HD SDI-Signal vom Option-Eingang ist ausgewählt.

Technische Daten

Bildverarbeitung

Bildschirmsystem LCD-Bildschirm mit a-Si-TFT-Aktivmatrix
Anzeigeauflösung 1.920 Punkte (horizontal) × 1.080 Zeilen (vertikal)
Abtastrate 13,5 MHz bis 162 MHz
Farbsystem NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/NTSC4.43/PAL60
Eingangssignal Siehe Seite 39.

FWD-S42H1

Pixelgröße 0,4845 (horizontal) × 0,4845 (vertikal) mm
Bildgröße 930 (horizontal) × 523 (vertikal) mm
Bildschirmgröße 42 Zoll (Diagonale 1.067 mm)

FWD-S47H1

Pixelgröße 0,5415 (horizontal) × 0,5415 (vertikal) mm
Bildgröße 1.040 (horizontal) × 585 (vertikal) mm
Bildschirmgröße 47 Zoll (Diagonale 1.193 mm)

Eingänge und Ausgänge

REMOTE Netzwerkanschluss (10BASE-T/100BASE-TX)

AUDIO Stereominibuchse (× 1)
500 mVrms, hohe Impedanz

VIDEO S VIDEO IN
Mini-DIN, 4-polig (× 1)
Y (Luminanz): 1 Vp-p ±2 dB, sync-negativ, 75-Ohm-Abschlusswiderstand
C-Signal (Chrominanz): Burst 0,286 Vp-p ± 2 dB (NTSC), 75-Ohm-Abschlusswiderstand
Burst, 0,3 Vp-p ± 2 dB (PAL), 75-Ohm-Abschlusswiderstand
VIDEO IN BNC (× 1)
FBAS-Videosignal, 1 Vp-p ± 2 dB, sync-negativ, 75 Ohm (automatischer Abschluss)
VIDEO OUT BNC (× 1), Durchschleifung
AUDIO IN
Stereominibuchse (× 1)
500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

HD15 (RGB/COMPONENT)

HD15 (RGB/COMPONENT) IN
D-Sub, 15-polig (weiblich) (× 1) (Siehe Seite 42.)
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT
D-Sub, 15-polig (weiblich) (× 1)
(Siehe Seite 42)
AUDIO IN
Stereominibuchse (× 1)
500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

DVI DVI IN
(Konform mit der DVI-Spezifikation Rev. 1.0)
AUDIO IN
Stereominibuchse (× 1)
500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

SPEAKER Lautsprecherleistung (L/R)
6 Ohm 7W + 7W

Allgemeines

Betriebsspannung
100 bis 240 V Wechselstrom, 50/60 Hz
FWD-S42H1: 2,9 A (Maximum)
FWD-S47H1: 3,3 A (Maximum)

Leistungsaufnahme
FWD-S42H1: 280 W (Maximum)
FWD-S47H1: 320 W (Maximum)

Betriebsbedingungen
Temperatur: 0 °C bis 35 °C
Luftfeuchtigkeit: 20% bis 90% (nicht kondensierend)

Lager-/Transportbedingungen
Temperatur: –10 °C bis +40 °C
Luftfeuchtigkeit: 20% bis 90% (nicht kondensierend)

Abmessungen FWD-S42H1: 972,1 × 565,1 × 125 mm
972,1 × 613,6 × 275 mm (einschließlich optionalem Ständer)
(B/H/T, ohne vorstehende Teile)
FWD-S47H1: 1.081,6 × 626,8 × 129 mm
1.081,6 × 675,3 × 275 mm (einschließlich optionalem Ständer)
(B/H/T, ohne vorstehende Teile)

Gewicht FWD-S42H1: ca. 25,5 kg
ca. 29 kg (einschließlich optionalem Ständer)
FWD-S47H1: ca. 30,5 kg
ca. 34 kg (einschließlich optionalem Ständer)

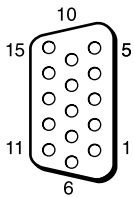
Mitgeliefertes Zubehör
Netzkabel (1)
LAN-Kabel (1)
Netzsteckerhalter (2)
Kabelhalter (9)
Fernbedienung RM-FW002 (1)
R6-Batterien der Größe AA (2)
Bedienungsanleitung (1)

Sonderzubehör
Monitorständer SU-S01
Lautsprecher SS-SPG02
Zusatzadapter zur Systemerweiterung, BKM-FW-Serie

Sicherheitsbestimmungen
UL 60950-1, CSA No. 60950-1-03 (c-UL), FCC Klasse B, IC Klasse B, EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Design und technische Daten können ohne Vorankündigung geändert werden.

Stiftbelegung

HD15 RGB/COMPONENT (D-Sub, 15-polig)

Stift-Nr.	Signal
1	Videosignal Rot oder C_R/P_R
2	Videosignal Grün oder Y
3	Videosignal Blau oder C_B/P_B
4	Masse
5	Masse
6	Masse Rot
7	Masse Grün
8	Masse Blau
9	Nicht verwendet
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	Horizontales oder zusammengesetztes Synchronisationssignal oder FBAS-Videosignal (als Synchronisationssignal)
14	Vertikales Synchronisationssignal
15	SCL

Hinweis

Bei Farbdifferenzsignalen dürfen Sie keine Synchronisationssignale an den Polen 13 und 14 einspeisen. Andernfalls wird das Bild möglicherweise nicht einwandfrei angezeigt.

Index

Z

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de incendios o electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Presencia de alta tensión peligrosa en el interior de la unidad. No abra el aparato. Solicite asistencia técnica sólo a personal especializado.

ADVERTENCIA

ESTE APARATO DEBE CONECTARSE A TIERRA.

Durante el transporte

Cuando transporte el monitor, sostenga la unidad, no los altavoces. Si no lo hace, los altavoces podrían separarse de la unidad y ésta podría caerse. Esto podría causar daños.

ADVERTENCIA

Al instalar la unidad, incluya un dispositivo de desconexión fácilmente accesible en el cableado fijo, o conecte la clavija de alimentación a una toma de corriente fácilmente accesible cerca de la unidad. Si se produce una anomalía durante el funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para desactivar la alimentación o desconecte las clavijas de alimentación.

La toma de corriente debe estar instalada cerca del equipo y ser de fácil acceso.

Para los clientes de Europa

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, Japón.
El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

ADVERTENCIA

1. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país, si procede.
2. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión e intensidad.

Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

Índice

Introducción

Ubicación y función de componentes y controles

Conexiones

ES

Uso de los ajustes

Funciones de red

Otra información

Precauciones

Seguridad

- Una placa de identificación que indica la tensión de funcionamiento, consumo de energía, etc. se encuentra en la parte posterior de la unidad.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea examinada por personal especializado antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural si no va a utilizarla durante varios días o más.
- Para desconectar el cable de alimentación de ca, tire del enchufe. No tire nunca del propio cable.

Limpieza

Asegúrese de desenchufar el cable de alimentación antes de limpiar el monitor.

Limpieza del monitor

Impida que objetos contundentes rayen o presionen la superficie de la pantalla del monitor o que algún objeto golpee la superficie de la pantalla, ya que podría dañarla. La pantalla del monitor cuenta con un tratamiento especial. Siga las instrucciones que se indican a continuación para evitar un rendimiento anormal debido a una manipulación indebida durante la limpieza.

- Retire con cuidado cualquier partícula de polvo de la superficie de la pantalla con un paño suave. Se recomienda utilizar un paño de limpieza o un paño para limpiar cristales.
- Si la suciedad es excesiva, limpie la superficie de la pantalla con un paño de limpieza suave ligeramente humedecido con agua.
- Nunca utilice alcohol, bencina, disolvente, soluciones de limpieza alcalinas o ácidos, limpiadores abrasivos o paños tratados químicamente, ya que podría dañar la superficie de la pantalla.

Limpieza de la carcasa

- Limpie las manchas con cuidado con un paño suave y seco. Las manchas difíciles se pueden eliminar con un paño ligeramente humedecido con una solución de detergente neutro; a continuación, limpie el área con un paño seco y suave.
- No utilice alcohol, bencina, disolvente ni insecticida. El uso de estos productos podría dañar el acabado de la superficie o borrar las marcas de la unidad.
- Existe el riesgo de que la pantalla resulte dañada si se frota con un paño sucio.
- Si permite un contacto prolongado de la unidad con productos de goma o plástico, ésta podría deformarse o el revestimiento protector podría desprenderse.

Panel LCD

- El panel LCD puede resultar dañado si se mantiene orientado hacia el sol durante un período de tiempo prolongado. Tenga esto en cuenta si instala la unidad en el exterior o junto a una ventana.
- No presione excesivamente ni raye la pantalla LCD. No coloque objetos sobre la pantalla. Si lo hace, la visualización podría interrumpirse o la pantalla LCD podría estropearse.
- Es posible que observe rayas horizontales en la pantalla o que aparezca una imagen residual. También es posible que la pantalla parezca más oscura cuando se utiliza en entornos a baja temperatura. Estos efectos no indican un fallo de funcionamiento de la pantalla. La pantalla regresará a su estado normal cuando aumente la temperatura ambiente.
- Si una imagen estática se muestra durante un periodo de tiempo prolongado, pueden producirse imágenes residuales o el calentamiento del monitor. Las imágenes residuales desaparecen con el tiempo. Si se producen imágenes espectrales, utilice la función de protector de pantalla o bien algún tipo de software de imagen o vídeo para proporcionar un movimiento constante en la pantalla. Si se producen ligeras imágenes espectrales (imágenes residuales),es posible que sean menos llamativas, pero una vez que se han producido, nunca desaparecerán por completo.
- La superficie del panel, la carcasa o la estructura pueden calentarse durante su utilización. Esto no indica que se haya producido un problema.

Presencia de puntos brillantes y puntos oscuros en la pantalla LCD

A pesar de que la pantalla LCD está fabricada con alta tecnología con una resolución efectiva de al menos el 99,99%, es posible que aparezcan puntos oscuros (defecto de los píxeles) o puntos brillantes (rojos, azules, verdes, etc.) que permanecen iluminados o parpadean en la pantalla. Se trata de fenómenos de las pantallas LCD que en ocasiones se generan debido a defectos de los píxeles y que pueden producirse después de haber utilizado el dispositivo durante un período de tiempo prolongado.
No indican fallos de funcionamiento de la pantalla.

Instalación

- Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSIBLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.
- Con el fin de evitar el recalentamiento interno de la unidad, permita que reciba una ventilación adecuada. No la coloque sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- No instale la unidad en un lugar cerca de fuentes de calor como radiadores o salidas de aire caliente, ni en lugares expuestos a la luz solar directa, polvo excesivo o vibraciones o golpes mecánicos.

- Cuando instale varios equipos con la unidad, es posible que se produzcan los siguientes problemas como, por ejemplo, un fallo de funcionamiento del mando a distancia, imagen con ruido o sonido con ruido, en función de la posición de la unidad y del otro equipo.

Embalaje

No se deshaga de la caja ni de los materiales de embalaje. Son un contenedor ideal para transportar la unidad. Al trasladar la unidad, embálela tal como se indica en la caja.

Si desea realizar alguna consulta referente a la unidad, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

Tratamiento de equipos eléctricos y electrónicos de uso comercial al final de su vida útil (aplicable en la Unión Europea y en países europeos con sistemas de recogida selectiva de residuos)

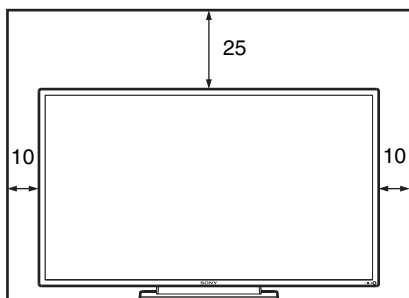
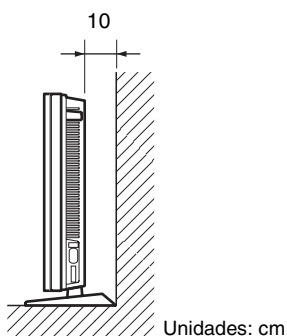
Este símbolo en su equipo o su embalaje indica que el presente producto no puede ser tratado como residuos domésticos normales. En su lugar, deben entregarse conforme al correspondiente plan de recogida para el reciclaje de equipos eléctricos y electrónicos. Asegurándose de que este producto es desechado correctamente, Ud. ayuda a prevenir las consecuencias negativas para el medio ambiente y la salud humana que podrían derivarse de la incorrecta manipulación de este producto. El reciclaje de materiales ayuda a conservar las reservas naturales. Para obtener información detallada sobre el reciclaje de este producto, contacte con su oficina local de Sony o visite la página Web europea de Sony para empresas:
http://www.sonybiz.net/environment

ES

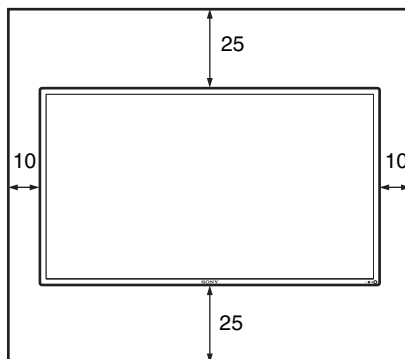
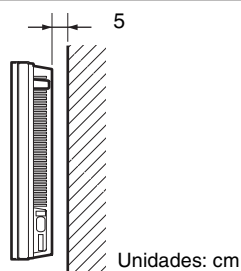
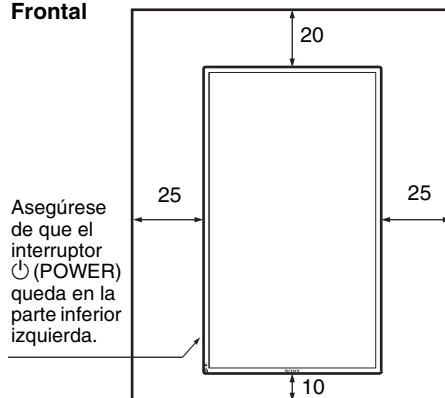
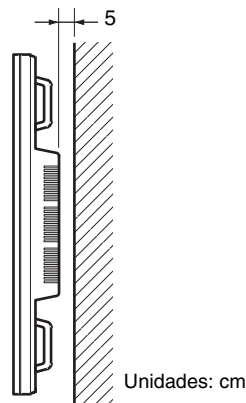
Recomendaciones para la instalación

Deje espacio suficiente alrededor del monitor

- Para evitar que el encierro de la unidad produzca un recalentamiento interno, asegúrese de permitir una ventilación adecuada dejando alrededor del monitor un espacio mínimo, como se muestra en la ilustración.
- La temperatura ambiente debe ser de 0 °C a 35 °C. Tenga cuidado cuando instale el monitor cerca del techo. La temperatura en esta ubicación puede ascender mucho más de lo normal, por lo que deberá reducir la temperatura ambiente.
- Cuando utilice un soporte, utilice el Tabletop SU-S01 (no suministrado). Para obtener información sobre el método de colocación, consulte el manual de instrucciones.
- El fabricante no puede especificar los productos correspondientes a la instalación de las piezas de montaje como, por ejemplo, abrazaderas, tornillos o pernos. Los distribuidores locales autorizados se encargarán de realizar la instalación adecuada de dichos componentes. Póngase en contacto con personal cualificado de Sony para realizar la instalación.
- Mientras el monitor está encendido, se genera una cierta cantidad de calor en el interior. Esto podría causar quemaduras. Evite tocar la parte superior o posterior del monitor cuando esté encendido o justo después de haber entrado en el modo de espera.

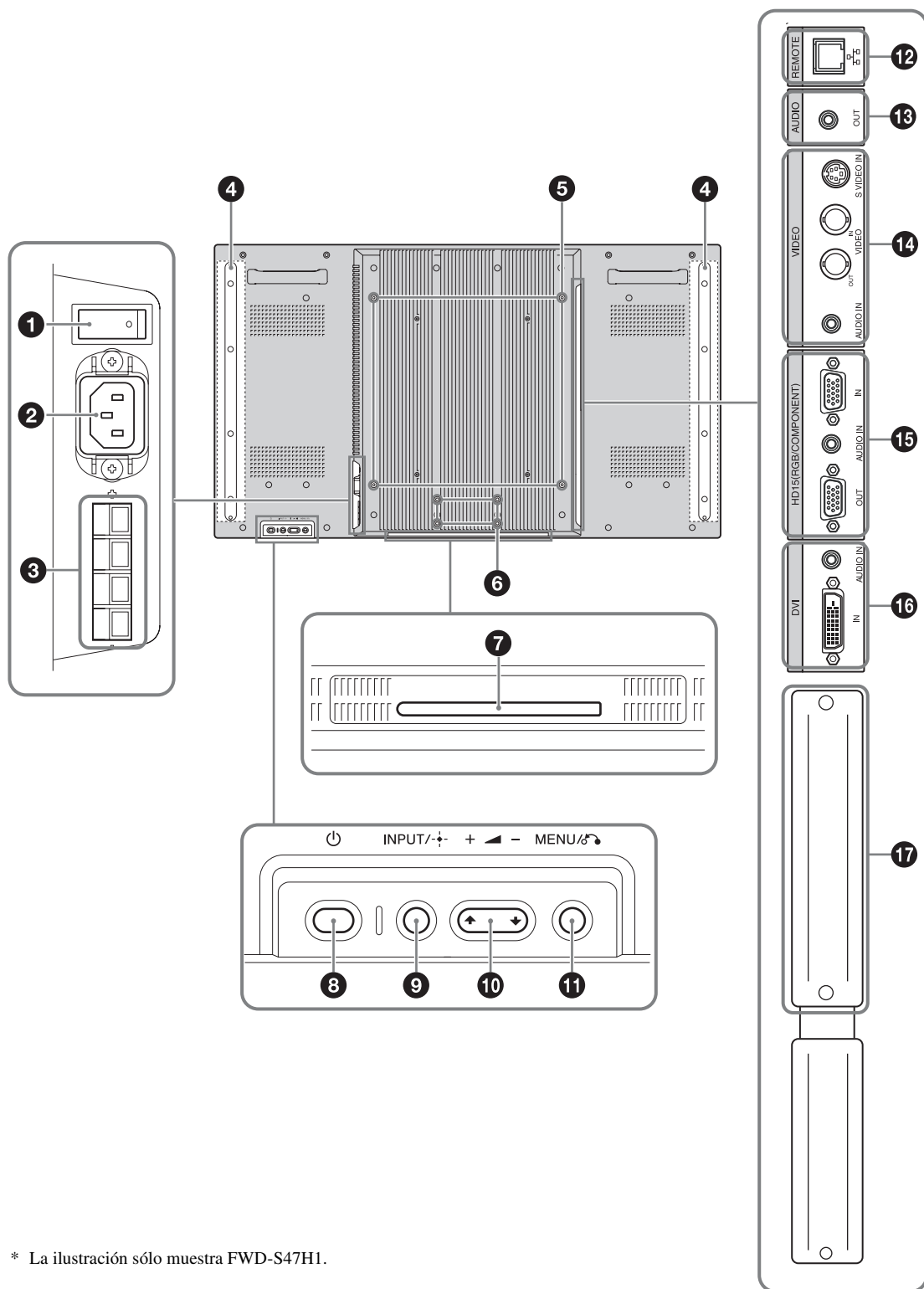
Utilización del soporte Tabletop

Nota

Si mueve o instala la pantalla con el soporte (no suministrado) montado, hágalo mediante al menos 2 personas.

Montaje del monitor en posición horizontal

Montaje del monitor en posición vertical

Parte frontal

Componentes	Descripción
❶ Logotipo de Sony	El logotipo de Sony se ilumina. En la pantalla de menú es posible cambiar la configuración de automática a varias configuraciones manuales. Consulte “Logotipo” en la página 30.
❷ ⏻ Indicador (encendido/en espera)	• Se ilumina en verde cuando la pantalla está encendida. • Se ilumina en rojo cuando la pantalla se encuentra en modo de espera. Se ilumina en naranja cuando la pantalla entra en modo de ahorro de energía mientras se envía una señal desde un ordenador. Si el indicador ⏻ parpadea en rojo, consulte la página 37. **Nota** Si la opción “LED” de los ajustes de “Pantalla múltiple” está ajustada en “No” y la opción “Posición” no está ajustada en el botón derecho, el indicador no se iluminará en verde aunque la pantalla esté encendida, excepto en caso de que no haya señal o ésta no sea compatible.
❸ Sensor del mando a distancia	Receptor de luz del mando a distancia.

ES

Parte posterior

* La ilustración sólo muestra FWD-S47H1.

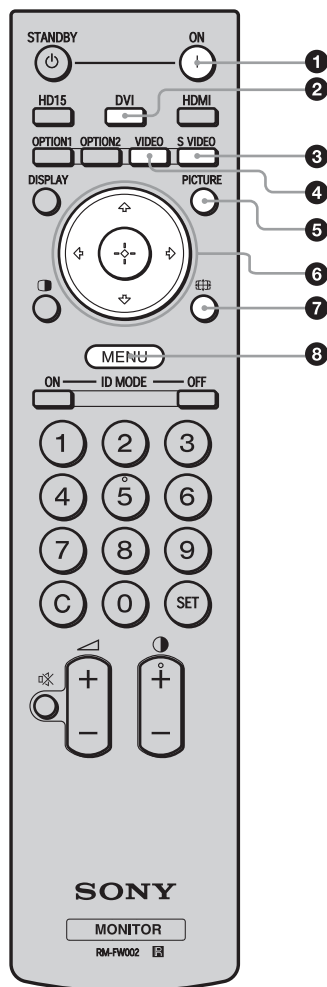
Componentes	Descripción
❶ Interruptor de la alimentación	Al configurar el dispositivo, lleve el interruptor de alimentación a “ON” (presione el lado ❘). Cuando el interruptor de alimentación está en “OFF” (presione el lado ○), el consumo de energía es 0W.
❷ Toma **AC IN**	Conecte el cable de alimentación de ca a esta toma y a la toma de pared. Consulte la página 17. Una vez conectado el cable de alimentación de ca, el indicador ⏻ se ilumina en rojo y la pantalla entra en modo de espera.
❸ Toma **SPEAKER**	Conecte los altavoces SS-SPG02 (no suministrados) a esta toma. Si desea obtener más información acerca de cómo conectar los altavoces, consulte el manual de instrucciones que se suministra con éstos. Para obtener más información sobre cómo pasar los cables de los altavoces, consulte la página 18.
❹ Posiciones de instalación de los altavoces	Instale los altavoces específicos SS-SPG02.
❺ Orificios para la instalación del soporte	Orificios para tornillos compatibles con el estándar VESA. (Ancho: 400mm × 400mm, tornillo: M6)
❻ Orificios para la instalación del soporte de pantalla adecuado	Utilice estos ganchos para instalar el soporte de pantalla SU-S01 (no suministrado).
❼ Tapa de orificios para la instalación del soporte de pantalla específico	Extraer cuando se coloca el soporte de pantalla SU-S01 (no suministrado).
❽ ⏻ Interruptor **(POWER)**	Enciende o apaga (modo en espera) la pantalla. Actívelo cuando el interruptor de alimentación está en “ON” (lado ❘).
❾ Botón **INPUT/ ⊹ (ENTER)**	Púlselo para seleccionar una señal procedente del conector INPUT u OPTION. La señal entrante cambia de la siguiente manera cada vez que pulsa el botón INPUT. → S Video → Video → HD15 → DVI → OPTION ─┐ (vuelve al inicio) Si no se ha instalado ningún adaptador opcional compatible con la señal de vídeo en la ranura OPTION, ésta se omitirá. Púlselo para establecer la selección.
❿ Botón +/–/⇧/⇩ (volumen/ cursor)	Púlselos para ajustar el volumen de los altavoces. Cuando se visualice el menú, púlselo para desplazar el cursor o ajustar un valor. Púlselo para establecer la selección.
⓫ Botón **MENU/⮌ (RETURN)**	Púlselo para mostrar los menús. Permite volver a la pantalla de menú anterior.
⓬ **REMOTE** (10BASE-T/100BASE-TX)	Sirve para conectar la pantalla a una red, mediante un cable 10BASE-T/100BASE-TX LAN. Es posible asignar varias configuraciones de la pantalla y controlar la visualización a través de la red desde un ordenador. **Precauciones** • Cuando conecte el cable de LAN de la unidad al dispositivo periférico, utilice el cable suministrado para evitar fallos de funcionamiento debido al ruido de la radiación. • Por razones de seguridad, no enchufe a este puerto un conector de cableado de dispositivo periférico que pueda tener una tensión excesiva. Siga las instrucciones de este puerto de conexión. **Nota** Si utiliza este conector, seleccione “Monitor” en “Puerto de red”. (página 30)

ES

Componentes	Descripción
⓭ **AUDIO** (minitoma estéreo)	Esta es la terminal de salida de audio del monitor para dispositivos externos. Da salida al sonido de la señal actualmente indicada en la pantalla. Emite una señal de audio correspondiente a la imagen activa* mientras se encuentra en el modo “P&P” o “PinP”. **Notas** • La configuración ajustada en “Modo sonido” o “Salida altavoz” no se percibirá. • No se refleja el estado de reducción del sonido que se ajusta mediante el mando a distancia.
⓮ **VIDEO**	**S VIDEO IN** (Mini DIN de 4 contactos): permite establecer una conexión con la salida de S Video (S Vídeo) de un equipo de vídeo. **VIDEO IN** (BNC): permite establecer una conexión con la salida de vídeo de un equipo de vídeo. **VIDEO OUT** (BNC): permite establecer una conexión con la entrada de vídeo de un equipo de vídeo. Se emitirá la entrada de imágenes del conector VIDEO IN. **AUDIO IN** (Minitoma estéreo): se conecta a la salida de audio de un equipo de vídeo.
⓯ **HD15 (RGB/ COMPONENT)** (D-sub de 15 contactos)	**HD15 (RGB/COMPONENT) IN:** se conecta a la salida de señal RGB analógica o a la salida de señal de componente de un equipo de vídeo o de un ordenador. Consulte la página 42. **AUDIO IN:** recibe la señal de audio. Se conecta con la salida de la señal de audio de un equipo de vídeo u ordenador. **HD15 (RGB/COMPONENT) OUT:** se conecta a la entrada de señal de componente o a la entrada de señal RGB analógica de un equipo de vídeo o de un ordenador. Consulte la página 42. Se emitirán las señales recibidas a través del conector HD15 (RGB/ COMPONENT) IN anterior. **Notas** • Cuando reciba una señal de componente, asegúrese de que no recibe señales de sincronización a través de los contactos 13 y 14. Si lo hace, es posible que la imagen no se muestre correctamente. • Cuando la pantalla no está conectada a una fuente de alimentación de ca o si se encuentra en el modo de espera, no se emite ninguna señal a través de la toma HD15 (RGB/ COMPONENT) OUT.
⓰ **DVI** (DVI-D de 24 contactos)	**DVI IN:** se conecta al terminal de salida de señal digital del equipo de vídeo o del ordenador. Es compatible con la protección contra copia HDCP. **AUDIO IN:** Se conecta a la salida de la señal de audio de un equipo de vídeo, etc.
⓱ **Ranura OPTION** (puerto VIDEO/COM)	Esta ranura admite señales de vídeo y funciones de comunicación. Instale un adaptador opcional (serie BKM-FW) en esta ranura para ampliar las funciones del monitor. Consulte la página 16.

* Estado en el que se emite sonido y la señal de entrada se puede cambiar.

Mando a distancia

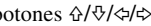
Descripción de los botones

❶ Interruptor POWER ON

Púlselo para encender la pantalla.
Actívelo cuando el interruptor de alimentación que se encuentra en la parte posterior está en "ON."

❷ Botón DVI

Púlselo para seleccionar la entrada de señal al puerto DVI.

❸ Botón S VIDEO

Púlselo para seleccionar la entrada de señal al conector S VIDEO IN desde un equipo de vídeo.

❹ Botón VIDEO

Púlselo para seleccionar la entrada de señal al conector VIDEO IN desde un equipo de vídeo.

❺ Botón PICTURE

Selecciona "Modo imagen". Cada vez que se pulsa, se alterna entre "Vívido", "Estándar", "Personalizado", "Conferencia" y "TC Control".

❻ Botones ⇧/⇩/⇦/⇨/⊕

Los botones ⇧/⇩/⇦/⇨ desplazan el cursor del menú y ajustan los valores, etc. Al pulsar ⊕ se entra en el menú seleccionado o se fija el elemento de ajuste.
En el modo "PAP", es posible cambiar el ajuste Picture and Picture. Consulte la página 14.

❼ Botón ⊞

Púlselo para cambiar la relación de aspecto. Consulte la página 13.

❽ Botón MENU

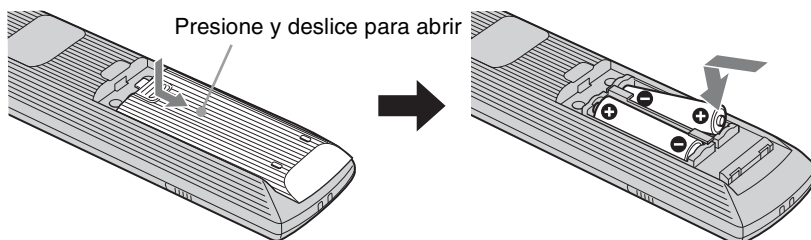
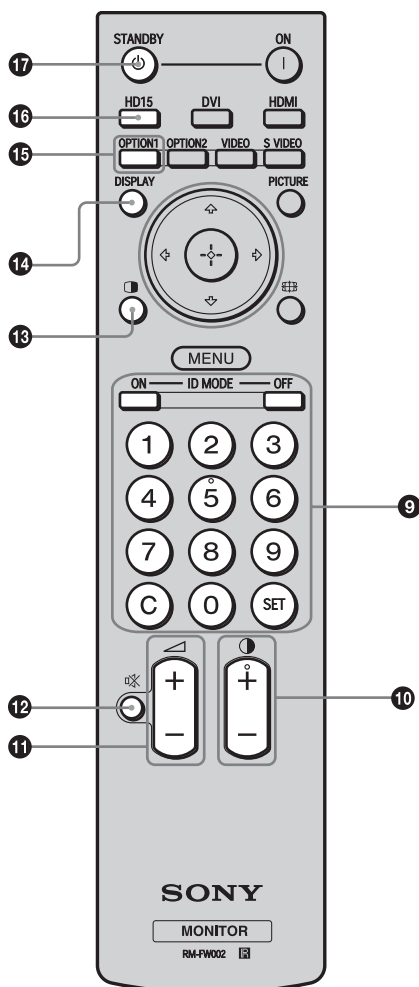
Púlselo para mostrar los menús. Vuelva a pulsarlo para ocultarlos. Consulte la página 19.

ES

Notas

- El botón 5 y el botón ◑ cuentan con un punto táctil. Utilice el punto táctil como referencia cuando utilice la pantalla.
- Introduzca dos pilas AA (R6) (suministradas) haciendo coincidir los polos ⊕ y ⊖ de las pilas con el dibujo que se encuentra en el interior del compartimiento de las pilas del mando a distancia.

Precaución

Peligro de explosión si se sustituye la batería por una del tipo incorrecto. Reemplace la batería solamente por otra del mismo tipo o de un tipo equivalente recomendado por el fabricante. Cuando deseche la batería, debe cumplir con las leyes de la zona o del país.

❾ Botones ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF)

Es posible utilizar una pantalla específica sin que ésta afecte a otras pantallas instaladas al mismo tiempo.

- Botón ON: púlselo para mostrar el “Número índice” en la pantalla.
- Botón 0-9: púlselo para introducir el “Número índice” de la pantalla que desea utilizar.
- Botón SET: púlselo para ajustar el “Número índice” introducido.
- Botón C: púlselo para borrar el “Número índice” introducido.
- Botón OFF: púlselo para volver al modo normal.

Consulte la página 15.

❿ Botón ◑ +/–

Ajusta el nivel de contraste de la imagen.

⓫ Botón ◺ +/–

Púlselo para ajustar el volumen.

⓬ Botón 🔇

Púlselo para silenciar el sonido. Púlselo de nuevo para restablecer el sonido.

⓭ Botón ◨

Selecciona el modo “PAP” (Picture And Picture). Cada vez que lo pulse, alternará entre “P&P”, “PinP” y la pantalla de una sola imagen.
Consulte página 14.

⓮ Botón DISPLAY

Púlselo para visualizar la entrada seleccionada en estos momentos, el tipo de señal de entrada y el ajuste de “Modo panorámico” de la pantalla. Vuelva a pulsarlo para ocultarlos. Si deja que la información permanezca en pantalla, ésta desaparecerá automáticamente transcurrido un breve período de tiempo.

⓯ Botón OPTION 1

Cuando se instala un adaptador opcional, selecciona una señal de entrada desde el equipo conectado al adaptador opcional.
Si el adaptador opcional instalado cuenta con varios conectores de entrada, cada vez que pulse el botón alternará entre las señales de entrada.

⓰ Botón HD15

Púlselo para seleccionar la señal de entrada del conector HD15 (RGB/COMPONENT). La señal RGB o la señal de componente se seleccionan automáticamente o manualmente de acuerdo con los ajustes del menú.

⓱ Botón STANDBY

Púlselo para cambiar la pantalla al modo de espera.

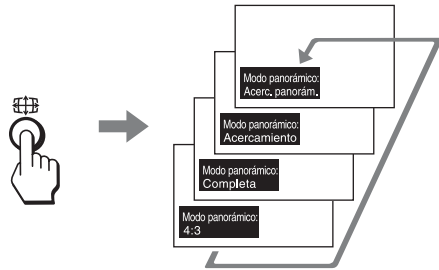
Nota

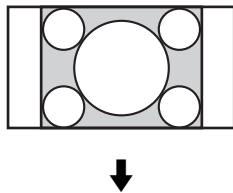
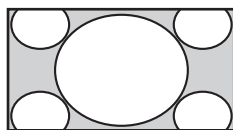
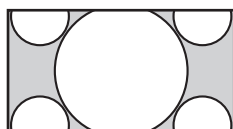
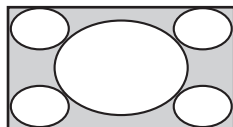
No es posible utilizar el botón HDMI ni el botón OPTION 2 en esta pantalla.

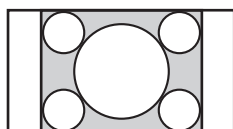
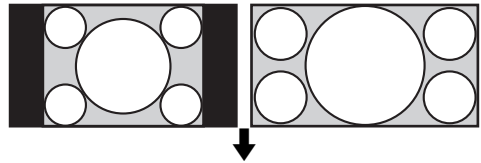
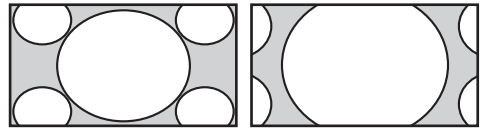
Botones especiales del mando a distancia

Utilización del modo ancho

Es posible cambiar el formato de la pantalla.

Sugerencia
Es posible acceder a los ajustes de “Modo panorámico” en los ajustes de “Pantalla”. Consulte la página 26, 27.

Para la entrada de un equipo de vídeo como, por ejemplo, un vídeo, un DVD, etc. (excepto la entrada del ordenador)

Fuente original 4:3

Acerc. panorám.

Acercamiento

Completa

4:3

Fuente original 16:9

Acerc. panorám.

Acercamiento

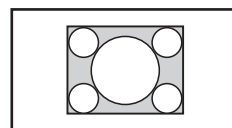
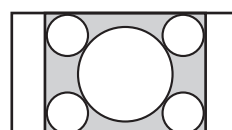
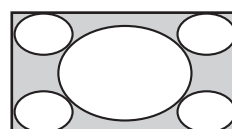
Completa

4:3

ES

Para la entrada de ordenador

Las imágenes que aparecen a continuación muestran la resolución de entrada de 800×600

Real

Completa 1

Completa 2

Nota

Si la resolución de entrada es superior a la resolución del panel (1.920 × 1.080), la visualización de la opción Real será la misma que la de la opción Completa 1.

Utilización del ajuste PAP

Puede mostrar dos imágenes procedentes de dos fuentes de señales distintas, como un ordenador y un vídeo, una al lado de la otra.
También puede cambiar las imágenes activas o cambiar el balance de los tamaños de imagen.
Es posible acceder a los ajustes de “Ajuste de PAP” en los ajustes de “Pantalla”. Consulte la página 24.

El cursor muestra la imagen activa

Para P&P

Para PinP

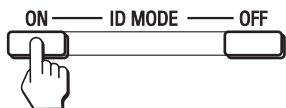
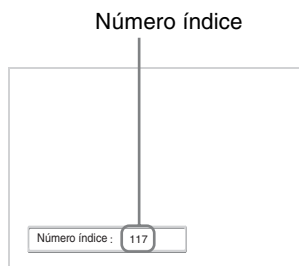
Sugerencias

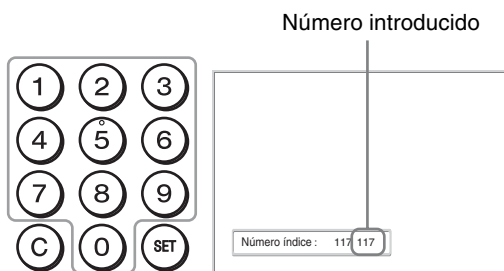
- El cursor que indica que la imagen se encuentra activa desaparecerá en 5 segundos.
- La imagen se puede ajustar a 15 tamaños. (Para P&P)

Utilización del botón ID MODE

Es posible utilizar una pantalla específica sin que ésta afecte a otras pantallas instaladas al mismo tiempo.

1 Pulse el botón **ON** .

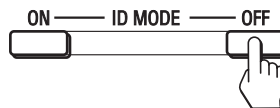
El "Número índice" de la pantalla aparece con caracteres en negro en el menú inferior izquierdo de la pantalla (a cada pantalla se le asigna un "Número índice" individual predefinido del 1 al 255).

2 Introduzca el "Número índice" de la pantalla que desea utilizar mediante los botones 0 - 9 del mando a distancia.

El número introducido aparece al lado del "Número índice" de cada pantalla.

3 Pulse el botón **SET** .

Los caracteres de la pantalla seleccionada cambian a verde mientras que los otros cambian a rojo.

Puede utilizar sólo la pantalla específica indicada con caracteres verdes.
Sólo el funcionamiento del interruptor POWER ON y el botón STANDBY/ID MODE-OFF resulta también efectivo en otras pantallas.

4 Cuando haya terminado de cambiar los ajustes, pulse el botón **OFF**.

La visualización vuelve a la pantalla normal.

Para corregir el Número índice

Pulse el botón **C** para borrar el "Número índice" introducido actualmente. Vuelva al paso 2 e introduzca un nuevo "Número índice".

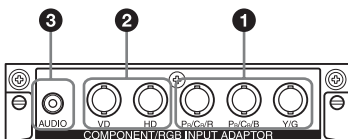
Sugerencia

Para cambiar el "Número índice" de la pantalla, consulte "Número índice" en "Ajuste de control" en la página 28.

ES

Adaptadores opcionales

El terminal de la ranura OPTION ⓱ (página 10) del lateral del equipo es de ranura. Puede cambiarse por el siguiente adaptador opcional (no suministrado).
Para obtener más información acerca de la instalación, póngase en contacto con su distribuidor Sony.
Para obtener más información acerca de los adaptadores opcionales para la ampliación del sistema, consulte los manuales de instrucciones correspondientes.

Adaptador COMPONENT/RGB INPUT BKM-FW11

❶ **Y/G, P_B/C_B/B, P_R/C_R/R IN (BNC)**: se conecta a la salida de señal RGB analógica o a la salida de señal de componente de un equipo de vídeo o de un ordenador.

❷ **HD, VD IN (BNC)**: se conecta a la salida de la señal de sincronización de un ordenador.

Nota

Cuando reciba una señal de componente, asegúrese de que no recibe señales de sincronización a través de los conectores HD y VD, puesto que la imagen podría no visualizarse correctamente.

❸ **AUDIO (minitoma estéreo)**: recibe la señal de audio. Se conecta con la salida de la señal de audio de un equipo de vídeo u ordenador.

Adaptador HDMI INPUT BKM-FW15

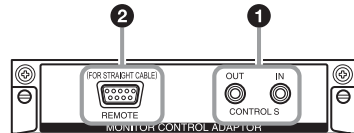
Puede disfrutar de vídeo mejorado o de alta definición y de audio digital de dos canales.
El modo apropiado para un dispositivo de audio y vídeo o un ordenador se selecciona automáticamente en función del equipo conectado.

Nota

Asegúrese de utilizar únicamente un cable HDMI (no suministrado) que contenga el logotipo HDMI.

Adaptador HD-SDI/SDI INPUT BKM-FW16

Se conecta a la salida de señales HD-SDI de un dispositivo de vídeo.

Adaptador MONITOR CONTROL BKM-FW21

❶ **CONTROL S IN/OUT** (Minitoma): es posible controlar varios equipos con un solo mando a distancia cuando la pantalla está conectada al conector CONTROL S del equipo de vídeo u otra pantalla. Conecte el conector CONTROL S OUT de este adaptador al conector CONTROL S IN del otro equipo y conecte el conector CONTROL S IN de este adaptador al conector CONTROL S OUT del otro equipo.

❷ **REMOTE** (D-sub de 9 contactos): este conector permite controlar a distancia la pantalla mediante el protocolo RS-232C.

Notas

- El conector REMOTE y el conector REMOTE (LAN) ⓬ (página 9) del lateral del equipo no se pueden usar al mismo tiempo.
- Cuando utilice el conector REMOTE, seleccione “Option” en “Puerto de red”. (página 30)

Adaptador STREAMING RECEIVER BKM-FW50

Este adaptador le permite utilizar esta pantalla para señalización digital.
Puede reproducir películas, imágenes fijas o sonido de fondo en formatos de datos designados con sólo insertar un medio de grabación. Pueda utilizar una red para ver imágenes de un ordenador remoto.

Nota

Se requiere una tarjeta de memoria Compact Flash (CF).

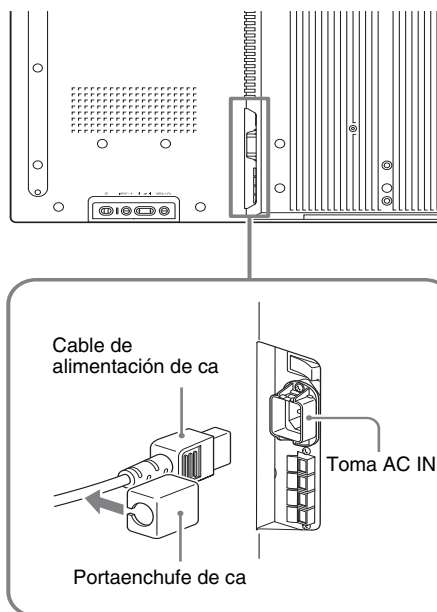
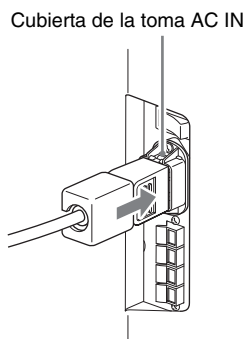
Antes de comenzar

- En primer lugar, compruebe que ha desactivado la alimentación de todos los equipos.
- Emplee cables adecuados para el equipo que vaya a conectar.
- Inserte los cables completamente en los conectores o las tomas para realizar la conexión. Una conexión floja puede producir zumbidos y otros ruidos.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe, pero nunca del cable.
- Asimismo, consulte el manual de instrucciones del equipo que va a conectar.
- Inserte la clavija firmemente en la toma AC IN.
- Utilice uno de los dos portaenchufes de ca (suministrados) para sujetar la clavija de ca firmemente.

Conexión de los altavoces

Conecte los altavoces SS-SPG02 (no suministrados). Asegúrese de conectar los altavoces correctamente. Si desea obtener más información acerca de cómo conectar los altavoces, consulte el manual de instrucciones que se suministra con éstos. Para obtener más información sobre cómo pasar los cables de los altavoces, consulte la página 18.

Conexión del cable de alimentación de ca

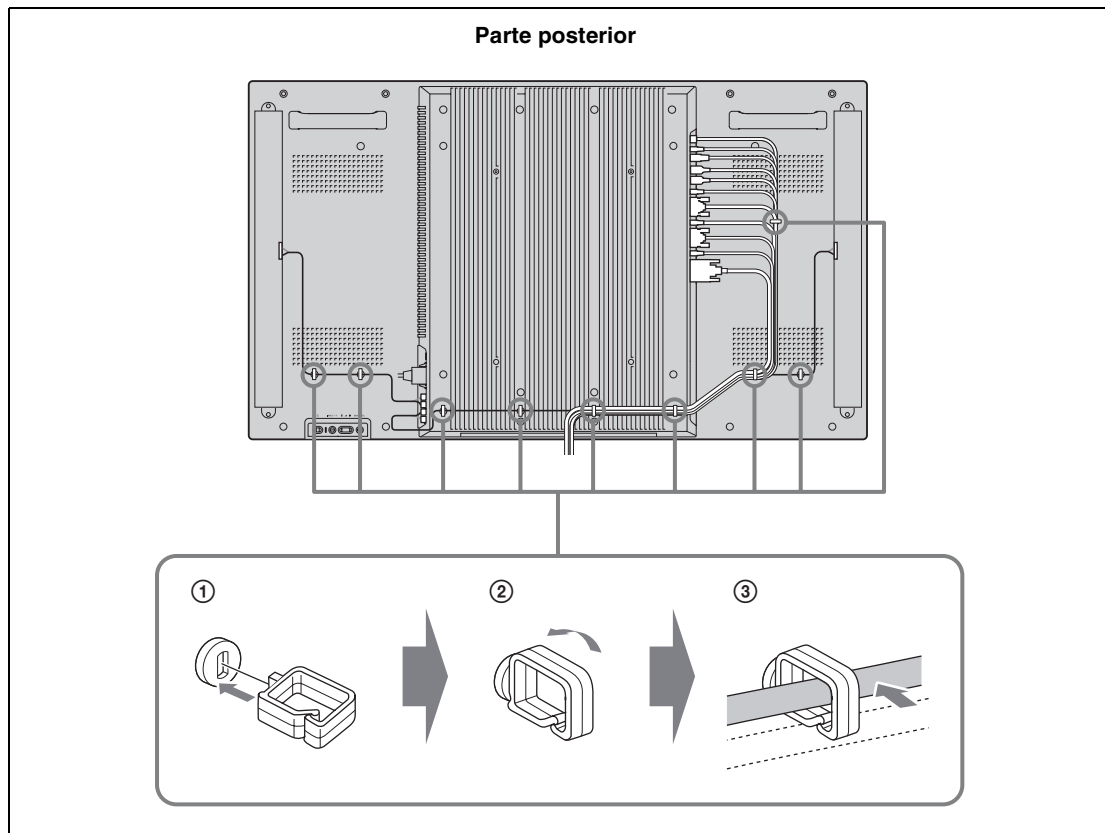
1 Enchufe el cable de alimentación de ca en la toma AC IN. A continuación, conecte el portaenchufe de ca (suministrado) al cable de alimentación de ca.

2 Deslice el portaenchufe de ca sobre el cable hasta que se conecte a la cubierta de la toma de ca AC IN.

Para retirar el cable de alimentación de ca

Tras apretar el portaenchufe de ca y liberarlo, agarre el enchufe y tire del cable de alimentación de ca.

ES

Organización de los cables

Uso de los portacables

Puede sujetar los cables de forma eficaz mediante los portacables (×9) suministrados. Conecte el portacables tal y como se muestra en la siguiente ilustración.

Descripción general de los menús

1 Pulse el botón MENU.

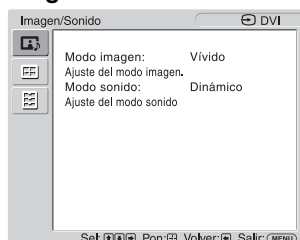
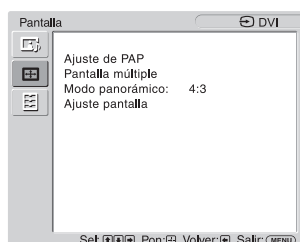
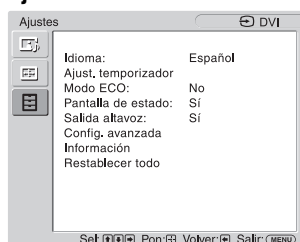
2 Pulse ⇧/⇩ para resaltar el icono de menú deseado.

3 Pulse ⊕ o ⇨.

Para salir del menú, pulse el botón MENU.

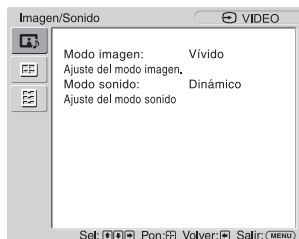
Para cambiar el idioma en pantalla

Seleccione el idioma deseado para los ajustes y mensajes en pantalla entre “English”, “Français”, “Deutsch”, “Español”, “Italiano” o “日本語”.
“English” (inglés) está establecido como el ajuste predeterminado.
Consulte la página 28.

Los ajustes le proporcionan acceso a las siguientes funciones:

Ajuste	Le permite ajustar/cambiar
Imagen/Sonido	Modo imagen: (página 20, 22) Ajuste del modo imagen. (página 20, 22) Modo sonido: (página 21, 23) Ajuste del modo sonido (página 21, 23) **Nota** No es posible ajustar o cambiar “Modo imagen” o “Ajuste del modo imagen.” cuando no hay señal de entrada.
Pantalla	Ajuste de PAP (página 24, 27) Pantalla múltiple (página 25, 27) Modo panorámico: (página 26, 27) Ajuste pantalla (página 26, 27)
Ajustes	Idioma: (página 28) Ajust. temporizador (página 28) Modo ECO: (página 28) Pantalla de estado: (página 28) Salida altavoz: (página 28) Config. avanzada (página 28) Información (página 31) Restablecer todo (página 31)

* En función de los ajustes realizados, es posible que los iconos del menú que se visualizan en la parte inferior de la pantalla no funcionen.

ES

Ajustes de Imagen/Sonido

Para la entrada de vídeo

Para resaltar una opción y cambiar los ajustes, pulse ⇧/⇩/⇦/⇨.
Pulse ⊕ para confirmar la selección.
Los ajustes de "Imagen/Sonido" incluyen las siguientes opciones:

Modo imagen

"Vívido": seleccione este ajuste para mejorar la nitidez y el contraste de la imagen.
"Estándar": seleccione este ajuste para utilizar los ajustes de imagen estándar.
"Personalizado": permite almacenar los ajustes deseados.
"Conferencia": permite ajustar la calidad de imagen para videoconferencias con iluminación fluorescente.
"TC Control": este ajuste es común con "Vívido". Además, puede utilizar la función "True Color Control" (mencionada posteriormente).

Sugerencia

Para cambiar de una opción de "Modo imagen" a otra, también puede utilizar PICTURE en el mando a distancia.

Notas

- Es posible que "Conferencia" no surta efecto en función del entorno o del sistema de videoconferencia que utilice. En tal caso, ajuste la calidad de imagen, seleccione otro ajuste de "Modo imagen", etc.
- En "TC Control", "Mejora de brillo" se fija en No.

Ajuste del modo imagen.

"Luz de fondo": permite aclarar u oscurecer la pantalla.
"Contraste": permite ajustar el contraste de la imagen.
"Brillo": permite aclarar u oscurecer la imagen.
"Crominancia": permite aumentar o disminuir la intensidad del color.
"Fase": permite ajustar los tonos de color de la imagen.
"Nitidez": permite aumentar la nitidez o suavizar la imagen.
"Reducción de ruido": permite reducir el nivel de ruido del equipo conectado. Seleccione entre las opciones "No", "Bajo", "Medio", "Alto" para definir el nivel de ruido.
"CineMotion": seleccione "Automático" para optimizar la visualización de la pantalla mediante la detección automática del contenido de la película y la aplicación del proceso de conversión inversa 3-2 ó 2-2. La imagen en movimiento aparecerá con un aspecto más claro y natural. Seleccione "No" para desactivar la detección.
"Imagen dinámica": seleccione "Sí" para mejorar el contraste mediante la aclaración del blanco y el oscurecimiento del negro.
"Correc. gama": ajusta el balance entre las partes claras y oscuras de la imagen. Seleccione entre "Alto", "Medio", "Bajo" para realizar los ajustes.

Notas

- "Opción" sólo puede ajustarse cuando recibe una señal DVI.
- Los ajustes de gama se realizan conforme a la Función de pantalla estándar de escala de grises (Grayscale Standard Display Function, GSDF) de las normas Imágenes y comunicaciones digitales en medicina (Digital Imaging and Communications in Medicine, DICOM). Sin embargo, estos ajuste son únicamente de referencia y no pueden utilizarse para realizar diagnósticos médicos.

"Temp. color": el tono blanco se puede ajustar a gusto. Los ajustes predeterminados de fábrica se realizan en función de la temperatura del color.
- **"Fría":** permite dar a los colores blancos un matiz azulado.
- **"Neutra":** permite dar a los colores blancos un matiz neutro.
- **"Cálida":** permite dar a los colores blancos un matiz rojizo.
- **"Personalizado":** permite configurar una gama de blancos más variada que la anterior.

Sugerencia

Seleccione "Restablecer" en la pantalla de ajustes de tonos para restaurar los ajustes predeterminados.

"Mejora de brillo": realza el brillo de la imagen.

Notas

- Cuando "Mejora de brillo" se ajusta en "Sí", no se pueden ajustar las configuraciones de "Luz de fondo", "Contraste", "Brillo" o "Temp. color".
- Cuando "Mejora de brillo" está ajustado en "Sí" y "Modo ECO" se activa "No", el brillo se encuentra en el nivel máximo.

"True Color Control": permite ajustar los detalles de tono y de saturación de cada uno de los cuatro colores: rojo, verde, amarillo y azul, además de resaltar colores específicos en la imagen.

Seleccione el color que desea ajustar y podrá comprobar y consultar la parte de la imagen actual que se ajustará. A continuación, podrá ajustarla mediante el cuadro de diálogo de matriz del color.

Notas

- Esta opción puede ajustarse cuando "Modo imagen" está ajustado en "TC Control".
- En el modo "PAP", no es posible seleccionar esta opción. Aunque seleccione esta opción en la pantalla de una sola imagen, es posible que el ajuste de esta opción no se aplique en el modo "PAP".

"Restablecer": permite restablecer todos los ajustes de "Ajuste del modo imagen." a sus valores predeterminados.

Notas

- "Fase" no está disponible cuando la entrada es Vídeo o S Video y el sistema de color de la señal de vídeo no es NTSC.
- "Imagen dinámica" no está disponible cuando "Modo imagen" se ha ajustado en "Conferencia" o "TC Control."
- Es posible realizar configuraciones y ajustes para cada "Modo imagen" pero los ajustes "Luz de fondo," "Reducción de ruido" y "CineMotion" son comunes para todas las opciones de "Modo imagen."
- "Imagen dinámica" y "CineMotion" no funcionan en el modo PAP.

ES

Modo sonido

Es posible ajustar la salida de sonido de los altavoces SS-SPG02 (no suministrados) mediante varios ajustes de "Modo sonido".

"Dinámico": permite mejorar la calidad de los agudos y graves.

"Estándar": ajuste normal.

"Personalizado": permite almacenar los ajustes deseados.

Ajuste del modo sonido

"Agudos": permite aumentar o disminuir los sonidos más agudos.

"Graves": permite aumentar o disminuir los sonidos más graves.

"Balance": permite acentuar el balance del altavoz izquierdo o derecho.

"Envolvente": permite seleccionar el modo envolvente según el tipo de imagen.

"No": sin salida de sonido envolvente.

"Sala": cuando desee proporcionar una calidad más realista al sonido en estéreo de películas o programas musicales.

"Simul.": cuando desee dar a los programas monoaurales o a los informativos una calidad más realista gracias a la simulación de sonido estéreo.

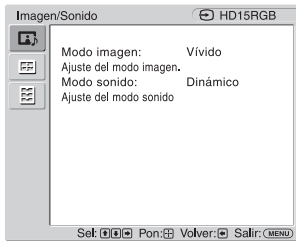
"Restablecer": permite restablecer todos los ajustes de "Ajuste del modo sonido" a sus valores predeterminados.

Sugerencias

- Es posible cambiar los ajustes de "Ajuste del modo imagen." ("Contraste", "Brillo", "Crominancia ", etc.) para cada "Modo imagen".
- Es posible configurar los ajustes de "Ajuste del modo sonido" ("Agudos" y "Graves") cuando "Modo sonido" está ajustado en "Personalizado".

Nota

En el modo "PAP", sólo se pueden establecer los ajustes "Imagen/Sonido" de la imagen activa.

Para la entrada de ordenador

Cuando la entrada se cambia a un fuente de entrada de ordenador, se le aplicarán los ajustes de “Imagen/Sonido” específicos.
Los ajustes “Imagen/Sonido” del ordenador incluyen las siguientes opciones:

Modo imagen

“Vívido”: seleccione este ajuste para mejorar la nitidez y el contraste de la imagen.
“Estándar”: seleccione este ajuste para utilizar los ajustes de imagen estándar.
“Personalizado”: permite almacenar los ajustes deseados.
“Conferencia”: permite ajustar la calidad de imagen para videoconferencias con iluminación fluorescente.
“TC Control”: este ajuste es común con “Vívido”. Además, puede utilizar la función “True Color Control” (mencionada posteriormente).

Sugerencia
Para cambiar de una opción de “Modo imagen” a otra, también puede utilizar PICTURE en el mando a distancia.

Notas

- Es posible que “Conferencia” no surta efecto en función del entorno o del sistema de videoconferencia que utilice. En tal caso, ajuste la calidad de imagen, seleccione otro ajuste de “Modo imagen”, etc.
- En “TC Control”, “Mejora de brillo” se fija en No.

Ajuste del modo imagen.

“Luz de fondo”: permite aclarar u oscurecer la pantalla.
“Contraste”: permite ajustar el contraste de la imagen.
“Brillo”: permite aclarar u oscurecer la imagen.
“Correc. gama”: ajusta el balance entre las partes claras y oscuras de la imagen. Seleccione entre “Alto”, “Medio”, “Bajo” para realizar los ajustes.

Notas

- “Opción” sólo puede ajustarse cuando recibe una señal DVI.
- Los ajustes de gama se realizan conforme a la Función de pantalla estándar de escala de grises (Grayscale Standard Display Function, GSDF) de las normas Imágenes y comunicaciones digitales en medicina (Digital Imaging and Communications in Medicine, DICOM). Sin embargo, estos ajuste son únicamente de referencia y no pueden utilizarse para realizar diagnósticos médicos.

“Temp. color”: el tono blanco se puede ajustar a gusto. Los ajustes predeterminados de fábrica se realizan en función de la temperatura del color.
- **“Fría”:** permite dar a los colores blancos un matiz azulado.
- **“Neutra”:** permite dar a los colores blancos un matiz neutro.
- **“Cálida”:** permite dar a los colores blancos un matiz rojizo.
- **“Personalizado”:** permite configurar una gama de blancos más variada que la anterior.

Sugerencia
Seleccione “Restablecer” en la pantalla de ajustes de tonos para restaurar los ajustes predeterminados.

“Mejora de brillo”: realza el brillo de la imagen.

Notas

- Cuando “Mejora de brillo” se ajusta en “Sí”, no se pueden ajustar las configuraciones de “Luz de fondo”, “Contraste”, “Brillo” o “Temp. color”.
- Cuando “Mejora de brillo” está ajustado en “Sí” y “Modo ECO” se activa “No”, el brillo se encuentra en el nivel máximo.

“True Color Control”: permite ajustar los detalles de tono y de saturación de cada uno de los 4 colores: rojo, verde, amarillo y azul, además de resaltar colores específicos en la imagen.
Seleccione el color que desea ajustar y podrá comprobar y consultar la parte de la imagen actual que se ajustará. A continuación, podrá ajustarla mediante el cuadro de diálogo de matriz del color.

Notas

- Esta opción puede ajustarse cuando “Modo imagen” está ajustado en “TC Control”.
- En el modo “PAP”, no es posible seleccionar esta opción. Aunque seleccione esta opción en la pantalla de una sola imagen, es posible que el ajuste de esta opción no se aplique en el modo “PAP”.

“Restablecer”: permite restablecer todos los ajustes de “Ajuste del modo imagen.” a sus valores predeterminados.

Nota

Es posible realizar configuraciones y ajustes para cada “Modo imagen” pero el ajuste “Luz de fondo” es común para todas las opciones de “Modo imagen.”

Modo sonido

Es posible ajustar la salida de sonido de los altavoces SS-SPG02 (no suministrados) mediante varios ajustes de “Modo sonido”.
“Dinámico”: permite mejorar la calidad de los agudos y graves.
“Estándar”: ajuste normal.
“Personalizado”: permite almacenar los ajustes deseados.

Ajuste del modo sonido

“Agudos”: permite aumentar o disminuir los sonidos más agudos.
“Graves”: permite aumentar o disminuir los sonidos más graves.
“Balance”: permite acentuar el balance del altavoz izquierdo o derecho.
“Envolvente”: permite seleccionar el modo envolvente según el tipo de imagen.

“No”: sin salida de sonido envolvente.
“Sala”: cuando desee proporcionar una calidad más realista al sonido en estéreo de películas o programas musicales.
“Simul.”: cuando desee dar a los programas monoaurales o a los informativos una calidad más realista gracias a la simulación de sonido estéreo.

“Restablecer”: permite restablecer todos los ajustes de “Ajuste del modo sonido” a sus valores predeterminados.

ES

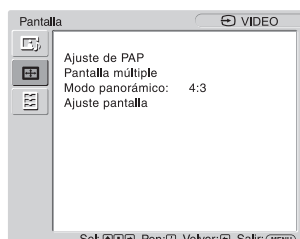
Sugerencias

- Es posible cambiar los ajustes de “Ajuste del modo imagen.” (“Contraste”, “Brillo”, “Crominancia ”, etc.) para cada “Modo imagen”.
- Es posible configurar los ajustes de “Ajuste del modo sonido” (“Agudos” y “Graves”) cuando “Modo sonido” está ajustado en “Personalizado”.

Notas

- Los ajustes de “Crominancia”, “Fase”, “Nitidez”, “Reducción de ruido”, “CineMotion” y “Imagen dinámica” no están disponibles para la entrada de ordenador.
- En el modo “PAP”, sólo se pueden establecer los ajustes “Imagen/Sonido” de la imagen activa.

Pantalla Ajuste

Para la entrada de vídeo

Para resaltar una opción y cambiar los ajustes, pulse ⇧/⇩/⇦/⇨.
Pulse ⊕ para confirmar la selección.
Los ajustes de "Pantalla" incluyen las siguientes opciones:

Ajuste de PAP

Permite mostrar dos imágenes procedentes de distintas fuentes de señal, como un ordenador y un vídeo, una al lado de la otra.
"**PAP**"

"No": desactiva la función "PAP".
"P&P": muestra dos imágenes una junto a la otra al mismo tiempo.
"PinP": muestra dos imágenes, una de ellas insertada en la imagen principal.

Para P&P

"Imagen activa": permite seleccionar la pantalla que se va a utilizar.
"Izquierda": permite activar la imagen de la izquierda para utilizarla.
"Derecha": permite activar la imagen de la derecha para utilizarla.
"Cambiar": permite cambiar las dos imágenes situadas una junto a la otra.
"Tamaño imagen": permite ajustar el equilibrio entre dos imágenes una al lado de la otra. Para ajustar el equilibrio, pulse el botón ⇦ o ⇨ y, a continuación, pulse el botón ⊕ para definir el ajuste. (página 14)

Para PinP

"Imagen activa": permite seleccionar la pantalla que se va a utilizar.
"Principal": permite activar la imagen principal para utilizarla.
"Sub": permite activar la imagen insertada para utilizarla.
"Cambiar": permite cambiar las imágenes principal e insertada.
"Tamaño imagen": permite ajustar el tamaño de la imagen insertada. Seleccione entre "Grande" o "Pequeña".
"Posición de la imagen": ajuste la posición de la imagen insertada con ⇧/⇩/⇦/⇨ y, a continuación, pulse ⊕.

Sugerencia

No es posible modificar la relación de aspecto en el modo "PAP". La imagen se visualiza con la relación de aspecto utilizada antes de seleccionar el modo "PAP".

Combinación disponible de dos imágenes

		S Video	Video	RGB/YUV		DVI	OPTION			
				RGB	Component		RGB	Component	HDMI	HD-SDI/ SDI
S Video				○	○	○	○	○	○	○
Video				○	○	○	○	○	○	○
RGB/YUV	RGB	○	○			○		○[2]	○	○
	Component	○	○			○	○[1]		○	○
DVI		○	○	○	○		○	○		

1) Compatible si "Monitor" se ajusta en "YUV" o si "Option" se ajusta en "RGB" en "RGB/YUV".
2) Compatible si "Monitor" se ajusta en "RGB" o si "Option" se ajusta en "YUV" en "RGB/YUV".

Sugerencia

La salida del modelo BKM-FW50 se considera la salida RGB que se muestra en la tabla en el modo "PAP".

Pantalla múltiple

Permite establecer ajustes para conectar varios monitores y formar una solución integrada de paneles de imágenes (video wall).

"Pantalla múltiple:"

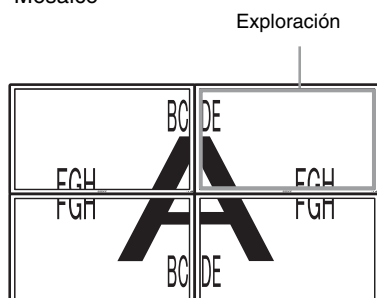
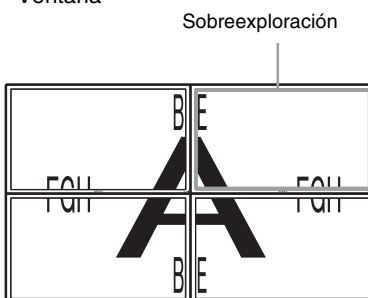
"No": se utiliza una única pantalla.

"2×2"/"3×3"/"4×4": permite establecer la conexión de varias pantallas como, por ejemplo, 2, 3 ó 4 pantallas tanto en posición vertical como horizontal.

"1×2"/"1×3"/"1×4": permite establecer la conexión de varias pantallas como, por ejemplo, 2, 3 ó 4 pantallas en posición horizontal.

"2×1"/"3×1"/"4×1": permite establecer la conexión de varias pantallas como, por ejemplo, 2, 3 ó 4 pantallas en posición vertical.

"Posición": permite seleccionar la posición de cada una de las pantallas en la disposición de paneles de imágenes ⇧/⇩/⇦/⇨. Pulse ⊕ para ajustar la posición.

"Formato de salida": podrá seleccionar dos formatos distintos de salida de la imagen como se muestra en las figuras. Simplemente con seleccionar uno de los formatos, tendrá disponible una imagen adecuada sin necesidad de ajustar el desplazamiento horizontal y vertical manualmente. Seleccione "Mosaico" o "Ventana".

"LED": "Sí" hace que el indicador ⏻ del panel frontal (página 7) permanezca encendido y "No" hace que el indicador ⏻ del panel frontal permanezca apagado.

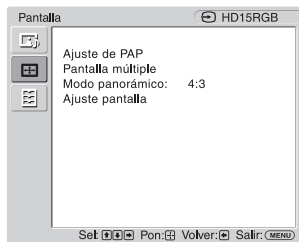
Notas

- "Pantalla múltiple:" puede mostrar una imagen ampliada y conservar el ajuste de "Modo panorámico" actual en la medida de lo posible para la entrada de vídeo, así como mostrar una imagen ampliada del "Modo panorámico" ajustado en "Completa 2" para la entrada de ordenador.
- Sólo es posible ajustar "Pantalla múltiple:" cuando la función "PAP" está desactivada.
- Cuando la opción "Posición" se ajusta en el extremo inferior derecho, el indicador ⏻ se ilumina aunque "LED" esté ajustado en "No". El indicador también se ilumina aunque el monitor esté apagado (modo de espera), se hayan detectado errores o el monitor esté en modo de reposo, incluido en el caso de ausencia de señal o señal no compatible.

Modo panorámico	**"Acerc. panorám.":** permite ampliar la imagen hasta llenar la pantalla con una distorsión mínima. **"Acercamiento":** permite ampliar la imagen original sin distorsionar el formato. Consulte la página 13. **"Completa":** permite ampliar la imagen original horizontalmente hasta llenar la pantalla siempre que la fuente original sea 4:3 (fuente de definición estándar). Cuando la fuente original sea 16:9 (fuente de alta definición), seleccione este modo para visualizar las imágenes de 16:9 en su tamaño original. **"4:3":** permite visualizar todas las imágenes en tamaño original con relación de aspecto 4:3. **Sugerencias** • Para cambiar de una opción de "Modo panorámico" a otra, también es posible utilizar el botón ⊞ del mando a distancia. • Seleccione "Acercamiento" para visualizar películas y otro contenido en DVD con franjas negras, utilizando toda el área visible de la pantalla. **Nota** No es posible ajustar el "Modo panorámico" mientras se utiliza la función "PAP" o la "Pantalla múltiple:".
Ajuste pantalla	**"Dimen. horizontal":** permite ajustar la dimensión horizontal de la imagen. Pulse ⇦/⇨ y ⊕ para seleccionar los valores de corrección. **"Pos. horizontal":** permite mover la imagen hacia la izquierda y hacia la derecha en la ventana. Pulse ⇦/⇨ y ⊕ para seleccionar los valores de corrección. **"Dimen. vertical":** permite ajustar la dimensión vertical de la imagen. Pulse ⇧/⇩ y ⊕ para seleccionar los valores de corrección. **"Pos. vertical":** permite mover la imagen hacia arriba y hacia abajo en la ventana. Pulse ⇧/⇩ y ⊕ para seleccionar los valores de corrección. **"Restablecer":** permite restablecer todos los ajustes de "Ajuste pantalla" a sus valores predeterminados.

Notas

- "Ajuste pantalla" no se encuentra disponible cuando se utiliza la función "PAP".
- Si actualmente no se recibe ninguna señal, no se podrá seleccionar ninguna de las opciones de ajuste de "Pantalla", excepto "Ajuste de PAP" y "Pantalla múltiple:".

Para la entrada de ordenador

Al cambiar la entrada a la fuente de entrada del ordenador, se aplican los ajustes de “Pantalla” específicos de la entrada del ordenador.
Los ajustes “Pantalla” del ordenador incluyen las siguientes opciones:

Ajuste de PAP

Consulte “Ajuste de PAP” para obtener información acerca de la entrada de vídeo (página 24).

Pantalla múltiple

Consulte “Pantalla múltiple” para obtener información acerca de la entrada de vídeo (página 25).

Modo panorámico

“Completa 1”: seleccione esta opción para ampliar la imagen para que ocupe el área de visualización en dirección vertical, a la vez que mantiene el formato horizontal-vertical original. Aparecerá un marco negro alrededor de la imagen.
“Completa 2”: permite ampliar la imagen hasta llenar el área de la pantalla.
“Real”: permite visualizar la imagen con el número de puntos original.

Notas

- No es posible ajustar “Modo panorámico” cuando se utiliza la función “PAP” o “Pantalla múltiple:”.
- Si la resolución de entrada es superior a la resolución del panel (1.920 × 1.080), la visualización de la opción “Real” será la misma que la de la opción “Completa 1”.

ES

Ajuste pantalla

“Ajuste automático”: seleccione “Aceptar” para ajustar automáticamente la posición del monitor y la fase de la imagen cuando se recibe una señal de entrada desde el ordenador conectado.
Tenga en cuenta que es posible que “Ajuste automático” no funcione bien con ciertas señales de entrada. En estos casos, ajuste manualmente las siguientes opciones.
“Fase”: permite ajustar la fase cuando la pantalla parpadea.
“Inclinación”: permite ajustar la inclinación cuando la imagen presenta rayas verticales no deseadas.

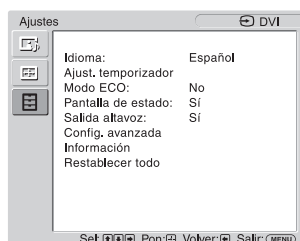
Sugerencia

“Ajuste automático,” “Fase”, “Inclinación” no están disponibles cuando se recibe una señal digital como, por ejemplo, DVI.

“Dimen. horizontal”: permite ajustar la dimensión horizontal de la imagen. Pulse ⇦/⇨ y ⊕ para seleccionar los valores de corrección.
“Pos. horizontal”: permite mover la imagen hacia la izquierda y hacia la derecha en la ventana. Pulse ⇦/⇨ y ⊕ para seleccionar los valores de corrección.
“Dimen. vertical”: permite ajustar la dimensión vertical de la imagen. Pulse ⇧/⇩ y ⊕ para seleccionar los valores de corrección.
“Pos. vertical”: permite mover la imagen hacia arriba y hacia abajo en la ventana. Pulse ⇧/⇩ y ⊕ para seleccionar los valores de corrección.
“Restablecer”: permite restablecer todos los ajustes de “Ajuste pantalla” a sus valores predeterminados.

Nota

Si actualmente no se recibe ninguna señal, no se podrá seleccionar ninguna de las opciones de ajuste de “Pantalla”, excepto “Ajuste de PAP” y “Pantalla múltiple:”.

Ajustes Ajuste

Para resaltar una opción y cambiar los ajustes, pulse ⇧/⇩/⇦/⇨.
Pulse ⊕ para confirmar la selección.
Los ajustes de “Ajustes” incluyen las siguientes opciones:

Idioma

Permite visualizar todos los ajustes en pantalla en el idioma que elija: “English”, “Français”, “Deutsch”, “Español”, “Italiano” o “日本語”.

Ajust. temporizador

Puede ajustar la hora, visualizar el reloj incorporado o ajustar el temporizador para que el monitor se encienda o se apague a una hora preestablecida.

“Config. reloj”: permite ajustar la hora y el día de la semana.

“Ajuste de fecha”: configura la fecha (hora, mes, año). El día se ajusta automáticamente.

“Ajuste de hora”: configura la hora.

“Pantalla reloj”: si esta opción está ajustada en “Sí,” y pulsa el botón de visualización del mando a distancia, se mostrará en pantalla la hora ajustada en estos momentos.

“Tempor. sí/no”: permite ajustar la hora y el día de la semana.

Nota

Si el reloj incorporado tiende a atrasarse, es posible que se deba a que la batería interna esté agotada. Póngase en contacto con su distribuidor autorizado de Sony para sustituir la batería.

Modo ECO

“No”: permite visualizar imágenes sin activar la función de ahorro de energía.
“Bajo”/“Alto”: permite cambiar el brillo y reducir el consumo de energía.

Pantalla de estado

“Sí” permite que la señal de entrada y la información de “Modo panorámico” aparezcan en la pantalla durante aproximadamente 5 segundos cuando se enciende el monitor, y la información de la señal de entrada durante aproximadamente 5 segundos al cambiar la señal de entrada, mientras que “No” desactiva la visualización de la información de estado.

Sugerencia

Para mostrar la información sobre la señal de entrada “Modo panorámico”, utilice DISPLAY en el mando a distancia independientemente del ajuste de “Pantalla de estado”.

Salida altavoz

“Sí”: permite que el sonido se emita desde los altavoces.
“No”: desactiva la emisión del sonido desde los altavoces.

Config. avanzada

“Ajuste de control”: este menú se utiliza para establecer ajustes sobre el funcionamiento del monitor y del mando a distancia.

“Número índice”: es posible cambiar el número índice de la pantalla cuando sea necesario. Ajuste el número índice de la pantalla mediante ⇧/⇩ y pulse ⊕ (ENTER) para confirmar el ajuste.

Nota

Para ajustar el “Número índice”, utilice los botones del monitor. El “Número índice” no se puede ajustar con el mando a distancia.

“Modo control”

“Monitor+Remoto”: permite utilizar la pantalla con los botones de control del monitor y del mando a distancia.

“Sólo monitor”: desactiva la función de mando a distancia. Solamente es posible realizar ajustes en la pantalla con los botones de control del monitor.

“Sólo remoto”: desactiva los controles de la pantalla. Solamente es posible realizar ajustes en la pantalla con el mando a distancia.

Nota

Al utilizar este elemento, los modos que se pueden seleccionar variarán en función de si se realiza la selección mediante el mando a distancia o el monitor. Al ajustar este elemento mediante ⊕ del mando a distancia, sólo es posible seleccionar "Monitor+Remoto" o "Sólo remoto". Al ajustar este elemento mediante + (ENTER) del mando a distancia, sólo es posible seleccionar "Monitor+Remoto" o "Sólo monitor".

"Aj. autom. pant."

"Sí": los ajustes como el tamaño y la posición de la imagen se guardan para cada señal de entrada y los últimos ajustes se aplican automáticamente cada vez que se cambian las señales de entrada.

"No": "Aj. autom. pant." se deshabilita incluso cuando las señales de entrada se cambian y se aplican los ajustes predeterminados.

"Apagado auto":

"Sí": el monitor entra automáticamente en modo de espera si no se recibe ninguna señal a través de los conectores de entrada de Vídeo o S Video durante más 5 minutos. El monitor entra automáticamente en modo de ahorro de energía si no se recibe ninguna señal a través de los conectores de entrada de DVI o HD15 (RGB/Component) durante más de 30 segundos aproximadamente.

"No": el monitor no se apaga automáticamente aunque no se reciba ninguna señal a través de los conectores.

Sugerencias

- En el modo de espera, pulse el interruptor ⏻ (POWER) del monitor o POWER ON del mando a distancia para encender el monitor. En el modo de ahorro de energía, el monitor se encenderá automáticamente al recibir una señal.
- Esta función no se encuentra disponible cuando "Logotipo en pantalla" está ajustado en "Sí", la función de protector de pantalla está activada, o PAP está seleccionado.

"Sobreexploración": permite determinar si las imágenes van a mostrarse con sobreexploración o subexploración.

"Automático": cambia automáticamente la señal de imagen, supuestamente DTV, a imagen con sobreexploración.

"Sí": muestra imágenes con sobreexploración.

"No": muestra imágenes con subexploración.

Nota

Si "Sobreexploración" está ajustado en "No", es posible que la señal de imagen DTV se visualice como la señal de un PC.
Ejemplo: 480P → 720 × 480/60

"Modo sinc.": permite ajustar el modo en función de la señal recibida en el contacto número 13 del conector HD15 (RGB/COMPONENT) IN.

"Comp. H": seleccione esta opción si se recibe una señal de sincronización horizontal o una señal de sincronización compuesta.

"Vídeo": seleccione esta opción si se recibe una señal de vídeo.

Notas

- "Modo sinc." se encuentra disponible únicamente cuando el conector HD15 recibe una señal RGB analógica.
- En función del nivel de la señal de sincronización compuesta, es posible que la imagen no se muestre correctamente. En este caso, cambie el ajuste "Modo sinc.".
- En el caso de algunas entradas sólo pueden seleccionarse señales de sincronización. En tal caso, reciba las señales de sincronización vertical u horizontal a través de los contactos 13 ó 14 de los conectores.
- La configuración de Modo sinc no puede llevarse a cabo para la entrada a través de los adaptadores opcionales.
- Este monitor no es compatible con el formato de sincronización de tres valores de 576/60p.
- Cuando "Vídeo" se selecciona en "Modo sinc.", solo es posible ajustar las señales 575/50i y 480/60i.
- Si selecciona la señal de vídeo para el ajuste del modo de sincronización, no podrá utilizar la función PAP.

“RGB/YUV”

“Monitor”/“Option”: permite ajustar el tipo de señal para un dispositivo de vídeo u ordenador conectado al terminal HD15 (RGB/COMPONENT) del monitor o al terminal 5BNC (RGB/COMPONENT) de un adaptador opcional.

“Automático”: permite elegir una entrada de señal RGB analógica o una señal de entrada de componente desde un equipo conectado.

“RGB”: permite elegir una señal de entrada RGB analógica desde un equipo conectado.

“YUV”: permite elegir una señal de entrada de componente desde un equipo conectado.

Nota

Seleccione “RGB” para recibir señales RGB mediante una señal de sincronización compuesta.

Sugerencia

Para obtener información acerca de la combinación disponible de dos imágenes, consulte la página 24.

“Sistema de color”: permite seleccionar el sistema de color de las señales de vídeo entre “Automático”, “NTSC”, “NTSC4.43”, “PAL”, “PAL-M”, “PAL-N” y “PAL60”. Seleccione “Automático” para ajustar el sistema de color automáticamente.

Nota

“Sistema de color” no está disponible para la entrada de ordenador.

“Protector de pantalla”: permite impedir o reducir el calentamiento del monitor o la aparición de la imagen residual que puede producirse cuando la misma imagen se muestra en la pantalla durante un período de tiempo prolongado.

“All White”: muestra una pantalla totalmente blanca. (Se detiene automáticamente a los 30 minutos aproximadamente y el monitor entra en el modo de espera.)

“Sweep”: desplaza una barra blanca sobre la pantalla.

“En espera”: el protector de pantalla se activa en el modo de espera (página 7) durante el tiempo especificado en “Ajust. temporizador”. (La pantalla está en blanco mientras el protector de pantalla está en funcionamiento.) Al finalizar el protector de pantalla, se reanuda el modo de espera normal.

“Logotipo”: se ilumina el logotipo de Sony de la parte frontal de la unidad.

“Posición”: el logotipo puede permanecer encendido en la parte inferior de la pantalla si se ajusta el método de configuración del equipo en “Automático,” “Paisaje,” y “Retrato.” Si se selecciona “Automático”, se seleccionará automáticamente Landscape o Portrait.

“Iluminación”: seleccione “Desactivado” para que desaparezca el logotipo. Seleccione “Bajo” y “Alto” para el brillo.

“Logotipo en pantalla”

“Sí”: se muestra el logotipo del modelo cuando no se recibe ninguna señal.

“No”: no se muestra el logotipo del modelo cuando no se recibe ninguna señal.

“Puerto de red”: permite ajustar el puerto de red para que el monitor funcione con el mando a distancia.

“No”: seleccione esta opción cuando no utilice el puerto de red. Se puede reducir el consumo de energía en el modo de espera.

“Monitor”: permite realizar ajustes de la pantalla desde un ordenador conectado al conector REMOTE (LAN) del monitor. (página 34)

“Option”: permite realizar ajustes de la pantalla desde un ordenador conectado al conector REMOTE o al conector LAN de la ranura OPTION. (página 34)

“IP Address Setup”: permite ajustar una dirección IP para habilitar la velocidad de comunicación entre el conector REMOTE (LAN) del monitor o el adaptador opcional y el equipo como, por ejemplo, un ordenador conectado mediante el cable LAN.

“Speed Setup”: permite ajustar la velocidad de comunicación entre el conector REMOTE (LAN) del monitor o el adaptador opcional y el equipo como, por ejemplo, un ordenador conectado mediante el cable LAN.

	“Retardo encendido”: ajusta la hora hasta que la unidad de encienda. Se ajusta a “No”, y 1 a 120 segundos. Esto evita que haya una fluctuación de carga repentina al equipo de alimentación cuando se conectan varias unidades. **Sugerencia** Para obtener más información acerca de cómo realizar los ajustes de “IP Address Setup” y “Speed Setup”, consulte el apartado “Preparativos para la utilización de las funciones de red” (página 32).
Información	Muestra la información de “Fecha”, “Nombre modelo”, “Número serie”, “Tiempo función”, “Versión soft” y “IP Address” del monitor. Al montar el adaptador BKM-FW50 opcional, se muestra “Player IP Address” (dirección IP para la función de reproducción de películas e imágenes fijas). Para obtener más información, consulte el manual de instrucciones del modelo BKM-FW50.
Restablecer todo	Restablece todos los ajustes y la configuración a los valores predeterminados de fábrica. **Nota** No se restablecerán los elementos que se incluyen en la opción “Información” ni el “Número índice”.

ES

Preparativos para la utilización de las funciones de red

Precauciones

- Las especificaciones de software de esta unidad están sujetas a cambios de mejora sin previo aviso.
- Las pantallas mostradas por el software de aplicación pueden variar ligeramente con respecto a las ilustraciones que se muestran en este manual.
- Para su seguridad, conecte el puerto de esta unidad a una red que no pueda superar el límite de voltaje o las fuentes de voltaje.
- Los pasos descritos en este manual solamente se garantizan cuando se utilizan con las siguientes condiciones de entorno.

  Sistema operativo:
  Microsoft Windows XP/Windows Vista

  Navegador:
  Microsoft Internet Explorer 6.0 o posterior
- Para garantizar la seguridad en la red, se recomienda configurar un nombre de usuario y una contraseña. Para obtener más información acerca de cómo realizar estos ajustes, consulte la sección “Pantalla Setup (Instalación)” (página 35).

  Para obtener información acerca de los ajustes de seguridad, consulte a su administrador de red.

Asignación de una dirección IP

Es posible conectar el monitor a una red mediante un cable 10BASE-T/100BASE-TX LAN.
Al conectar el dispositivo a una red LAN, las direcciones IP del monitor se pueden ajustar mediante uno de los dos métodos que se indican a continuación. Póngase en contacto con el administrador de red para obtener información acerca de la selección de la dirección IP.

- Asignación de una dirección IP fija al monitor
  Tenga en cuenta que en los valores predeterminados de fábrica, el monitor está ajustado para que obtenga una dirección IP automáticamente.
- Obtención de una dirección IP automáticamente
  Si la red a la que está conectada el monitor dispone de un servidor DHCP, puede hacer que el servidor DHCP asigne una dirección IP automáticamente.
  Tenga en cuenta que en este caso es posible que la dirección IP cambie cada vez que se encienda el monitor en el que está instalada la pantalla.

Antes de ajustar la dirección IP, conecte el cable LAN al monitor para establecer la red. Al cabo de unos 30 segundos, encienda el monitor y, a continuación, empiece a realizar los ajustes deseados.

- Microsoft y Windows son marcas comerciales registradas de Microsoft Corporation en los Estados Unidos y/o en otros países.
- Los demás nombres de productos, empresas, etc. que se mencionan en este manual son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de sus respectivos propietarios.

Asignación de una dirección IP fija al monitor

1 Pulse el botón MENU para visualizar el menú principal.

2 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Ajustes" y pulse el botón ⊕.

3 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Config. avanzada" y pulse el botón ⊕.

4 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "IP Address Setup" y pulse el botón ⊕.

5 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Manual" y pulse el botón ⊕.

6 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar un elemento deseado entre "IP Address", "Subnet Mask", "Default Gateway", "Primary DNS" y "Secondary DNS" y pulse el botón ⊕.

7 Utilice los botones ⇧/⇩ del monitor o los botones numéricos del mando a distancia para introducir un número de tres dígitos (de 0 a 255) para cada una de las cuatro casillas y pulse ⊕ o ⇨.

8 Introduzca el número de tres dígitos (de 0 a 255) para cada una de las cuatro casillas y pulse ⊕. Repita el procedimiento que se indica en el paso 6 y seleccione el siguiente elemento deseado mediante los botones ⇧/⇩ y pulse el botón ⊕.

9 Una vez ajustados los valores de todos los elementos deseados, utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Execute" y pulse el botón ⊕.

Seleccione "Execute" y pulse ⊕. Se ajustará una dirección IP manualmente.
Si selecciona "Cancel", el ajuste volverá a la configuración inicial.

Obtención automática de una dirección IP

1 Pulse el botón MENU para visualizar el menú principal.

2 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Ajustes" y pulse el botón ⊕.

3 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Config. avanzada" y pulse el botón ⊕.

4 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "IP Address Setup" y pulse el botón ⊕.

5 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "DHCP" y pulse el botón ⊕.

Seleccione "Execute" y pulse ⊕. Se ajustará una dirección IP automáticamente.
Si selecciona "Cancel", la configuración no se ejecutará.

Nota

Si no se ajusta correctamente una dirección IP, aparecerán los siguientes códigos de error en función de la causa del error.
Error 1: Error de comunicaciones
Error 2: otro equipo ya utiliza la dirección IP especificada
Error 3: error en la dirección IP
Error 4: error en la dirección de Gateway
Error 5: error en la dirección DNS primaria
Error 6: error en la dirección DNS secundaria
Error 7: error en la máscara de subred

Comprobación de la dirección IP asignada automáticamente

1 Pulse el botón MENU para visualizar el menú principal.

2 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Ajustes" y pulse el botón ⊕.

3 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Información" y pulse el botón ⊕.

4 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "IP Address" y pulse el botón ⊕.

Se visualiza la dirección IP actualmente asignada.

Sugerencia

Cuando no se puede obtener correctamente una dirección IP, la dirección IP obtenida con anterioridad se muestra en "Información" y en "Manual" de "IP Address Setup".

Asignación de una velocidad de comunicación

1 Pulse el botón MENU para visualizar el menú principal.

2 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Ajustes" y pulse el botón ⊕.

3 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Config. avanzada" y pulse el botón ⊕.

4 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Speed Setup" y pulse el botón ⊕.

5 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar la velocidad de comunicación deseada entre "Auto", "10Mbps Half", "10Mbps Full", "100Mbps Half" o "100Mbps Full" y pulse el botón ⊕.

Si se selecciona "Auto", la velocidad de comunicación adecuada para su configuración de red se ajustará automáticamente.

6 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Execute" y pulse ⊕ para reflejar los ajustes.

Uso con un ordenador

Control del monitor

Puede realizar distintos ajustes del monitor en la pantalla del ordenador.
Asegúrese de que el monitor, el ordenador y el enrutador o el concentrador están conectados correctamente mediante el cable de red.
A continuación, encienda el monitor, el ordenador y el enrutador o el concentrador.
Existen cuatro pantallas de visualización, divididas por la función: Pantalla Information (Información), Configure (Configuración), Control y Setup (Instalación).
Para obtener más información acerca de las funciones de los botones, consulte las instrucciones para cada función del monitor.

1. Inicie el navegador del ordenador (Internet Explorer 6.0 o posterior).
2. Introduzca la dirección IP que se ha asignado a la pantalla en la página anterior como "http://xxx.xxx.xxx.xxx" y, a continuación, pulse la tecla ENTER del teclado.
   Si ha configurado un nombre de usuario y una contraseña, aparecerá la pantalla "Network Password" (Contraseña de red). Escriba el nombre de usuario y la contraseña que ha establecido y, a continuación, prosiga con el paso siguiente.
3. Haga clic en la ficha de las funciones de la parte superior de la pantalla para seleccionar la pantalla que desee.

Ajuste de los elementos en las respectivas pantallas

Cuando utilice la función LAN del monitor

Pantalla Information (Información)

Esta pantalla muestra el nombre del modelo, el número de serie y otros datos acerca del monitor, así como el estado de la alimentación y la selección de la señal de entrada.
Esta pantalla sólo muestra información. No es posible ajustar ningún elemento.

Pantalla Configure (Configuración)

Timer (Temporizador)
Permite ajustar la función del temporizador.
Tras ajustar dicha función, haga clic en "Apply" (Aplicar).

Screen Saver (Protector de pantalla)
Permite ajustar la función del protector de pantalla.
Tras ajustar dicha función, haga clic en "Apply" (Aplicar).

Picture and Picture (Imagen e imagen)
Permite ajustar la función Picture and Picture (Imagen e imagen).
Tras ajustar dicha función, haga clic en "Apply" (Aplicar).

Nota

Antes de ajustar la función "Timer" (Temporizador), asegúrese de configurar la hora en la pantalla Setup (Instalación) (página 35).

Pantalla Control

POWER (interruptor de alimentación)
Permite encender o apagar el monitor.

INPUT (Selector de entrada)
Permite seleccionar la señal de entrada.

PICTURE MODE (Modo de imagen)
Permite seleccionar el modo de imagen.

ASPECT (Formato)
Permite cambiar el formato de la imagen.

Botones Contrast (Contraste) +/–
Permiten ajustar el contraste de la pantalla.

Botones Brightness (Brillo) +/–
Permiten ajustar el brillo de la imagen.

Botones Chroma (Crominancia) +/–
Permiten ajustar la intensidad del color.

Botones Phase (Fase) +/–
Permiten ajustar los tonos del color.

Botón Restablecer
Permite restablecer los ajustes de “Contrast” (Contraste) a “Phase” (Fase) a los valores predeterminados de fábrica.

Notas

- Si la señal de entrada es Vídeo o S Video y el sistema de color de la señal de vídeo no es NTSC, “Fase” no está disponible.
- Los ajustes de “Crominancia” y “Fase” no están disponibles para la entrada de ordenador.
- “Normal” en el ajuste ASPECT (Formato) corresponde a “4:3” para la entrada de vídeo o “Real” para la entrada de ordenador.

Pantalla Setup (Instalación)

Esta pantalla permite realizar los ajustes de Network Password (Contraseña de red). Los ajustes predeterminados de fábrica son los siguientes:

Name (Nombre): root
Password (Contraseña): pudadm

Después de realizar cambios o introducir información, haga clic en “Apply” (Aplicar) en la parte inferior de cada pantalla para activar los ajustes.
No es posible utilizar caracteres especiales en los campos de texto.

Owner Information (Información del propietario)

Owner (Propietario)
Introduzca la información acerca del propietario en este campo.

Display Location (Ubicación del monitor)
Introduzca información acerca de la ubicación de instalación del monitor en este campo.

Nota

No utilice espacios al introducir la información. Si lo hace, es posible que el nombre del archivo no se visualice correctamente.

Memo (Notas)
Permite introducir información complementaria.

Time (Hora)

Time (Hora)
Introduzca la hora, día de la semana, año, mes y día.

Network (Red)

Internet Protocol (TCP/IP) (Protocolo de Internet (TCP/IP))
Seleccione “Specify an IP address” (“Especificar una dirección IP”) para introducir cada valor en la secuencia numérica de la dirección IP.
Seleccione “Obtain an IP address (DHCP)” (“Obtener una dirección IP (DHCP)”) para adquirir una dirección IP automáticamente del servidor DHCP. Tenga en cuenta que en este caso es posible que la dirección IP cambie cada vez que se encienda el monitor en el que está instalada la pantalla.

Nota

La dirección IP se puede ajustar desde el menú de la pantalla. Para obtener más información, consulte “IP Address Setup” (página 30).

Password (Contraseña)
Permite introducir la información acerca de la contraseña y el nombre del administrador y del usuario. El nombre del administrador queda establecido permanentemente como “root”.
Pueden tener un máximo de 8 caracteres cada uno.
Cuando haya ajustado un nombre de usuario y una contraseña, siempre que acceda a la pantalla de control del monitor del dispositivo, aparecerá la pantalla “Network Password” (Contraseña de red).
Para garantizar la seguridad en la red, se recomienda configurar un nombre de usuario y una contraseña.

Mail Report (Informe por correo)

Error Report (Informe de error)
Si se produce un error de funcionamiento en el monitor, el sistema informa inmediatamente del error mediante el envío de un mensaje de correo electrónico (informe de error).

Status Report (Informe de estado)
Es posible informar del estado del monitor mediante el envío de un mensaje de correo electrónico según el intervalo de tiempo seleccionado.

Address (Dirección)
Introduzca la dirección de correo electrónico de destino en este campo. El informe de error puede enviarse hasta a cuatro direcciones a la vez. La longitud máxima para cada una de las direcciones es de 64 caracteres.

Mail Account (Cuenta de correo)

Mail Address (Dirección de correo):
Introduzca la dirección de correo electrónico asignada en este campo.
El número máximo de caracteres que puede utilizarse en la dirección es de 64.

Outgoing Mail Server (SMTP) (Servidor de correo saliente (SMTP)):
Introduzca la dirección del servidor de correo en este campo.
El número máximo de caracteres que puede utilizarse en la dirección es de 64.
Requires the use of POP Authentication before Send e-mail (POP before SMTP) (Requiere el uso de autenticación POP antes de enviar mensajes de correo electrónico (POP antes de SMTP)):
Seleccione esta casilla de verificación si requiere autenticación POP antes de conectarse al servidor SMTP.
Incoming Mail Server (POP3) (Servidor de correo entrante (POP3)):
Introduzca la dirección del servidor POP3 en este campo si se utiliza la autenticación POP para el ajuste "POP before SMTP" (POP antes de SMTP).
Account Name (Nombre de cuenta):
Introduzca el nombre de la cuenta de correo en este campo.
Password (Contraseña):
Introduzca la contraseña de la cuenta de correo en este campo.
Send Test Mail (Enviar correo de prueba):
Seleccione esta casilla de verificación y haga clic en "Apply" (Aplicar) para probar si se puede enviar correctamente un mensaje de correo electrónico a las direcciones especificadas.

Nota

Si no se ajustan los elementos siguientes o si los valores son incorrectos, aparecerá un mensaje de error y no se podrá enviar el mensaje de correo electrónico de prueba:

- Dirección de destino
- Dirección de la cuenta de correo y dirección del servidor de correo (SMTP)

Advanced (Avanzado)
Proporciona acceso a la configuración avanzada, que permite utilizar varias aplicaciones en la red. Realice los ajustes según sea necesario para aplicación correspondiente.

Advertisement (Anuncio)
Permite realizar ajustes para las funciones Advertisement (Anuncio) y Broadcast (Emisión) en la red.

ID Talk
Permite ajustar la función ID Talk. ID Talk es un protocolo que permite el control basado en red del monitor. Los elementos controlados incluyen varias configuraciones y ajustes, como temperatura del color y gamma. Para obtener más información acerca de los comandos ID Talk compatibles, póngase en contacto con el distribuidor Sony local.

SNMP
El monitor es un dispositivo de red compatible con SNMP (Protocolo simple de administración de redes). Además del protocolo MIB-II estándar, también es compatible con el protocolo MIB de Sony Enterprise. Para obtener más información acerca de los comandos SNMP compatibles, póngase en contacto con el distribuidor Sony local.

Restablecimiento de los valores predeterminados
Si desea restaurar todos los ajustes realizados en la pantalla "Setup" (Configuración) a los valores predeterminados de fábrica, aplique el ajuste "Restablecer todo" y, a continuación, vuelva a asignar los ajustes correspondientes de la red.

Solución de problemas

Verifique si el indicador ⏻ está parpadeando en rojo.

Cuando parpadea

La función de autodiagnóstico está activada.

1 Compruebe el número de veces que el indicador ⏻ parpadea y el intervalo de tiempo entre parpadeos.

Por ejemplo, el indicador parpadea 2 veces, deja de parpadear durante 3 segundos y parpadea 2 veces.

2 Pulse el interruptor ⏻ (POWER) en la pantalla y el interruptor de mando para apagarlo, y desconecte el cable de alimentación.

Informe a su distribuidor o centro de servicio Sony sobre el modo de parpadear del indicador (el número de parpadeos y la duración del período sin luz).

Cuando no parpadea

1 Verifique los elementos en la tabla a continuación.

2 Si el problema persiste, haga reparar el monitor por personal capacitado.

Problema	Posibles soluciones
El interruptor de encendido y los botones de control del monitor no funcionan.	• Compruebe la configuración de “Ajuste de control” (página 28).
La alimentación no se encenderá, aún cuando el interruptor ⏻ (POWER) está en ON, o el interruptor POWER ON del mando a distancia está en ON.	• Compruebe que el interruptor de alimentación no está en “OFF”. (página 9)
No se emite señal de vídeo del terminal HD15 (RGB/COMPONENT) OUT.	• No se emite señal de HD15 (RGB/COMPONENT) OUT cuando el dispositivo se encuentra en el modo de espera o el suministro de alimentación está desconectado.
No se emite señal del terminal HD-SDI OUT del BKM-FW16.	• No se emite señal de HD-SDI OUT cuando el dispositivo se encuentra en el modo de espera o el suministro de alimentación está desconectado.
No aparece ninguna imagen.	
No aparece ninguna imagen.	• Verifique la conexión entre el equipo de vídeo y el monitor. • Verifique la configuración de “RGB/YUV” (página 30). • Pruebe a cambiar la fuente de entrada mediante el botón INPUT del monitor o el mando a distancia (página 9, 11).
El monitor se apaga automáticamente.	• Verifique si la función “Ajust. temporizador” está activada (página 28). • Compruebe que la función “Apagado auto” esté ajustada en “Sí” (página 29). • Compruebe que la temperatura ambiente es superior a 35 °C.

ES

Problema	Posibles soluciones
Mala calidad de imagen.	
La imagen carece de color, es oscura o demasiado brillante, el color de la imagen no es adecuado, la imagen se oscurece de manera gradual o aparece ruido horizontal en la imagen	• Pulse PICTURE para seleccionar el ajuste de “Modo imagen” deseado (página 11). • Seleccione las opciones “Modo imagen” en los ajustes de “Imagen/ Sonido” (página 20, 22). • Verifique el estado del cable de la señal. • Compruebe que la temperatura ambiente es superior a 35 °C. • Compruebe los ajustes del “Modo ECO.” (página 28) • Si no hay un dispositivo de vídeo conectado, no conecte un cable de vídeo o un conector de conversión al terminal VIDEO OUT. Las zonas blancas de la imagen se mostrarán demasiado brillantes debido a que la señal de pantalla no ha finalizado.
Toda la pantalla se tiñe de verde o púrpura.	• Verifique si la configuración de “RGB/YUV” es incorrecta (página 30).
No se emite ningún sonido o el sonido que se emite es muy ruidoso.	
Se muestra la imagen, pero sin sonido.	• Verifique el control del volumen. • Pulse 🔇 en el mando a distancia o ◺ + para cancelar el silenciamiento de la pantalla (página 12). • Compruebe los ajustes de “Salida altavoz” (página 28).
El mando a distancia no funciona.	• Compruebe la polaridad de las pilas o reemplácelas. • Oriente el mando a distancia hacia el sensor del monitor. • Mantenga el área del sensor del mando a distancia libre de obstáculos. • Compruebe la configuración de “Ajuste de control” (página 28). • Verifique si hay un cable conectado al conector CONTROL S IN (BKM-FW21 no suministrado). El mando a distancia no se puede utilizar si el monitor está siendo controlado a través de una conexión CONTROL S. • Los tubos fluorescentes pueden causar interferencias en el funcionamiento del mando a distancia; pruebe a apagar los tubos fluorescentes.
No es posible conectar el dispositivo a la red.	• Conecte el cable firmemente al conector REMOTE. • Compruebe la configuración de red del ordenador. • Asigne el ajuste “Restablecer todo” en el menú de configuración “Ajustes” y, a continuación vuelva a asignar los ajustes adecuados de la red para restaurar los ajustes predeterminados. • Compruebe los ajustes del “Puerto de red.” (página 30)
La pantalla de control de visualización (la pantalla Web que muestra la GUI de la pantalla) no se muestra.	• Haga clic en el botón de actualizar o de recarga del navegador Web. • Asegúrese de que la dirección IP es correcta. • Utilice Internet Explorer 6.0 o posterior. • Borre la caché del navegador.

Tabla de referencia de señal de entrada

Señales del ordenador

	Resolución	Frecuencia horizontal (kHz)	Frecuencia vertical (Hz)
1	VGA[a]-1 (VGA 350)	31,5	70
2	640 × 480@60 Hz	31,5	60
3	Mac[b] 13"	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA[c] STD)	37,9	60
6	Mac 16"	49,7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67,5	75
11	Mac 21"	68,7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60,0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT[d])	29,8	60
16	848 × 480@75Hz (CVT)	37,7	75
17	848 × 480@85Hz (CVT)	43,0	85
18	1280 × 720@60Hz (CVT)	44,8	60
19	1280 × 768@60Hz (CVT)	47,8	60
20	1280 × 768@75Hz (CVT)	60,3	75
21	1280 × 960@60Hz (CVT)	59,7	60
22	1360 × 768@60Hz (CVT)	47,7	60
23	800 × 600@60Hz (CVT)	37,4	60
24	1024 × 768@60Hz (CVT)	47,8	60
25	1280 × 1024@60Hz (CVT)	63,7	60
26	1400 × 1050@60Hz (CVT)*	65,3	60
27	1600 × 1200@60Hz (CVT)*	74,5	60
28	1920 × 1080@60Hz	66,6	60
29	1920 × 1200@60Hz	74,0	60

Señales de televisión/vídeo

	Resolución	Entradas disponibles				
		Vídeo	Componente/RGB	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p				○	
10	1080/60p				○	
11	1080/24psf		○			

a) VGA es una marca comercial registrada de International Business Machines Corporation, EE. UU.
b) Macintosh es una marca comercial de Apple Inc. registrada en los Estados Unidos y en otros países.
c) VESA es una marca comercial registrada de la Video Electronics Standards Association.
d) Sincronización de vídeo coordinado VESA.

Notas

- Para recibir una señal HDTV, reciba la señal de sincronización de tres niveles a través del segundo contacto del conector HD15 (RGB/COMPONENT) IN.
- Si los colores se muestran demasiado claros después de recibir una señal de DVD en la pantalla, ajuste “Crominancia” en los ajustes de “Imagen/Sonido”.
- Una vez reajustada la fase, se reducirá la resolución.
- No se garantiza que las señales de ordenadores Macintosh reconozcan la entrada digital RGB.
- No es posible aplicar la señal indicada con * a la entrada DVI IN.
- Las señales de sincronización compuesta corresponden a los n.º 2, 4, 5, 7, 12, 13 y 14 de la tabla de señales que aparece a la izquierda.
- La reproducción de señales de vídeo sin señales subportadoras de crominancia no está garantizada.

Indicaciones en pantalla sobre la señal de entrada y el estado del monitor

Indicación en pantalla	Significado
640 × 480 / 60 (ejemplo)	La señal de entrada seleccionada es una señal de ordenador.
480/60I (ejemplo)	La señal de entrada seleccionada es de vídeo componente.
NTSC (ejemplo)	La señal de entrada seleccionada es señal de vídeo.
Señal no compatible	La señal de entrada seleccionada no es compatible.
No hay señal	No hay señal de entrada.
HD15	La entrada seleccionada es HD15. "RGB/YUV" se ha ajustado en "Automático".
HD15 RGB	La entrada seleccionada es HD15. "RGB/YUV" se ha ajustado en "RGB".
Componente HD15	La entrada seleccionada es HD15. "RGB/YUV" se ha ajustado en "YUV".
DVI	La señal de entrada seleccionada es DVI.
Vídeo	Se ha seleccionado la señal de vídeo compuesto.
S Video	Se ha seleccionado la señal de S Video.
Option	Se ha seleccionado la entrada Option. "RGB/YUV" está ajustado en "Automático".
Option RGB	Se ha seleccionado la señal RGB analógica de la entrada Option.
Option Component	Se ha seleccionado la señal de vídeo componente de la entrada Option.
Option HDMI 1/ Option HDMI 2	Se ha seleccionado la señal HDMI 1 o HDMI 2 de la entrada Option.
Option HD SDI	Se ha seleccionado la señal HD SDI de la entrada Option.

Especificaciones

Procesamiento de vídeo

Sistema de panel Panel LCD de matriz activa TFT a-Si
Resolución de pantalla
1.920 puntos (horizontal) × 1.080 líneas (vertical)
Índice de muestreo
De 13,5 MHz a 162 MHz
Sistema de color NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/NTSC4.43/ PAL60
Señal de entrada Consulte la página 39.

FWD-S42H1

Densidad de píxel 0,4845 (horizontal) × 0,4845 (vertical) mm
Tamaño de imagen
930 (horizontal) × 523 (vertical) mm
Tamaño del panel 42 pulgadas (1.067 mm en diagonal)

FWD-S47H1

Densidad de píxel 0,5415 (horizontal) × 0,5415 (vertical) mm
Tamaño de imagen
1.040 (horizontal) × 585 (vertical) mm
Tamaño del panel 47 pulgadas (1.193 mm en diagonal)

Entradas y salidas

REMOTE Puerto de red (10BASE-T/100BASE-TX)

AUDIO Minitoma estéreo (× 1)
500 mVrms, alta impedancia

VIDEO S VIDEO IN
Mini DIN de 4 contactos (× 1)
Y (luminancia): 1 Vp-p ± 2 dB sincronización negativa, terminación de 75 ohmios
C (crominancia): Señal subportadora de crominancia
0,286 Vp-p ± 2 dB (NTSC), terminación de 75 ohmios
Señal subportadora de crominancia
0,3 Vp-p ± 2 dB (PAL), terminación de 75 ohmios
VIDEO IN BNC (× 1)
Vídeo compuesto, 1 Vp-p ± 2 dB sincronización negativa, 75 ohmios (terminación automática)
VIDEO OUT Tipo BNC (× 1) derivada
AUDIO IN
Minitoma estéreo (× 1)
500 mVrms, alta impedancia

HD15 (RGB/COMPONENT)
HD15 (RGB/COMPONENT) IN
D-sub de 15 contactos (hembra) (× 1)
(Consulte la página 42)
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT
D-sub de 15 contactos (hembra) (× 1)
(Consulte la página 42)
AUDIO IN
Minitoma estéreo (× 1)
500 mVrms, alta impedancia

DVI DVI IN
(compatible con la especificación DVI Rev. 1.0)
AUDIO IN
Minitoma estéreo (×1)
500 mVrms, alta impedancia

SPEAKER Salida de altavoz (L/R)
6 ohmios 7W + 7W

Generales

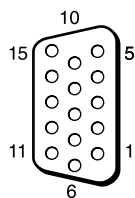
Requisitos de alimentación
De 100 V a 240 V de ca, 50/60 Hz,
FWD-S42H1: 2,9 A (Máximo)
FWD-S47H1: 3,3 A (Máximo)
Consumo de energía
FWD-S42H1: 280 W (Máximo)
FWD-S47H1: 320 W (Máximo)
Condiciones de funcionamiento
Temperatura: de 0 °C a 35 °C
Humedad: de 20% a 90% (sin condensación)
Condiciones de almacenamiento/transporte
Temperatura: de –10 °C a +40 °C
Humedad: de 20% a 90% (sin condensación)
Dimensiones FWD-S42H1: 972,1 × 565,1 × 125 mm
972,1 × 613,6 × 275 mm (incluido soporte opcional) (an/al/prf, partes salientes excluidas)
FWD-S47H1: 1.081,6 × 626,8 × 129 mm
1.081,6 × 675,3 × 275 mm (incluido soporte opcional) (an/al/prf, partes salientes excluidas)
Masa FWD-S42H1: Aprox. 25,5 kg
Aprox. 29 kg (incluido soporte opcional)
FWD-S47H1: Aprox. 30,5 kg
Aprox. 34 kg (incluido soporte opcional)
Accesorios suministrados
Cable de alimentación de ca (1)
Cable de LAN (1)
Portaenchufe de ca (2)
Portacables (9)
Mando a distancia RM-FW002 (1)
Pilas de tamaño AA (R6) (2)
Manual de instrucciones (1)

Accesorios opcionales
Soporte de pantalla SU-S01
Altavoces SS-SPG02
Adaptadores opcionales para ampliación del sistema, serie BKM-FW

Normas de seguridad
UL 60950-1, CSA Nº 60950-1-03 (c-UL), FCC Clase B, IC Clase B, EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Diseño y especificaciones sujetos a cambios sin previo aviso.

Asignación de contactos

HD15 Conector HD15 RGB/COMPONENT (D-sub de 15 contactos)

N° de contacto	Señal
1	Vídeo rojo o C_R/P_R
2	Vídeo verde o Y
3	Vídeo azul o C_B/P_B
4	Masa
5	Masa
6	Masa roja
7	Masa verde
8	Masa azul
9	Sin uso
10	Masa
11	Masa
12	SDA
13	Sincronización horizontal, sincronización compuesta o vídeo compuesto (como señal de sincronización)
14	Sincronización vertical
15	SCL

Nota

Cuando reciba una señal de componente, asegúrese de que no recibe señales de sincronización a través de los contactos 13 y 14. Si lo hace, es posible que la imagen no se muestre correctamente.

Índice alfabético

ES

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendio o di scossa elettrica, non esporre l'apparecchio alla pioggia o all'umidità.

Voltaggi molto alti sono presenti all'interno dell'apparecchio. Non aprire il contenitore. Rivolgersi solo a personale qualificato.

AVVERTENZA

QUESTO APPARECCHIO DEVE ESSERE COLLEGATO A MASSA.

Trasporto

Durante il trasporto del display, tenere l'apparecchio stesso, non i diffusori. Diversamente, è possibile che i diffusori fuoriescano dall'apparecchio e che quest'ultimo cada provocando ferite.

AVVERTENZA

Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare la spina di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicina all'apparecchio. Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare la spina di alimentazione.

La presa di corrente deve essere situata vicino all'apparecchio e deve essere facilmente accessibile.

Per i clienti in Europa

Il fabbricante di questo prodotto e la Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Giappone.
La rappresentanza autorizzata per EMC e la sicurezza dei prodotti e la Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stoccarda, Germania. Per qualsiasi questione riguardante l'assistenza o la garanzia, si prega di rivolgersi agli indirizzi riportati nei documenti sull'assistenza o sulla garanzia a parte.

AVVERTENZA

1. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/ connettore per l'apparecchio/spina con terminali di messa a terra approvati che siano conformi alle normative sulla sicurezza in vigore in ogni paese, se applicabili.
2. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/ connettore per l'apparecchio/spina confrmi alla rete elettrica (voltaggio, ampere).

In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione/connettore per l'apparecchio/spina di cui sopra, consultare personale qualificato.

Indice

Introduzione

Posizione e funzione delle parti e dei comandi

Collegamenti

IT

Uso delle impostazioni

Funzioni di rete

Altre informazioni

Precauzioni

Sicurezza

- La targhetta indicante la tensione operativa, il consumo energetico, ecc. è situata nella parte posteriore dell'apparecchio.
- Se liquidi o oggetti solidi penetrano nel rivestimento, scollegare l'apparecchio e farlo controllare da personale qualificato prima di utilizzarlo ulteriormente.
- Se si prevede di non utilizzare l'apparecchio per un lungo periodo, scollegarlo dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo di alimentazione CA, accertarsi di afferrarlo dalla spina. Non tirare mai il cavo stesso.

Pulizia

Prima di procedere alla pulizia del monitor, assicurarsi di scollegare il cavo di alimentazione.

Pulizia del monitor

Prestare attenzione affinché oggetti pesanti non graffino, esercitino pressione o colpiscano la superficie dello schermo del monitor, onde evitare che quest'ultima subisca danni.
Lo schermo del monitor dispone di una superficie speciale che deve essere trattata con cura.
Seguire le istruzioni riportate di seguito per evitare una riduzione delle prestazioni a causa di una manipolazione errata durante la pulizia.

- Rimuovere con cura la polvere dalla superficie dello schermo utilizzando un panno morbido. Si consiglia di utilizzare un apposito panno di pulizia o un panno per la pulizia dei vetri.
- Se la superficie dello schermo è particolarmente sporca, pulirla con un panno di pulizia morbido leggermente inumidito con acqua.
- Non utilizzare alcol, benzene, trielina, solventi detergenti acidi o alcalini, detergenti abrasivi o panni trattati chimicamente, onde evitare di danneggiare la superficie dello schermo.

Pulizia del rivestimento

- Per la pulizia, utilizzare un panno asciutto e morbido. Per la rimozione delle macchie persistenti, utilizzare un panno leggermente inumidito con una soluzione detergente neutra, quindi asciugare la parte con un panno morbido e asciutto.
- Non utilizzare alcol, benzene, trielina o insetticidi. Diversamente, è possibile che la finitura della superficie venga danneggiata o che le indicazioni sull'apparecchio vengano rimosse.
- Se pulito con un panno sporco, lo schermo potrebbe danneggiarsi.
- Se l'apparecchio rimane in contatto per un periodo di tempo prolungato con prodotti in gomma o in plastica, è possibile che subisca alterazioni o che il rivestimento protettivo si stacchi.

Informazioni sul pannello LCD

- L'esposizione prolungata al sole del pannello LCD potrebbe causare danni al pannello stesso. Tenere in considerazione questa eventualità durante l'installazione dell'apparecchio in esterni o in prossimità di una finestra.
- Non premere forzatamente o graffiare lo schermo LCD. Non posizionare oggetti sullo schermo. Diversamente, è possibile che il monitor si rompa o lo schermo LCD subisca danni.
- È possibile che sullo schermo appaiano delle strisce orizzontali o un'immagine residua. È inoltre possibile che lo schermo appaia più scuro quando l'apparecchio viene utilizzato in un ambiente freddo. Non si tratta di problemi di funzionamento dello schermo. Lo schermo torna allo stato di funzionamento normale non appena la temperatura ambiente aumenta.
- Se si visualizza un'immagine statica per periodi prolungati, può verificarsi il fenomeno delle immagini residue. Le immagini residue scompaiono con il tempo. Nel caso di immagini residue, utilizzare la funzione salva schermo oppure utilizzare un software video o di immagine in modo che sullo schermo sia sempre presente un'immagine in movimento. Sebbene le immagini residue di scarsa entità (immagini impresse) risultino meno evidenti, una volta verificatosi, il fenomeno non potrà essere risolto completamente.
- È possibile che la superficie del pannello, il rivestimento o la cornice si surriscaldino durante l'uso. Non si tratta di un problema di funzionamento.

Punti luminosi e scuri sullo schermo LCD

Sebbene lo schermo LCD sia fabbricato utilizzando tecnologie avanzate con una risoluzione effettiva pari ad almeno il 99,99%, è possibile che sullo schermo appaiano punti scuri (pixel bruciati) o luminosi (rossi, blu o verdi, e così via), fissi o lampeggianti. Si tratta di un fenomeno comune degli schermi LCD, che a volte si verifica a causa di difetti dei pixel. Questi ultimi possono verificarsi nel caso in cui il dispositivo venga utilizzato per un periodo di tempo prolungato.
Non si tratta di un problema di funzionamento dello schermo.

Installazione

- Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.

- Per evitare il surriscaldamento interno dell'apparecchio, consentire un'adeguata circolazione d'aria. Non collocare l'apparecchio su superfici quali coperte o tappeti né in prossimità di materiali quali tendaggi che potrebbero bloccarne le prese di ventilazione.
- Non collocare l'apparecchio in prossimità di fonti di calore quali radiatori o condotti dell'aria né in luoghi soggetti alla luce solare diretta, a polvere eccessiva, a vibrazioni di tipo meccanico o a urti.
- Durante l'installazione di più apparecchi con l'unità, potrebbero verificarsi problemi, quali il malfunzionamento del telecomando, immagini o audio disturbati, a seconda della posizione dell'unità e degli altri apparecchi.

Reimballaggio

Non gettare il materiale di imballaggio,poiché potrebbe risultare utile per il trasporto dell'apparecchio. In tal caso, reimballare l'apparecchio come illustrato sulla confezione.

Per qualsiasi domanda o problema relativo all'apparecchio, contattare un rivenditore Sony autorizzato.

Smaltimento del dispositivo elettrico ed elettronico per uso aziendale a fine vita (applicabile in tutti i paesi dell'Unione Europea e in quelli con sistema di raccolta differenziata)

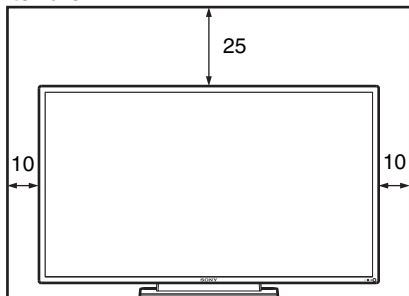
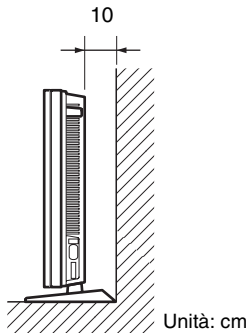
Questo simbolo sul prodotto o sulla confezione indica che il prodotto non deve essere considerato come un normale rifiuto domestico, ma deve essere consegnato presso il centro di raccolta appropriato per il riciclaggio di apparecchiature elettriche ed elettroniche. Assicurandovi che questo prodotto sia smaltito correttamente, voi contribuirete a prevenire potenziali conseguenze negative per l'ambiente e per la salute che potrebbero altrimenti essere causate dal suo smaltimento inadeguato. Il riciclaggio dei materiali aiuta a conservare le risorse naturali. Per ulteriori informazioni sul riciclaggio di questo prodotto, contattare l'ufficio Sony locale oppure visitare il sito Web europeo di Sony per i clienti aziendali all'indirizzo:
http://www.sonybiz.net/environment

Consigli relativi all'installazione

Installare il monitor in un luogo spazioso

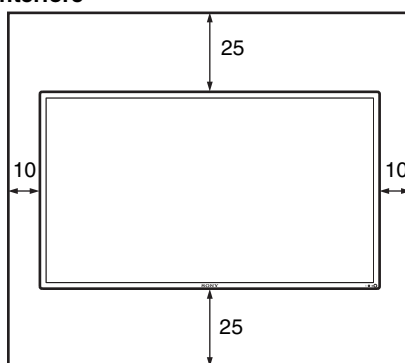
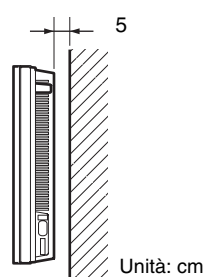
- Per evitare il surriscaldamento interno, assicurarsi che lo spazio che circonda il monitor sia sufficiente per garantire la ventilazione corretta, come illustrato nella figura riportata di seguito.
- La temperatura ambiente deve essere compresa tra 0 °C e 35 °C. Prestare attenzione se il display viene installato vicino al soffitto, in quanto la temperatura potrebbe diventare più elevata rispetto alla normale temperatura ambiente della stanza.
- Se si sceglie di utilizzare il supporto, utilizzare il supporto da tavolo SU-S01 (non in dotazione). Per informazioni sul metodo di installazione, consultare il manuale di istruzioni del supporto da tavolo.
- Per l'installazione di materiali, quali staffe, viti o bulloni, non è possibile specificare il nome dei prodotti. Per l'installazione di tali materiali, rivolgersi ai rivenditori locali autorizzati. Per l'installazione, rivolgersi a personale qualificato Sony.
- Quando il monitor è acceso, le relative parti interne si surriscaldano, causando eventuali ustioni. Quando il monitor è acceso o appena è entrato nel modo di attesa, non toccare la parte superiore o posteriore dell'apparecchio.

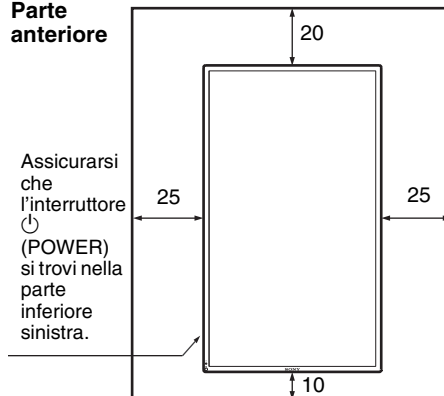
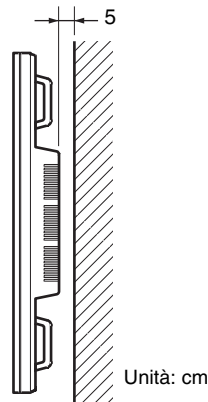
Installazione con il supporto da tavolo

Parte anteriore

Parte laterale

Nota

Per spostare o installare il display quando questo è applicato al supporto (non in dotazione), assicurarsi che l'operazione venga effettuata da almeno 2 persone.

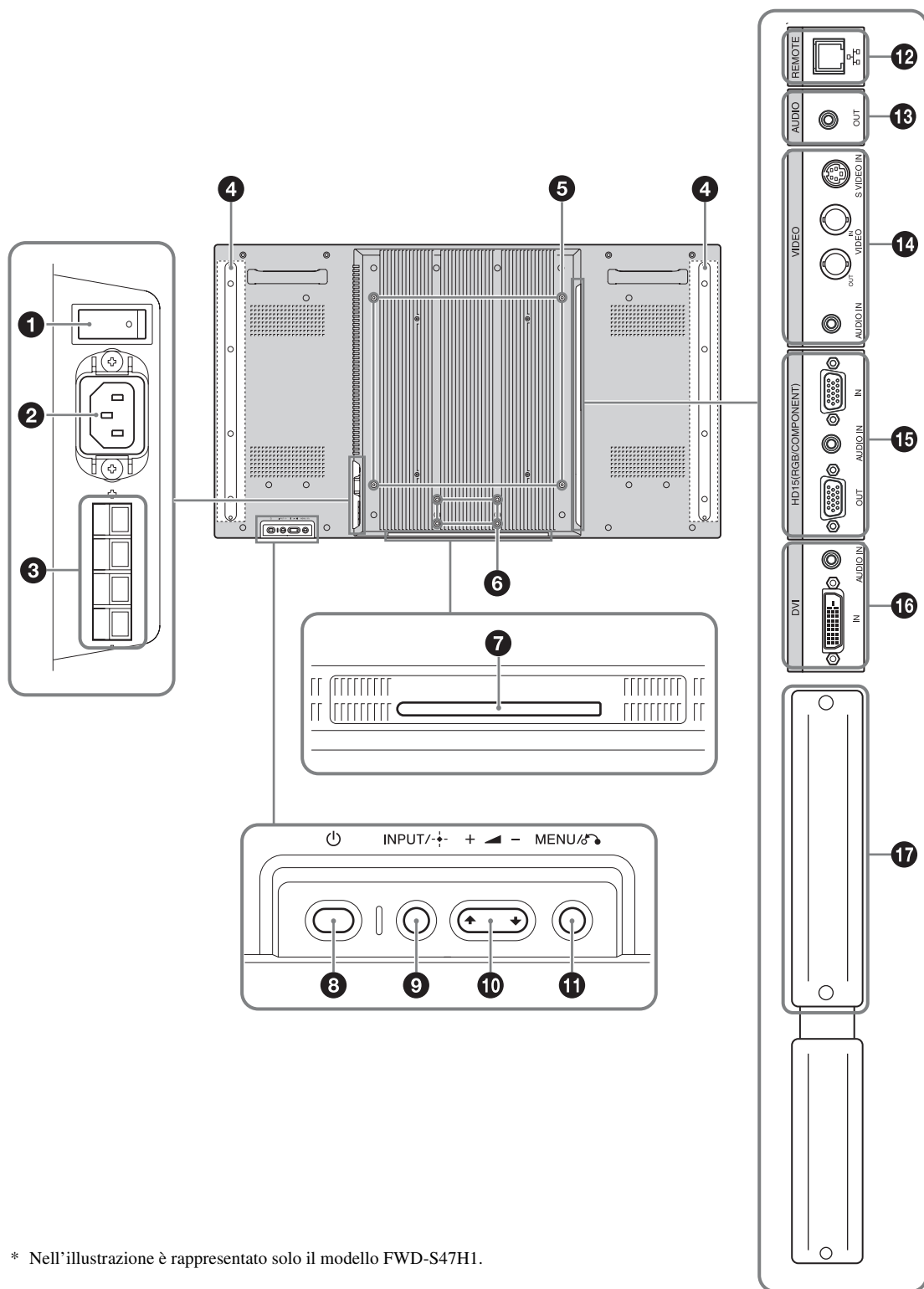
Installazione del monitor in posizione orizzontale

Parte anteriore

Installazione del monitor in posizione verticale

Parte anteriore

Parte laterale

Parte anteriore

Parti	Descrizione
❶ Logo Sony	Il logo Sony si illumina. Dalla schermata del menu, è possibile passare dall'impostazione automatica a varie impostazioni manuali. Vedere "Logo" a pagina 30.
❷ Indicatore ⏻ (alimentazione/attesa)	• Si illumina in verde quando il monitor è acceso. • Si illumina in rosso quando il monitor si trova nel modo di attesa. Quando il monitor entra in modalità di risparmio energetico, la luce diventa arancione e un segnale di input viene trasmesso dal PC. Se l'indicatore ⏻ lampeggia in rosso, vedere pagina 37. **Nota** Se l'opzione "LED" nelle impostazioni "Display multiplo" è impostata su "No" e l'opzione "Posizione" non è impostata sulla parte inferiore destra, l'indicatore non si illumina in verde anche se il monitor è acceso, tranne in caso di assenza di segnale o di presenza di un segnale non supportato.
❸ Sensore del telecomando	Ricevitore del telecomando.

IT

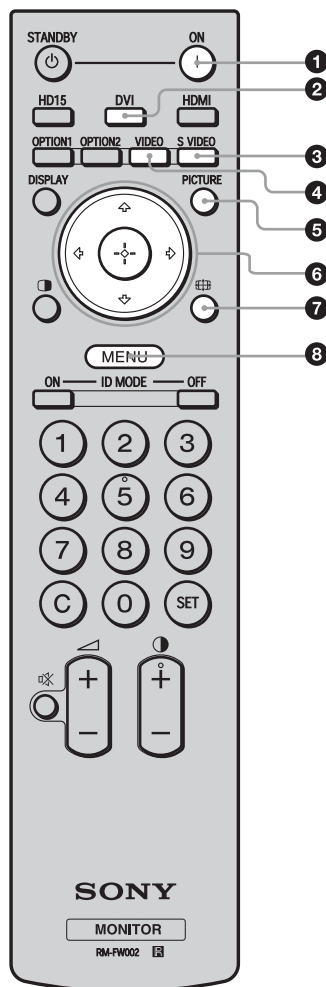
Parte posteriore

* Nell'illustrazione è rappresentato solo il modello FWD-S47H1.

Parti	Descrizione
❶ Interruttore principale	Durante l'impostazione dell'apparecchio, portare l'interruttore di alimentazione principale su "ON" (premere sul lato |). Quando l'interruttore principale è in posizione "OFF" (premere sul lato ⭘), il consumo dell'apparecchio è pari a 0 W.
❷ Presa **AC IN**	Collegare il cavo di alimentazione CA in dotazione a questa presa e a una presa a muro. Vedere pagina 17. Una volta collegato il cavo di alimentazione CA e acceso l'interruttore di alimentazione principale, l'indicatore ⏻ si illumina in rosso e il monitor entra nel modo di attesa.
❸ Presa **SPEAKER**	A questa presa collegare i diffusori SS-SPG02 (non in dotazione). Per ulteriori informazioni sul collegamento dei diffusori, consultare il relativo manuale delle istruzioni. Per ulteriori informazioni sul percorso dei cavi dei diffusori, vedere pagina 18.
❹ Posizioni di installazione dei diffusori	Applicare i diffusori SS-SPG02 dedicati.
❺ Fori per l'installazione del supporto	Fori per viti conformi allo standard VESA (passo: 400 mm × 400 mm, vite: M6).
❻ Fori per l'installazione del supporto del monitor	Utilizzare questi ganci per installare il supporto per monitor SU-S01 (non in dotazione).
❼ Coperchio dei fori per l'installazione del supporto del monitor	Rimuovere per installare il supporto per monitor SU-S01 (non in dotazione).
❽ Interruttore ⏻ **(POWER)**	Consente di accedere o spegnere il monitor (attesa). Utilizzare quando l'interruttore di alimentazione principale è in posizione "ON" (lato |).
❾ Tasto **INPUT/** + **(ENTER)**	Premere questo tasto per selezionare un segnale da trasmettere tramite il connettore INPUT o OPTION. Ad ogni pressione del tasto INPUT, il segnale da immettere cambia come segue. → S Video → Video → HD15 → DVI → OPTION ┐ (torna a S Video) Se nella sezione dei connettori OPTION non è stato installato l'adattatore opzionale che supporta il segnale video, OPTION verrà ignorato. Premere per effettuare l'impostazione.
❿ Tasto +/–/⇧/⇩ (volume/ cursore)	Premere questo tasto per regolare il volume dei diffusori. Quando il menu è visualizzato, premere questo tasto per spostare il cursore o impostare un valore. Premere per effettuare l'impostazione.
⓫ Tasto **MENU/** ↩ **(RETURN)**	Premere questo tasto per visualizzare i menu. Consente di tornare alla schermata di menu precedente.
⓬ **REMOTE** (10BASE-T/100BASE-TX)	Consente di collegare il monitor alla rete mediante un cavo LAN 10BASE-T/100BASE-TX. Da un PC è possibile assegnare varie impostazioni e controllare il monitor attraverso la rete. **Attenzione** • Quando il cavo LAN dell'unità viene collegato a un dispositivo periferico, utilizzare il cavo in dotazione per evitare problemi di funzionamento dovuti a interferenze delle radiazioni. • Per ragioni di sicurezza, non inserire in questa porta il connettore di collegamento della periferica, che potrebbe avere una tensione eccessiva. Seguire le istruzioni per questa porta. **Nota** Quando si utilizza questo connettore, selezionare "Display" in "Porta di rete". (pagina 30)

Parti	Descrizione
⑬ **AUDIO** (minipresa stereo)	Terminale di uscita audio del monitor per apparecchi esterni. Emette l'audio del segnale correntemente indicato sullo schermo. Emette un segnale audio corrispondente all'immagine attiva* nel modo "P&P" o "PinP". **Nota** • Le impostazioni assegnate in "Modo audio" o "Uscita diffusori" non verranno visualizzate. • Lo stato della funzione di riduzione rumore impostato dal telecomando non viene visualizzato.
⑭ **VIDEO**	**S VIDEO IN** (Mini DIN a 4 piedini): consente di effettuare un collegamento all'uscita S Video di un apparecchio video. **VIDEO IN** (BNC): consente di effettuare il collegamento all'uscita video di un apparecchio video. **VIDEO OUT** (BNC): consente di effettuare il collegamento all'ingresso video di un apparecchio video. Verranno emesse immagini immesse dall'ingesso VIDEO IN. **AUDIO IN** (minipresa stereo): consente di effettuare il collegamento all'uscita audio di un apparecchio video.
⑮ **HD15 (RGB/ COMPONENT)** (D-sub a 15 piedini)	**HD15 (RGB/COMPONENT) IN:** consente di affettuare il collegamento all'uscita del segnale RGB o all'uscita del segnale componente di un apparecchio video o di un PC. Vedere pagina 42. **AUDIO IN:** immette un segnale audio. Consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale audio di un apparecchio video o di un PC. **HD15 (RGB/COMPONENT) OUT:** consente di effettuare il collegamento all'ingresso del segnale RGB o del segnale componente di un apparecchio video o di un PC. Vedere pagina 42. Verranno trasmessi i segnali immessi dal connettore HD15 (RGB/ COMPONENT) IN di cui sopra. **Nota** • Durante l'immissione di un segnale componente, assicurarsi di non immettere segnali sincronici ai piedini 13 e 14. Diversamente, è possibile che l'immagine non venga visualizzata correttamente. • Quando il monitor non è collegato a un alimentatore CA o si trova nel modo di attesa, da HD15 (RGB/COMPONENT) OUT non viene emesso alcun segnale.
⑯ **DVI** (DVI-D a 24 piedini)	**DVI IN:** consente di effettuare il collegamento al terminale di uscita del segnale digitale di un apparecchio video o di un PC. Supporta la funzione di protezione da copia HDCP. **AUDIO IN:** immette un segnale audio. Consente di effettuare un collegamento all'uscita del segnale audio di un apparecchio video, ecc.
⑰ Slot **OPTION** (porta VIDEO/COM)	Questo slot supporta i segnali video e le funzioni di comunicazione. Applicare un adattatore opzionale (serie BKM-FW) nell'apposito slot per ampliare la gamma di funzioni del monitor. Vedere pagina 16.

* È possibile passare dallo stato di emissione dell'audio al segnale di ingresso.

Telecomando

Descrizione dei tasti

❶ **Interruttore POWER ON**

Premere questo tasto per accendere il monitor.
Utilizzare quando l'interruttore di alimentazione principale sul retro del monitor è in posizione "ON".

❷ **Tasto DVI**

Premere questo tasto per selezionare il segnale trasmesso alla porta DVI.

❸ **Tasto S VIDEO**

Premere questo tasto per selezionare l'immissione del segnale al connettore S VIDEO IN da un apparecchio video.

❹ **Tasto VIDEO**

Premere questo tasto per selezionare l'immissione del segnale al connettore VIDEO IN da un apparecchio video.

❺ **Tasto PICTURE**

Consente di selezionare "Modo immagine". Ad ogni pressione, il modo si alterna tra "Vivido", "Standard", "Personalizzato", "Conferenza" e "TC Control".

❻ **Tasti ⇧/⇩/⇦/⇨/⊕**

I tasti ⇧/⇩/⇦/⇨ consentono di spostare il cursore del menu, di impostare i valori e così via. Premendo ⊕, è possibile impostare il menu o le voci di impostazione selezionati.
Nel modo "PAP", è possibile selezionare l'impostazione Picture and Picture. Vedere pagina 14.

❼ **Tasto ⊞**

Premere questo tasto per cambiare il rapporto di formato dell'immagine. Vedere pagina 13.

❽ **Tasto MENU**

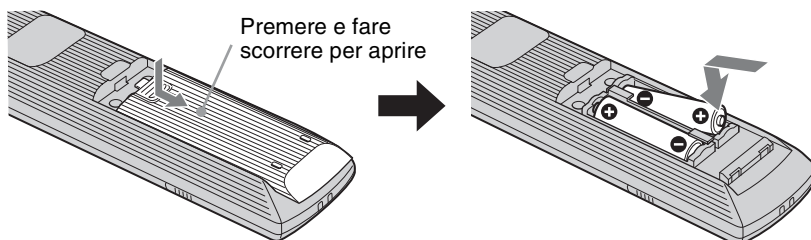
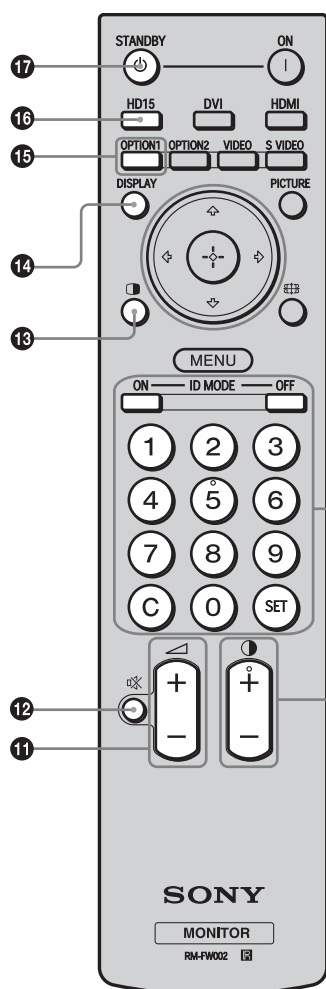
Premere questo tasto per visualizzare i menu. Premerlo di nuovo per disattivare la visualizzazione. Vedere pagina 19.

IT

Note

- Sui tasti 5 e ◑ è presente un punto tattile, che è possibile utilizzare come riferimento durante l'uso del monitor.
- Inserire due pile formato AA (R6) (in dotazione) allineando i simboli ⊕ e ⊖ sulle pile allo schema riportato all'interno dello scomparto pile del telecomando.

Attenzione

Se una batteria non viene sostituita correttamente vi è il rischio di esplosione. Sostituire una batteria con una uguale o simile seguendo le raccomandazioni del produttore. Per lo smaltimento della batteria, attenersi alle norme in vigore nel paese di utilizzo.

❾ Tasti ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF)

È possibile utilizzare un monitor specifico senza influenzare altri monitor installati contemporaneamente.

- Tasto ON: premere questo tasto per visualizzare il "Numero indice" sullo schermo.
- Tasto 0-9: premere per immettere il "Numero indice" del monitor che si desidera utilizzare.
- Tasto SET: premere questo tasto per impostare il "Numero indice".
- Tasto C: premere questo tasto per annullare l'impostazione del "Numero indice".
- Tasto OFF: premere questo tasto per tornare al modo normale.

Vedere pagina 15.

❿ Tasto ◑ +/–

Consente di regolare il livello (contrasto) dell'immagine.

⓫ Tasto ◿ +/–

Premere questo tasto per regolare il volume.

⓬ Tasto 🔇

Premere questo tasto per disattivare l'audio. Premerlo di nuovo per ripristinare l'audio.

⓭ Tasto ◨

Consente di selezionare il modo "PAP" (Picture And Picture). Ad ogni pressione, la visualizzazione passa da "P&P", a "PinP" o all'immagine a schermata singola. Vedere pagina 14.

⓮ Tasto DISPLAY

Premere questo tasto per visualizzare sullo schermo l'ingresso correntemente selezionato e il tipo di segnale di ingresso, nonché l'impostazione "Aspetto". Premerlo di nuovo per disattivare la visualizzazione. Se non si esegue alcuna operazione, le informazioni visualizzate scompaiono automaticamente dopo alcuni secondi.

⓯ Tasto OPTION 1

Se è installato un adattatore opzionale, consente di selezionare un segnale di ingresso dall'apparecchio collegato all'adattatore opzionale.
Se l'adattatore opzionale installato è dotato di connettori di ingresso multipli, ad ogni pressione del tasto è possibile alternare tra i segnali di ingresso.

⓰ Tasto HD15

Premere questo tasto per selezionare il segnale di ingresso del connettore HD15 (RGB/COMPONENT). Il segnale RGB o il segnale componente viene selezionato automaticamente o manualmente in base alle impostazioni del menu.

⓱ Tasto STANDBY

Premere questo tasto per impostare il monitor sul modo di attesa.

Nota

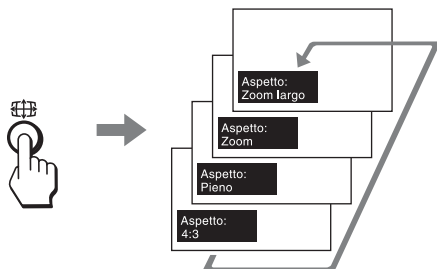
Non è possibile utilizzare il tasto HDMI e il tasto OPTION 2 sul presente monitor.

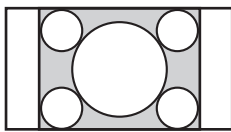
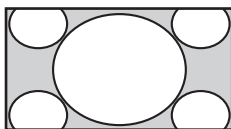
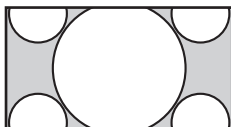
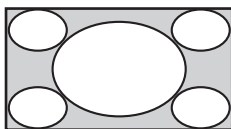
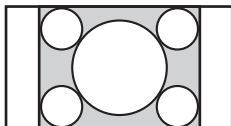
Tasti speciali del telecomando

Uso del modo ampio

È possibile modificare il rapporto di formato dello schermo.

Suggerimento

È inoltre possibile accedere alle impostazioni “Aspetto” nelle impostazioni “Schermo”. Vedere pagina 26, 27.

Per l’ingresso da apparecchi video quali Video, DVD, ecc. (diverso dall’ingresso del PC)

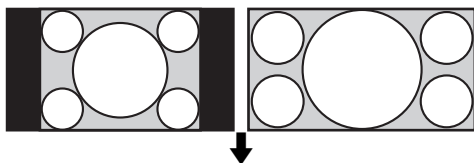
Sorgente di origine 4:3

Zoom largo

Zoom

Pieno

4:3

Sorgente di origine 16:9

Zoom largo

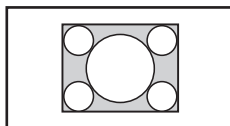
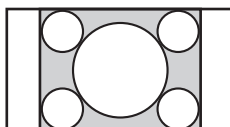
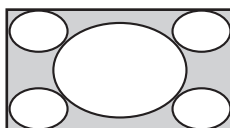
Zoom

Pieno

4:3

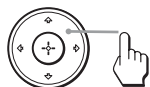
IT

Per l’ingresso del PC

Le illustrazioni riportate di seguito indicano la risoluzione di ingresso di 800×600

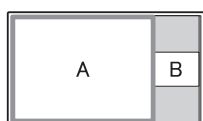
Reale

Pieno 1

Pieno 2

Nota

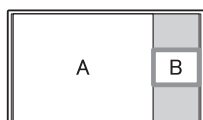
Se la risoluzione di ingresso è maggiore rispetto alla risoluzione dello schermo (1.920×1.080), la visualizzazione Reale corrisponde a Pieno 1.

Uso dell'impostazione PAP

È possibile visualizzare una accanto all'altra due immagini provenienti da sorgenti diverse, ad esempio da un PC e da un apparecchio video.
È inoltre possibile invertire le immagini attive o modificare il bilanciamento delle dimensioni delle immagini.
È inoltre possibile accedere alle impostazioni "Impostazione PAP" nelle impostazioni "Schermo". Vedere pagina 24.

Cursore che indica l'immagine attiva

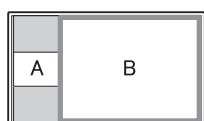
Per P&P

La larghezza di A e B è uguale. L'altezza viene impostata in base al rapporto di formato di ciascuna immagine.

Premere il tasto ⇦.

La larghezza di A è superiore a quella di B. Se il rapporto di formato di A è 4:3, la relativa altezza corrisponderà alle dimensioni dello schermo.

Premere il tasto ⇨.

B sul lato destro diventa l'immagine attiva.

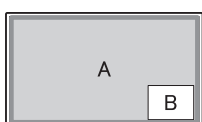
Premere il tasto ⇨.

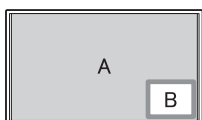
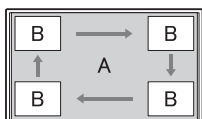
La larghezza di A e B è uguale. L'altezza viene impostata in base al rapporto di formato di ciascuna immagine.

Premere il tasto ⇨.

La larghezza di B è superiore a quella di A. Se il rapporto di formato di B è 4:3, l'altezza corrisponderà alle dimensioni dello schermo.

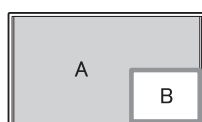
Premere il tasto ⇩.

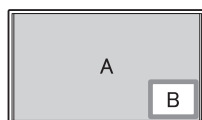
B sul lato destro diventa piccola mentre rimane visualizzata l'immagine attiva.

Per PinP

L'immagine secondaria (B) viene mostrata all'interno dell'immagine principale (A).

Premere il tasto ⇦/⇨.

L'immagine secondaria (B) diventa l'immagine attiva.

Premere il tasto ⊕.

La posizione dell'immagine secondaria (B) verrà modificata.

Premere il tasto ⇧.

Le dimensioni dell'immagine secondaria (B) aumentano.

Premere il tasto ⇩.

Le dimensioni dell'immagine secondaria (B) diminuiscono.

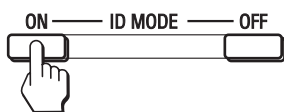
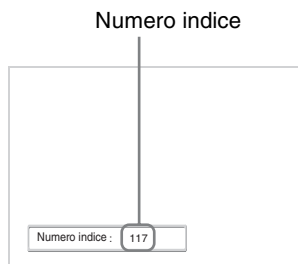
Suggerimenti

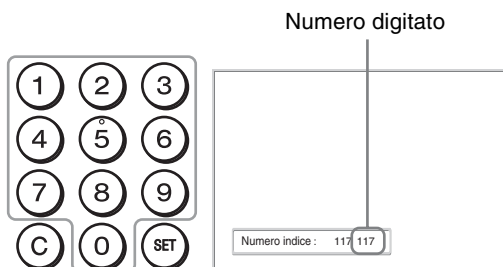
- Il cursore che indica l'immagine attiva scomparirà dopo 5 secondi.
- L'immagine può essere regolata fino a 15 dimensioni (per P&P).

Uso del tasto ID MODE

È possibile utilizzare un monitor specifico senza influenzare altri monitor installati contemporaneamente.

1 Premere il tasto **ON** .

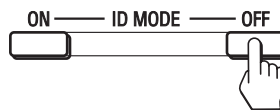
Il “Numero indice” del monitor viene visualizzato in caratteri neri nel menu nella parte inferiore sinistra della schermata. Ad ogni monitor è assegnato un “Numero indice” preimpostato compreso tra 1 e 255.

2 Immettere il “Numero indice” del monitor che si desidera utilizzare mediante i tasti 0- 9 del telecomando.

Il numero immesso viene visualizzato accanto al “Numero indice” di ogni monitor.

3 Premere il tasto **SET** .

I caratteri relativi al monitor selezionato diventano di colore verde, mentre gli altri diventano di colore rosso.

È possibile utilizzare esclusivamente il monitor specificato indicato dai caratteri verdi.
Per gli altri monitor, sono operativi soltanto l’interruttore POWER ON e il tasto STANDBY/ ID MODE-OFF.

4 Una volta completate tutte le modifiche delle impostazioni, premere il tasto **OFF**.

Sul monitor viene visualizzata di nuovo la schermata normale.

Per correggere Numero indice

Premere il tasto **C** per cancellare il “Numero indice” immesso. Tornare al punto 2, quindi immettere un nuovo “Numero indice”.

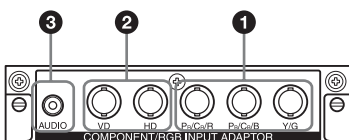
Suggerimento

Per modificare il “Numero indice” del monitor, vedere “Numero indice” in “Impostaz. controllo” a pagina 28.

IT

Adattatori opzionali

Il terminale dello slot OPTION ⓱ (pagina 10) sulla parte laterale dell'apparecchio è di tipo a inserimento e può essere installato sul seguente adattatore opzionale (non in dotazione).
Per ulteriori informazioni sull'installazione, contattare il rivenditore Sony.
Per ulteriori informazioni sugli adattatori opzionali per l'espansione del sistema, consultare i singoli manuali di istruzioni unitamente al presente manuale.

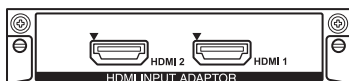
Adattatore COMPONENT/RGB INPUT BKM-FW11

❶ **Y/G, P_B/C_B/B, P_R/C_R/R IN (BNC)**: consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale RGB o all'uscita del segnale componente di un apparecchio video o di un PC.

❷ **HD, VD IN (BNC)**: consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale di sincronizzazione di un PC.

Nota

Durante l'immissione di un segnale componente, assicurarsi di non immettere segnali sincronici ai connettori HD e VD. Diversamente, è possibile che l'immagine non venga visualizzata correttamente.

❸ **AUDIO (minipresa stereo)**: immette un segnale audio. Consente di effettuare il collegamento all'uscita audio di un apparecchio video o di un PC.

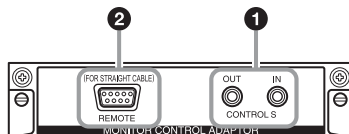
Adattatore HDMI INPUT BKM-FW15

È possibile visualizzare video potenziati o ad alta definizione e ascoltare l'audio digitale a due canali. Il modo corretto per un apparecchio audio/video o un PC viene selezionato automaticamente in base all'apparecchio collegato.

Nota

Accertarsi di utilizzare esclusivamente un cavo HDMI (non in dotazione) su cui sia presente il logo HDMI.

Adattatore HD-SDI/SDI INPUT BKM-FW16

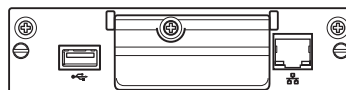
Consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale HD-SDI di un apparecchio video.

Adattatore MONITOR CONTROL BKM-FW21

❶ **CONTROL S IN/OUT** (minipresa): è possibile controllare più apparecchi con un unico telecomando quando il monitor è collegato al connettore CONTROL S di un apparecchio video o di un altro monitor. Collegare il connettore CONTROL S OUT dell'adattatore al connettore CONTROL S IN dell'altro apparecchio, quindi collegare il connettore CONTROL S IN dell'adattatore al connettore CONTROL S OUT dell'altro apparecchio.

❷ **REMOTE** (D-sub a 9 piedini): questo connettore consente il controllo a distanza del monitor mediante il protocollo RS-232C. Per ulteriori informazioni, contattare un rivenditore Sony autorizzato.

Note

- Il connettore REMOTE e il connettore del REMOTE (LAN) ⓬ (pagina 9) sulla parte laterale dell'apparecchio non possono essere utilizzati contemporaneamente.
- Quando si utilizza il connettore REMOTE, selezionare "Option" in "Porta di rete". (pagina 30)

Adattatore STREAMING RECEIVER BKM-FW50

Questo adattatore consente di utilizzare il monitor per la riproduzione di segnali digitali.
Inserendo un supporto di registrazione è possibile riprodurre filmati, foto o brani musicali di sottofondo registrati nei formati specificati. Inoltre, è possibile utilizzare una rete per visualizzare sul monitor immagini salvate su un computer remoto.

Nota

È necessario disporre di una scheda di memoria compact flash.

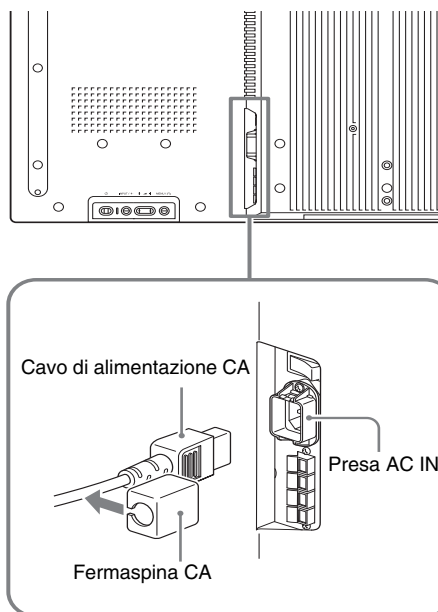
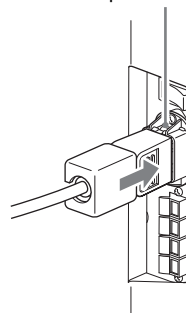
Operazioni preliminari

- Assicurarsi che l'alimentazione di ogni apparecchio sia disattivata.
- Utilizzare cavi adatti all'apparecchio da collegare.
- Collegare i cavi inserendoli completamente nei connettori o nelle prese. Diversamente, potrebbero verificarsi disturbi.
- Per scollegare il cavo, accertarsi di afferrarlo dalla spina. Non tirare mai il cavo stesso.
- Fare inoltre riferimento al manuale delle istruzioni del dispositivo da collegare.
- Inserire in modo saldo la spina nella presa AC IN.
- Per mantenere saldamente in posizione la spina CA, utilizzare uno dei due appositi fermi (in dotazione).

Collegamento dei diffusori

Collegare i diffusori SS-SPG02 (non in dotazione). Assicurarsi di collegare i diffusori in modo corretto. Per ulteriori informazioni sul collegamento dei diffusori, consultare il relativo manuale delle istruzioni. Per ulteriori informazioni sul percorso dei cavi dei diffusori, vedere pagina 18.

Collegamento del cavo di alimentazione CA

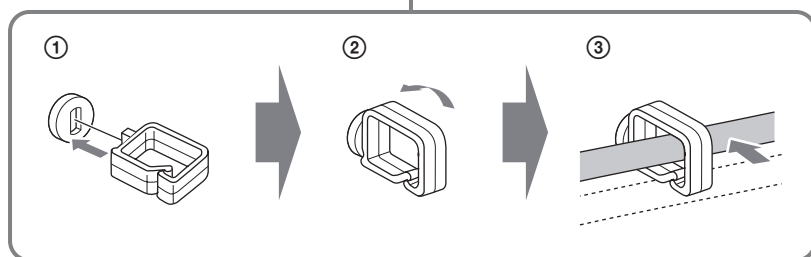
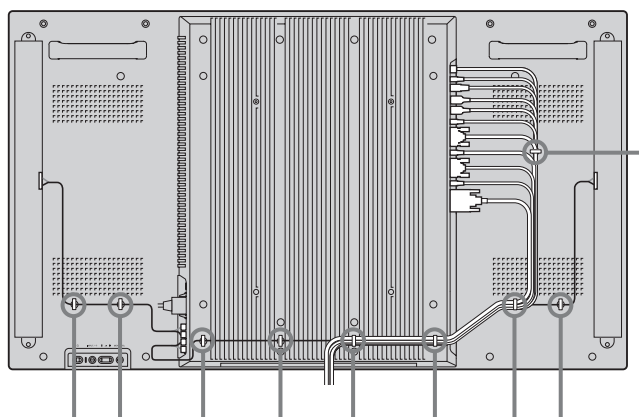
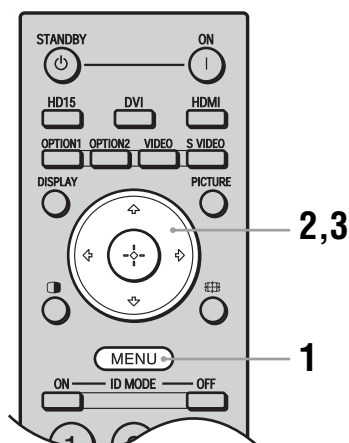
1 Inserire il cavo di alimentazione CA nella presa AC IN. Quindi fissare il fermaspina CA (in dotazione) al cavo di alimentazione CA.

2 Fare scorrere il fermaspina CA sul cavo per inserirlo nel coperchio della presa AC IN.

Per scollegare il cavo di alimentazione CA

Dopo avere sbloccato il fermaspina CA premendolo ai lati, afferrare la spina ed estrarre il cavo di alimentazione CA.

IT

Sistemazione dei cavi

Uso dei fermacavi

È possibile fissare in modo pratico i cavi utilizzando gli appositi fermacavi (×9) in dotazione. Applicare i fermacavi come raffigurato di seguito.

Panoramica dei menu

1 Premere il tasto MENU.

2 Premere ⇧/⇩ per evidenziare l'icona del menu desiderata.

3 Premere ⊕ o ⇨.

Per uscire dal menu, premere il tasto MENU.

Per modificare la lingua delle indicazioni a schermo

Per le impostazioni e i messaggi a schermo, è possibile selezionare la lingua desiderata: "English", "Français", "Deutsch", "Español", "Italiano" o "日本語".
"English" (inglese) è l'impostazione predefinita.
Vedere pagina 28.

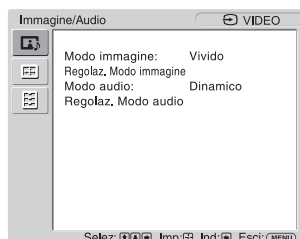
Tramite le impostazioni, è possibile accedere alle funzioni riportate di seguito:

Impostazioni	Consente di impostare/modificare
Immagine/Audio	Modo immagine: (pagina 20, 22) Regolaz. Modo immagine (pagina 20, 22) Modo audio: (pagina 21, 23) Regolaz. Modo audio (pagina 21, 23) **Nota** "Modo immagine" e "Regolaz. Modo immagine" non possono essere modificati in assenza di segnale in ingresso.
Schermo	Impostazione PAP (pagina 24, 27) Display multiplo (pagina 25, 27) Aspetto: (pagina 26, 27) Regola schermo (pagina 26, 27)
Impostazione	Lingua: (pagina 28) Impostazione timer (pagina 28) Modo ECO: (pagina 28) Display di stato: (pagina 28) Uscita diffusori: (pagina 28) Impost. avanzate (pagina 28) Informazioni (pagina 31) Ripristina tutto (pagina 31)

* A seconda delle impostazioni, è possibile che le icone di menu visualizzate nella parte inferiore della schermata non siano disponibili.

IT

Impostazioni Immagine/Audio

Per l'ingresso video

Per evidenziare un'opzione e modificare le impostazioni, premere ⇧/⇩/⇦/⇨.
Premere ⊕ per confermare la selezione.
Nelle impostazioni "Immagine/Audio" sono incluse le seguenti opzioni:

Modo immagine

"Vivido": consente di ottenere immagini con una nitidezza e un contrasto migliori.
"Standard": consente di regolare le impostazioni standard delle immagini.
"Personalizzato": consente di memorizzare le impostazioni preferite.
"Conferenza": consente di regolare la qualità dell'immagine per le videoconferenze in condizioni di luce fluorescente.
"TC Control": questa impostazione è comune con l'opzione "Vivido". È inoltre possibile utilizzare la funzione "True Color Control" (citata di seguito).

Suggerimento
Per alternare tra le opzioni di "Modo immagine", è inoltre possibile utilizzare PICTURE sul telecomando.

Note

- "Conferenza" potrebbe non essere efficace a seconda dell'ambiente o del sistema di videoconferenza in uso. In tal caso, regolare la qualità dell'immagine, passando ad un'altra impostazione del "Modo immagine" e così via.
- In "TC Control" "Potenziam. lumin." è impostato su No.

Regolaz. Modo immagine

"Retroillum": consente di aumentare o ridurre la luminosità dello schermo.
"Contrasto": consente di aumentare o ridurre il contrasto delle immagini.
"Luminosità": consente di aumentare o ridurre la luminosità dell'immagine.
"Colore": consente di bilanciare automaticamente le sezioni chiare e scure delle immagini.
"Fase": consente di regolare le tonalità di colore dell'immagine.
"Nitidezza": consente di aumentare o ridurre la nitidezza dell'immagine.
"Riduz. disturbi": selezionare questa opzione per ridurre il livello di disturbo dell'apparecchio collegato. Per impostare il livello di disturbo, selezionare "No", "Basso", "Medio" o "Alto".
"CineMotion": selezionare "Automatico" per ottimizzare la visualizzazione a schermo in modo da rilevare automaticamente il contenuto del film e applicare un processo pull down 3-2 o 2-2 inverso. L'immagine in movimento apparirà più nitida e naturale. Selezionare "No" per disattivare il rilevamento.
"Immag. Dinamica": selezionare "Sì" per potenziare il contrasto rendendo più chiaro il bianco e più scuro il nero.
"Correz. gamma": consente di bilanciare le sezioni chiare e scure delle immagini. Selezionare "Alto", "Medio" o "Basso" per regolare le impostazioni.

Note

- "Opzione" può essere impostato solo se è presente un ingresso DVI.
- L'impostazione di gamma è conforme alla funzione GSDF (Grayscale Standard Display Function) degli standard DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine). Tuttavia, questa impostazione deve essere utilizzata esclusivamente a titolo di riferimento, e non può essere impiegata per attività di diagnostica medica.

"Temp. colore": consente di impostare la tonalità del bianco in base alle proprie preferenze. Le impostazioni predefinite di fabbrica sono regolate in base alla temperatura di colore.

“Fredda”: consente di ottenere colori bianchi con una tinta bluastra.
“Neutra”: consente di ottenere colori bianchi con una tinta neutra.
“Calda”: consente di ottenere colori bianchi con una tinta rossa.
“Personalizzato”: consente di impostare una gamma di tonalità di bianco più ampia rispetto a quelle riportate precedentemente.

Suggerimento

Consente di ripristinare le impostazioni predefinite selezionando “Ripristina” nella schermata di regolazione dei toni.

“Potenziam. lumin.”: consente di intensificare la luminosità dell’immagine.

Note

- Quando “Potenziam. lumin.” è impostato su “Sì”, non è possibile modificare le impostazioni “Retroillum”, “Contrasto”, “Luminosità” o “Temp. colore”.
- Quando “Potenziam. lumin.” è impostato su “Sì” e “Modo ECO” è impostato su “No”, la luminosità è al massimo.

“True Color Control”: è possibile regolare i dettagli relativi alla tonalità e alla saturazione di ciascuno dei 4 colori: rosso, verde, giallo e blu. È inoltre possibile evidenziare colori specifici nell’immagine.
Selezionando il colore che si desidera regolare, è possibile visualizzare e controllare la parte dell’immagine corrente che verrà regolata. Quindi, è possibile regolare la parte utilizzando la finestra di dialogo a matrice.

Note

- Questa opzione può essere regolata quando “Modo immagine” è impostato su “TC Control”.
- Nel modo “PAP” non è possibile selezionare questa opzione. Anche nel caso in cui si selezioni questa opzione nella schermata a immagine singola, è possibile che la relativa impostazione non venga applicata nel modo “PAP”

“Ripristina”: consente di ripristinare tutte le impostazioni predefinite di “Regolaz. Modo immagine”.

Note

- La voce “Fase” non è disponibile se viene selezionato l’ingresso Video o S Video e il sistema di colore del segnale video non è di tipo NTSC.
- “Immag. Dinamica” non è disponibile quando “Modo immagine” è impostato su “Conferenza” o “TC Control”.
- È possibile eseguire impostazioni e regolazioni per ciascun “Modo immagine” ma “Retroillum”, “Riduz. disturbi” e “CineMotion” sono comuni per tutti i “Modo immagine”.
- “Immag. Dinamica” e “CineMotion” non funzionano nel modo PAP.

Modo audio

È possibile regolare l’uscita dell’audio dai diffusori SS-SPG02 (non in dotazione) con varie impostazioni del “Modo audio”.
“Dinamico”: consente di potenziare gli acuti e i bassi.
“Standard”: impostazione standard.
“Personalizzato”: consente di memorizzare le impostazioni preferite.

Regolaz. Modo audio

“Acuti”: consente di aumentare o ridurre i suoni caratterizzati da toni alti.
“Bassi”: consente di aumentare o ridurre i suoni caratterizzati da toni bassi.
“Bilanciamento”: consente di enfatizzare il bilanciamento dei diffusori sinistro o destro.
“Surround”: consente di selezionare la modalità surround a seconda del tipo di immagine.
“No”: nessuna uscita surround.
“Hall”: se si desidera dare al suono stereo dei film e dei programmi musicali un maggior senso di presenza.
“Simulato”: se si desidera dare a comuni programmi monoaurali o ai telegiornali un intenso senso di presenza attraverso la simulazione del suono stereo.
“Ripristina”: consente di ripristinare tutte le impostazioni predefinite di “Regolaz. Modo audio”.

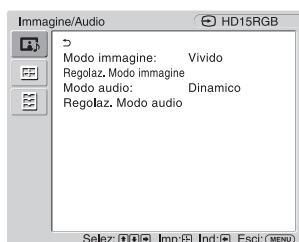
Suggerimenti

- È possibile modificare le impostazioni di “Regolaz. Modo immagine” (“Contrasto”, “Luminosità”, “Colore ”, e così via) per ciascun “Modo immagine”.
- È possibile regolare le impostazioni di “Regolaz. Modo audio” (“Acuti” e “Bassi”) quando “Modo audio” è impostato su “Personalizzato”.

Nota

Nel modo “PAP” è possibile regolare solo le impostazioni “Immagine/Audio” dell’immagine attiva.

IT

Per l'ingresso del PC

Se come sorgente di ingresso viene selezionato un PC, vengono visualizzate le impostazioni di "Immagine/Audio" specifiche dell'ingresso del PC.
Nel menu "Immagine/Audio" per l'ingresso del PC sono incluse le seguenti opzioni:

Modo immagine

"Vivido": consente di ottenere immagini con una nitidezza e un contrasto migliori.
"Standard": consente di regolare le impostazioni standard delle immagini.
"Personalizzato": consente di memorizzare le impostazioni preferite.
"Conferenza": consente di regolare la qualità dell'immagine per le videoconferenze in condizioni di luce fluorescente.
"TC Control": questa impostazione è comune con l'opzione "Vivido". È inoltre possibile utilizzare la funzione "True Color Control" (citata di seguito).

Suggerimento

Per alternare tra le opzioni di "Modo immagine", è inoltre possibile utilizzare PICTURE sul telecomando.

Note

- "Conferenza" potrebbe non essere efficace a seconda dell'ambiente o del sistema di videoconferenza in uso. In tal caso, regolare la qualità dell'immagine, passando ad un'altra impostazione del "Modo immagine" e così via.
- In "TC Control" "Potenziam. lumin." è impostato su No.

Regolaz. Modo immagine

"Retroillum": consente di aumentare o ridurre la luminosità dello schermo.
"Contrasto": consente di aumentare o ridurre il contrasto delle immagini.
"Luminosità": consente di aumentare o ridurre la luminosità dell'immagine.
"Correz. gamma": consente di bilanciare le sezioni chiare e scure delle immagini. Selezionare "Alto", "Medio" o "Basso" per regolare le impostazioni.

Note

- "Opzione" può essere impostato solo se è presente un ingresso DVI.
- L'impostazione di gamma è conforme alla funzione GSDF (Grayscale Standard Display Function) degli standard DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine). Tuttavia, questa impostazione deve essere utilizzata esclusivamente a titolo di riferimento, e non può essere impiegata per attività di diagnostica medica.

"Temp. colore": consente di impostare la tonalità del bianco in base alle proprie preferenze. Le impostazioni predefinite di fabbrica sono regolate in base alla temperatura di colore.

"Fredda": consente di ottenere colori bianchi con una tinta bluastra.
"Neutra": consente di ottenere colori bianchi con una tinta neutra.
"Calda": consente di ottenere colori bianchi con una tinta rossa.
"Personalizzato": consente di impostare una gamma di tonalità di bianco più ampia rispetto a quelle riportate precedentemente.

Suggerimento

Consente di ripristinare le impostazioni predefinite selezionando "Ripristina" nella schermata di regolazione dei toni.

"Potenziam. lumin.": consente di intensificare la luminosità dell'immagine.

Note

- Quando "Potenziam. lumin." è impostato su "Sì", non è possibile modificare le impostazioni "Retroillum", "Contrasto", "Luminosità" o "Temp. colore".
- Quando "Potenziam. lumin." è impostato su "Sì" e "Modo ECO" è impostato su "No", la luminosità è al massimo.

"True Color Control": è possibile regolare i dettagli relativi alla tonalità e alla saturazione di ciascuno dei 4 colori: rosso, verde, giallo e blu. È inoltre possibile evidenziare colori specifici nell'immagine.
Selezionando il colore che si desidera regolare, è possibile visualizzare e controllare la parte dell'immagine corrente che verrà regolata. Quindi, è possibile regolare la parte utilizzando la finestra di dialogo a matrice.

Note

- Questa opzione può essere regolata quando "Modo immagine" è impostato su "TC Control".
- Nel modo "PAP" non è possibile selezionare questa opzione. Anche nel caso in cui si selezioni questa opzione nella schermata a immagine singola, è possibile che la relativa impostazione non venga applicata nel modo "PAP"

"Ripristina": consente di ripristinare tutte le impostazioni predefinite di "Regolaz. Modo immagine".

Nota

È possibile eseguire impostazioni e regolazioni per ciascun "Modo immagine" ma "Retroillum" è comune per tutti i "Modo immagine".

Modo audio

È possibile regolare l'uscita dell'audio dai diffusori SS-SPG02 (non in dotazione) con varie impostazioni del "Modo audio".
"Dinamico": consente di potenziare gli acuti e i bassi.
"Standard": impostazione standard.
"Personalizzato": consente di memorizzare le impostazioni preferite.

Regolaz. Modo audio

"Acuti": consente di aumentare o ridurre i suoni caratterizzati da toni alti.
"Bassi": consente di aumentare o ridurre i suoni caratterizzati da toni bassi.
"Bilanciamento": consente di enfatizzare il bilanciamento dei diffusori sinistro o destro.
"Surround": consente di selezionare la modalità surround a seconda del tipo di immagine.

"No": nessuna uscita surround.
"Hall": se si desidera dare al suono stereo dei film e dei programmi musicali un maggior senso di presenza.
"Simulato": se si desidera dare a comuni programmi monoaurali o ai telegiornali un intenso senso di presenza attraverso la simulazione del suono stereo.

"Ripristina": consente di ripristinare tutte le impostazioni predefinite di "Regolaz. Modo audio".

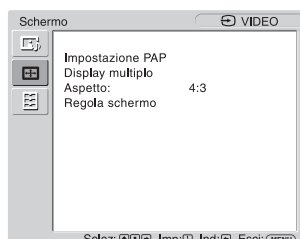
Suggerimenti

- È possibile modificare le impostazioni di "Regolaz. Modo immagine" ("Contrasto", "Luminosità", "Colore ", e così via) per ciascun "Modo immagine".
- È possibile regolare le impostazioni di "Regolaz. Modo audio" ("Acuti" e "Bassi") quando "Modo audio" è impostato su "Personalizzato".

Note

- "Colore", "Fase", "Nitidezza", "Riduz. disturbi", "CineMotion" e "Immag. Dinamica" non sono disponibili per l'ingresso del PC.
- Nel modo "PAP" è possibile regolare solo le impostazioni "Immagine/Audio" dell'immagine attiva.

Impostazioni Schermo

Per l'ingresso video

Per evidenziare un'opzione e modificare le impostazioni, premere ⇧/⇩/⇦/⇨.
Premere ⊕ per confermare la selezione.
Nelle impostazioni "Schermo" sono incluse le seguenti opzioni:

Impostazione PAP

Consente di visualizzare una accanto all'altra due immagini provenienti da sorgenti diverse, ad esempio da un PC e da un apparecchio video.

"**PAP**"

"No": consente di disattivare la funzione "PAP".
"P&P": consente di visualizzare contemporaneamente due immagini l'una di fianco all'altra.
"PinP": consente di visualizzare due immagini di cui una inserita nell'immagine principale.

Per P&P

"Immagine attiva": consente di selezionare lo schermo da utilizzare.
"Sinistra": è possibile attivare l'immagine a sinistra per utilizzarla.
"Destra": è possibile attivare l'immagine a destra per utilizzarla.
"Inverti": consente di invertire le due immagini fianco a fianco.

"Dimens. immagine": consente di regolare il bilanciamento tra due immagini affiancate. Regolare il bilanciamento premendo il tasto ⇦ o ⇨, quindi premere il tasto ⊕ per impostare la regolazione. (pagina 14)

Per PinP

"Immagine attiva": consente di selezionare lo schermo da utilizzare.
"Pricipale": è possibile attivare l'immagine principale per utilizzarla.
"Secondario": è possibile attivare l'immagine secondaria per utilizzarla.
"Inverti": consente di invertire le immagini principali e quelle secondarie.

"Dimens. immagine": consente di regolare le dimensioni dell'immagine inserita. Selezionare "Grande" o "Piccolo".

"Pozitione immagine": regolare la posizione dell'immagine inserita con i tasti ⇧/⇩/⇦/⇨, quindi premere ⊕.

Suggerimento

Nel modo "PAP", non è possibile modificare il rapporto di formato. L'immagine viene visualizzata nell'ultimo rapporto di formato utilizzato prima di selezionare il modo "PAP".

Combinazione disponibile di due immagini

		S Video	Video	RGB/YUV		DVI	OPTION			
				RGB	Component		RGB	Component	HDMI	HD-SDI/SDI
S Video				○	○	○	○	○	○	○
Video				○	○	○	○	○	○	○
RGB/YUV	RGB	○	○			○		○2)	○	○
	Component	○	○			○	○1)		○	○
DVI		○	○	○	○		○	○		

1) Supportato se "Display" è impostato su "YUV" o quando "Option" è impostato su "RGB" in "RGB/YUV".
2) Supportato se "Display" è impostato su "RGB" o quando "Option" è impostato su "YUV" in "RGB/YUV".

Suggerimento

L'uscita da BKM-FW50 viene considerata come l'uscita RGB mostrata nella tabella nel modo "PAP".

Display multiplo

Consente di definire le impostazioni per connettere molteplici schermi per formare una parete video.

"Display multiplo"

"No": consente di utilizzare una singola schermata.

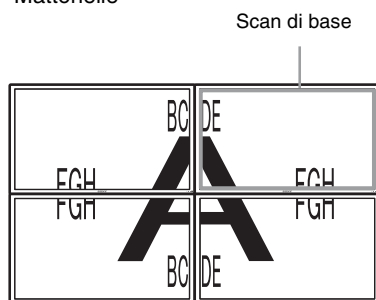
"2×2"/"3×3"/"4×4": impostazioni per il collegamento di più monitor, ad esempio 2, 3 o 4, sia verticalmente che orizzontalmente.

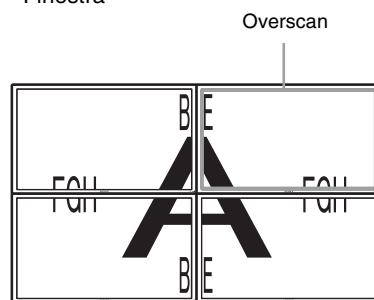
"1×2"/"1×3"/"1×4": impostazioni per il collegamento di più monitor, ad esempio 2, 3 o 4, orizzontalmente.

"2×1"/"3×1"/"4×1": impostazioni per il collegamento di più monitor, ad esempio 2, 3 o 4, verticalmente.

"Posizione": selezionare la posizione di ogni schermo nella disposizione della parete video attraverso i tasti ⇧/⇩/⇦/⇨. Premere ⊕ per impostare la posizione.

"Formato uscita": è possibile selezionare due formati di trasmissione delle immagini, come illustrato nelle figure. È sufficiente selezionare uno dei formati affinché venga effettuata la trasmissione adatta dell'immagine senza necessità di regolare manualmente le posizioni orizzontale e verticale. Selezionare "Mattonelle" o "Finestra".

"Mattonelle"

Per visualizzare il segnale completo su ciascun monitor.

"Finestra"

Per visualizzare su più monitor un'immagine di grandi dimensioni con un effetto naturale.
Parte del segnale si estende al di fuori dell'area di visualizzazione.

"LED": "Sì" per impostare l'indicatore ⏻ sul pannello anteriore (pagina 7) in modo che rimanga costantemente illuminato e "No" in modo che l'indicatore ⏻ sul pannello anteriore rimanga disattivato.

Note

- Mediante l'opzione "Display multiplo", è possibile visualizzare un'immagine ingrandita mantenendo in modo ottimale l'impostazione "Aspetto" corrente per l'ingresso video, nonché visualizzare un'immagine ingrandita per cui "Aspetto" è impostato su "Pieno 2" per l'ingresso PC.
- È possibile impostare "Display multiplo" solo se la funzione "PAP" è disattivata.
- Se è stata selezionata una "Posizione" inferiore destra, l'indicatore ⏻ si illumina anche se l'opzione "LED" viene impostata su "No". L'indicatore si illumina anche nei seguenti casi: monitor disattivato (attesa), errori rilevati, monitor in modo di sospensione, nessun segnale trasmesso o segnale trasmesso non supportato.

Aspetto

“Zoom largo”: selezionare questa opzione per ingrandire le immagini in modo da riempire lo schermo causando solo una distorsione minima.
“Zoom”: consente di ingrandire le immagini originali senza causare alcuna distorsione del rapporto di formato. Vedere pagina 13.
“Pieno”: consente di ingrandire le immagini originali orizzontalmente in modo da riempire lo schermo qualora la sorgente di origine sia di tipo 4:3 (sorgente a definizione standard). Se la sorgente di origine è di tipo 16:9 (sorgente ad alta definizione), selezionare questo modo per visualizzare le immagini con rapporto di formato 16:9 nelle dimensioni originali.
“4:3”: consente di visualizzare tutte le immagini nelle dimensioni originali nel rapporto di formato 4:3.

Suggerimenti
- Per alternare tra le opzioni di “Aspetto”, è anche possibile utilizzare sul telecomando.
- Selezionare “Zoom” per visualizzare i filmati e altro contenuto dei DVD utilizzando l’intera area di visualizzazione dello schermo.

Nota

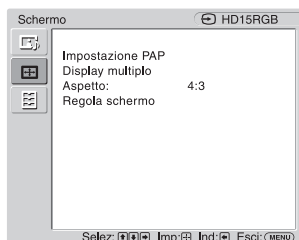
Non è possibile impostare “Aspetto” durante l’uso della funzione “PAP” o dell’opzione “Display multiplo”.

Regola schermo

“Dim. orizz.”: consente di regolare le dimensioni dell’immagine orizzontalmente. Premere ⇦/⇨ e premere ⊕ per selezionare una correzione.
“Posiz. orizz.”: consente di spostare la posizione dell’immagine a sinistra e a destra dello schermo. Premere ⇦/⇨ e premere ⊕ per selezionare una correzione.
“Dim. vert.”: consente di regolare le dimensioni dell’immagine verticalmente. Premere ⇧/⇩ e premere ⊕ per selezionare una correzione.
“Posiz. vert.”: consente di spostare la posizione dell’immagine in alto e in basso nello schermo. Premere ⇧/⇩ e premere ⊕ per selezionare una correzione.
“Ripristina”: consente di ripristinare tutte le impostazioni predefinite di “Regola schermo”.

Note

- “Regola schermo” non è disponibile quando viene utilizzata la funzione “PAP”.
- Se non è in corso la trasmissione di un segnale, le opzioni del menu “Schermo” non sono disponibili, ad eccezione di “Impostazione PAP” e “Display multiplo”.

Per l’ingresso del PC

Se come sorgente di ingresso viene selezionato un PC, vengono visualizzate le impostazioni “Schermo” specifiche dell’ingresso del PC.
Nel menu “Schermo” per l’ingresso del PC sono incluse le seguenti opzioni:

Impostazione PAP

Per l’ingresso video, vedere la voce “Impostazione PAP” (pagina 24).

Display multiplo

Per l’ingresso video, vedere la voce “Display multiplo” (pagina 25).

Aspetto

“Pieno 1”: consente di ingrandire le immagini in modo da riempire l’area di visualizzazione in senso verticale, mantenendo il rapporto di formato da orizzontale a verticale originale. Sui bordi dell’immagine appare una cornice nera.
“Pieno 2”: consente di ingrandire le immagini in modo da riempire l’area di visualizzazione.
“Reale”: selezionare per visualizzare l’immagine nel suo originale numero di punti.

Note

- Non è possibile impostare “Aspetto” durante l’uso della funzione “PAP” o della funzione “Display multiplo”.
- Se la risoluzione di ingresso è maggiore rispetto alla risoluzione dello schermo (1.920 × 1.080), la visualizzazione “Reale” corrisponde a “Pieno 1”.

Regola schermo

“Regolaz. automatica”: selezionare “Esegui” per regolare automaticamente la posizione dello schermo e la fase dell’immagine quando lo schermo riceve un segnale di ingresso dal PC collegato.
Si noti che “Regolaz. automatica” potrebbe non funzionare correttamente con alcuni segnali di ingresso. In questi casi, regolare manualmente le opzioni riportate di seguito.
“Fase”: consente di regolare la fase nel caso si verifichino sfarfallii.
“Passo”: consente di regolare il passo qualora sull’immagine vengano visualizzate strisce verticali indesiderate.

Suggerimento

Le voci “Regolaz. automatica,” “Fase”, e “Passo” non sono disponibili con un segnale digitale, quale ad esempio DVI.

“Dim. orizz.”: consente di regolare le dimensioni dell’immagine orizzontalmente. Premere ⇦/⇨ e premere ⊕ per selezionare una correzione.
“Posiz. orizz.”: consente di spostare la posizione dell’immagine a sinistra e a destra dello schermo. Premere ⇦/⇨ e premere ⊕ per selezionare una correzione.
“Dim. vert.”: consente di regolare le dimensioni dell’immagine verticalmente. Premere ⇧/⇩ e premere ⊕ per selezionare una correzione.
“Posiz. vert.”: consente di spostare la posizione dell’immagine in alto e in basso nello schermo. Premere ⇧/⇩ e premere ⊕ per selezionare una correzione.
“Ripristina”: consente di ripristinare tutte le impostazioni predefinite di “Regola schermo”.

Nota

Se non è in corso la trasmissione di un segnale, le opzioni del menu “Schermo” non sono disponibili, ad eccezione di “Impostazione PAP” e “Display multiplo”.

Impostazioni della schermata Impostazione

Per evidenziare un'opzione e modificare le impostazioni, premere ⇧/⇩/⇦/⇨.
Premere ⊕ per confermare la selezione.
Nelle impostazioni "Impostazione" sono incluse le seguenti opzioni:

Lingua

Consente di visualizzare tutte le impostazioni nella lingua selezionata: "English", "Français", "Deutsch", "Español", "Italiano" o "日本語".

Impostazione timer

È possibile regolare l'ora, visualizzare l'orologio incorporato oppure impostare il timer affinché il monitor si accenda/spenga ad un'ora preimpostata.

"Impostaz. ora": consente di impostare il giorno della settimana e l'ora.

"Impostaz. data": consente di impostare la data (anno, mese, giorno). Il giorno viene impostato automaticamente.

"Impostaz. ora": consente di impostare l'ora.

"Display ora": consente di visualizzare l'ora corrente sullo schermo se questa voce è impostata su "Sì", premendo il tasto di visualizzazione sul telecomando.

"Timer sì/no": consente di impostare il giorno della settimana e l'ora.

Nota

Se l'orologio incorporato tende a non funzionare correttamente, è possibile che la pila interna sia scarica. Per la sostituzione della batteria, rivolgersi ad un rivenditore Sony autorizzato.

Modo ECO

"No": consente di visualizzare le immagini senza utilizzare la funzione di risparmio energetico.

"Basso"/"Alto": consente di visualizzare le immagini riducendo il consumo energetico.

Display di stato

"Sì" consente di visualizzare per circa 5 secondi il segnale di ingresso e le informazioni dell' "Aspetto" all'accensione del monitor e per circa 5 secondi le informazioni sul segnale di ingresso quando questo viene cambiato, mentre "No" consente di disattivare la visualizzazione delle informazioni di stato.

Suggerimento

È possibile visualizzare il segnale di ingresso e le informazioni relative ad "Aspetto" utilizzando DISPLAY sul telecomando, indipendentemente dall'impostazione di "Display di stato".

Uscita diffusori

"Sì": consente di trasmettere l'audio dai diffusori.

"No": consente di disattivare l'audio trasmesso dai diffusori.

Impost. avanzate

"Impostaz. controllo": consente di regolare le impostazioni di funzionamento del monitor e del telecomando.

"Numero indice": se necessario, è possibile cambiare il numero indice del display. Per impostare il numero indice del monitor selezionare ⇧/⇩ e premere ⊕ (ENTER) per confermare l'impostazione.

Nota

Per l'impostazione del "Numero indice", utilizzare i tasti sul monitor. Non è possibile impostare il "Numero indice" mediante il telecomando.

"Modo controllo"

"Display+Telecom.": è possibile utilizzare il monitor tramite i tasti di comando sul monitor e sul telecomando.

“Solo display”: consente di disattivare l’uso del telecomando. È possibile regolare le impostazioni del monitor soltanto utilizzando i tasti di controllo sull’apparecchio.
“Solo telecom.”: consente di disattivare i comandi sull’apparecchio. È possibile regolare le impostazioni del monitor soltanto utilizzando il telecomando.

Nota

Durante l’uso di questa voce, i modi selezionabili variano in base alla selezione effettuata sul telecomando o sul monitor. Se per l’impostazione viene utilizzato ⊕ sul telecomando, è possibile selezionare soltanto “Display+Telecom.” o “Solo telecom.”. Se per l’impostazione viene utilizzato ✛ (ENTER) sul monitor, è possibile selezionare soltanto “Display+Telecom.” o “Solo display”.

“Reg. auto schermo”

“Sì”: impostazioni quali dimensione dell’immagine e posizione sono salvate per ogni segnale di ingresso e le ultime impostazioni vengono applicate automaticamente ogni volta in cui i segnali di ingresso vengono cambiati.
“No”: “Reg. auto schermo” è disattivata anche quando i segnali di ingresso vengono modificati e vengono applicate le impostazioni predefinite.

“Spegnimento autom.”:

“Sì”: nel caso non venga immesso alcun segnale ai connettori di ingresso Video o S Video per oltre 5 minuti circa, il monitor entra automaticamente nel modo di attesa. Se non viene immesso alcun segnale ai connettori di ingresso DVI o HD15 (RGB/Componente) per oltre 30 secondi circa, il monitor entra automaticamente nel modo di risparmio energetico.
“No”: il monitor non si spegne automaticamente, anche se ai connettori non viene trasmesso alcun segnale.

Suggerimenti

- Per accendere il monitor nel modo di attesa, premere l’interruttore ⏻ (POWER) posto sul monitor oppure il tasto POWER ON sul telecomando. Nel modo di risparmio energetico, il monitor si accende automaticamente all’immissione di un segnale.
- Questa funzione non è disponibile quando “Logo a schermo” è impostato su “Sì”, se è stata attivata la funzione salva schermo o è selezionato il modo PAP.

“Sovrascansione”: consente di selezionare se visualizzare le immagini con sovrascansione o sottoscansione.

“Automatico”: consente di impostare automaticamente l’immagine del segnale da DTV ad immagine con sovrascansione.
“Sì”: visualizza l’immagine con sovrascansione.
“No”: visualizza l’immagine con sottoscansione.

Nota

Se la voce “Sovrascansione” è impostata su “No”, è possibile che l’immagine del segnale DTV sia visualizzata come immagine del segnale PC.
Esempio: 480P → 720 × 480/60

“Modo sincron.”: imposta il modo a seconda del segnale di ingresso del piedino 13 del connettore HD15 (RGB/COMPONENT) IN.

“O/Comp.”: selezionare quando il segnale in ingresso è sincrono orizzontale o sincrono composito.
“Video”: selezionare questa opzione quando viene immesso un segnale video.

Note

- “Modo sincron.” è disponibile solo se il segnale RGB analogico in ingresso viene trasmesso tramite il connettore HD15.
- A seconda del livello del segnale composito sincrono l’immagine potrebbe non essere visualizzata correttamente. In questo caso, modificare l’impostazione “Modo sincron.”.
- Vi sono alcuni ingressi per i quali possono essere selezionati solo i segnali di sincronizzazione. In questo caso immettere segnali di sincronizzazione orizzontale/verticale attraverso i piedini 13 o 14 dei connettori.
- Non è possibile attivare le impostazioni del “Modo sincron.” per l’ingresso tramite adattatori opzionali.

IT

- Questo monitor non supporta i tre valori dei formati sincronici di 576/60p.
- Quando è selezionato “Video” in “Modo sincron.”, è possibile impostare solo i segnali 575/50i e 480/60i.
- Se per l’impostazione del modo di sincronizzazione viene selezionato il segnale video, non è possibile utilizzare la funzione PAP.

“RGB/YUV”

“Display”/“Option”: consente di impostare il tipo di segnale per un apparecchio video o PC collegato al terminale HD15 (RGB/COMPONENT) del monitor o al terminale 5BNC (RGB/COMPONENT) di un adattatore opzionale.

“Automatico”: consente di scegliere tra il segnale di ingresso RGB analogico e il segnale di ingresso componente di un apparecchio collegato.

“RGB”: consente di selezionare un segnale di ingresso RGB analogico proveniente da un apparecchio collegato.

“YUV”: consente di scegliere un segnale di ingresso componente da un apparecchio collegato.

Nota

Selezionare l’opzione “RGB” per la trasmissione di segnali RGB utilizzando un segnale composito sincrono.

Suggerimento

Per la combinazione disponibile di due immagini, vedere a pagina 24.

“Standard colore”: selezionare il sistema di colore dei segnali video: “Automatico”, “NTSC”, “NTSC4.43”, “PAL”, “PAL-M”, “PAL-N” o “PAL60”. Selezionare “Automatico” per impostare il sistema di colore automaticamente.

Nota

“Standard colore” non è disponibile per l’ingresso del PC.

“Salva schermo”: questa impostazione consente di impedire o ridurre il fenomeno delle immagini residue che può verificarsi in seguito alla visualizzazione prolungata sul monitor della stessa immagine.

“All White”: consente di visualizzare una schermata completamente bianca (viene disattivato automaticamente dopo circa 30 minuti e il monitor passa in modalità standby).

“Sweep”: consente di fare scorrere una barra bianca sulla schermata.

“Standby”: il salva schermo funziona in modo di attesa (pagina 7) per il tempo specificato in “Impostazione timer” (il monitor è oscurato quando il salva schermo è attivo). Quando il salva schermo viene disattivato, viene ripristinato il modo di attesa normale.

“Logo”: consente di attivare l’illuminazione del logo Sony sulla parte anteriore dell’apparecchio.

“Posizione”: è possibile impostare il logo in modo che rimanga costantemente illuminato nella parte inferiore dello schermo regolando il metodo di impostazione dell’apparecchio su “Automatico,” “Paesaggio,” e “Ritratto.”. Selezionando “Automatico”, viene automaticamente selezionata l’opzione Paesaggio o Ritratto.

“Illuminazione”: selezionare “No” per disattivare l’illuminazione del logo. Selezionare “Basso” e “Alto” per regolare la luminosità.

“Logo a schermo”

“Sì”: viene visualizzato il logo del nome del modello se non viene immesso alcun segnale.

“No”: il logo del nome del modello non viene visualizzato se non viene immesso alcun segnale.

“Porta di rete”: selezionare la porta di rete per utilizzare il display con il telecomando.

“No”: selezionare quando non si utilizza la porta di rete. È possibile ridurre il consumo energetico nella modalità di attesa.

“Display”: consente di definire le impostazioni del display da un PC connesso al connettore REMOTE (LAN) del monitor. (pagina 34)

“Option”: consente di definire le impostazioni del monitor da un PC collegato al connettore REMOTE o al connettore LAN dello slot OPTION. (pagina 34)

“IP Address Setup”: imposta un indirizzo IP per permettere la comunicazione tra il connettore REMOTE (LAN) del monitor o l’adattatore opzionale e gli apparecchi collegati come un PC collegato con il cavo LAN.
“Speed Setup”: imposta una velocità di comunicazione tra il connettore REMOTE (LAN) del display o l’adattatore opzionale e gli apparecchi collegati come un PC collegato con il cavo LAN.
“Attiva ritardo”: consente di impostare il tempo che deve trascorrere prima dell’accensione. Si può scegliere tra No, e un tempo compreso tra 1 e 120 secondi. Ciò determina un’improvvisa fluttuazione del carico sui dispositivi di alimentazione quando sono collegati più apparecchi.

Suggerimento

Per maggiori dettagli su come definire le impostazioni di “IP Address Setup” e “Speed Setup”, vedere il paragrafo “Operazioni preliminari per l’uso delle Funzioni di rete” (pagina 32).

Informazioni

Consente di visualizzare il “Data”, “Nome modello”, “Numero di serie”, “Tempo funzionam.”, “Vers. software” e l’ “IP Address” del monitor. Quando è installato l’adattatore opzionale BKM-FW50, viene visualizzato “Player IP Address” (indirizzo IP per riproduzione di foto e filmati). Per ulteriori informazioni, consultare il manuale delle istruzioni del BKM-FW50.

Ripristina tutto

Consente di ripristinare tutte le regolazioni e le impostazioni sui valori predefiniti.

Nota

Le voci dell’opzione “Informazioni” e il “Numero indice” non vengono ripristinati.

Operazioni preliminari per l'uso delle Funzioni di rete

Precauzioni

- Le caratteristiche tecniche del software del presente apparecchio sono soggette a modifiche senza preavviso per il miglioramento del prodotto.
- Le illustrazioni contenute nel presente manuale potrebbero differire leggermente dalle schermate effettive del software in dotazione.
- Per motivi di sicurezza, collegare la porta di questo apparecchio solo ad una rete dove non vi sia pericolo di tensione eccessiva o sovratensione.
- Le procedure descritte nel presente manuale sono garantite solo per l'uso nelle seguenti condizioni ambientali.

  Sistema operativo:

  Microsoft Windows XP/Windows Vista

  Browser:

  Microsoft Internet Explorer 6.0 o versione successiva
- Per garantire la sicurezza in rete, si consiglia di impostare un nome utente e una password. Per informazioni su come effettuare queste impostazioni, vedere la sezione "Schermata Impostazione" (pagina 35).

  Per le impostazioni di sicurezza, rivolgersi all'amministratore di rete.

Assegnazione di un indirizzo IP

È possibile collegare il monitor alla rete utilizzando il cavo LAN 10BASE-T/100BASE-TX.
Quando il dispositivo viene collegato alla rete LAN, gli indirizzi IP del monitor possono essere impostati mediante uno dei due metodi seguenti. Per ulteriori informazioni sulla selezione dell'indirizzo IP, rivolgersi all'amministratore della rete.

- Assegnazione di un indirizzo IP fisso al monitor
  Normalmente, utilizzare questo metodo.
  Nell'impostazione predefinita, il monitor è impostato per ottenere automaticamente un indirizzo IP.
- Ottenimento automatico di un indirizzo IP
  Se la rete a cui viene collegato il monitor è dotata di un server DHCP, è possibile che un indirizzo IP venga assegnato automaticamente dal server stesso.
  Si noti che in questo caso l'indirizzo IP potrebbe cambiare ad ogni accensione del monitor in cui è installato il display.

Prima di assegnare l'indirizzo IP, collegare il cavo LAN al monitor per stabilire la connessione di rete. Dopo circa 30 secondi, accendere il monitor e iniziare a definire le impostazioni desiderate.

- Microsoft e Windows sono marchi di fabbrica registrati di Microsoft Corporation negli Stati Uniti d'America e/o in altri paesi.
- Tutti gli altri nomi di prodotti o aziende citati nel presente manuale sono marchi di fabbrica o marchi di fabbrica registrati dei rispettivi proprietari.

Assegnazione di un indirizzo IP fisso al monitor

1 Premere MENU per visualizzare il menu principale.

2 Selezionare "Impostazione" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

3 Selezionare "Impost. avanzate" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

4 Selezionare "IP Address Setup" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

5 Selezionare "Manual" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

6 Selezionare una voce da impostare tra "IP Address", "Subnet Mask", "Default Gateway", "Primary DNS", "Secondary DNS" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

7 Impostare le tre cifre (da 0 a 255) per ognuno dei quattro riquadri con ⇧/⇩ presente sul monitor o con la tastiera numerica del telecomando e premere ⊕ o ⇨.

8 Impostare le tre cifre (da 0 a 255) per ognuno dei quattro riquadri e premere ⊕. Ripetere la stessa procedura indicata al punto 6 e selezionare la voce successiva da impostare con ⇧/⇩ e premere ⊕.

9 Dopo aver impostato i valori per tutte le voci desiderate, selezionare "Execute" con ⇧/⇩, quindi premere ⊕.

Selezionare "Execute" e premere ⊕. Un indirizzo IP è stato impostato manualmente.
Quando viene selezionato "Cancel", l'impostazione torna sui valori iniziali.

Ottenimento automatico di un indirizzo IP

1 Premere MENU per visualizzare il menu principale.

2 Selezionare "Impostazione" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

3 Selezionare "Impost. avanzate" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

4 Selezionare "IP Address Setup" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

5 Selezionare "DHCP" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

Selezionare "Execute" e premere ⊕. Un indirizzo IP è stato impostato automaticamente.
Quando viene selezionato "Cancel", l'impostazione non viene eseguita.

Nota

Se un indirizzo IP non viene impostato correttamente i seguenti codici di errore verranno visualizzati insieme alla causa dell'errore.
Errore 1: Errore di comunicazione
Errore 2: l'indirizzo IP specificato è già in uso per un altro dispositivo
Errore 3: errore relativo all'indirizzo IP
Errore 4: errore relativo all'indirizzo gateway
Errore 5: errore relativo all'indirizzo DNS primario
Errore 6: errore relativo all'indirizzo DNS secondario
Errore 7: errore relativo alla subnet mask

Controllo dell'indirizzo IP assegnato automaticamente

1 Premere MENU per visualizzare il menu principale.

2 Selezionare "Impostazione" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

3 Selezionare "Informazioni" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

4 Selezionare "IP Address" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

Viene visualizzato l'indirizzo IP attualmente acquisito.

Suggerimento

Se non è possibile acquisire correttamente un indirizzo IP, in "Informazioni" e in "Manual" sotto "IP Address Setup" verrà visualizzato l'indirizzo IP acquisito precedentemente.

Impostazione di una velocità di comunicazione

1 Premere MENU per visualizzare il menu principale.

2 Selezionare "Impostazione" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

3 Selezionare "Impost. avanzate" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

4 Selezionare "Speed Setup" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

5 Selezionare una velocità di comunicazione desiderata da impostare tra "Auto", "10Mbps Half", "10Mbps Full", "100Mbps Half" o "100Mbps Full" con ⇧/⇩ e premere ⊕.

Se viene selezionato "Auto", viene automaticamente impostata una velocità di comunicazione appropriata alla configurazione della rete in uso.

6 Selezionare "Execute" con ⇧/⇩ e premere ⊕ per far sì che l'impostazione venga applicata.

Funzionamento del PC

Controllo del monitor

È possibile effettuare varie impostazioni del monitor mediante le schermate del PC.
Assicurarsi che il monitor, il PC e il router o l'hub siano collegati correttamente mediante il cavo di rete. Quindi attivare il monitor, il PC e il router o l'hub.
Sono disponibili quattro schermate, suddivise in base alla funzione: schermata Information (Informazioni), schermata Configure (Configurazione), schermata Control (Controllo) e schermata Setup (Inpostazione).
Per ulteriori dettagli sulla funzione dei pulsanti, si vedano le istruzioni per ogni funzione del monitor.

1. Avviare il browser del PC (Internet Explorer 6.0 o versione successiva).
2. Inserire l'indirizzo IP che è stato assegnato al monitor nella pagina precedente come "http://xxx.xxx.xxx.xxx", quindi premere il tasto ENTER sulla tastiera.
   Se sono stati impostati un nome utente e una password, verrà visualizzata la schermata "Network Password" (Password di rete). Immettere il nome utente e la password precedentemente impostati, quindi passare al punto successivo.
3. Fare clic sulla scheda relativa alla funzione nella parte superiore della schermata e selezionare la schermata desiderata.

Impostazione delle voci nelle rispettive schermate

Durante l'uso della funzione LAN del monitor

Schermata Information (Informazioni)

In questa schermata sono visualizzati il nome del modello, il numero di serie e altre informazioni relative al monitor, nonché lo stato dell'alimentazione e la selezione del segnale di ingresso.
In questa schermata vengono solo visualizzate informazioni. Non vi sono voci impostabili.

Schermata Configure (Configurazione)

Timer
Consente di impostare il timer.
Una volta effettuata l'impostazione, fare clic su "Apply" (Applica).

Screen Saver (Salva schermo)
Consente di impostare la funzione salva schermo.
Una volta effettuata l'impostazione, fare clic su "Apply" (Applica).

Picture and Picture (Immagine e immagine)
Consente di impostare la funzione Picture and Picture.
Una volta effettuata l'impostazione, fare clic su "Apply" (Applica).

Nota

Prima di impostare la funzione "Timer", è necessario configurare la data e l'ora nella schermata Impostazione (pagina 35).

Schermata Control (Controllo)

POWER
Consente di accendere o spegnere il monitor.

INPUT
Consente di selezionare il segnale di ingresso.

PICTURE MODE
Consente di selezionare il modo immagine.

ASPECT
Consente di selezionare il rapporto di formato dell'immagine.

Tasti Contrast (Contrasto) +/–
Per la regolazione del contrasto dello schermo.

Tasti Brightness (Luminosità) +/–
Per la regolazione della luminosità dell'immagine.

Tasti Chroma (Colore) +/–
Per la regolazione dell'intensità del colore.

Tasti Phase (Fase) +/–
Per la regolazione del bilanciamento del colore.

Pulsante Reset (Ripristina)
Ripristina i valori predefiniti delle impostazioni di "Contrasto" e "Fase".

Note

- Se il segnale di ingresso è Video o S Video e il sistema di colore del segnale video non è NTSC, "Fase" non è disponibile.
- "Colore" e "Fase" non sono disponibili per l'ingresso del PC.
- L'impostazione "Normale" di ASPECT corrisponde a "4:3" per l'ingresso video oppure a "Reale" per l'ingresso del PC.

Schermata Setup (Inpostazione)

Questa schermata consente di impostare la Network password (password di rete). Di seguito sono riportate le impostazioni predefinite:

Name: root
Password: pudadm

Dopo avere apportato le modiche o immesso le informazioni, nella parte inferiore di ciascuna schermata fare clic su "Apply" (Applica) per attivare le impostazioni.
Nei campi di testo non è possibile utilizzare i caratteri speciali.

Owner Information (Informazioni sull'utente)

Owner (Utente)
In questo campo, immettere le informazioni relative all'utente.

Display Location (Posizione display)
In questo campo, immettere le informazioni relative alla posizione di installazione del monitor.

Nota

Non utilizzare spazi per l'immissione delle informazioni. Diversamente, è possibile che il nome del file non venga visualizzato correttamente.

Memo (Promemoria)
In questo campo, è possibile immettere informazioni aggiuntive.

Time (Ora)

Time (Ora)
In questo campo, inserire l'ora, il giorno della settimana, l'anno, il mese e il giorno.

Network (Rete)

Internet Protocol (TCP/IP) (Protocollo Internet (TCP/IP))
Selezionare "Specify an IP address" (Specifica un indirizzo IP) per immettere ogni valore nella stringa numerica dell'indirizzo IP.
Selezionare "Obtain an IP address (DHCP)" (Ottieni un indirizzo IP tramite DHCP) per acquisire un indirizzo IP automaticamente dal server DHCP. Si noti che in questo caso l'indirizzo IP potrebbe cambiare ad ogni accensione del monitor in cui è installato il display.

Nota

L'indirizzo IP può essere impostato dal menu del monitor. Per ulteriori informazioni, vedere "IP Address Setup" (pagina 31).

Password
È possibile immettere le informazioni su nome e password di amministratore e utente. Il nome dell'amministratore è impostato su "root" in modo permanente.
Ciascuna voce può contenere un massimo di 8 caratteri.
Una volta impostati un nome utente e una password, viene visualizzata la schermata "Network Password" (Password di rete) quando viene richiamata la schermata di controllo del display. Per garantire la sicurezza in rete, si consiglia di impostare un nome utente e una password.

Mail Report (Report posta elettronica)

Error Report (Rapporto degli errori)
Se si verifica un errore della funzione del monitor, il sistema invia immediatamente una notifica mediante un messaggio di posta elettronica (notifica di errore).

Status Report (Rapporto dello stato)
Lo stato del monitor può essere riportato tramite e-mail a seconda della fascia oraria selezionata.

Address (Indirizzo)
In questo campo, immettere l'indirizzo e-mail del destinatario. La notifica di errore può essere inviata a quattro indirizzi contemporaneamente. Ogni indirizzo può essere costituito da un massimo di 64 caratteri.

Mail Account (Account di posta elettronica)

Mail Address (Indirizzo di posta elettronica):
Immettere l'indirizzo di posta elettronica assegnato.
L'indirizzo può essere costituito da un massimo di 64 caratteri.
Outgoing Mail Server (SMTP) (Server di posta in uscita SMTP):
Immettere l'indirizzo del server di posta elettronica.
L'indirizzo può essere costituito da un massimo di 64 caratteri.

Requires the use of POP Authentication before Send e-mail (POP before SMTP) (Richiesta dell'autenticazione POP prima dell'invio del messaggio di posta elettronica (POP prima di SMTP)):
Se prima di stabilire la connessione al server SMTP è necessaria l'autenticazione POP, selezionare questa casella di controllo.
Incoming Mail Server (POP3) (Server posta in arrivo (POP3)):
In questo campo immettere l'indirizzo del server POP3 se viene utilizzata l'autenticazione POP per l'impostazione "POP before SMTP".
Account Name (Nome account):
Immettere il nome dell'account di posta elettronica.
Password:
Immettere la password di posta elettronica.
Send Test Mail (Invia messaggio di prova):
Per verificare se la posta arriva senza problemi all'indirizzo o agli indirizzi specificati, selezionare questa casella di controllo, quindi fare clic su "Apply" (Applica). Verrà inviato un messaggio di posta elettronica di prova.

Nota

Se una delle voci riportate di seguito non è impostata o se non è impostata correttamente, viene visualizzato un messaggio di errore e il messaggio di posta elettronica di prova non viene inviato:

- Indirizzo di destinazione
- Indirizzo dell'account di posta elettronica e indirizzo del server di posta elettronica (SMTP)

Advanced (Impost. avanzate)
Consente di definire le impostazioni avanzate necessarie per utilizzare vari software applicativi in rete. Effettuare le impostazioni come richiesto dai rispettivi software applicativi.

Advertisement (Pubblicità)
Consente di impostare le funzioni di pubblicità e trasmissione in rete.

ID Talk
Consente di impostare la funzione ID Talk. ID Talk è un protocollo che consente il controllo in rete del monitor. Le voci controllate includono varie impostazioni e regolazioni, quali la temperatura e la gamma di colore. Per informazioni sui comandi ID Talk supportati, rivolgersi ad un rivenditore Sony.

SNMP
Il monitor è un dispositivo di rete che supporta il protocollo SNMP (Simple Network Management Protocol). Oltre a MIB-II standard, viene inoltre supportato Sony Enterprise MIB. Questa schermata consente di effettuare le impostazioni relative a SNMP.
Per informazioni sui comandi SNMP supportati, rivolgersi ad un rivenditore Sony.

Ripristino delle impostazioni predefinite
Per ripristinare tutte le impostazioni definite nella schermata "Setup" sui valori predefiniti, ripristinare le impostazioni predefinite assegnando l'impostazione "Ripristina tutto" e, successivamente, assegnare di nuovo alla rete le impostazioni appropriate.

Guida alla soluzione dei problemi

Verificare se l'indicatore ⏻ lampeggia in rosso.

Se lampeggia

La funzione di autodiagnostica è attivata.

1. Verificare il numero di volte in cui l'indicatore ⏻ lampeggia e l'intervallo di tempo in cui smette di lampeggiare.
   Ad esempio, l'indicatore lampeggia 2 volte, smette di lampeggiare per 3 secondi, quindi lampeggia 2 volte.
2. Premere ⏻ (POWER) sul monitor e l'interruttore di alimentazione principale per disattivarlo, quindi scollegare il cavo di alimentazione.
   Rivolgersi al proprio rivenditore di fiducia o ad un centro di assistenza Sony riferendo le informazioni sull'indicatore (numero di lampeggiamenti e intervalli).

Se non lampeggia

1. Controllare la tabella riportata di seguito.
2. Se il problema persiste, fare riparare il monitor da personale qualificato.

Problema	Soluzioni possibili
L'interruttore di alimentazione e i tasti di comando sul monitor non funzionano.	• Verificare "Impostaz. controllo" (pagina 28).
Il monitor non si accende anche se l'interruttore ⏻ (POWER) è acceso (posizione ON) e il tasto POWER ON sul telecomando è acceso.	• Verificare che l'interruttore di alimentazione principale non sia in posizione "OFF". (pagina 9)
Non viene emesso nessun segnale video dal terminale HD15 (RGB/ COMPONENT) OUT.	• Quando l'apparecchio è in modo di attesa o l'alimentazione in corrente alternata è disattivata, il segnale di uscita HD15 (RGB/ COMPONENT) OUT non viene emesso.
Non viene emesso alcun segnale dal terminale HD-SDI OUT del BKM-FW16.	• Quando l'apparecchio è in modo di attesa o l'alimentazione in corrente alternata è disattivata, il segnale di uscita HD-SDI OUT non viene emesso.
Le immagini non vengono visualizzate.	
Le immagini non vengono visualizzate.	• Verificare il collegamento tra l'apparecchio video e il monitor. • Controllare le impostazioni di "RGB/YUV" (pagina 30). • Impostare l'ingresso utilizzando il tasto INPUT del monitor o il telecomando (pagina 9, 11).
Il monitor si disattiva automaticamente.	• Verificare se "Impostazione timer" è attivato (pagina 28). • Controllare se la funzione "Spegnimento autom." è impostata su "Sì" (pagina 29). • Controllare se la temperatura ambiente è superiore a 35°C.

Problema	Soluzioni possibili
Qualità scarsa delle immagini.	
Assenza di colore/Immagine scura/Immagine eccessivamente chiara/Colori errati./L’immagine diventa gradualmente scura/L’immagine è disturbata dalla comparsa di linee orizzontali	• Premere PICTURE per selezionare il “Modo immagine” desiderato (pagina 11). • Regolare le opzioni del “Modo immagine” nel menu “Immagine/Audio” (pagina 20, 22). • Verificare le condizioni del cavo del segnale. • Controllare se la temperatura ambiente è superiore a 35°C. • Controllare le impostazioni di “Modo ECO” (pagina 28). • Quando non è collegato alcun dispositivo video, non collegare un cavo video o un connettore di conversione al terminale VIDEO OUT. Le aree bianche dell’immagine sarebbero troppo chiare perché il segnale di visualizzazione è privo di terminazione.
Tutto lo schermo ha una colorazione verdastra o violacea.	• Verificare che le impostazioni di “RGB/YUV” non siano state eseguite in modo scorretto (pagina 30).
Assenza di audio/Audio disturbato.	
È possibile visualizzare le immagini, ma l’audio non viene trasmesso.	• Verificare la regolazione del volume. • Premere 🔇 sul telecomando oppure ◿+ affinché l’indicazione Muting scompaia (pagina 12). • Verificare le impostazioni di “Uscita diffusori” (pagina 28).
Il telecomando non funziona.	• Verificare la polarità delle pile oppure sostituirle. • Puntare il telecomando in direzione del sensore del telecomando del monitor. • Accertarsi che non vi siano ostacoli nell’area attorno al sensore del telecomando. • Verificare “Impostaz. controllo” (pagina 28). • Verificare che al connettore CONTROL S IN sia collegato un cavo (BKM-FW21 non in dotazione). Non è possibile utilizzare il telecomando durante il controllo del monitor tramite un collegamento CONTROL S. • Le fonti di illuminazione a fluorescenza possono interferire con il funzionamento del telecomando; spegnere eventuali lampade a fluorescenza.
Impossibile connettersi alla rete.	• Collegare il cavo in modo saldo al connettore REMOTE. • Controllare le impostazioni di rete del PC. • Ripristinare le impostazioni predefinite assegnando l’impostazione “Ripristina tutto” dal menu “Impostazione” e, successivamente, assegnare di nuovo alla rete le impostazioni appropriate. • Controllare le impostazioni di “Porta di rete” (pagina 30).
Lo schermo di controllo del display (lo schermo Web che visualizza l’interfaccia grafica utente del display) non appare.	• Fare clic sul pulsante di aggiornamento o ricaricamento sul browser Web. • Assicurarsi che l’indirizzo IP sia corretto. • Utilizzare Internet Explorer 6.0 o versione successiva. • Svuotare la cache del browser.

Tabella di riferimento dei segnali di ingresso

Segnali del PC

	Risoluzione	Frequenza orizzontale (kHz)	Frequenza verticale (Hz)
1	VGA[a]-1 (VGA 350)	31,5	70
2	640 × 480@60 Hz	31,5	60
3	Mac[b] 13"	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA[c] STD)	37,9	60
6	Mac 16"	49,7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67,5	75
11	Mac 21"	68,7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60,0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT[d])	29,8	60
16	848 × 480@75Hz (CVT)	37,7	75
17	848 × 480@85Hz (CVT)	43,0	85
18	1280 × 720@60Hz (CVT)	44,8	60
19	1280 × 768@60Hz (CVT)	47,8	60
20	1280 × 768@75Hz (CVT)	60,3	75
21	1280 × 960@60Hz (CVT)	59,7	60
22	1360 × 768@60Hz (CVT)	47,7	60
23	800 × 600@60Hz (CVT)	37,4	60
24	1024 × 768@60Hz (CVT)	47,8	60
25	1280 × 1024@60Hz (CVT)	63,7	60
26	1400 × 1050@60Hz (CVT)*	65,3	60
27	1600 × 1200@60Hz (CVT)*	74,5	60
28	1920 × 1080@60Hz	66,6	60
29	1920 × 1200@60Hz	74,0	60

Segnali TV/video

	Risoluzione	Ingressi disponibili				
		Video	Componente/RGB	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p				○	
10	1080/60p				○	
11	1080/24psf		○			

a) VGA è un marchio di fabbrica registrato di International Business Machines Corporation, U.S.A.
b) Macintosh è un marchio di fabbrica di Apple Inc. registrato negli Stati Uniti e in altri paesi.
c) VESA è un marchio di fabbrica registrato di Video Electronics Standards Association.
d) VESA Coordinated Video Timing (Video Timing Coordinato VESA)

Note

- Per i segnali HDTV, trasmettere il segnale sincronico a tre livelli al 2° piedino del connettore HD15 (RGB/ COMPONENT) IN.
- Se dopo avere trasmesso un segnale DVD al monitor i colori risultano eccessivamente chiari, regolare l'opzione "Colore" nel menu "Immagine/Audio".
- Se la fase viene regolata di nuovo, la risoluzione verrà ridotta.
- Per i segnali provenienti da computer Macintosh non è garantito il riconoscimento dell'input digitale RGB.
- Non è possibile immettere i segnali contrassegnati con * a DVI IN.
- I segnali compositi sincroni corrispondono ai numeri 2, 4, 5, 7, 12, 13 e 14 nella tabella dei segnali riportata a sinistra.
- Non sono garantiti i segnali video privi di segnale di sincronizzazione del colore.

Indicazioni a schermo del segnale di ingresso e dello stato del monitor

Indicazione a schermo	Significato
640 × 480 / 60 (ad es.)	È stato selezionato un segnale di ingresso PC.
480 / 60I (ad es.)	È stato selezionato un segnale di ingresso video componente.
NTSC (ad es.)	È selezionato il segnale video come segnale di ingresso.
Segnale non supportato	Non è supportato il segnale di ingresso.
Nessun segnale	Non è stato trasmesso alcun segnale di ingresso.
HD15	L'ingresso selezionato è HD15. "RGB/YUV" è impostato su "Automatico".
RGB HD15	L'ingresso selezionato è HD15. "RGB/YUV" è impostato su "RGB".
Componente HD15	L'ingresso selezionato è HD15. "RGB/YUV" è impostato su "YUV".
DVI	Il segnale di ingresso selezionato è DVI.
Video	È stato selezionato il segnale video composito.
S Video	È stato selezionato il segnale S video.
Option	Viene selezionato l'ingresso Option. "RGB/YUV" è impostato su "Automatico".
Option RGB	È stato selezionato il segnale RGB analogico dell'ingresso Option.
Option Component	È stato selezionato il segnale video componente dell'ingresso Option.
Option HDMI 1/ Option HDMI 2	È stato selezionato il segnale HDMI 1 o HDMI 2 dell'ingresso Option.
Option HD SDI	È stato selezionato il segnale HD SDI dell'ingresso Option.

Caratteristiche tecniche

Elaborazione video

Sistema del monitor
Schermo LCD a matrice attiva TFT a-Si
Risoluzione dello schermo
1.920 punti (orizzontale) × 1.080 linee (verticale)
Frequenza di campionamento
da 13,5 MHz a 162 MHz
Sistema di colore NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/NTSC4.43/PAL60
Segnale di ingresso
Vedere pagina 39.

FWD-S42H1

Passo pixel 0,4845 (orizzontale) × 0,4845 (verticale) mm
Dimensioni dell'immagine
930 (orizzontale) × 523 (verticale) mm
Dimensioni del monitor
42 pollici (diagonale 1.067 mm)

FWD-S47H1

Passo pixel 0,5415 (orizzontale) × 0,5415 (verticale) mm
Dimensioni dell'immagine
1.040 (orizzontale) × 585 (verticale) mm
Dimensioni del monitor
47 pollici (diagonale 1.193 mm)

Ingressi e uscite

REMOTE Porta di rete (10BASE-T/100BASE-TX)

AUDIO Minipresa stereo (× 1)
500 mVrms, impedenza elevata

VIDEO S VIDEO IN
Mini DIN a 4 piedini (× 1)
Y (luminanza): 1 Vp-p ± 2 dB sincronismo negativo, terminazione da 75 ohm
C (crominanza): Segnale di sincronizzazione
0,286 Vp-p ± 2 dB (NTSC), terminazione da 75 ohm
Segnale di sincronizzazione
0,3 Vp-p ± 2 dB (PAL), terminazione da 75 ohm
VIDEO IN BNC (× 1)
Video composito, 1 Vp-p ± 2 dB sincronismo negativo, 75 ohm (terminazione automatica)
VIDEO OUT BNC (× 1) collegamento ad anello
AUDIO IN
Minipresa stereo (× 1)
500 mVrms, impedenza elevata

HD15 (RGB/COMPONENT)
HD15 (RGB/COMPONENT) IN
D-sub a 15 piedini (femmina) (× 1)
(Vedere pagina 42)
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT
D-sub a 15 piedini (femmina) (× 1)
(Vedere pagina 42)
AUDIO IN
Minipresa stereo (× 1)
500 mVrms, impedenza elevata

DVI DVI IN
(conforme alle specifiche DVI Rev. 1.0)
AUDIO IN
Minipresa stereo (×1)
500 mVrms, impedenza elevata

SPEAKER Uscita diffusori: (L/R)
6 ohm 7W + 7W

Generali

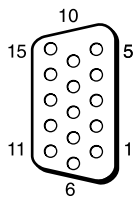
Requisiti di alimentazione
100 V - 240 V CA, 50/60 Hz,
FWD-S42H1: 2,9 A (massimo)
FWD-S47H1: 3,3 A (massimo)
Consumo energetico
FWD-S42H1: 280 W (massimo)
FWD-S47H1: 320 W (massimo)
Condizioni di utilizzo
Temperatura: 0 °C - 35 °C
Umidità: 20% - 90% (senza condensa)
Condizioni di deposito/trasporto
Temperatura: –10 °C - +40 °C
Umidità: 20% - 90% (senza condensa)
Dimensioni FWD-S42H1: 972,1 × 565,1 × 125 mm
972,1 × 613,6 × 275 mm
(incluso il supporto opzionale)
(l/h/p, escluse parti sporgenti)
FWD-S47H1: 1.081,6 × 626,8 × 129 mm
1.081,6 × 675,3 × 275 mm
(incluso il supporto opzionale)
(l/h/p, escluse parti sporgenti)
Peso FWD-S42H1: Ca. 25,5 kg
Ca. 29 kg (incluso supporto opzionale)
FWD-S47H1: Ca. 30,5 kg
Ca. 34 kg (incluso supporto opzionale)
Accessori in dotazione
Cavo di alimentazione CA (1)
Cavo LAN (1)
Fermaspina CA (2)
Fermacavi (9)
Telecomando RM-FW002 (1)
Pile formato AA (R6) (2)
Istruzioni per l'uso (1)

Accessori opzionali
Supporto per monitor SU-S01
Diffusori SS-SPG02
Adattatori opzionali per l'espansione del sistema, serie BKM-FW

Normative sulla sicurezza
UL 60950-1, CSA No. 60950-1-03 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Assegnazione dei piedini

Connettore HD15 RGB/COMPONENT (D-sub a 15 piedini)

N. piedino	Segnale
1	Video rosso o C_R/P_R
2	Video verde o Y
3	Video blu o C_B/P_B
4	Terra
5	Terra
6	Terra rosso
7	Terra verde
8	Terra blu
9	Non utilizzato
10	Terra
11	Terra
12	SDA
13	Sincronismo orizzontale, composito o video composito (come segnale sincronico)
14	Sincronismo verticale
15	SCL

Nota

Durante l'immissione di un segnale componente, assicurarsi di non immettere segnali sincronici ai piedini 13 e 14. Diversamente, è possibile che l'immagine non venga visualizzata correttamente.

Indice dei sottomenu

平板宽屏监视器

警告

为避免引发意外的火灾或遭受电击的危险，请勿将本机置于雨点所及或者潮湿的地方。

为避免触电，请勿打开机壳。只可让有资格的专业人员进行维修事项。

警告
本机必须接地。

关于搬运
搬运本机时请抓住显示器本身，切勿抓住扬声器。否则，扬声器可能会脱落，而本机也可能随之落下。这会导致受伤。

警告
在安装此设备时，要在固定布线中配置一个易于使用的断电设备，或者将电源插头与电气插座连接，此电气插座必须靠近该设备并且易于使用。在操作设备时如果发生故障，可以切断断电设备的电源以断开设备电源，或者断开电源插头。

插座应安装于本装置附近且易于插拔之处。

警告
1. 请使用经认可的电源线 （3 芯电源线）/ 设备接口 / 插头，其接地接头应符合各国家适用的安全法规。
2. 请使用符合特定额定值 （电压、安培）的电源线 （3 芯电源线）/ 设备接口 / 插头。

如果对上述电源线 / 设备接口 / 插口的使用有疑问，请垂询合格维修人员。

目录

介绍

部件和控制器的位置和功能

连接

CS

使用设定

网络功能

其它信息

使用前须知

安全方面

- 指示工作电压、功耗等的铭牌位于本机背面。
- 万一有异物或液体进入机壳内，请拔下本机的电源插头，并经具备资格的专业人员检查之后方可继续使用。
- 如果数日以上不使用本机，请从壁装电源插座中拔下本机的电源插头。
- 断开交流电源线的连接时，请捏紧插头拔出。切勿拉拽电源线。

清洁

在清洁显示器之前务必拔掉电源线。

清洁显示器

勿让硬物刮擦，或重击显示屏表面，或使物体碰撞屏幕表面，因为这样会损坏屏幕表面。
显示屏有专门的表面处理方法。
按照以下说明操作，以防因清洁时的不当处理而损害性能。

- 用软布轻轻地擦掉屏幕表面的灰尘。最好用干净的布或擦眼镜布。
- 如果屏幕过脏，请用一块用水稍微浸湿的干净软布清洁屏幕表面。
- 切勿使用酒精、汽油、稀释剂、酸或碱性清洁溶剂、擦洗剂、或经过化学处理的布，因为它们会损坏屏幕表面。

清洁机壳

- 用一块干燥的软布轻轻地擦掉污点。要擦除肮脏的污迹，需要将布用中性清洁剂稍微浸湿后擦拭，然后再用一块干燥软布将该处擦净。
- 请勿使用酒精、汽油、稀释剂或杀虫剂。否则可能会损坏表面涂漆或擦掉机器的标记。
- 如果用脏布擦拭，有损坏屏幕的危险。
- 本机和橡胶或塑料制品持续接触可能会使机器变形或引起保护层脱落。

LCD 面板

- 使 LCD 面板长时间面对太阳会损坏面板。当您将本机安装在户外或窗户旁边时请考虑到这种情况。
- 请勿用力按或刮擦 LCD 显示屏。请勿将物品放在屏幕上。否则可能会使显示中断或损坏 LCD 显示屏。
- 您可能发现屏幕会水平显示条纹或屏幕出现残留图像。在低温环境下使用本机，屏幕还可能看起来较暗。但这些并不表示屏幕出现故障。当环境温度升高时，屏幕将返回至正常状态。
- 如果长时间显示静态图像，则可能发生屏幕烧灼或图像残留。残留图像会随时间消失。如果出现重影，请使用屏幕保护功能，或使用某些视频或图像软件在屏幕上提供连续的动作。如果出现轻微重影 （残影），效果可能不明显，但一旦出现残影，将不会完全消失。
- 使用过程中，面板表面、机壳或框架可能会变热。这不是故障。

LCD 显示屏上的亮点和暗点

尽管液晶显示屏是通过高技术制造而成，且有效分辨率至少达到 99.99%，但仍可能有持续亮或闪烁的黑点（像素缺失）或亮点 （红色，蓝色，绿色等）。LCD 显示屏出现的这些现象有时是由像素缺陷造成的。本装置使用较长一段时间后可能会出现这些现象。
这些并不是屏幕故障。

安装

- 在使用前请始终确认本机运行正常。无论保修期内外或基于任何理由，Sony 对任何损坏 （包括但不限于）概不负责。由于本机故障造成的现有损失或预期利润损失，不进行退货或赔偿。
- 保证良好的空气流通以防内部积热。请勿将本机放在地毯、毛毯等上面或窗帘、帏幔旁边，否则通风孔会受阻。
- 请勿将本机安装在靠近散热器或排气管等热源处，以及受阳光直射、多尘、有机械振动或冲击之处。
- 当将多台设备与本机安装在一起时，视本机与其它设备的位置而定，可能会出现以下问题，如遥控器故障、图像干扰、杂音等。

重新包装

请保存原装的纸箱和包装填料。
它们是搬运本机的理想包装箱。搬运本机时，请按照纸箱上的图示重新包装。

如果有关于本机的任何问题，请与授权的 Sony 经销商联系。

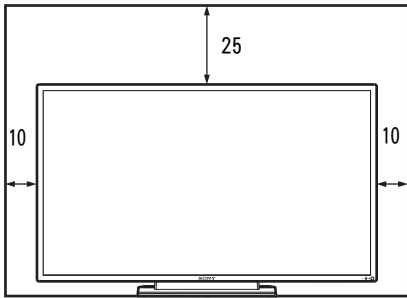
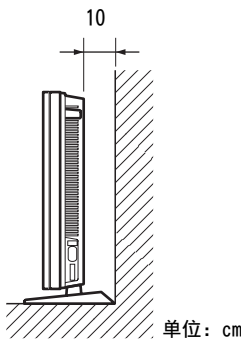
关于安装的建议

在显示器周围留出充足的空间

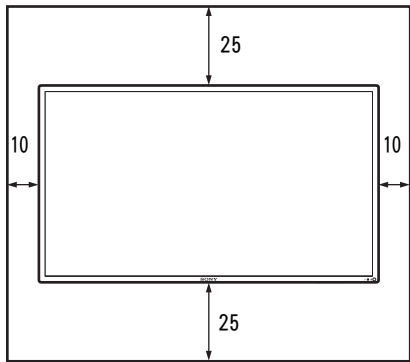
- 为防止因密闭显示器导致内部积热，必须确保在显示器周围至少留出下图所示的最小空间以保证适当的通风。
- 环境温度必须在 0 °C 至 35 °C 之间。将显示器安装在天花板附近时请小心操作。安装位置附近的温度可能会比室内高度较低处的正常温度高很多。
- 使用支架时，请使用合适的 SU-S01 桌面支架 （未附带）。关于安装方式，请参阅桌面支架使用说明书。
- 关于五金件的安装，例如托架、螺钉或螺栓，此处无法指定产品。实际安装取决于当地授权经销商。安装方面请咨询具备资格的 Sony 专业人员。
- 显示器电源打开期间，内部会集聚一定量的热量。这会导致灼伤。在显示器电源打开时或刚进入待机模式时，应避免触摸显示器的顶部或背面。

使用桌面支架

前视图

侧视图

显示器连接着支架 （未附带）时，移动或安装显示器至少需要 2 个人。

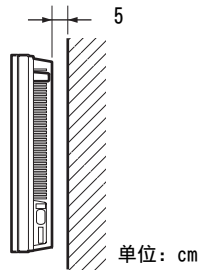
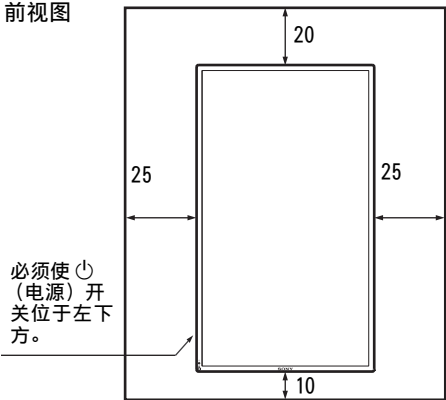
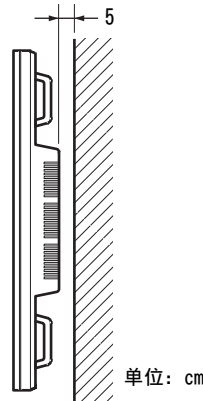
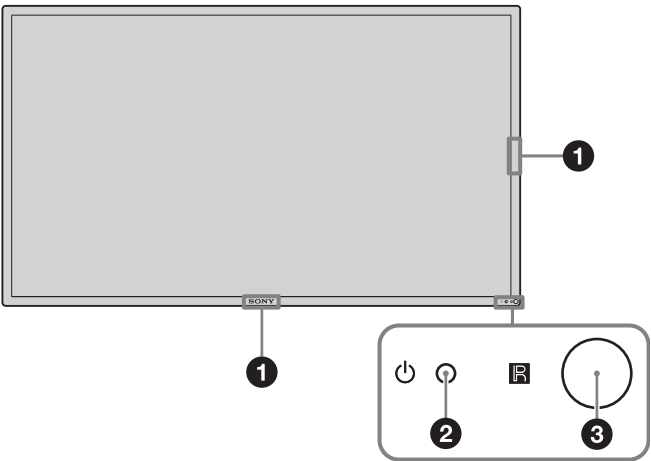
水平安装显示器

前视图

侧视图

垂直安装显示器

前视图

侧视图

CS

前视图

部件	说明
❶ Sony 标识	Sony 标识点亮。 在菜单画面中，您可以将自动改为各种手动设定。请参阅第 29 页的 “Logo”。
❷ ⏻（电源 / 待机）指示灯	• 当显示器打开时点亮为绿色。 • 当显示器处于待机模式时点亮为红色。如果信号是从个人电脑输入，则当显示器进入节电模式时将点亮为橙色。 当 ⏻ 指示灯红色闪烁时，参见第 35 页。 **注** 当 “Multi Display” 设定中的 “LED” 选项设定为 “Off”，并且 “Position” 选项未设定到右下方，则即使显示器已打开，该指示灯也不会点亮为绿色，除没有信号或不支持该信号的情况之外。
❸ 🄸 遥控传感器	遥控光接收器。

后视图

* 插图仅表示 FWD-S47H1。

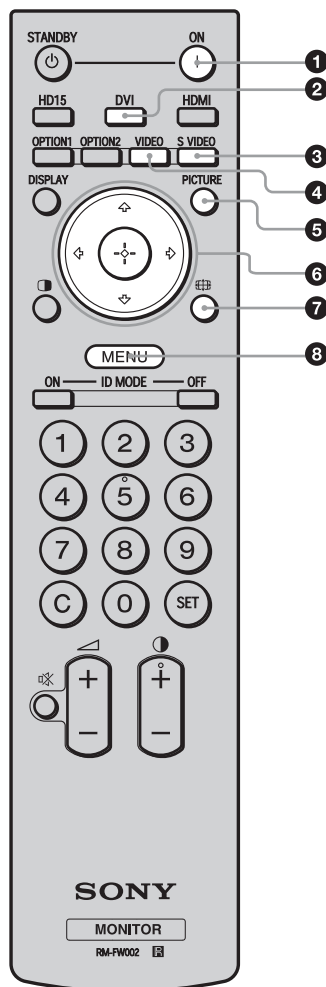
部件	说明
❶ 总电源开关	设定设备时，请打开总电源开关 （按 | 一侧）。 总电源开关关闭 （按○侧）时，耗电为 0W。
❷ AC IN 插座	将附送的交流电源线连接至此插座和壁装电源插座。参见第 16 页。 一旦连接了交流电源线并打开总电源开关， ⏻ 指示灯将点亮为红色，并且显示器将进入待机模式。
❸ SPEAKER 插座	将扬声器 SS-SPG02 （未附带）连接至此插座。关于连接扬声器的详细说明，请参阅扬声器附带的操作手册。关于扬声器电线接线方法的详细说明，请参见第 17 页。
❹ 扬声器安装位置	安装专用扬声器 SS-SPG02。
❺ 支架安装孔	符合 VESA 标准的螺孔。（间距：400mm × 400mm，螺丝：M6）
❻ 显示器适用支架安装孔	使用这些挂钩安装 SU-S01 显示器支架 （未附带）。
❼ 专用显示器支架安装孔盖	要安装 SU-S01 显示器支架 （未附带）时拆下。
❽ ⏻ （电源）开关	打开或关闭 （待机）显示器。 总电源开关打开 （ | 侧）时操作。
❾ INPUT/ ＋ （执行）按钮	按此按钮选择来自 INPUT 或 OPTION 连接器的信号。 每按一次 INPUT 按钮，输入信号按如下顺序循环切换。 → S Video → Video → HD15 → DVI → OPTION ┐（返回 S Video） 如果 OPTION 插槽没有安装支持视频信号的可选购的适配器，则 OPTION 将被跳过。 按此按钮确定选择。
❿ +/-/⇧/⇩ （音量 / 光标）按钮	按下可控制扬声器的音量。当菜单被显示时，按下可移动光标或设置某个值。 按此按钮确定选择。
⓫ MENU/ ↶ （返回）按钮	按此按钮显示菜单。 按此按钮将返回前一个菜单画面。
⓬ REMOTE （10BASE-T/100BASE-TX）	此连接器可用 10BASE-T/100BASE-TX LAN 电缆将显示器连接至网络。 您可以通过个人电脑的网络指定各种设定并控制显示器。 **小心** • 当您将本机的 LAN 电缆连接到外围设备时，请使用附送的电缆以防止由于辐射干扰而造成故障。 • 为安全起见，请勿将可能有过高电压的外围设备配线用连接器连接到本端口上。按照本端口的说明操作。 **注** 使用此连接器时，请在 “Network Port”中选择 “Display”。（第 29 页）
⓭ AUDIO （立体声微型插孔）	这是用于外接设备的音频监听输出端子。 输出屏幕上当前所显示信号的音频。在 “P&P”或 “PinP”模式中，输出与动态 * 图像一致的音频信号。 **注** • “Sound Mode”或 “Speaker Out”中指定的设定将不会反映出来。 • 由遥控器设定的降噪状态不会反映出来。
⓮ VIDEO	S VIDEO IN （微型 DIN 4 芯）：连接至视频设备的 S Video 输出。 VIDEO IN （BNC）：连接至视频设备的视频输出。 VIDEO OUT （BNC）：连接至视频设备的视频输入。将输出从 VIDEO IN 输入的图像。 AUDIO IN （立体声微型插孔）：连接至视频设备的音频输出。

部件	说明
⓯ HD15（RGB/COMPONENT）（D-sub 15 芯）	HD15（RGB/COMPONENT）IN：连接至视频设备或个人电脑的模拟 RGB 信号或分量信号输出。参见第 40 页。 AUDIO IN：输入音频信号。连接至视频设备或个人电脑的音频信号输出。 HD15（RGB/COMPONENT）OUT：连接至视频设备或个人电脑的模拟 RGB 信号或分量信号输入。参见第 40 页。从上述 HD15（RGB/COMPONENT）IN 连接器输入的信号将被输出。 **注** • 当输入分量信号时，切勿将同步信号输入至管脚 13 和 14。否则，可能无法正确显示图像。 • 当显示器未连接至交流电源或处于待机模式时，没有信号从 HD15（RGB/COMPONENT）OUT 输出。
⓰ DVI（DVI-D 24 芯）	DVI IN：连接到视频装置或个人电脑的数字信号输出端子。支持 HDCP 复制保护。 AUDIO IN：输入音频信号。连接至视频设备等的音频信号输出。
⓱ OPTION 插槽（VIDEO/COM 端口）	此插槽支持视频信号和通信功能。在此插槽中装入一个选购适配器（BKM-FW 系列）以扩展显示器功能。参见第 15 页。

* 声音输出及输入信号可以切换时的状态。

CS

遥控器

按钮说明

❶ POWER ON 开关

按此按钮打开显示器电源。
在显示器背面上的总电源开关打开时进行操作。

❷ DVI 按钮

按此按钮选择输入 DVI 端口的信号。

❸ S VIDEO 按钮

按此按钮选择从视频设备输入 S VIDEO IN 连接器的信号。

❹ VIDEO 按钮

按此按钮选择从视频设备输入 VIDEO IN 连接器的信号。

❺ PICTURE 按钮

选择 “Picture Mode”。每按一次即在 “Vivid”、“Standard”、“Custom”、“Conference”和 “TC Control”之间切换。

❻ ⇧/⇩/⇦/⇨/⊕ 按钮

⇧/⇩/⇦/⇨ 按钮用于移动菜单光标和设定数值等。按 ⊕ 设定所选的菜单或设定项目。
在 “PAP”模式中，您可以切换双画面设定。参见第 13 页。

❼ ⊞ 按钮

按此按钮更改纵横比。参见第 12 页。

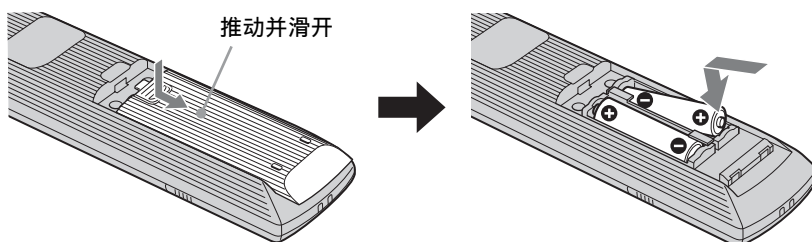
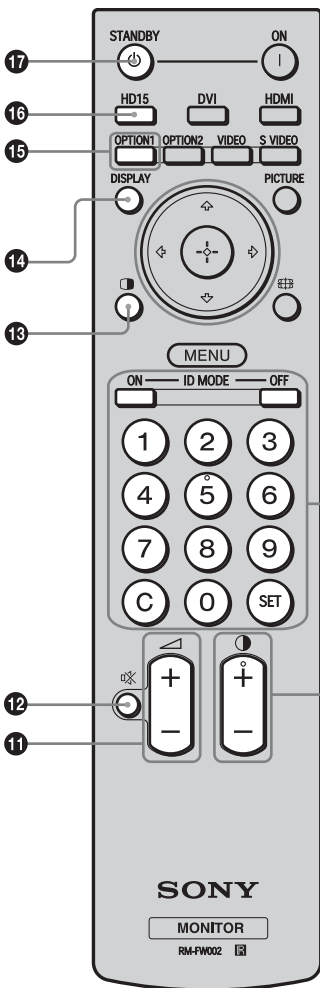
❽ MENU 按钮

按此按钮显示菜单。再按一次可将其隐藏。参见第 18 页。

注

- 按钮 5 和 ◑ 按钮各有一个触感圆点。在操作显示器时可使用触感圆点作为参照。
- 将两节 AA （R6）尺寸电池 （附带）装入，使电池上的 ⊕ 和 ⊖ 与遥控器电池舱内的图示匹配。

小心

如果更换的电池不正确，就会有爆炸的危险。只更换同一类型或制造商推荐的电池型号。处理电池时，必须遵守相关地区或国家的法律。

❾ ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF) 按钮
可操作某个指定显示器而不影响其它同时安装的显示器。
- ON 按钮：按此按钮可在画面上显示 “Index Number”。
- 0-9 按钮：按此按钮输入想要操作的显示器的“Index Number”。
- SET 按钮：按此按钮设定输入的 “Index Number”。
- C 按钮：按此按钮清除输入的 “Index Number”。
- OFF 按钮：按此按钮返回正常模式。

参见第 14 页。

❿ ◑ +/– 按钮
调节图像 （对比度）等级。

⓫ ◿ +/– 按钮
按此按钮调节音量。

⓬ 🔇 按钮
按此按钮消音。再按一次恢复声音。

⓭ ◨ 按钮
选择 “PAP”（双画面）模式。每按一次即在 “P&P”、“PinP” 和单画面图像之间切换。请参阅第 13 页。

⓮ DISPLAY 按钮
按此按钮在屏幕上显示当前选定的输入、输入信号的类型以及 “Aspect”设定。再按一次可将其隐藏。如果在短时间内没有动过这些显示的信息，则这些信息会自动消失。

⓯ OPTION 1 按钮
如果安装了选购适配器，可选择来自与选购适配器相连接设备的输入信号。
如果所安装的选购适配器具有多个输入连接器，则每按一次按钮即在输入信号之间切换。

⓰ HD15 按钮
按此按钮选择 HD15 (RGB/COMPONENT) 连接器的输入信号。将根据菜单设定自动或手动选择 RGB 信号或分量信号。

⓱ STANDBY 按钮
按此按钮将显示器变为待机模式。

CS

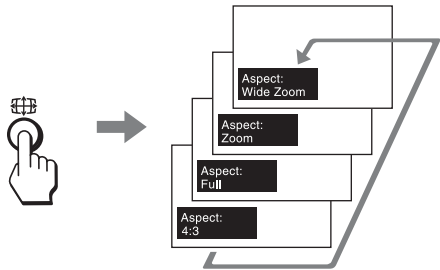
注
在本显示器上无法使用 HDMI 按钮和 OPTION 2 按钮。

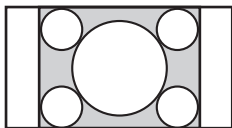
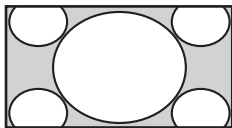
遥控器上的特殊按钮

使用宽模式

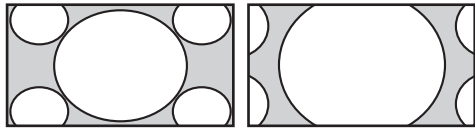
您可改变画面的纵横比。

提示

另外也可访问 “Screen”设定中的 “Aspect”设定。参见第 25、26 页。

对于从 Video、DVD 等视频设备输入 （个人电脑输入除外）

4:3 原始源

16:9 原始源

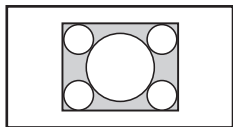
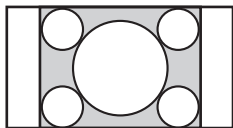
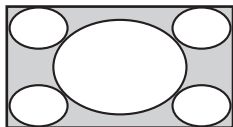
Wide Zoom

Zoom

Full

4:3

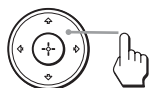
对于个人电脑输入

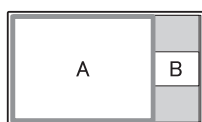
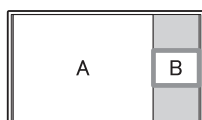
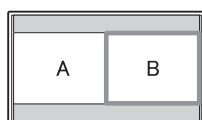
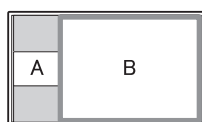
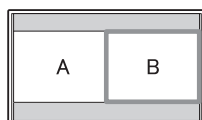
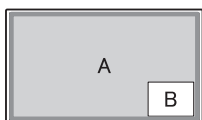
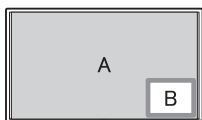
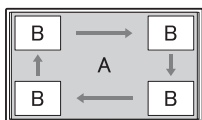
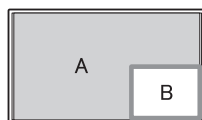
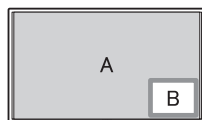
下图表示 800 × 600 输入分辨率

Real

Full 1

Full 2

注

如果输入分辨率比面板分辨率 （1920 × 1080）高，则 Real 显示与 Full 1 相同。

使用 PAP 设定

可并排显示两幅来自不同信号源，如个人电脑和视频的图像。
您也可以替换活动图像，或更改图像尺寸的平衡。
另外也可访问 “Screen” 设定中的 “PAP Setting” 设定。参见第 23 页。

光标显示活动图像

对于 P&P

对于 PinP

提示

- 5 秒钟后，表示活动图像的光标将消失。
- 图像可以调节成 15 种尺寸。（对于 P&P）

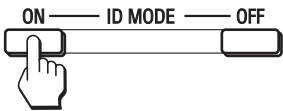
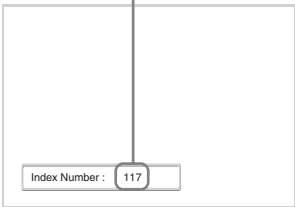
CS

使用 ID MODE 按钮

可操作某个指定显示器而不影响其它同时安装的显示器。

1 按 ON 按钮。

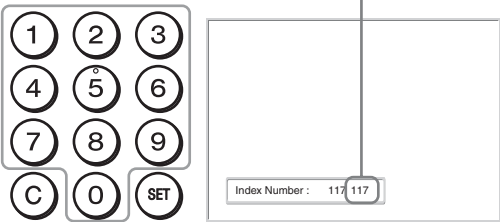
显示器的“Index Number”在屏幕的左下角菜单中以黑色字符显示。(每个显示器均分配有从 1 到 255 的单独预设 “Index Number”。)

Index Number

2 用遥控器上的 0 - 9 键输入想要操作的显示器的 “Index Number”。

输入号码出现在各显示器“Index Number”的右边。

输入编号

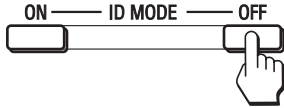
1 2 3
4 5 6
7 8 9
C 0 SET

Index Number : 117 117

3 按 SET 按钮。

所选择的显示器上的字符变为绿色，而其它的则变为红色。

只可操作以绿色字符指示的指定的显示器。同样，仅 POWER ON 开关和 STANDBY/ID MODE-OFF 按钮的操作对其它显示器有效。

4 当完成所有设定变更后，按 OFF 按钮。

显示器返回至正常画面。

若要更正 Index Number

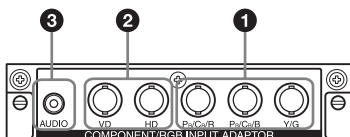
按 C 按钮清除当前输入的 “Index Number”。返回步骤 2，然后输入一个新的 “Index Number”。

提示

若要改变显示器的“Index Number”，请参阅第 27 页的 “Control Setting”中的 “Index Number”。

可选购的适配器

设备侧面的 OPTION 插槽 ⓱（第 9 页）的端子为内槽型。可以将其连接至以下可选购的适配器（未附带）。
关于安装的详细说明，请咨询 Sony 经销商。
关于系统扩展所需要的选购适配器，请参阅随本手册一起的各本说明书。

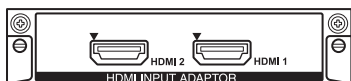
COMPONENT/RGB INPUT 适配器 BKM-FW11

❶ Y/G，$P_B/C_B/B$，$P_R/C_R/R$ IN（BNC）：连接至视频设备或个人电脑的模拟 RGB 信号或分量信号输出。

❷ HD，VD IN（BNC）：连接至个人电脑的同步信号输出。

注

当输入分量信号时，切勿将同步信号输入至 HD 和 VD 连接器。否则，可能无法正确显示图像。

❸ AUDIO（立体声微型插孔）：输入音频信号。连接至视频设备或个人电脑的音频输出。

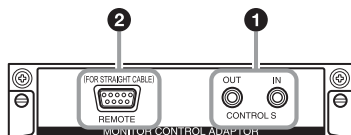
HDMI INPUT 适配器 BKM-FW15

您可以享受效果增强的或高清晰度的视频，以及双声道数字音频。
将根据所连接的设备自动为音频 / 视频设备或个人电脑选择适当的模式。

注

请务必仅使用标有 HDMI 标识的 HDMI 电缆（未附带）。

HD-SDI/SDI INPUT 适配器 BKM-FW16

连接至视频设备的 HD-SDI 信号输出。

MONITOR CONTROL 适配器 BKM-FW21

❶ CONTROL S IN/OUT（微型插孔）：当显示器连接至视频设备或另一显示器的 CONTROL S 连接器时，可通过单个遥控器控制多个设备。
将此适配器上的 CONTROL S OUT 连接器连接至其它设备的 CONTROL S IN 连接器，然后将此适配器上的 CONTROL S IN 连接器连接至其它设备的 CONTROL S OUT 连接器。

❷ REMOTE（D-sub 9 芯）：此连接器允许采用 RS-232C 协议遥控显示器。有关详细说明，请联系授权的 Sony 经销商。

注

- 设备侧面的 REMOTE 连接器和 REMOTE（LAN）连接器 ⓬（第 8 页）不能同时使用。
- 使用 REMOTE 连接器时，请在“Network Port”中选择“Option”。（第 29 页）

STREAMING RECEIVER 适配器 BKM-FW50

此适配器能让您将此显示器用于数字信号。
您只要插入记录媒体，即可轻松播放指定数据格式的影片、照片或背景音乐。还可以使用网络，在显示器上观看来自远程电脑上的图像。

注

需要 CF 记忆卡。

CS

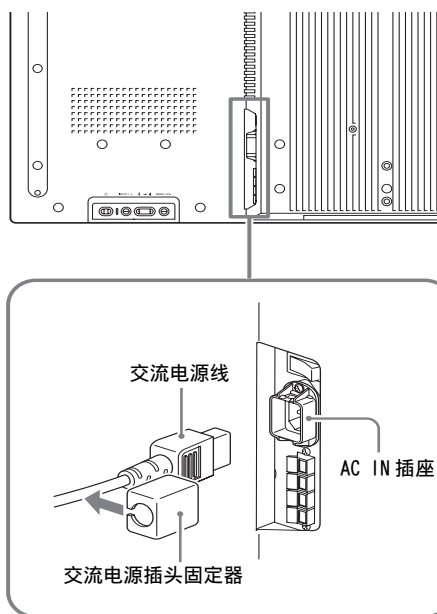
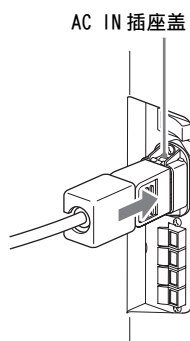
开始之前

- 首先请确认各设备的电源已关闭。
- 请使用适合所要连接设备的电缆。
- 连接电缆，将其完全插入连接器或插孔。松动的连接可能会引起嗡嗡声和其它噪音。
- 断开电缆的连接时，请捏紧插头拔出。切勿拉拽电缆。
- 也可参阅所要连接的设备的说明手册。
- 请将插头牢牢插入 AC IN 插座。
- 请使用两个交流插头固定器（附带）之一以便牢牢固定交流插头。

连接扬声器

连接扬声器 SS-SPG02 （未附带）。必须正确连接扬声器。关于连接扬声器的详细说明，请参阅扬声器的操作手册。关于扬声器电线接线方法的详细说明，请参见第 17 页。

连接交流电源线

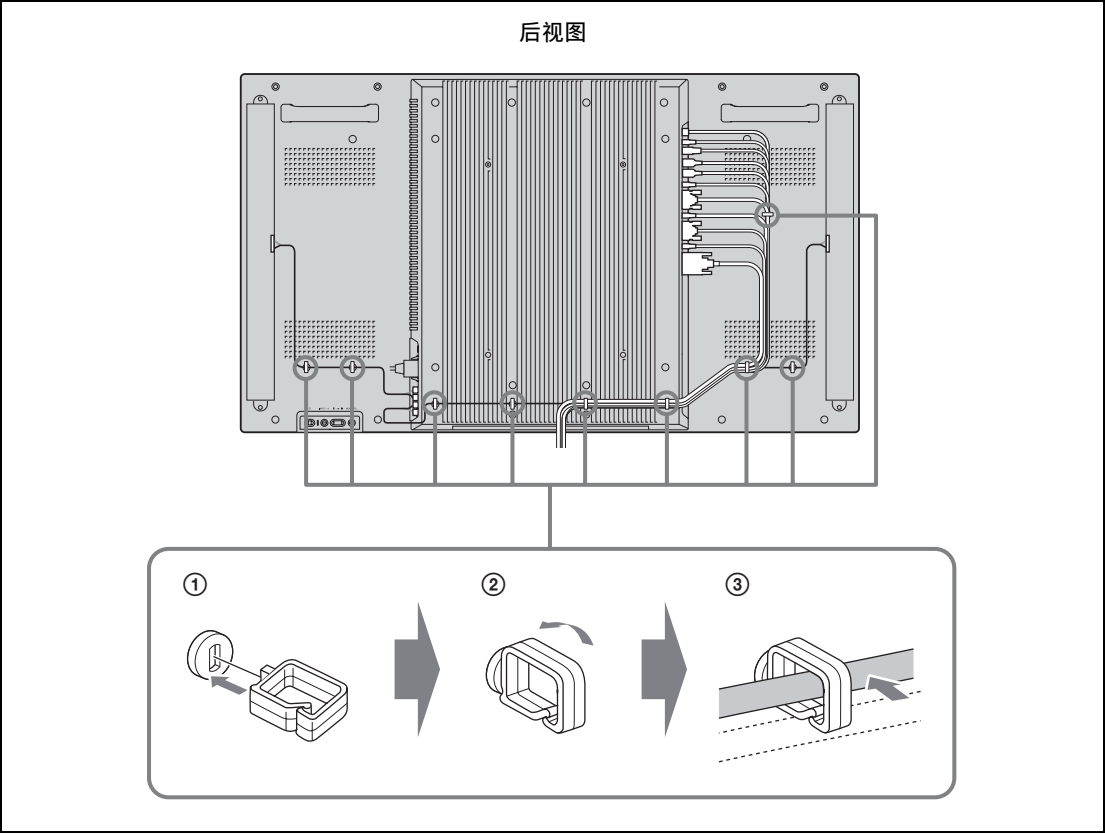
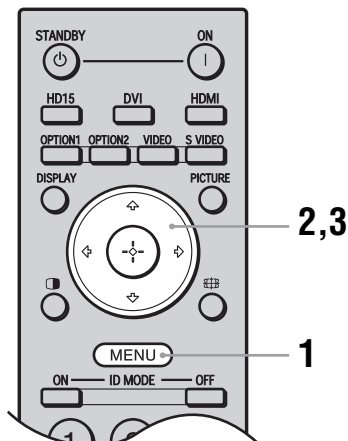
1 将交流电源线插入 AC IN 插座中。然后，将交流电源插头固定器（附带）装在交流电源线上。

2 将交流电源插头固定器盖住电源线滑动，直至其连接至 AC IN 插座盖上。

若要拔下交流电源线

按压交流电源插头固定器并将其松脱，然后捏紧插头并拔出交流电源线。

电缆布置

使用电缆夹

可用附送的电缆夹 （× 9）整齐地捆扎电缆。请按下图所示的方法安装电缆夹。

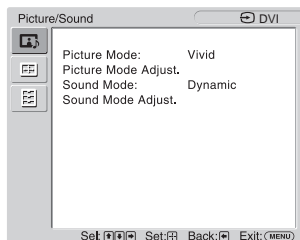
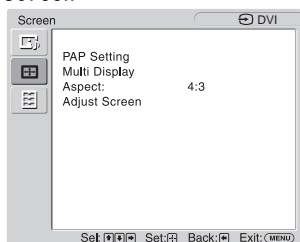
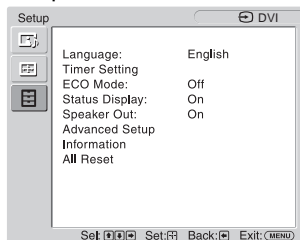
CS

菜单综述

1 按 MENU 按钮。

2 按 ⇧/⇩ 加亮显示所需的菜单图标。

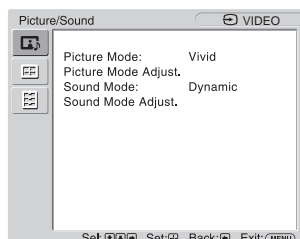
3 按 ⊕ 或 ⇨。
若要退出菜单，按 MENU 按钮。

若要改变屏幕显示语言

从 "English"、"Français"、"Deutsch"、"Español"、"Italiano"或"日本語"中选择所要的屏幕显示设定和信息的语言。
"English"（英语）被设置为默认设定。
参见第 27 页。

这些设定使您可以使用以下功能：

设定	使您可以设定 / 更改
Picture/Sound	Picture Mode: （第 19、21 页） Picture Mode Adjust. （第 19、21 页） Sound Mode: （第 20、22 页） Sound Mode Adjust. （第 20、22 页） **注** 没有信号输入时，将无法设定或更改"Picture Mode"或"Picture Mode Adjust."。
Screen	PAP Setting （第 23、26 页） Multi Display （第 24、26 页） Aspect: （第 25、26 页） Adjust Screen （第 25、26 页）
Setup	Language: （第 27 页） Timer Setting （第 27 页） ECO Mode: （第 27 页） Status Display: （第 27 页） Speaker Out: （第 27 页） Advanced Setup （第 27 页） Information （第 29 页） All Reset （第 29 页）

* 视设定而定，显示于画面底部的菜单图标可能不起作用。

Picture/Sound 设定

对于视频输入

若要加亮显示某个选项并更改设定，按 ⇧/⇩/⇦/⇨。
按 ⊕ 确认选择。
“Picture/Sound”设定中包括下列选项：

Picture Mode

“Vivid”：选择此项增强图像对比度和锐度。
“Standard”：选择此项设定为标准图像设定。
“Custom”：可以存储个人喜好的设定。
“Conference”：调节荧光灯下视频会议的图像质量。
“TC Control”：此设定与 “Vivid”共通。另外，您可以使用 “True Color Control”功能 （后述）。

提示
若要从 “Picture Mode”的某个选项改变至其另一个选项，也可使用遥控器上的 PICTURE。

注

- 视环境或使用的视频会议系统而定，“Conference”可能无效。此时，请调节图像质量，并转换至 “Picture Mode”等其它设定。
- 在 “TC Control”中，“Brightness Boost”固定在 Off。

Picture Mode Adjust.

“Backlight”：调节此项增亮或调暗屏幕。
“Contrast”：调节图像对比度。
“Brightness”：调节此项增亮或调暗图像。
“Chroma”：调节此项提高或降低色彩浓度。
“Phase”：调节图像的色调。
“Sharpness”：调节此项使图像变锐或柔和。
“Noise Reduction”：选择此项降低所连接设备的噪音等级。从 “Off”、“Low”、“Mid”、“High”中选择以设定噪音等级。
“CineMotion”：选择 “Auto”可通过自动检测影片内容并应用反转 3-2 降格或 2-2 降格处理进而优化画面显示。移动的图像看上去将显得更为清晰和自然。选择 “Off”禁用检测。
“Dynamic Picture”：选择 “On”使白色更亮、黑色更黑来提高对比度。
“Gamma Correct.”：平衡图像的明暗部分。从 “High”、“Mid”、“Low”中选择以进行设定。

注

- 有 DVI 输入时，只能设定 “Option”。
- 伽玛设定符合医学数字成像与通讯 （DICOM）标准中的灰色标准显示功能 （GSDF）。但此设定仅供参考，且无法用于医学诊断。

“Color Temp.”：白色调可以调节至适合您的喜好。出厂默认设定调节至色温。
“Cool”：选择此项使白色偏蓝。
“Neutral”：选择此项使白色为中性。
“Warm”：选择此项使白色偏红。
“Custom”：允许设定比上述更宽范围的白色调。

CS

提示

在色调调整画面上选择 “Reset”可恢复默认设定。

“Brightness Boost”：强调图像亮度。

注

- 如果“Brightness Boost”设定为“On”，则无法调节“Backlight”、“Contrast”、“Brightness”或 “Color Temp.”设定。
- 如果 “Brightness Boost”设定为 “On”，且 “ECO Mode”切换到 “Off”，则亮度达到最大。

“True Color Control”：您可以调节 4 种颜色：红、绿、黄、蓝各自具体的色调和饱和度，您也可以在图像中加亮显示指定的颜色。

选择您想要调节的颜色，并且您可以查看当前图像中将被调整的部分。然后您可以用矩阵对话框进行调节。

注

- 当 “Picture Mode”设定为 “TC Control”时，可以调节此选项。
- 在 “PAP”模式中，您不能选择此选项。即使您在单画面屏幕中选择了此选项，此选项的设定也有可能不适用于 “PAP”模式

“Reset”：将 “Picture Mode Adjust.”的全部设定恢复为默认设定。

注

- 当输入为Video或S Video，且视频信号的色彩制式不是NTSC时，不可使用“Phase”。
- 当“Picture Mode”设定为“Conference”或“TC Control”，“Dynamic Picture”将无效。
- 每个 “Picture Mode”均可以进行设定和调节，但 “Backlight”、“Noise Reduction”和 “CineMotion”设定适用于所有 “Picture Mode”。
- 在 PAP 模式中 “Dynamic Picture”和 “CineMotion”无效。

Sound Mode

可使用多种 “Sound Mode”设定调节从 SS-SPG02 扬声器 （未附带）输出的声音。

“Dynamic”：选择此项增强高音和低音。

“Standard”：适中设定。

“Custom”：可以存储个人喜好的设定。

Sound Mode Adjust.

“Treble”：调节此项提高或降低高音的音高。

“Bass”：调节此项提高或降低低音的音高。

“Balance”：调节此项增强左侧或右侧扬声器的平衡。

“Surround”：根据图像类型选择环绕模式。

“Off”：无环绕输出。

“Hall”：当想要让电影或音乐节目的立体声更具现场感时选择此项。

“Simul.”：当想要使用模拟立体声让普通单声道节目或新闻广播节目更具现场感时选择此项。

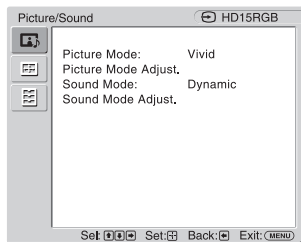
“Reset”：将 “Sound Mode Adjust.”的全部设定恢复为默认设定。

提示

- 可为每一“Picture Mode”更改其“Picture Mode Adjust.”设定（“Contrast”、“Brightness”、“Chroma”等等）。
- 当 “Sound Mode”设定为 “Custom”时，可调节 “Sound Mode Adjust.”设定 （“Treble”和 “Bass”）。

注

在 “PAP”模式中，只有关于活动图像的 “Picture/Sound”设定可以调整。

对于个人电脑输入

当输入切换至个人电脑输入源时，应用个人电脑输入专用的 “Picture/Sound” 设定。
个人电脑的 “Picture/Sound” 设定中包括下列选项：

Picture Mode

“Vivid”：选择此项增强图像对比度和锐度。
“Standard”：选择此项设定为标准图像设定。
“Custom”：可以存储个人喜好的设定。
“Conference”：调节荧光灯下视频会议的图像质量。
“TC Control”：此设定与 “Vivid” 共通。另外，您可以使用 “True Color Control” 功能 （后述）。

提示
若要从 “Picture Mode” 的某个选项改变至其另一个选项，也可使用遥控器上的 PICTURE。

注

- 视环境或使用的视频会议系统而定，“Conference” 可能无效。此时，请调节图像质量，并转换至 “Picture Mode” 等其它设定。
- 在 “TC Control” 中，“Brightness Boost” 固定在 Off。

Picture Mode Adjust.

“Backlight”：调节此项增亮或调暗屏幕。
“Contrast”：调节图像对比度。
“Brightness”：调节此项增亮或调暗图像。
“Gamma Correct.”：平衡图像的明暗部分。从 “High”、“Mid”、“Low” 中选择以进行设定。

注

- 有 DVI 输入时，只能设定 “Option”。
- 伽玛设定符合医学数字成像与通讯 （DICOM）标准中的灰色标准显示功能 （GSDF）。但此设定仅供参考，且无法用于医学诊断。

“Color Temp.”：白色调可以调节至适合您的喜好。出厂默认设定调节至色温。

“Cool”：选择此项使白色偏蓝。
“Neutral”：选择此项使白色为中性。
“Warm”：选择此项使白色偏红。
“Custom”：允许设定比上述更宽范围的白色调。

提示
在色调调整画面上选择 “Reset” 可恢复默认设定。

“Brightness Boost”：强调图像亮度。

注

- 如果 “Brightness Boost” 设定为 “On”，则无法调节 “Backlight”、“Contrast”、“Brightness” 或 “Color Temp.” 设定。
- 如果 “Brightness Boost” 设定为 “On”，且 “ECO Mode” 切换到 “Off”，则亮度达到最大。

“True Color Control”：您可以调节 4 种颜色：红、绿、黄、蓝各自具体的色调和饱和度，您也可以在图像中加亮显示指定的颜色。
选择您想要调节的颜色，并且您可以查看当前图像中将被调整的部分。然后您可以用矩阵对话框进行调节。

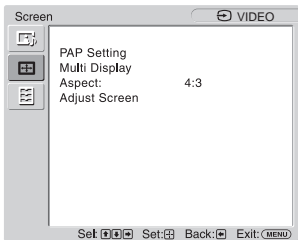
CS

	注 • 当 “Picture Mode” 设定为 “TC Control” 时，可以调节此选项。 • 在 “PAP” 模式中，您不能选择此选项。即使您在单画面屏幕中选择了此选项，此选项的设定也有可能不适用于 “PAP” 模式 **“Reset”**：将 “Picture Mode Adjust.” 的全部设定恢复为默认设定。 **注** 每个“Picture Mode”均可以进行设定和调节，但“Backlight”适用于所有“Picture Mode”。
Sound Mode	可使用多种 “Sound Mode” 设定调节从 SS-SPG02 扬声器 （未附带）输出的声音。 **“Dynamic”**：选择此项增强高音和低音。 **“Standard”**：适中设定。 **“Custom”**：可以存储个人喜好的设定。
Sound Mode Adjust.	**“Treble”**：调节此项提高或降低高音的音高。 **“Bass”**：调节此项提高或降低低音的音高。 **“Balance”**：调节此项增强左侧或右侧扬声器的平衡。 **“Surround”**：根据图像类型选择环绕模式。 **“Off”**：无环绕输出。 **“Hall”**：当想要让电影或音乐节目的立体声更具现场感时选择此项。 **“Simul.”**：当想要使用模拟立体声让普通单声道节目或新闻广播节目更具现场感时选择此项。 **“Reset”**：将 “Sound Mode Adjust.” 的全部设定恢复为默认设定。

提示
- 可为每一“Picture Mode”更改其“Picture Mode Adjust.”设定（“Contrast”、“Brightness”、“Chroma”等等）。
- 当 “Sound Mode” 设定为 “Custom” 时，可调节 “Sound Mode Adjust.” 设定 （“Treble” 和 “Bass”）。

注
- 对于个人电脑输入，“Chroma” 、“Phase” 、“Sharpness” 、“Noise Reduction” 、“CineMotion” 和 “Dynamic Picture” 不可用。
- 在 “PAP” 模式中，只有关于活动图像的 “Picture/Sound” 设定可以调整。

Screen 设定

对于视频输入

若要加亮显示某个选项并更改设定，按 ⇧/⇩/⇦/⇨。
按 ⊕ 确认选择。
“Screen”设定中包括下列选项：

PAP Setting

可并排显示两幅来自不同信号源，如个人电脑和视频的图像。
“PAP ”
“Off”：禁用 “PAP”功能。
“P&P”：同时并排显示两个画面。
“PinP”：以在主画面中插入画面的形式显示两个画面。

对于 P&P

“Active Picture”：选择要操作的画面。
“Left”：可以激活左侧图像进行操作。
“Right”：可以激活右侧图像进行操作。
“Swap”：两个图像并排交换。
“Picture Size”：调节两个并排图像的平衡。按 ⇦ 或 ⇨ 按钮调节平衡，然后按 ⊕ 按钮设定调整值。（第 13 页）

对于 PinP

“Active Picture”：选择要操作的画面。
“Main”：可以激活主图像进行操作。
“Sub”：可以激活插入图像进行操作。
“Swap”：交换主图像和插入图像。
“Picture Size”：调节插入图像的尺寸。选择 “Large”或 “Small”。
“Picture Position”：用 ⇧/⇩/⇦/⇨ 调节插入图像的位置，然后按 ⊕。

提示
您无法在 “PAP”模式中改变纵横比。在选择 “PAP”模式之前，图像以最后使用的纵横比显示。

两幅图像的有效组合

		S Video	Video	RGB/YUV		DVI	OPTION			
				RGB	Component		RGB	Component	HDMI	HD-SDI/SDI
S Video				○	○	○	○	○	○	○
Video				○	○	○	○	○	○	○
RGB/YUV	RGB	○	○			○		○[2)]	○	○
	Component	○	○			○	○[1)]		○	○
DVI		○	○	○	○		○	○		

1）当 “Display”设定为 “YUV”或当 “RGB/YUV”中将 “Option”设定为 “RGB”时支持。
2）当 “Display”设定为 “RGB”或当 “RGB/YUV”中将 “Option”设定为 “YUV”时支持。

提示
在 “PAP”模式中，来自 BKM-FW50 的输出被认为是表中所示的 RGB 输出。

CS

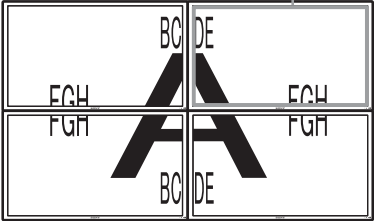
Multi Display

可以对连接多个显示器形成的电视墙进行设定。

"Multi Display"

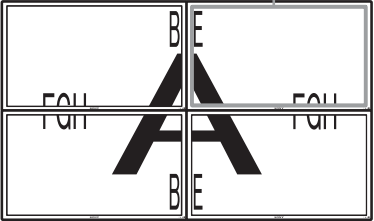
"Off"：使用单个屏幕。

"2 × 2" / "3 × 3" / "4 × 4"：连接多个显示器时设定此项，比如垂直和水平方向各有 2 个、3 个或 4 个显示器。

"1 × 2" / "1 × 3" / "1 × 4"：连接多个显示器时设定此项，比如水平方向有 2 个、3 个或 4 个显示器。

"2 × 1" / "3 × 1" / "4 × 1"：连接多个显示器时设定此项，比如垂直方向有 2 个、3 个或 4 个显示器。

"Position"：用 ⇧/⇩/⇦/⇨ 选择电视墙排列中每个显示器的位置。按 ⊕ 设定位置。

"Output Format"：如下图所示，有两种图像输出格式可供选择。只需轻松选择其中一种格式，即可输出合适的图像而无需手动调节水平和垂直偏移。从 "Tiles" 或 "Window" 中选择其一。

"Tiles"

在各个显示器上显示全部信号。

"Window"

用多个显示器自然地显示一幅大图像。部分信号会进入面板边框区域后面。

"LED"："On" 使得前面板上的 ⏻ 指示灯 （第 6 页）持续打开，而 "Off" 使得前面板上的 ⏻ 指示灯持续关闭。

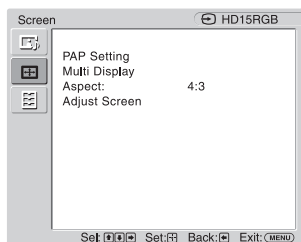
注

- "Multi Display" 可显示放大的图像，使视频输入的当前 "Aspect" 设定尽量保持，并且可显示 "Aspect" 对于个人电脑输入设定为 "Full 2" 的放大的图像。
- 仅当 "PAP" 功能被禁用时，方可设定 "Multi Display"。
- 当 "Position" 设定为右下方时，即使 "LED" 被设定为 "Off"，⏻ 指示灯也会点亮。即使当显示器关闭 （待机）时，此指示灯仍点亮，则说明检测到错误，或显示器处于睡眠模式，包括无信号和不支持该信号的情况在内。

Aspect	**“Wide Zoom”：**选择此项以最小的失真放大，充满屏幕。 **“Zoom”：**选择此项放大原始图像而不改变纵横比。 参见第 12 页。 **“Full”：**选择此项，当原始源为 4:3 （标准清晰源）时水平放大原始图像，充满屏幕。当原始源为 16:9 （高清晰源）时，选择此模式可以其原始尺寸显示 16:9 图像。 **“4:3”：**选择此项，将所有原尺寸图像显示为 4:3 纵横比。 **提示** • 若要从 “Aspect”的某个选项改变至其另一个选项，您也可使用遥控器上的 ⊞。 • 选择 “Zoom”可使用屏幕上的整个可观看区域带黑带显示电影和其它 DVD 内容。 **注** 使用 “PAP”功能或 “Multi Display”的同时，无法设定 “Aspect”。
Adjust Screen	**“H Size”：**可以水平调节图像尺寸。按 ⇦/⇨ 和 ⊕ 选择一项修正。 **“H Shift”：**可以在窗口中左右移动图像位置。按 ⇦/⇨ 和 ⊕ 选择一项修正。 **“V Size”：**可以垂直调节图像尺寸。按 ⇧/⇩ 和 ⊕ 选择一项修正。 **“V Shift”：**可以在窗口中上下移动图像位置。按 ⇧/⇩ 和 ⊕ 选择一项修正。 **“Reset”：**将 “Adjust Screen”的全部设定恢复为默认设定。

注

- 使用 “PAP”功能时，“Adjust Screen”无效。
- 如果当前没有信号输入，则除 “PAP Setting”和 “Multi Display”之外的任何其它 “Screen”设定选项均无法被选择。

CS

对于个人电脑输入

当输入切换至个人电脑输入源时，应用个人电脑输入专用的 “Screen” 设定。
个人电脑的 “Screen” 设定中包括下列选项：

PAP Setting

请参阅视频输入的 “PAP Setting”（第 23 页）。

Multi Display

请参阅视频输入的 “Multi Display”（第 24 页）。

Aspect

“Full 1”：选择此项放大图像，在垂直方向充满显示区域，保持原始的水平－垂直纵横比。在图像的四周会出现一个黑框。
“Full 2”：选择此项将图像放大，充满显示区域。
“Real”：选择此项以图像的原始像点数显示图像。

注

- 在使用 “PAP” 功能或 “Multi Display” 功能的同时，无法设定 “Aspect”。
- 如果输入分辨率比面板分辨率（1920 × 1080）高，则 “Real” 显示与 “Full 1” 相同。

Adjust Screen

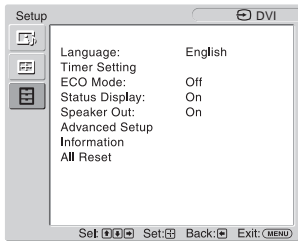
“Auto Adjustment”：选择 “OK”，即可在显示器接收到来自所连接的个人电脑的输入信号时，自动调节图像的显示位置和相位。
请注意，对于某些输入信号，“Auto Adjustment” 可能效果不佳。此时，请手动调节以下选项。
“Phase”：选择此项，在屏幕抖动时调整相位。
“Pitch”：选择此项，在图像有多余垂直条纹时调节间距。

提示

输入 DVI 等数字信号时，“Auto Adjustment”、“Phase”、“Pitch” 无效。
“H Size”：可以水平调节图像尺寸。按 ⇦/⇨ 和 ⊕ 选择一项修正。
“H Shift”：可以在窗口中左右移动图像位置。按 ⇦/⇨ 和 ⊕ 选择一项修正。
“V Size”：可以垂直调节图像尺寸。按 ⇧/⇩ 和 ⊕ 选择一项修正。
“V Shift”：可以在窗口中上下移动图像位置。按 ⇧/⇩ 和 ⊕ 选择一项修正。
“Reset”：将 “Adjust Screen” 的全部设定恢复为默认设定。

注

如果当前没有信号输入，则除 “PAP Setting” 和 “Multi Display” 之外的任何其它 “Screen” 设定选项均无法被选择。

Setup 设定

若要加亮显示某个选项并更改设定，按 ⇧/⇩/⇦/⇨。
按 ⊕ 确认选择。
“Setup”设定中包括下列选项：

Language	选择此项，可用所选择的语言显示所有屏幕上的设定：“English”、“Français”、“Deutsch”、“Español”、“Italiano”或“日本語”。
Timer Setting	可调整时间、显示内置时钟或设定定时器使显示器电源在预设的时间打开/关闭。 **“Clock Set”**：设定星期几和时间。 　**“Date Set”**：设定日期（年、月、日）。星期几将自动设定。 　**“Time Set”**：设定时间。 **“Clock Display”**：设定为“On”时，通过按遥控器上的显示按钮在屏幕上显示当前设定的时间。 **“On/Off Timer”**：设定星期几和时间。 **注** 如果内置时钟走时不准，内置电池可能已耗尽。请联系经授权的 Sony 经销商来更换电池。
ECO Mode	**“Off”**：选择此项，以不节电的方式观看图像。 **“Low”/“High”**：选择此项，可以改变亮度和减少功耗。
Status Display	“On”使得在显示器电源打开时，输入信号和“Aspect”信息在屏幕上显示 5 秒钟左右，并且当输入信号被切换时，输入信号信息显示 5 秒钟左右，而“Off”则禁用状态信息显示。 **提示** 不管“Status Display”设定如何，通过使用遥控器上的 DISPLAY，均可显示输入信号和“Aspect”信息。
Speaker Out	**“On”**：使声音从扬声器发出。 **“Off”**：使声音无法从扬声器发出。
Advanced Setup	**“Control Setting”**：此菜单用于操作显示器和遥控器的设定。 　**“Index Number”**：您可以根据需要更改显示器的索引号码。选择此项，用 ⇧/⇩ 设定显示器的索引号码，然后按 ⊕（执行）确认设定。 　**注** 　设定“Index Number”时，可使用显示器上的按钮。无法使用遥控器设定“Index Number”。 　**“Control Mode”** 　　**“Display+Remote”**：可使用显示器和遥控器上的控制按钮操作显示器。 　　**“Display Only”**：禁用遥控功能。只能使用显示器上的控制按钮进行显示器设定。 　　**“Remote Only”**：禁用显示器上的控制。仅可使用遥控器为显示器进行设定。

CS

注

当操作此项目时，视通过遥控器还是显示器来进行选择的情况而定，可用模式将会有所不同。用遥控器上的 ⊕ 设定此项目时，您仅可选择 “Display+Remote” 或 “Remote Only”。用显示器上的 ＋（执行）设定此项目时，您仅可选择 “Display+Remote” 或 “Display Only”。

“Auto Screen Adjust”

“On”：保存每个输入信号的图像尺寸和位置等设定，并且每次切换输入信号时，自动应用最后的设定。

“Off”：即使切换输入信号也禁用 “Auto Screen Adjust”，并应用默认设定。

“Auto Shut Off”：

“On”：当信号未输入 Video 或 S Video 输入连接器约 5 分钟以上，显示器将自动进入待机模式。当信号未输入 DVI 或 HD15 （RGB/ 分量）输入连接器约 30 秒以上，显示器将自动进入节电模式。

“Off”：即使没有信号输入至任何连接器时，显示器也不会自动关闭。

提示

- 在待机模式中，按显示器上的 ⏻（电源）开关或遥控器上的 POWER ON 开关打开显示器。处于节电模式时，当有信号输入时显示器将自动打开电源。
- 如果 “On-Screen Logo” 设定为 “On”、启用屏保功能或选择了 PAP，则此功能无效。

“Overscan”：选择是否以过扫描或欠扫描状态显示图像。

“Auto”：将假定为 DTV 的信号图像自动切换为过扫描状态图像。

“On”：以过扫描状态显示图像。

“Off”：以欠扫描状态显示图像。

注

如果 “Overscan” 设为 “Off” 时，DTV 信号图像可能以类似个人电脑信号显示的方式显示。

例如：480P → 720 × 480/60

“Sync Mode”：根据 HD15 （RGB/COMPONENT）IN 连接器的第 13 管脚的输入信号设定模式。

“H/Comp”：当输入水平同步信号或复合同步信号时选择此项。

“Video”：当输入视频信号时选择此项。

注

- 只有当模拟 RGB 信号输入到 HD15 连接器时，“Sync Mode” 才有效。
- 视复合同步信号的电平而定，图像可能无法正确显示。此时，请更改 “Sync Mode” 设定。
- 有些输入只能选择同步信号。此时，经由连接器的13或14管脚输入水平/垂直同步信号。
- 对于通过选购适配器的输入，无法执行 Sync Mode 设定。
- 本显示器不支持 576/60p 的三值同步格式。
- 如果在 “Sync Mode” 中选择了 “Video”，则只能设定 575/50i 和 480/60i 信号。
- 如果您选择同步模式设定的视频信号，则无法使用 PAP 功能。

“RGB/YUV”

“Display”/“Option”：设定与显示器 HD15 （RGB/COMPONENT）端子或选购转接器 5BNC （RGB/COMPONENT）端子连接的视频设备或个人电脑的信号类型。

“Auto”：选择此项以选择来自所连接设备的模拟 RGB 输入信号或分量输入信号。

“RGB”：选择此项以选择来自所连接设备的模拟 RGB 输入信号。

“YUV”：选择此项以选择来自所连接设备的分量输入信号。

注

选择 “RGB”以使用复合同步信号输入 RGB 信号。

提示

关于两个图像的可用结合，请参阅第 23 页。

“Color System”：从“Auto”、“NTSC”、“NTSC4.43”、“PAL”、“PAL-M”、“PAL-N”或 “PAL60”中选择视频信号的色彩制式。选择 “Auto”自动设定色彩制式。

注

“Color System”对于个人电脑输入无效。

“Screen Saver”：此设定防止或减少由于屏幕长时间显示同一图像而可能产生的屏幕烧录或残留图像。

“All White”：显示为整个白屏。（约 30 分钟后自动停止且显示器进入待机模式。）

“Sweep”：白色条在画面上滚动。

“Standby”：屏幕保护在 “Timer Setting”中指定的时间以待机模式运行 （第 6 页）。（屏幕保护运行过程中显示屏变为空白。）当屏幕保护结束时，将恢复到正常待机模式。

“Logo”：在本机前的 Sony 标识点亮。

“Position”：通过从 “Auto”、“Landscape”和 “Portrait”中设定设备的设定方式，此标识可在屏幕的下方持续点亮。如果选择 “Auto”，将自动选择 Landscape 或 Portrait。

“Illumination”：选择 “Off”使标识熄灭。选择 “Low”和 “High”将点亮。

“On-Screen Logo”

“On”：信号未输入时，显示型号名称标识。

“Off”：信号未输入时，不显示型号名称标识。

“Network Port”：设定通过遥控器操作显示器的网络端口。

“Off”：当不使用网络端口时选择。可以减少待机模式时的功率消耗。

“Display”：允许从与显示器的 REMOTE （LAN）连接器相连接的个人电脑进行显示器设定。（第 32 页）

“Option”：允许从与 REMOTE 连接器或 OPTION 插槽的 LAN 连接器相连接的个人电脑进行显示器设定。（第 32 页）

“IP Address Setup”：设定 IP 地址，使显示器的 REMOTE （LAN）连接器或选购适配器与用 LAN 电缆连接的个人电脑等设备之间能够进行通讯。

“Speed Setup”：设定显示器的 REMOTE （LAN）连接器或选购适配器与用 LAN 电缆连接的个人电脑等设备之间的通讯速度。

“Power On Delay”：调节电源接通之前的时间。设定为关闭、1 至 120 秒。此设定项目可以在电源装置连接了多个设备时抑制负载意外波动。

提示

关于如何设定 “IP Address Setup”和 “Speed Setup”的详细说明，请参阅 “使用网络功能的准备工作”章节 （第 30 页）。

Information	显示本显示器的 “Date”、“Model Name”、“Serial Number”、“Operation Time”、“Software Version”以及 “IP Address”。如果安装了 BKM-FW50 选购适配器，则显示 “Player IP Address”（静止图像和动画播放功能的 IP 地址）。详细说明，请参阅 BKM-FW50 的使用说明书。
All Reset	将所有调节和设定均重置为出厂设定。 注 “Information”选项中包含的项目以及 “Index Number”不会被重设。

CS

使用网络功能的准备工作

使用前须知

- 如本显示器的软件规格因改进而发生变更，恕不另行通知。
- 应用软件所显示的画面可能与本手册中的插图有细微不同。
- 为确保安全，仅可将本显示器的端口连接至无过高电压或电压浪涌危险的网络。
- 本手册中说明的操作步骤仅适用于以下环境条件。

  操作系统：

  Microsoft Windows XP/Windows Vista

  浏览器：

  Microsoft Internet Explorer 6.0 或以上版本
- 为确保网络安全，建议设定用户名和密码。相关的设定信息，请参阅 “设置画面” （第 33 页）。

  关于安全设定，请咨询网络管理员。

设定 IP 地址

使用 10BASE-T/100BASE-TX LAN 电缆可以将显示器连接至网络。

连接到 LAN 时，可以使用以下两种方法之一设定显示器的 IP 地址。关于 IP 地址选择的详情，请咨询您的网络管理员。

- 为显示器指定一个固定的 IP 地址

  通常应该使用这种方法。请注意，在出厂设定中，显示器设定为自动获取 IP 地址。
- 自动获取 IP 地址

  如果显示器连接的网络具有 DHCP 服务器，您可以让 DHCP 服务器自动指定一个 IP 地址。请注意，在这种情况下，安装显示器后显示器每次打开时，IP 地址都可能会改变。

设定 IP 地址之前，先将 LAN 电缆连接至显示器以建立网络。约 30 秒钟后，打开显示器，然后开始进行所需的设定。

- Microsoft 和 Windows 是微软公司在美国和 / 或其他国家的注册商标。
- 本手册中提及的所有其他产品名称和公司名称等为其各自所属公司的商标或注册商标。

为显示器指定一个固定的 IP 地址

1 按 MENU 打开主菜单。

2 用 ⇧/⇩ 选择 “Setup”，然后按 ⊕。

3 用 ⇧/⇩ 选择 “Advanced Setup”，然后按 ⊕。

4 用 ⇧/⇩ 选择“IP Address Setup”，然后按 ⊕。

5 用 ⇧/⇩ 选择 “Manual”，然后按 ⊕。

6 用 ⇧/⇩ 从 “IP Address”、“Subnet Mask”、“Default Gateway”、“Primary DNS”、“Secondary DNS”中选择所需设定的项目，然后按 ⊕。

7 用显示器上的 ⇧/⇩ 或遥控器上的数字键为四个方框各设定三位数字 （0-255），然后按 ⊕ 或 ⇨。

8 为四个方框各设定三位数字 （0-255），然后按 ⊕。重复与步骤 6 相同的操作，用 ⇧/⇩ 选择下一个所需设定的项目，然后按 ⊕。

9 所有所需项目都设定了数值后，用 ⇧/⇩ 选择 “Execute”，然后按 ⊕。

选择 “Execute”，然后按 ⊕。手动设定了一个 IP 地址。
选择 “Cancel”时，设定将返回原始设定。

自动获取 IP 地址

1 按 MENU 打开主菜单。

2 用 ⇧/⇩ 选择 “Setup”，然后按 ⊕。

3 用 ⇧/⇩ 选择 “Advanced Setup”，然后按 ⊕。

4 用 ⇧/⇩ 选择“IP Address Setup”，然后按 ⊕。

5 用 ⇧/⇩ 选择 “DHCP”，然后按 ⊕。

选择 “Execute”，然后按 ⊕。自动设定了一个 IP 地址。
选择 “Cancel”时，设定将不会被执行。

注

如果未正确设定 IP 地址，则根据错误原因将显示以下错误代码。
Error 1 通讯错误
Error 2: 指定的 IP 地址已经被其它设备所使用
Error 3: IP 地址错误
Error 4: 网关地址错误
Error 5: 首选 DNS 地址错误
Error 6: 备用 DNS 地址错误
Error 7: 子网掩码错误

检查自动指定的 IP 地址

1 按 MENU 打开主菜单。

2 用 ⇧/⇩ 选择 “Setup”，然后按 ⊕。

3 用 ⇧/⇩ 选择“Information”，然后按 ⊕。

4 用 ⇧/⇩ 选择 “IP Address”，然后按 ⊕。

显示当前获得的 IP 地址。

提示

如果无法正常获得 IP 地址，则 “IP Address Setup” 的 “Information”和 “Manual”中显示之前获得的 IP 地址。

设定通讯速度

1 按 MENU 打开主菜单。

2 用 ⇧/⇩ 选择 “Setup”，然后按 ⊕。

3 用 ⇧/⇩ 选择 “Advanced Setup”，然后按 ⊕。

4 用 ⇧/⇩ 选择“Speed Setup”，然后按 ⊕。

5 用 ⇧/⇩ 从 “Auto”、“10Mbps Half”、“10Mbps Full”、“100Mbps Half”、或 “100Mbps Full”中选择所需设定的通讯速度，然后按 ⊕。

如果选择 “Auto”，则自动设定适合您网络配置的通讯速度。

6 用 ⇧/⇩ 选择“Execute”，然后按 ⊕ 反映出设定。

个人电脑操作

控制显示器

您可以在个人电脑屏幕上进行各项显示器设定。
确认显示器、个人电脑和路由器或集线器均用网络电缆正确连接。然后打开显示器、个人电脑和路由器或集线器的电源。
有四种显示画面，按功能区分：Information（信息）画面、Configure（配置）画面、Control（控制）画面和 Setup（设置）画面。
关于按钮功能的详细说明，请参阅显示器各功能的说明。

1 开启个人电脑浏览器（Internet Explorer 6.0 或更新版本）。

2 输入在上一页中分配到显示器的 IP 地址 “http://xxx.xxx.xxx.xxx”，然后按键盘上的 ENTER 键。
如果已设定用户名和密码，将会出现 “Network Password”画面。请输入设定的用户名和密码，然后执行下一步。

3 单击屏幕顶部的功能标签，然后选择所需的画面。

设定各画面上的项目

当使用显示器的 LAN 功能时

Information （信息）画面

该画面显示型号名称、序列号和显示器的其它信息，以及电源状态和输入信号选择。
本画面只显示信息。没有可进行设定的项目。

Configure （配置）画面

Timer
使您可以对定时器功能进行设定。
结束时，单击 “Apply”。

Screen Saver
使您可以对屏幕保护功能进行设定。
结束时，单击 “Apply”。

Picture and Picture
使您可以对双画面功能进行设定。
结束时，单击 “Apply”。

注

在设定 “Timer”功能前，请确保在设置画面（第 33 页）上配置时间设定。

Control （控制）画面

POWER
打开或关闭显示器。

INPUT
使您可以选择输入信号。

PICTURE MODE
使您可以选择图像模式。

ASPECT
使您可以调节图像的纵横比。

Contrast （对比度）＋ / －按钮
调节屏幕对比度。

Brightness （亮度）＋ / －按钮
调节画面亮度。

Chroma （色调）＋ / －按钮
调节色彩浓度。

Phase （相位）＋ / －按钮
调节色彩平衡。

Reset （复位）按钮
将从 “对比度”到 “相位”的设定重设为出厂默认的设定值。

注

- 如果输入信号为Video或S Video，并且视频信号的色彩制式不是NTSC时，“Phase”无效。
- “Chroma”和 “Phase”对于个人电脑输入无效。
- ASPECT设定中的 “Normal”符合视频输入的 “4:3”或个人电脑输入的 “Real”。

Setup （设置）画面

该画面使您可以设定网络密码。出厂默认设定如下：

用户名：root

密码： pudadm

当您做任何更改或输入信息后，单击每一画面底部的 “Apply”使这些设定生效。
文本字段中不可使用特殊字符。

Owner Information （用户）信息

Owner
在此处输入用户信息。

Display Location
在此处输入有关显示器安装位置的信息。

注

输入信息时，切勿使用空格。否则将会导致文件名显示不正确。

Memo
在此处输入补充信息。

Time （时间）

Time （时间）
输入时间、星期几、年、月和日。

Network （网络）

Internet Protocol（TCP/IP）
选择 “Specify an IP address”，输入 IP 地址数字型字符串中的每个数值。
选择“Obtain an IP address（DHCP）”，从 DHCP 服务器上自动获得 IP 地址。请注意，在这种情况下，安装显示器后显示器每次打开时，IP 地址都可能会改变。

注

可以从显示器的菜单设定 IP 地址。详细说明，请参阅 “IP Address Setup”（第 29 页）。

Password
在此处输入管理员、用户名和密码信息。管理员的名称固定设为 “root”。
每个字符串最长 8 个字符。
一旦设定了用户名和密码，无论何时调用显示器的显示器控制画面，即出现“Network Password”画面。为确保网络安全，建议设定用户名和密码。

Mail Report （邮件报告）

Error Report
如果显示器功能发生错误，系统立即通过电子邮件 （错误通知）发送错误报告。

Status Report
显示器的状态可以根据所选择的时间间隔通过电子邮件进行报告。

Address
在此处输入目标电子邮件地址。错误报告可以同时发送到最多四个指定目的地。每个电子邮件地址最大长度为 64 个字符。

Mail Account （邮件帐户）

Mail Address:
在此处输入指定的邮件地址。
地址的最大长度为 64 个字符。

Outgoing Mail Server （SMTP）:
在此处输入邮件服务器的地址。
地址的最大长度为 64 个字符。

Requires the use of POP Authentication before Send e-mail （POP before SMTP）:
连接到 SMTP 服务器时，当需要 POP 验证时，勾选该复选框。

Incoming Mail Server （POP3）:
当 POP 验证用于“POP before SMTP”设定时，在此处输入 POP3 服务器的地址。

Account Name:
在此处输入电子邮件账户的名称。

Password:
在此处输入电子邮件账户的密码。

Send Test Mail:
如要测试邮件是否可以成功发送到指定的目的地，勾选该复选框并单击 “Apply” 。将发送测试邮件。

注

如果未设定下列项目或设定不正确，会出现错误讯息且不能发送测试邮件：

- 目的地地址
- 邮件账户的地址和邮件服务器的地址 （SMTP）

Advanced
进行高级设定以便使用各种网络应用软件。请按照各种应用软件的要求进行设定。

Advertisement
使您可以对网络上的广告和广播功能进行设定。

ID Talk
使您可以对 ID 会话功能进行设定。ID 会话是一个协议，允许显示器进行基于网络的控制。控制项目包括各种设定和调整，例如色温和伽玛。有关支持的 ID 会话命令的信息，请咨询您当地的 Sony 经销商。

CS

SNMP

显示器是一个支持 SNMP（简单网络管理协议）的网络设备。除支持标准的 MIB-II 外，也支持 Sony Enterprise MIB。该画面使您可以对 SNMP 进行设定。
有关支持的 SNMP 命令的信息，请咨询您当地的 Sony 经销商。

返回到默认设定

若要将在“Setup”画面中所作的所有设定恢复至出厂默认状态，可通过指定“All Reset”设定恢复到默认设定，然后重新指定适当的网络设定。

故障排除

检查 ⏻ 指示灯是否以红色闪烁。

闪烁时

自检功能启用。

1 检查 ⏻ 指示灯闪烁的次数和停止闪烁的时间长度。
例如，指示灯闪烁 2 次，停止闪烁 3 秒，然后再闪烁 2 次。

2 按显示器上的 ⏻ （电源）开关和总电源开关关闭电源，然后断开电源线连接。
将指示灯闪烁的方式 （闪烁次数和点亮的持续时间）告知您的经销商或 Sony 服务中心。

不闪烁时

1 检查下表中的项目。

2 如果问题仍然存在，请将显示器交给有资格的专业人员进行维修。

问题	可能的解决方法
显示器上的电源开关和控制按钮不工作。	• 检查 “Control Setting”（第 27 页）。
即使打开 ⏻ （电源）开关，或打开遥控器上的 POWER ON 开关，电源仍未接通。	• 检查总电源开关是否关闭了。（第 8 页）
HD15 （RGB/COMPONENT）OUT 端子没有视频信号输出。	• 本设备处于待机状态或交流电源关闭时，没有 HD15 （RGB/COMPONENT）OUT 输出。
BKM-FW16 的 HD-SDI OUT 端子没有信号输出。	• 本设备处于待机状态或交流电源关闭时，没有 HD-SDI OUT 输出。
没有图像。	
没有图像。	• 检查视频设备和显示器之间的连接。 • 检查 “RGB/YUV” 的设定 （第 29 页）。 • 用显示器的 INPUT 按钮或遥控器尝试切换输入（第 8、10 页）。
显示器自动关闭。	• 检查 “Timer Setting” 是否已启用 （第 27 页）。 • 检查 “Auto Shut Off” 功能是否设定为 “On”（第 28 页）。 • 检查室温是否超过 35°C。
图像质量差。	
无彩色 / 图像暗 / 图像太亮 / 色彩不正确 / 图像逐渐变暗 / 图像上出现水平噪点	• 按 PICTURE 选择所需的 “Picture Mode”（第 10 页）。 • 调节 “Picture/Sound” 设定中的 “Picture Mode” 选项 （第 19、21 页）。 • 检查信号电缆是否完好无损。 • 检查室温是否超过 35°C。 • 检查 “ECO mode”（第 27 页）中的设定。 • 没有连接视频设备时，请勿将视频电缆或转换连接器连接至 VIDEO OUT 端子。由于显示信号不中断，图像的白色区域会很亮。
整个屏幕为淡绿色或紫色。	• 检查 “RGB/YUV” 设定是否不正确 （第 29 页）。
无声音 / 杂音。	
图像显示，但无声音。	• 检查音量控制。 • 按遥控器上的 🔇 或 ◁ + 使静音符号从屏幕上消失 （第 11 页）。 • 检查 “Speaker Out” 设定 （第 27 页）。

CS

问题	可能的解决方法
遥控器无法操作。	• 检查电池的极性或更换电池。 • 将遥控器指向显示器上的遥控传感器。 • 保持遥控传感器区域无障碍物阻挡。 • 检查 "Control Setting"（第 27 页）。 • 检查电缆是否连接至CONTROL S IN连接器（BKM-FW21未附带）。在显示器经由 CONTROL S 连接进行控制时，遥控器无法使用。 • 荧光灯会干扰遥控器操作；尝试关闭荧光灯。
无法连接至网络。	• 将电缆牢牢插入 REMOTE 连接器。 • 检查个人电脑的网络设定。 • 通过在 "Setup" 设定菜单上指定 "All Reset" 设定恢复至默认设定，然后重新指定适当的网络设定。 • 检查 "Network Port"（第 29 页）中的设定。
未出现显示器控制画面（Web 画面显示显示器的 GUI）。	• 单击 Web 浏览器中的刷新或重新载入按钮。 • 确认 IP 地址正确。 • 使用 Internet Explorer 6.0 或更新版本。 • 清除浏览器缓存。

输入信号参照表

个人电脑信号

	分辨率	水平频率（kHz）	垂直频率（Hz）
1	VGA[a)] -1 （VGA 350）	31.5	70
2	640 × 480@60 Hz	31.5	60
3	Mac[b)] 13"	35.0	67
4	VGA （VGA TEXT）	31.5	70
5	800 × 600@60 Hz （VESA[c)] STD）	37.9	60
6	Mac 16"	49.7	75
7	1024 × 768@60 Hz （VESA STD）	48.4	60
8	1024 × 768@75 Hz （VESA STD）	60.0	75
9	1024 × 768@85 Hz （VESA STD）	68.7	85
10	1152 × 864@75 Hz （VESA STD）	67.5	75
11	Mac 21"	68.7	75
12	1280 × 960@60 Hz （VESA STD）	60.0	60
13	1280 × 1024@60 Hz （VESA STD）	64.0	60
14	1600 × 1200@60 Hz （VESA STD） *	75.0	60
15	848×480@60 Hz（CVT[d)]）	29.8	60
16	848 × 480@75Hz （CVT）	37.7	75
17	848 × 480@85Hz （CVT）	43.0	85
18	1280 × 720@60Hz （CVT）	44.8	60
19	1280 × 768@60Hz （CVT）	47.8	60
20	1280 × 768@75Hz （CVT）	60.3	75
21	1280 × 960@60Hz （CVT）	59.7	60
22	1360 × 768@60Hz （CVT）	47.7	60
23	800 × 600@60Hz （CVT）	37.4	60
24	1024 × 768@60Hz （CVT）	47.8	60
25	1280 × 1024@60Hz（CVT）	63.7	60
26	1400×1050@60Hz（CVT）*	65.3	60
27	1600×1200@60Hz（CVT）*	74.5	60
28	1920 × 1080@60Hz	66.6	60
29	1920 × 1200@60Hz	74.0	60

电视 / 视频信号

	分辨率	可用输入				
		Video	分量 /RGB	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p				○	
10	1080/60p				○	
11	1080/24psf		○			

a) VGA 是美国 International Business Machines Corporation 的注册商标。
b) Macintosh 是 Apple Inc. 在美国和其他国家注册的商标。
c) VESA 是 Video Electronics Standards Association 的注册商标。
d) VESA 坐标视频计时器

注

- 对于 HDTV 信号，将三级同步信号输入到 HD15 （RGB/COMPONENT） IN 连接器的第 2 管脚。
- 如果将 DVD 信号输入至显示器后色彩显得太淡，可调整 "Picture/Sound" 设定中的 "Chroma"。
- 如果相位经过了重新调整，则分辨率将会降低。
- 不保证来自 Macintosh 计算机的信号一定能够识别数字 RGB 输入。
- 无法将标有 * 的信号输入至 DVI IN。
- 复合同步信号对应左边信号表格中的第 2、4、5、7、12、13 和 14 项。
- 不含彩色脉冲信号的视频信号将不予保证。

CS

输入信号和显示器状态的实际屏幕显示

屏幕显示	含义
640 × 480/60 （例）	所选择的输入信号为个人电脑信号。
480/60I （例）	所选择的输入信号为分量视频。
NTSC （例）	所选择的输入信号为视频信号。
Not Supported Signal	所选择的输入信号为不支持的信号。
No Signal	无输入信号。
HD15	所选的输入为 HD15。"RGB/YUV" 被设定为 "Auto"。
HD15 RGB	所选的输入为 HD15。"RGB/YUV" 被设定为 "RGB"。
HD15 Component	所选的输入为 HD15。"RGB/YUV" 被设定为 "YUV"。
DVI	所选择的输入信号为 DVI。
Video	选择了复合视频信号。
S Video	选择了 S 视频信号。
Option	选择了选项输入。"RGB/YUV" 设定为 "Auto"。
Option RGB	选择了 Option 输入的模拟 RGB 信号。
Option Component	选择了 Option 输入的分量视频信号。
Option HDMI 1/ Option HDMI 2	选择了 Option 输入的 HDMI 1 或 HDMI 2 信号。
Option HD SDI	选择了 Option 输入的 HD SDI 信号。

规格

视频处理

面板系统	a-Si TFT 主动式矩阵 LCD 面板
显示分辨率	1920 点 （水平） × 1080 线 （垂直）
采样率	13.5 MHz 至 162 MHz
色彩制式	NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/NTSC4.43/PAL60
输入信号	参见第 37 页。

FWD-S42H1

像素间距	0.4845 （水平） × 0.4845 （垂直） mm
图像尺寸	930 （水平） × 523 （垂直） mm
面板尺寸	42 英寸 （对角线 1067 mm）

FWD-S47H1

像素间距	0.5415 （水平） × 0.5415 （垂直） mm
图像尺寸	1040 （水平） × 585 （垂直） mm
面板尺寸	47 英寸 （对角线 1193 mm）

输入和输出

REMOTE
网络端口 （10BASE-T/100BASE-TX）

AUDIO
立体声微型插孔 （× 1）
500 mVrms，高阻抗

VIDEO
S VIDEO IN
微型 DIN 4 芯 （× 1）
Y （亮度）：1 Vp-p ± 2 dB 负同步，75 欧姆端子
C （色度）：脉冲
0.286 Vp-p ± 2 dB （NTSC），75 欧姆端子
脉冲 0.3 Vp-p ± 2 dB （PAL），75 欧姆端子
VIDEO IN BNC （× 1）
复合视频，1 Vp-p ± 2 dB 负同步，75 欧姆
（自动终止）
VIDEO OUT BNC (× 1) 环通
AUDIO IN
立体声微型插孔 （× 1）
500 mVrms，高阻抗

HD15 (RGB/COMPONENT)
HD15 (RGB/COMPONENT) IN
D-sub 15 芯 （雌） （× 1） （参见第 40 页。）
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT
D-sub 15 芯 （雌） （× 1）
（参见第 40 页）
AUDIO IN
立体声微型插孔 （× 1）
500 mVrms，高阻抗

DVI
DVI IN
（与 DVI 规格版本 1.0 兼容）
AUDIO IN
立体声微型插孔 （× 1）
500 mVrms，高阻抗

SPEAKER
扬声器输出 （左 / 右）
6 欧姆 7W + 7W

基本规格

电源要求
100 V 至 240 V 交流，50/60 Hz，
FWD-S42H1：2.9 A （最大）
FWD-S47H1：3.3 A （最大）

功率消耗
FWD-S42H1：280 W （最大）
FWD-S47H1：320 W （最大）

工作条件
温度：0 ℃ 至 35 ℃
湿度：20% 至 90%
（无结露）

储存 / 搬运条件
温度：-10 ℃ 至 +40 ℃
湿度：20% 至 90%
（无结露）

尺寸
FWD-S42H1：972.1 × 565.1 × 125 mm
972.1 × 613.6 × 275 mm
（包括选购支架）
（宽 / 高 / 厚，不包括突出部分）
FWD-S47H1：1081.6 × 626.8 × 129 mm
1081.6 × 675.3 × 275 mm
（包括选购支架）
（宽 / 高 / 厚，不包括突出部分）

重量
FWD-S42H1：约 25.5 kg
约 29 kg （包括选购支架）
FWD-S47H1：约 30.5 kg
约 34 kg （包括选购支架）

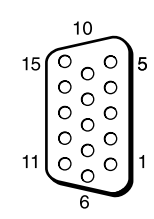
附件
交流电源线 （1）
LAN 电缆 （1）
交流电源插头固定器 （2）
电缆夹 （9）
遥控器 RM-FW002 （1）
AA 尺寸 （R6） 电池 （2）
使用说明书 （1）

选购件
SU-S01 显示器支架
扬声器 SS-SPG02
用于系统扩展的选购适配器，BKM-FW 系列

安全规则
UL 60950-1，CSA No. 60950-1-03 (c-UL)，FCC Class B，IC Class B，EN 60950-1 （NEMKO），CE，C-Tick

设计和规格若有变更，恕不另行通知。

管脚分配

HD15 RGB/COMPONENT 连接器 （D-sub 15 芯）

管脚编号	信号
1	红色视频或 C_R/P_R
2	绿色视频或 Y
3	蓝色视频或 C_B/P_B
4	接地
5	接地
6	红色接地
7	绿色接地
8	蓝色接地
9	未使用
10	接地
11	接地
12	SDA
13	H 同步、复合同步或复合视频（作为同步信号）
14	V 同步
15	SCL

注

当输入分量信号时，切勿将同步信号输入至管脚 13 和 14。否则，可能无法正确显示图像。

索引